

編所輯編堂省三
 等 中
 理地界世近最

據準目要授教新



版大 堂 省 三 京東

教
 5
 2

42916

教科書文庫

4
293
51 - 1938
20000
41348

Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



© Kodak, 2007 TM: Kodak

Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak



教科書文庫

4

293

51-1938

2000041348

375.9
5a14

日六十月二年三十和昭
濟定檢省部文
用科理地校學中·校學範師

編所輯編堂省三

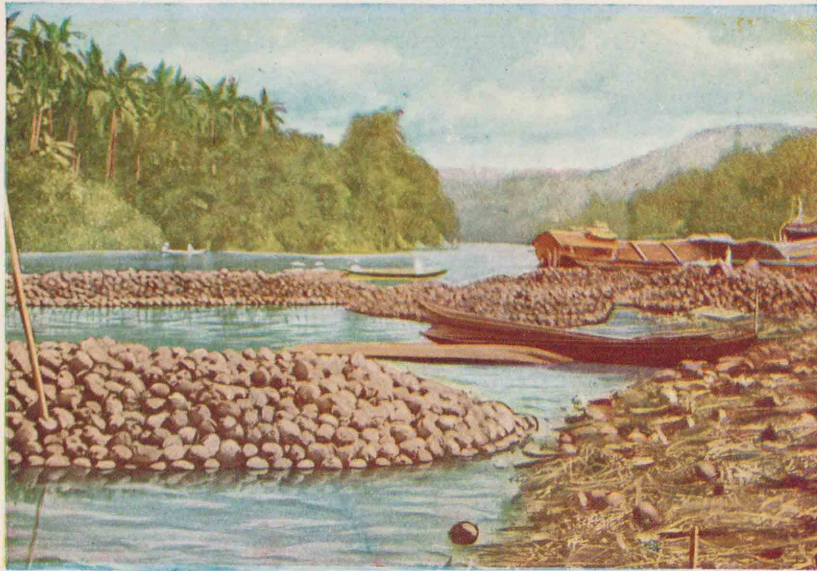
等 中

理地界世近最

據準目要授教新



阪大 堂 省 三 京東



筏の子椰のンピリィフ

ぶ運へ他てし流を河り造に筏てし集結を子椰のく多



場牧のダンラオ

るあで畫繪りあで詩に眞・群の牛肥・路水の漢縦・車風の有特



東京

辯言

本書は中等學校の教科書とする爲に、新定の教授要目に則り編纂したもので、中最近日本地理及び中最近地理概説と連絡し、相待つて地理教授の本旨を達成せしめることに勉めた。

本書の編纂に當つて、特に意を用ひた要點は左の通りである。

- 一、既修の知識を基礎として、更に之を世界的に結合會得せしめる方針を採つた。即ち日本地理を中心とし、その延長として世界地理を説いたものであるから、日本と關係の親疎により、教材の選擇に著しく斟酌を加へた。
- 一、日本地理に於いて已に南洋群島關東州を授けたから、その後を受けて、先づ滿洲國に及ぼすのが、思想の連絡上からも、親疎の關係上からも適當と考へられる。依つて本書は、滿洲國を最初とし、次第に他の地方に移ることにした。
- 一、經濟關係は、日本を中心とする地理に於いて、最も重要な條件であるから、特にその記述に意を注ぎ、我が國と需給關係の密接な品物に綿右油（羊毛等）對しては、一頁を費して各方面から觀察せしめ、日本の産業上に於ける地位を覺らしめるやうにした。この目的は全卷を一貫するので、必然の結果として、グラフ・マップ等を多く加へることとなつ

た。

挿入の圖表中、氣温雨量等は理科年表その他により、統計圖表は政家年鑑國際聯盟年鑑、日本貿易精覽、日本國勢圖會、國勢グラフ等に掲載された數によつて、作製したものが多い。

一、挿畫は嚴密に選擇し、本文に挿入する外、二十餘枚の別頁を加へてその數を豊富にし、且一々に概説を附して、記述の理解と趣味の喚起とを計つた。

挿畫は弊社で蒐集したものの外、南滿鐵道會社旅行案内社、亞東印畫協會、亞細亞寫真大觀社等の撮影によるものが少くない。

一、人口は最近の調査により、滿洲國は十萬以上、その他は二十萬以上の都邑を一括して欄外に列記し、又獨立國の首府は、二十萬以下のものも、之を載せて參考とした。

一、統計の調査年度は一定しないが、成るべく最近の數を採り、尺度は特殊のもの外、メートル法を原則とした。

教材の排列取捨に就ては、教官諸賢の經驗を尊重し、披瀝を得た多數の意見に基き、之を斟酌して定めたものである。茲に特記して感謝の意を表する。

昭和十二年九月

編者識

中等最近世界地理 目次

序 說

第一篇 アジヤ洲

總 說(其一)..... 三

各 說..... 六

第一章 東部アジヤ..... 六

第一節 滿洲國..... 六

第二節 支 那(中華民國)..... 三

一 支那本部..... 二四

二 西藏・青海・新疆・蒙古..... 四〇

第二章 南部アジヤ..... 四三

第一節 印度支那..... 四三

第二節 マレー諸島..... 四六

第三節	印度及びセーロン島	四
第三章	西部アジア	五
第四章	北部アジア	六
第一節	シベリヤ	六
第二節	中央アジア及びコーカシヤ	六
總	說(其二)	六
第二篇	ヨーロッパ	七
總	說(其一)	七
各	說	七
第一章	東部ヨーロッパ	七
第一節	ロシア(ソビエト聯邦の歐洲部)	七
第二節	バルチック海東岸地方	八
	フィンランド・エストニア・ラトヴィヤ・リトワニヤ	八
第二章	北部ヨーロッパ	八

第一節	スカンデナヴィヤ半島	八
第二節	デンマーク 附アイスランド	八
第三章	中部ヨーロッパ	九
第一節	ポーランド 附ダンチヒ	九
第二節	ドイツ	九
第三節	オランダ	九
第四節	ベルギー 附ルクセンブルグ	一〇
第五節	スイス	一〇
第六節	オーストリア 附リヒテンシュタイン	一〇
第七節	ハンガリー	一〇
第八節	チェッコスロバキヤ	一一
第四章	西部ヨーロッパ	一一
第一節	フランス 附モナコ	一一
第二節	イギリス	一一
第五章	地中海地方	一二

第一節	イベリヤ半島	一〇
第二節	イタリヤ 附パチカン サンマリノ マルタ島	一三
第三節	バルカン半島	一六

總	說(其二)	一四
---	-------	----

第三篇 アフリカ洲

總	說(其一)	一四
各	說	一四

第一章	北部アフリカ	一四
第二章	西部アフリカ	一五
第三章	東部アフリカ	一五
第四章	南部アフリカ	一五
總	說(其二)	一六

第四篇 北アメリカ洲

總	說(其一)	一六
各	說	一六

第一章	カナダ 附グリーンランド	一六
第二章	アメリカ合衆國	一七
第三章	メキシコ	一七
第四章	中央アメリカ及び西印度	一八
總	說(其二)	一九

第五篇 南アメリカ洲

總	說(其一)	一九
各	說	一九
第一章	西部諸國	一九
第二章	東南部諸國	二〇
第三章	ブラジル	二〇
第四章	北部地方	二〇



目次終

總説(其二)……………102

第六篇 大洋洲

總説(其一)……………103

各説……………103

第一章 オーストラリア聯邦……………103

第二章 太平洋諸島……………107

總説(其二)……………113

第七篇 兩極地方

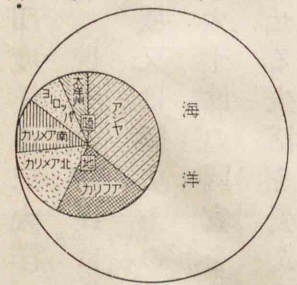
第一章 南極地方……………113

第二章 北極地方……………114

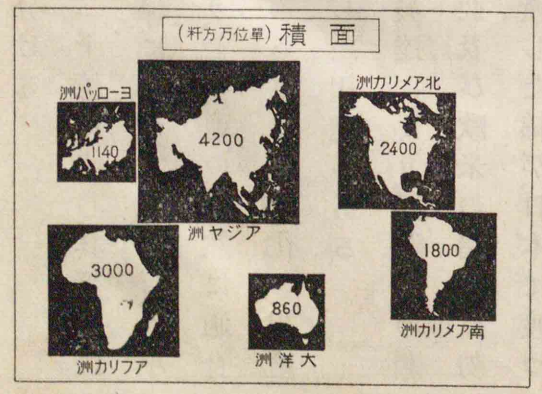
中等 最近世界地理

序説

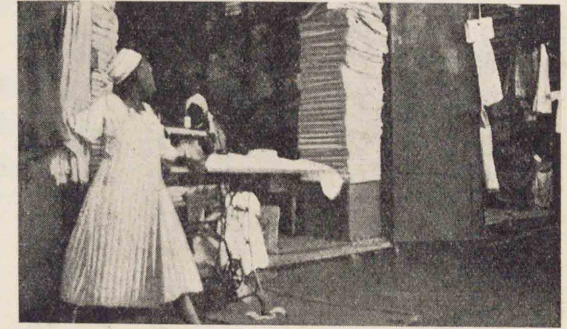
地球上には約一億三千万方呎の陸地があつて、アジア・ヨーロッパ・アメリカ・北アメリカ・南アメリカ及び大洋洲の六大洲に分れ、この他南極地方に面積のまだ判明しない陸地がある。大洲の面積は甚だ不平等で、アジア洲は陸地の約三分の一を占める。海洋の面積は陸地の約三倍で、之を太平洋・大西洋



陸水比較の南極洲は省く



能



印度洋の三大洋に分ける。世界の住民は約二十億に達し、其等は民族又は歴史上の關係によつて結合し、大小六十餘の國家を造り、その地の自然に適合せる生活を營んでゐる。従つて文化の程度、國勢の強弱等は、著しい相違がある。近年交通機關の發達により、國際間の關係が密接となり、東亞及び歐米の諸國は勿論、遠くアフリカに産した綿が、日本に渡つて紡績の原料となると共に、日本産の綿布が、その内地の土人にも使用せられ、我が毛織原料となる羊毛の取引をするオーストラリヤの商人が、身には日本産の綿織、人絹織を着てゐる等、世界は全く共通の一團となつてゐる。我等は廣く世界の地理を學び、日本の地位を知つて、益、我が國運の進展に力を盡さねばならぬ。

印度洋の三大洋に分ける。

世界の住民は約二十億に達し、其等は民族又は歴史上の關係によつて結合し、大小六十餘の國家を造り、その地の自然に適合せる生活を營んでゐる。従つて文化の程度、國勢の強弱等は、著しい相違がある。

近年交通機關の發達により、國際間の關係が密接となり、東亞及び歐米の諸國は勿論、遠くアフリカに産した綿が、日本に渡つて紡績の原料となると共に、日本産の綿布が、その内地の土人にも使用せられ、我が毛織原料となる羊毛の取引をするオーストラリヤの商人が、身には日本産の綿織、人絹織を着てゐる等、世界は全く共通の一團となつてゐる。我等は廣く世界の地理を學び、日本の地位を知つて、益、我が國運の進展に力を盡さねばならぬ。

面積 約四二〇〇萬方
人口 約一億
アジヤとヨーロッパとは一大陸をなしてゐるから之をユーラシヤと呼ぶことがある

通常ウラル山脈・ウラル河・裏海・コーカサス山脈を以て歐亞の境界とするが政治上の區劃は之と一致しない

第一篇 アジヤ洲

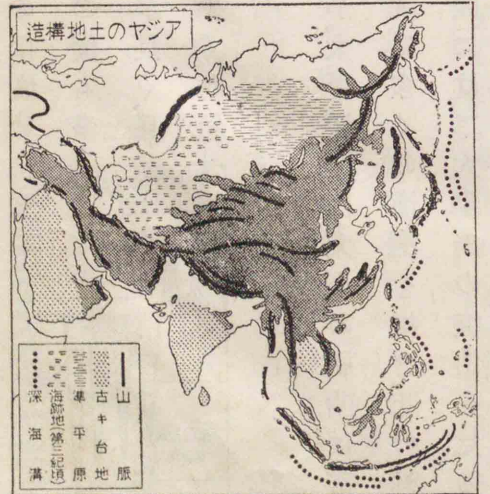
Asia (亞細亞)

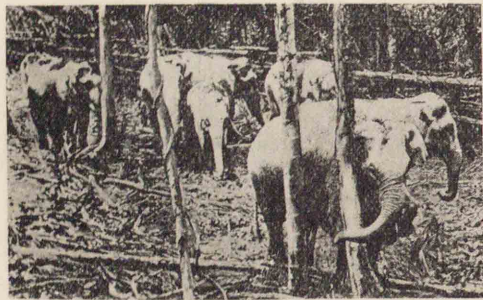
總說 (其一)

地勢海岸

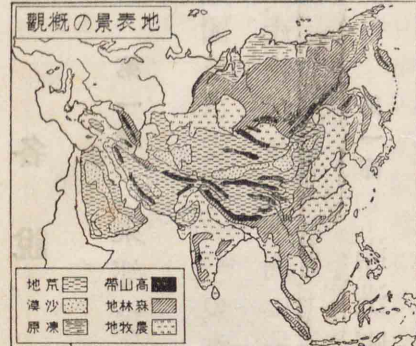
アジヤは世界最大の大陸で、面積は全陸地の約三分の一を占める。大陸の殆ど中央にパミル高原があり、ヒマラヤを始め、多くの山脈が此處から諸方に分れ、その間に高原盆地を挟んで、世界最大の高地帯を作る。高地帯の南方には、古い地塊から成る臺地性の大半島がある。北部から西北部にかけては、廣い平野をなし、その一部は、古く海に被はれてゐた處で、土地が甚だ低く、裏海・アラル海等は、その遺跡といはれる。

アジヤは世界最大の大陸で、面積は全陸地の約三分の一を占める。大陸の殆ど中央にパミル高原があり、ヒマラヤを始め、多くの山脈が此處から諸方に分れ、その間に高原盆地を挟んで、世界最大の高地帯を作る。高地帯の南方には、古い地塊から成る臺地性の大半島がある。北部から西北部にかけては、廣い平野をなし、その一部は、古く海に被はれてゐた處で、土地が甚だ低く、裏海・アラル海等は、その遺跡といはれる。



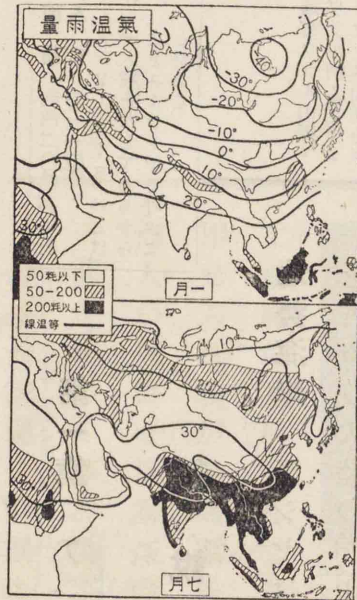


野生の象の垣の中を誘ひ込んで捕獲する光景



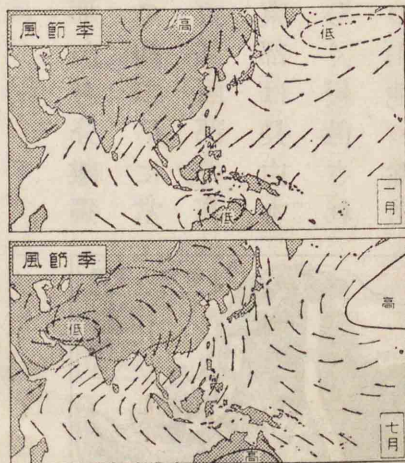
この濕熱の氣候により、熱帯性の森林が繁茂し、象、犀、虎、鱷、大蛇等の巨大な動物の棲む處もある。内部は大陸性で、著しく乾燥し、西南に續く廣大な沙漠帯をなしてゐる。北部は寒

氣が強く、極北の一帯は凍原となり、その一部は、世界寒極の一に數へられる。
現状 本洲は面積の廣い割合に、獨立國家の領域が少く、土地の大部は、歐米人の支配を受けてゐる。獨立國の中でも、彼等の干渉を蒙るものが多く、國力の充實せるは、獨、我が帝國のみである。

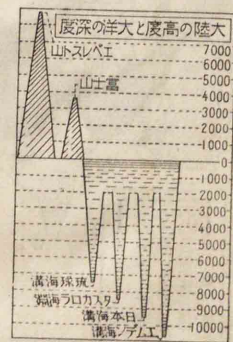


河川は四斜面に分れ、東部・南部のものは、廣い平野を流れ、水量が概、豊富で、交通灌漑の便も多いが、北斜面を流れる河は、凍結の期間が長く、且河口が北極海にあるので、その利用が少く、西斜面には内地河が多い。
 北極海の沿岸は、出入が單調であるが、太平洋岸は大小の屈曲に富み、且多數の島嶼が散在して、大陸との間に多くの海灣を抱き、その外側に、深い海溝を繞らしてゐる。印度洋面には、二大半島の突出を見る外、屬島は少い。

氣候 土地が廣い上に、地形が錯雜してゐるから、氣候は處により著しい違がある。東部は本洲中の最、溫和な地方で、南部は暑く、四季の變化がない。共に季節風の影響を受けて、雨量が多く、南部には、世界中の最多雨地がある。



ま高が温氣の部内ヤジアは夏 風節季
 洋兩の度印・平太からかづ生を壓氣低つて
 本日がれ夫じ生を風む込き吹に陸内らか
 反と之るなど風南西はで度印・風南東は
 じ生を壓氣高り下が温氣の部内陸大は冬し
 本日がれ夫す起を流氣のす出流に邊四
 季く斯るなど風北東はで度印・風北西は
 ふいと風節季を風るな異の向方てつよに節



各説

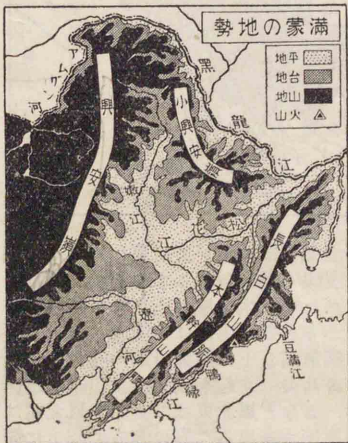
第一章 東部アジヤ

滿洲國及び支那(中國華)の地域で、日本と共に東亞の要部を占め、氣候がよく、産物が多く、本洲に於ける人口の略半は、此處に住んでゐる。

第一節 滿洲國

通説

地勢 滿洲は最近に支那から分離獨立した國で、面積は我が國の約二倍に當る。之を地形上から見ると、東部西部の高地と、滿洲平野とに分れる。東部は長白山(ホク)幹等の山脈が連る處で、著しく侵蝕されて、多くの地塊に分れる。この山地の餘勢



滿洲
面積 約三萬方
人口 約三、七
二八、萬

雨量の過半は夏に降るから秋冬が旅行・運輸の季節である。

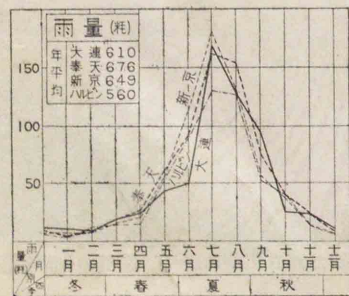
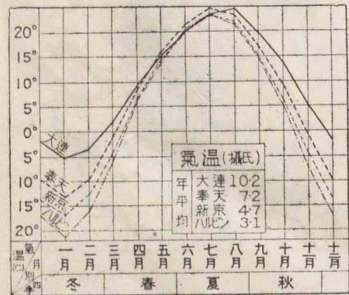
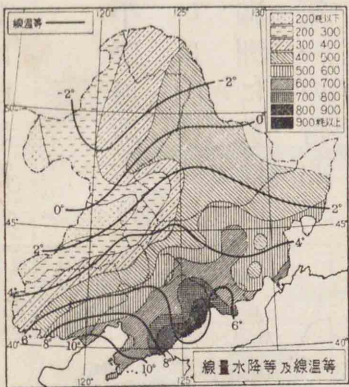


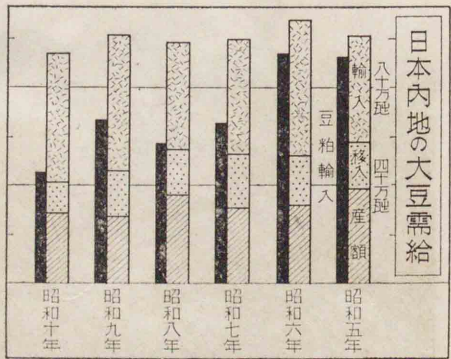
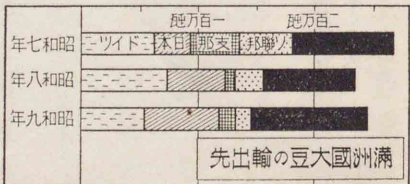
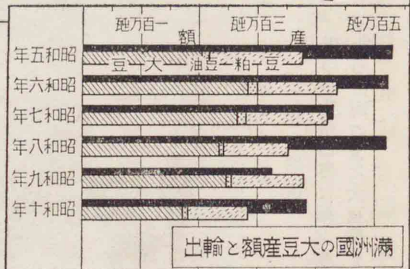
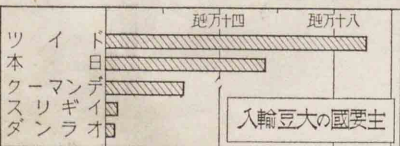
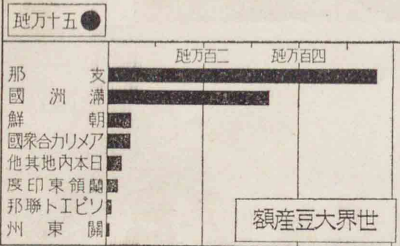
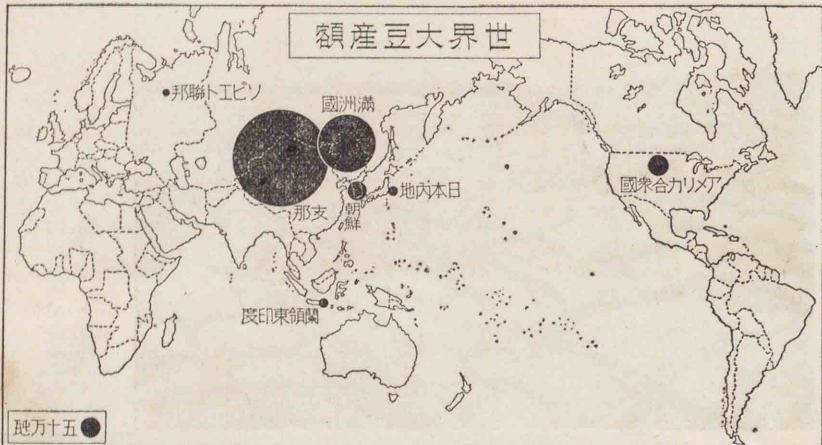
固が面河は間月ケ五約季冬 江花松たし結凍陸
るす來往を上のに由自も車動自も車馬し氷結く

は、遼東半島となつて、黄海と渤海とを分ける。西部には興安嶺が連り、その東側は滿洲平野に急斜し、山脈状をなしてゐるが、西側は緩斜して、蒙古高原と續く。中部は廣い滿洲平野で、低い分水嶺によつて、南滿洲と北滿洲とに分れ、北滿洲には松花江及びその支流の嫩江が流れ、南滿洲には遼河が流れてゐる。

氣候

氣候は大陸性で、寒暑の差が著しく、殊に内部は、寒氣が烈しく且長く、冬は河面が厚く凍つて、車馬道となる。雨は一體に少いが、降水の大部分は、夏の二三ヶ月間にあるから、高温と相

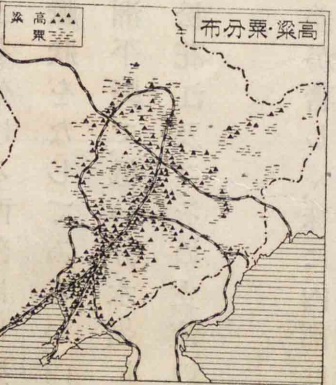




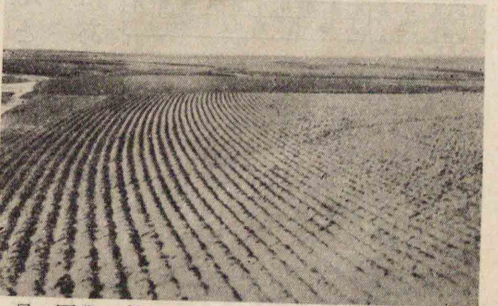
世界の大豆 大豆は東洋の特産で、他へ移植しても概ね失敗に終るが、唯米國では稍成績を擧げてある。支那は世界最大の産地であるが、品質が劣り且國內需要の爲に、輸出の餘裕がない。之に反し滿洲國では、産額の殆ど全部が輸出せられ、世界第一の大豆供給國である。大豆の消費國はドイツと日本で、ドイツは概ね油脂原料とし、日本では食糧品の原料とする。又豆粕は多く日本へ輸出されて肥料となるが、歐洲では之を家畜の飼料とし、豆油は人造バター・石鹼等の原料とする。



日本移民の稲刈 事變後に佳木斯附近の農園



待つて、農業には好都合である。
産業 平野の地方は、農業が大いに開け、殊に大豆は、南滿洲に於ける第一の富源で、その儘輸出する外、之を原料とする搾油業(油房)が盛に行はれ、豆油豆粕の産



滿洲農園の野平に開拓されたい農園の景

出が甚だ多い。北滿洲は小麥の産に富み、之を原料とする製粉業が発達

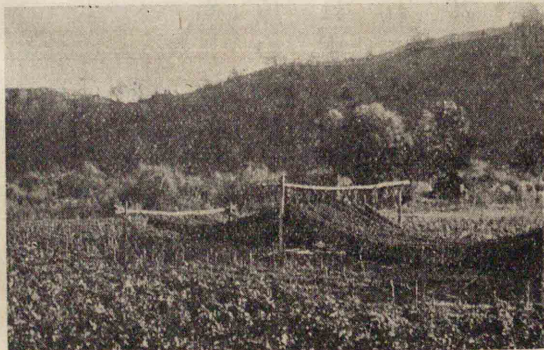


羊の數多るゐてつ群に處彼處此の野原い廣 牧放の羊解圖



景光すか乾しら曝に日天を毛羊たつ採剪 燥乾毛羊解圖

し、處々にその大工場がある。高粱玉蜀黍粟等の耕作も廣く行はれて、住民の食糧及び製酒の原料となり、近年米の收穫も次第に増加し、甜菜綿等の栽培も有望となつた。吉林地方からは煙草麻等を産し、遼東半島には柞蠶絲の特産がある。滿洲人は家畜を馴らすことが巧みで、大抵の農家では、副業として豚馬牛驢羊及び鶏等を飼ひ、西部では遊牧が行はれ、將來の羊毛供給地として、有望視されてゐる。鴨綠江松花江等の流域及び興安



景光るす燥乾てし吊に繩を葉の草煙 燥乾の草煙解圖



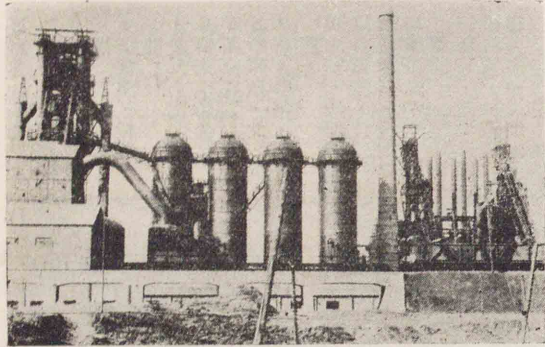
大豆の堆積
二重三重と土囊に固めた陣地のやうに山積されて積荷を待つ大豆囊



大豆の輸送
馬車や牛車の外に櫓でも運ぶ圖は凍つた河の上に大豆櫓を牽く人夫



粟の刈入れ
房々と豊げく稔つてゐる粟を懸命に刈入れてゐる日本の農業移民

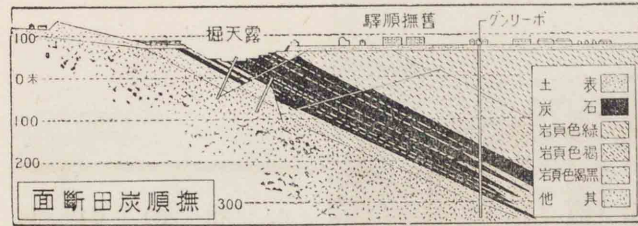


—第一洋東は模規で爐風熱と爐鐵熔 所鋼製の山鞍(解圖)

地である。中でも撫順は、世界屈指の大炭田で、露天掘に名高く、その炭層を被ふ油頁岩は、石油採取の原料に用ひられる。鐵は鞍山・廟兒溝等から産し、鞍山の製鋼所は、撫順の製油所(油頁岩から製油)と共に、規模が極めて壯大である。この他西部地方の天然曹達、各地から産する菱苦土等も、主要な産物である。

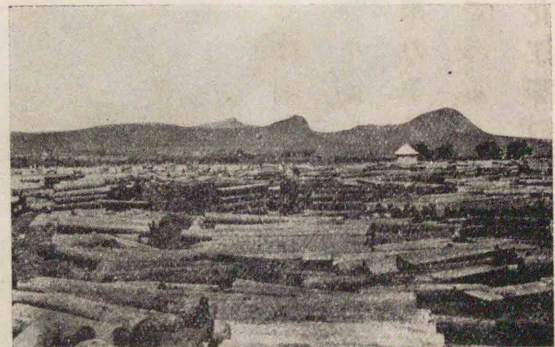
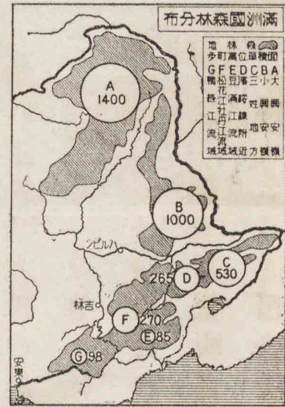
工業は原料や石炭が豊富な上に、漢人の勞銀が安いので、搾油製粉製鐵及び化學工業等が著しく勃興した。貿易も次第に發達し、その取引は、關東州の大連を大門戸とし、營口・安東等が之に次ぐ。主要の輸出品は、豆粕大豆・小麥・豆油・石炭・鐵材等で、輸入品は綿絲・布絹及び毛織・砂糖・機械類等を主とし、取引は日本との間に最も多い。

交通 鐵道は南滿洲鐵道の連京線と、ソビエト聯邦から讓渡を受けた京濱濱洲濱綏等の諸線が、相連つて縦横の幹線となり、旅客郵便物の輸送上、世界交通路の一部となつて



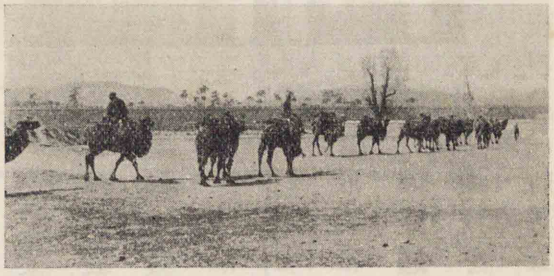
遼東灣の沿岸には、處々に鹽田があつて、天日製鹽が行はれる。礦物の埋藏が甚だ多く、石炭はその首位を占め、撫順・煙臺・本溪湖等は重要な産物である。

嶺には、廣い原生林があつて、木材の伐採が盛に行はれ、安東・吉林は、その大集散地で、又、製材の中心である。



景光たつ集に井龍が材伐の地山部東 積堆の材木解圖

- 1 大連・新京間
- 2 新京・哈爾濱間
- 3 哈爾濱・滿洲里間
- 4 哈爾濱・綏芬河間
- 5 奉天・山海關間
- 6 奉天・安東間
- 7 新京・圖們間
- 8 哈爾濱・北安間
- 9 齊齊哈爾・北安間
- 10 北安・黑河間
- 11 哈爾濱・拉法間
- 12 佳木斯・圖們間
- 13 四平街・齊齊哈爾間
- 14 新京・白城子間
- 15 白城子・溫泉間
- 16 大虎山・鄭家屯間
- 17 奉天・吉林間
- 18 錦州・承德間

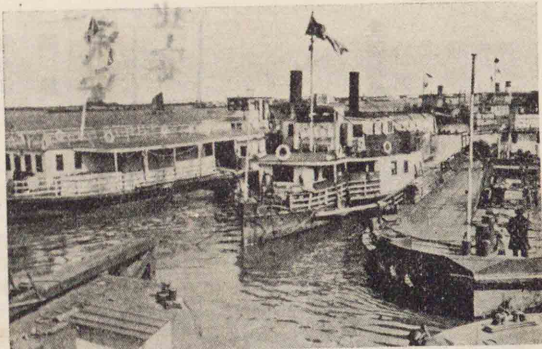
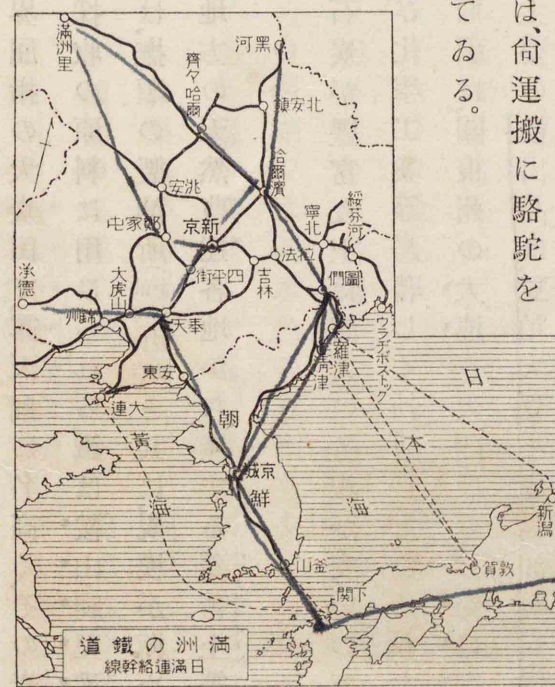


隊駝駱の部西洲滿(註) 駝駱を物てつよに搬運する光景

ある。その他奉山線は滿支を連絡し、安奉線、京圖線は滿鮮を連絡し、濱北、齊北の兩線は、北滿の穀産地帯を圍繞し、北黑線は北上して、軍事開拓の要線となり、又拉濱、圖佳、本齊、京白、白溫、大鄭、奉吉、錦承等の鐵道も敷設されて、交通は益々便利となつたが、西部地方では、尙運搬に駱駝を使用してゐる。

水運

江・遼河の二大水路がある。松花江は哈爾濱以下に大汽船を浮べ、遼河は支那船の上下が盛であるが、共に冬季は凍結する。海運は大連を経由するものが多く、營口、安東が之に次ぐ。近年航空路も次第に開け、我が空路と連絡する。



運水の江花松(註) 哈爾濱埠頭の光景が船幅をす

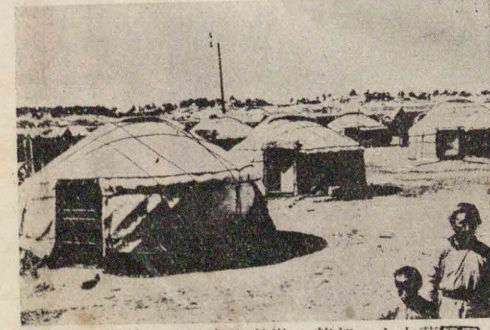
連を經由するものが多く、營口、安東が之に次ぐ。近年航空路も次第に開け、我が空路と連絡する。

住民 原住民は、嘗て清朝を興した滿洲族(ツング族)であるが、今は移住の漢族が大部分を占めて、多く農商に従事し、西部には蒙古族が遊牧生活を営み、東部には朝鮮人が農業を行つてゐる。この他、北部にはロシア人、南部には内地人の在住が頗る多く、邦人によつて建設された都會も少くない。新國家は、此等諸民族の協和共榮を主義とし、民族上の差別を設けない。

南滿洲鐵道の附屬地は我が領土の延長であつたが最近之を滿洲國に移譲した

政治

政治は立憲君主制で、元首を皇帝と呼ぶ。政府の組織は參議院(樞密院)、立法院(會議院)、國務院(政院)から成り、國務院の下に六部(治安、民生、産業、交通、司法)がある。地方は十省に分れ、その各



み疊折は等彼るすと主を牧遊 落部の人古蒙(註) 出るでん住に幕天の形圓な利便もに動移て來出が

(省名)	(治所)	(省名)	(治所)
奉天	奉天	通化	通化
吉林	吉林	安東	安東
濱江	哈爾濱	錦州	錦州
龍江	齊齊哈爾	熱河	承德
黑河	黑河	興安東	札蘭屯
三江	佳木斯	興安西	大板上
牡丹江	牡丹江	興安南	王爺廟
間島	延吉	興安北	海拉爾

東安 北安

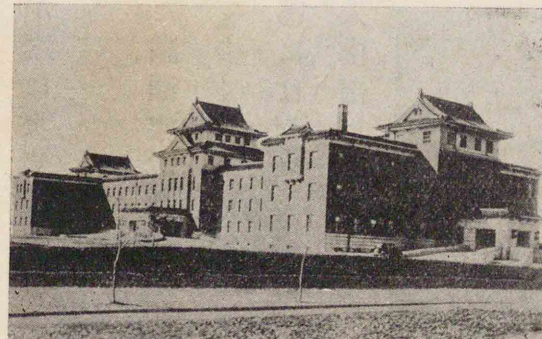
主要都邑 人口(萬)
 哈爾濱 天 興
 奉天 京 豐
 新京 天 豐
 吉林 林 三
 齊齊哈爾 爾 二

に省公署があり、關東州は我が國の租借地である。兵備は五軍管區に分けて、警備軍を置き、我が守備隊及び派遣軍も駐在してゐる。

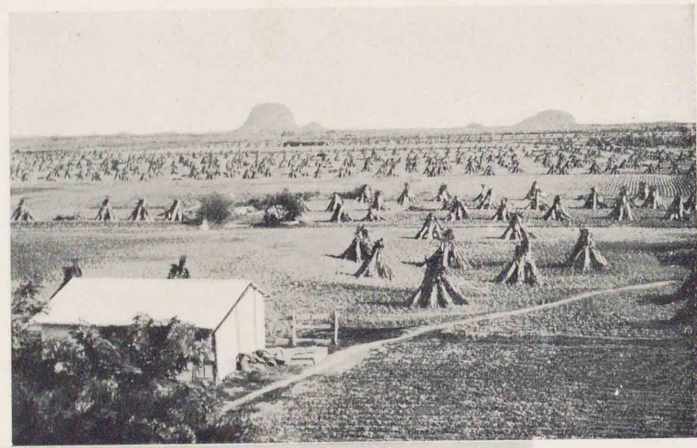
往年ロシアはこの地方に勢力を張り、關東州はその租借地となつてゐた。日露戦役の後、我が國がその利権を継ぎ、鐵道の經營、産業の開發等に力を盡し、著しく文化の進歩を見るに至つたが、支那はこの權益を無視し、横暴を極めたので、終に滿洲事變(昭和六年)が起つた。この機に當り、滿洲國民は、理想の樂土を建設せんとて、舊清國皇帝溥儀氏を擁して、共和制の滿洲國(昭和七年)を建てたが、後に之を皇帝に推戴して、立憲帝國(昭和九年)となつた。

處誌

南滿洲 各種の産業がよく發達し、交通が便利で、人口も割合に稠密である。
 連京線地方 連京線の鐵道は、關東州の大



館使大滿駐・部令司軍東關



刈取られた高粱畑
 高粱の刈取り脱穀が済むと見渡す限り平野一面に莖束が連つてゐる



木材の筏
 鴨綠江流域で伐採された木材の筏が安東の河岸に蝟集してゐる光景



撫順炭田の露天掘
 階段狀に掘下げられ多數の運炭車が右に左に絶間もなく通つてゐる

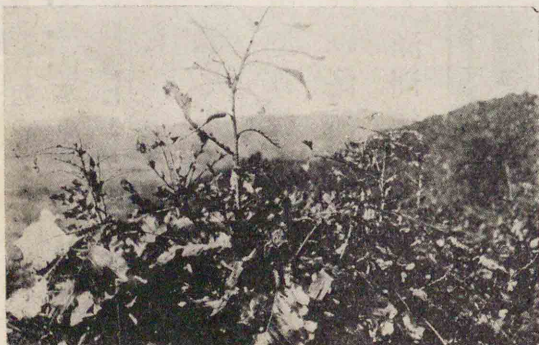
遼東半島は日清戦役の結果我が國の領土となつたが露獨佛の三國干渉により之を支那に還附し中立地帯となつた



(昭和十二年八月十八日旅順要塞司令部検査済)

大連埠頭の滿洲平野の物産を集散し貨物幅が廣く

線を營口に出す營口は遼河の河口に位し重要な商港であるが交通の變遷によつて市況が稍衰へた。



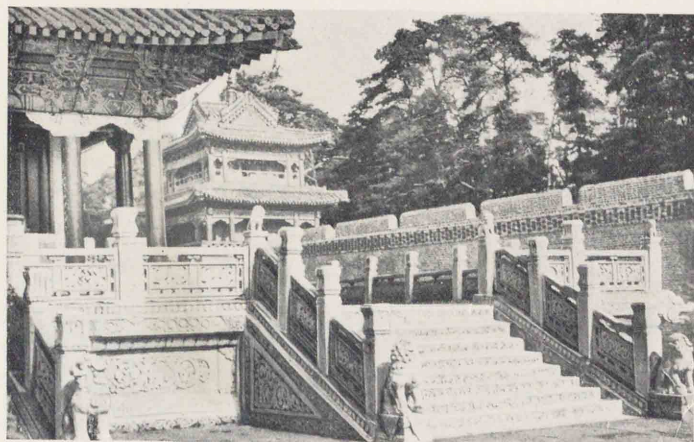
解柞山蠶繭と之を養放す柞樹を林場とふい



營口埠頭の遼河流域の物産集散地として重要な門戸

連を起點とし平野の要都を連ねて北走する。關東州は伊豆半島の約二倍に等しい小半島で、全部が殆ど丘陵性である。大連は滿洲平野に對する最大の門戸で、商工業及び交通の要地を占め、久しく我が滿洲開發の策源地となつた處であり、旅順は日清日露の戦蹟地で、共に滿洲國現在の發展とは極めて密接な關係がある。遼東半島は、嘗て我が領土となつたことのある處で、柞蠶

絲の産が多く、鐵道はその中心の蓋平を経て支



北陵の隆恩殿 滿洲建築の標本で欄間階段悉く精緻を極め我が日光に比すべきもの



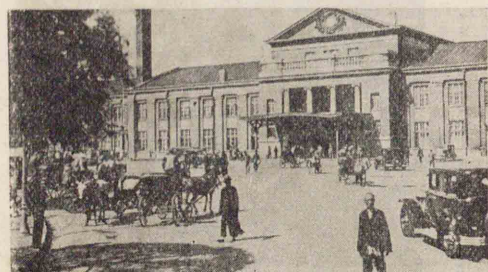
新京の市街 城内に於ける光景で以前は城壁を繞らしてゐたが大部は撤去された



吉林の展望 北山から市街を展望した光景で前方には遙に松花江の流れが見える



新北京の街路 幅の広い路に樹が青々と美し

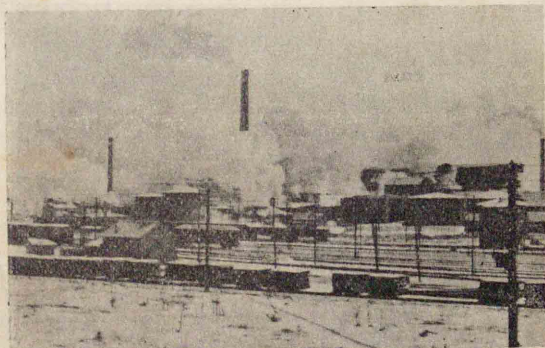


新北京驛前廣場此處から三大路が放射する

新北京は南北滿洲の分水界に近く、人文関係も南北の略中間に立つてゐる。新に國都と定められた處で、數多の鐵道が此處に集り、貨物の集散が多く、最近大規模の都市計畫が進められてゐる。奉山錦承線地方、奉山線は奉天から西南に走つて、北支の鐵道と連絡する。錦

嶺は大豆の大集散地であるが、開原の發展で、稍繁華を奪はれた。四平街は平齊線の分岐點に當り、西方に鄭家屯(遼源)、通遼(白音太拉)等の市場があり、公主嶺は農産物の集散地で、滿鐵の農事

試驗所がある。

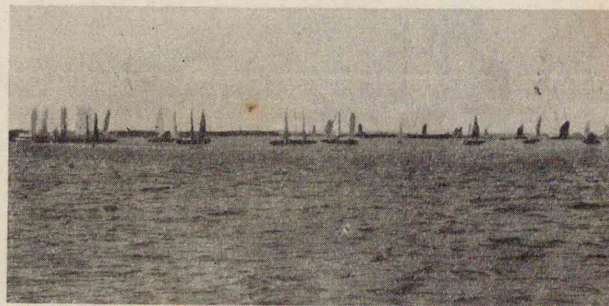


順撫の製油工場 煙が中に見えてゐる



奉天の街市 花の通光景で麗な高層屋が並ぶ 城内の繁華は平街で通行人が雑沓する

つたが、今も商工業交通の要地として重きをなし、我が滿洲醫科大學も此處にある。附近の撫順は、大炭田の所在地で、製油その他の大工業が行はれる。鐵



遼河の帆船 多數の戎克が帆船に風を受け静かに流れて行く

遼河は南滿洲に於ける貨物輸送の大動脈で、その沿岸には營口を始め通江口、馬蜂溝等の河港が發達し、盛に産物を集散したが、鐵道の開通により、貨物を之に吸収されて、何れも不振に傾いた。

鞍山は鐵産地を控へて、大規模の鐵鋼工業が行はれ、遼陽の附近は、綿の栽培が盛になつた。奉天は清朝の舊都で、近郊にその宗廟がある。久しく滿洲統治の中心地であ

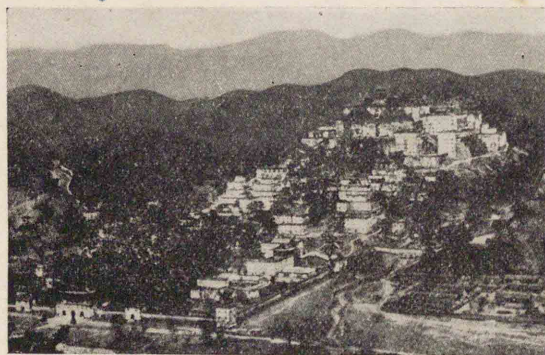
十三聖塔



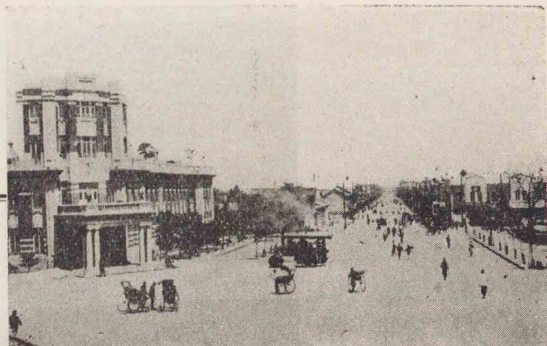
錦州の街市 奉天線驛要の山線 古蒙塔 古有名はつ時く高 たつあて門關一の易

州は錦承線の分岐点で、農産畜産の集散が行はれ、壺蘆島には大築港の計畫がある。山海關は重要な國境都市で、萬里長城の起點に當る。錦承線を通ずる北票は、附近の新邱と共に石炭を出す。承

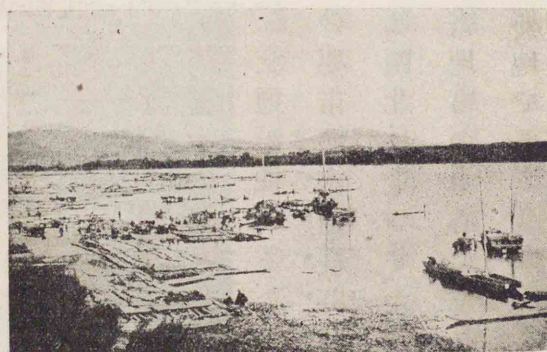
德河熱は清代に離宮を置かれた處で、壯大な喇嘛廟がある。附近は盛に芥子を栽培して、阿片を産し、赤峰は農産物の市場である。
安奉線地方 安奉線は奉天から山地を縫つて東南に走る。沿線の本溪湖は、石炭産地を控へて、鑛工業が發達し、鳳凰城は農産物の集散が行はれる。安東は鴨綠江の口に臨んで、盛



新承徳の喇嘛廟 廟堂が丘腹に立群を觀極るめ



東安の材木の市場として有名い安東の新街市であ



吉林の河岸に流るれば材木の筏が集つてる

に木材を集散し、又岫巖と共に、柞蠶工業の中心である。

京圖線地方 京圖線は、多くの盆地を連ねて東南走し、首府と日本との最短通路をなす。吉林は松花江に沿つて風景がよく、木材の大市場で、煙草麻毛皮等の集散も行はれる。東部の間島地方は、鮮人の在住が多く、米粟大豆等の農産を出す。龍井延吉

(局子)等はその中心地で、圖們は鐵道交通の要地である。

北滿洲 南部は南滿と共に、重要な穀産地帯であるが、北部西部には、未墾の地が尙甚だ多い。

濱綏濱洲線地方 この兩線は、南走せる京濱線と共に、ソビエト聯邦から讓渡を受けたもので、哈爾濱は其等の大集點である。もとロシ

昭和七年九月十日滿洲議定書改守同盟

昭和七年九月



爾哈齊解圖 中央街路以一般整然としてる

平齊・齊北線地方
 を占めて、盛に農産畜産を集散し、平齊線に沿ふ洮南も、農産畜産の市場であるが、最近洮安(白城子)の勃興により、稍、影響を蒙つてゐる。この西北に王爺廟・ハロン・アル・ジャン(温泉)等がある。

齊北線は濱北線と共に、北滿の重要農産地を圍繞し、北安は此處に發達した新興市場で、北黑線の起點である。黑河は、黑龍江を隔ててソ領と對し、附近から砂金を出す。
 日本との關係 我が國が、多大の國費と心血とを注ぎ、その獨立を助けた處で、シベリヤ蒙古と境を接し、その治亂は、直に我が國運にも影響を及ぼし、重大な關係があるから、日本の生命線とさへいはれる。

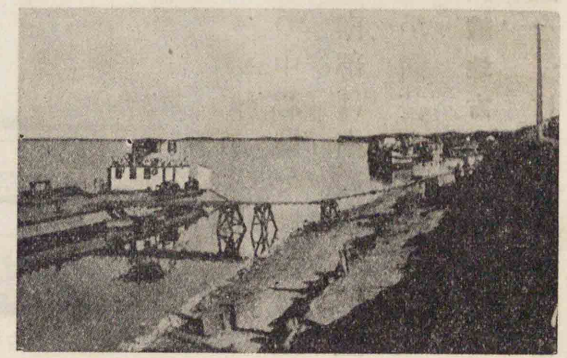


湖鹽採集 湖水減時自澱し鹽を集める



濱爾哈齊市 遠方前で松花江の水が面に見える

その沿線の要市で、密山・綏芬河は、國境の要地である。濱洲線は西北に走つて、大興安嶺を横ぎり、呼倫貝爾地方を過ぐ。海拉爾は、牧畜地方の中心に位し、附近に湖鹽を産する處があり、滿洲里は國境の要地である。



佳木斯の河岸 水陸交通の要地附近に農産が多い

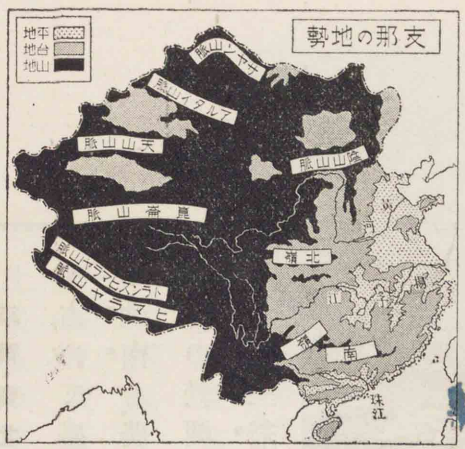
ヤの策源地として建設された處で、附近は農産畜産及び林産に富み、又其等を原料とする、各種の工業が發達し、北滿第一の經濟都市である。松花江が此處を流れて漕運の便もよく、この上流には、伯都訥(扶餘)下流には、三姓・佳木斯・富錦等の河港がある。佳木斯は近年圖佳線の開通によつて、間島地方との

面積 約一千万平方(イギリス) (をば) (をば) (をば)
 約三千万平方(イギリス)
 人口 約四千万

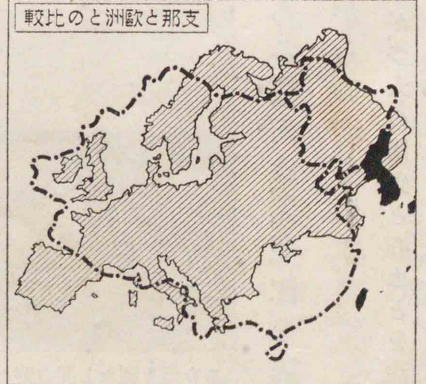
第二節 支那 (中華民國)

地勢

支那はヨーロッパの全體に近く、我が國の約十五倍に達する大國で、地形上西部高地と、東部平野とに分れる。西部にはヒマラヤ・トランスヒマラヤ・崑崙等の大山脈が、略、東



西に連つて西藏高原を挟み、西北には臺地性の天山・アルタイ・サヤン等の山脈があつて、其等の間にタリム盆地・蒙古高原等の内陸盆地を作り、多くの鹹湖が散在する。東部には肥沃の平野が廣く、黄河揚子江珠江等が此處を流れる。



住民

大山脈が民族分布の境界をなすことは、處々に見る現象であるが、支那でも、蒙古高原には蒙古族、タリム

西南の山地には少數の苗族が住んでゐる

盆地附近にはトルコ族

西藏高原には藏族が

住み、東部平野の大部分

には、漢族が住んでゐる。

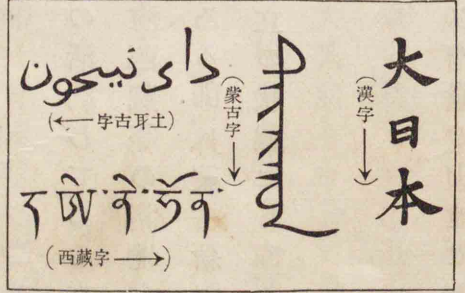
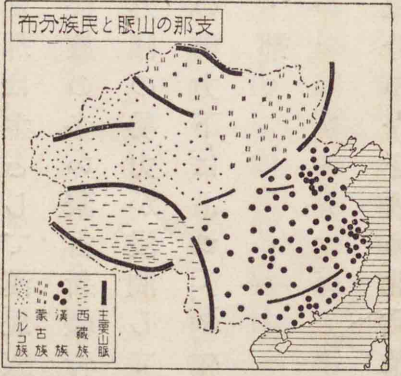
此等の民族は、夫々異なる文字言語を用ひ、風

俗習慣等にも違ひがあるから、國家の統一が極めて困難である。最近に

滿洲は離れて獨立したが、尙自治の地方や、他國の勢力下に屬する處

が少くない

政治 一九一二年の革命により、清朝が倒れて國號を中華民國と改め、共和制を布いたが、軍閥の争亂が常に絶えず、その後國民政府が、略治權を握つてゐたが、抗甘政策に災されて、終に没落の運命に陥り、之に代る親日の臨時政府が、組織されるに至つた。



大日本 漢字
 大日 蒙古字
 大日 西藏字

四川	湖南	湖北	江西	安徽	江蘇	甘肅	陝西	河南	山西	山東	河北	(省名)
成都	長沙	武昌	南昌	安慶	鎮江	蘭州	西安	開封	太原	濟南	北京	(治所)
青海	新疆	古寧	蒙綏	察哈爾	西康	廣西	廣東	福建	浙江	貴州	雲南	(省名)
西寧	迪化	寧夏	張家口	張家口	巴寧	南寧	廣州	福州	杭州	貴陽	雲南	(治所)

地方	面積	人口
支那本部	約 4,000,000 萬方尺	約 40,000,000 萬
新疆	約 1,000,000 萬方尺	約 1,000,000 萬
西藏	約 1,000,000 萬方尺	約 1,000,000 萬
西康	約 1,000,000 萬方尺	約 1,000,000 萬
內蒙古	約 1,000,000 萬方尺	約 1,000,000 萬
外蒙古	約 1,000,000 萬方尺	約 1,000,000 萬

借地租界の如き、特殊地域のあること、處々に外國軍隊の駐在地を有すること、治外法權を認めてゐたこと、鐵道及び各種の事業に、外國の投資及び借款の多いこと等はそれで、日英米佛等の諸國は、其等の權益を多く握つてゐる。

區分 支那は、主として漢民族の活動してゐる支那本部と、異民族の多い蒙古、新疆、青海、西藏等の諸地方に分れ、異民族の地方には、外國の勢力が浸潤してゐる。即ち、外蒙古、新疆はソ聯邦、西藏はイギリスの勢力下にあつて、殆ど獨立の状態にある。

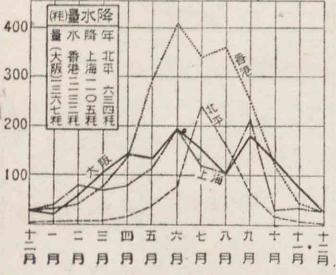
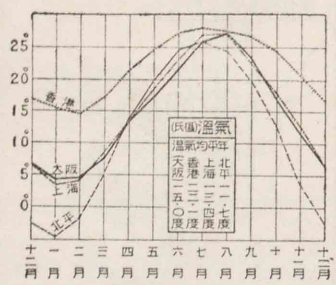
一 支那本部
通説

地勢 支那全土の約三分の一を占め、北嶺及び南嶺の山地によつ

て、北部、中部、南部に分れ、黄河、揚子江、珠江が各、其處を流れて、流域に廣い沃野がある。海岸は北部に山東半島が出て、遼東半島と共に渤海を抱へ、中部の東支那海南支那海に面する處は、一大弧狀をなしてゐるが、小屈曲があつて、處々に良港を造り、南部には雷州半島と海南島とが、東京灣を抱へてゐる。

氣候 土地が廣いから、氣候は處により著しく違つてゐる。南部の平地は高温多濕で、熱帶性の植物がよく繁茂し、中部は最、溫和であるが、南部と共に屢、颱風に襲はれることがある。北部は大陸性で、寒暑の差が烈しく、黄河以北の河川は、冬季悉く凍つて、人馬はその上を往來する。

支那本部の大部は、季節風帯に屬し、その影響によつて、年の豊凶を來すことが多い。雨は大體夏に多く、冬は乾燥するが、季節風の襲來が後れるか、又は雨を運ぶことが少ければ、旱魃となり、又降雨が過大であれば、河水が氾濫して洪水を起す。黄河、揚子江の洪水は、古來この地方の住民を

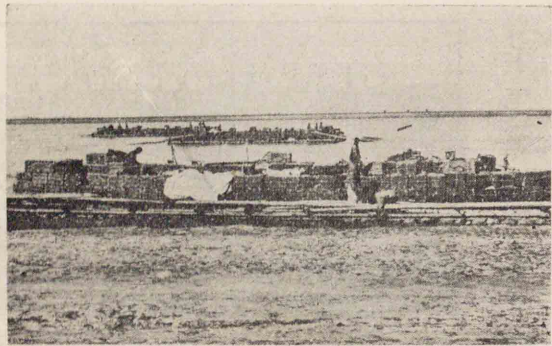


中部には日本内地のやうに梅雨の現象がある

鶏卵は生卵で輸出する外之を以て蛋粉を製する

豚毛は刷毛用として我が國へも來る

四川省にも養蠶が盛である



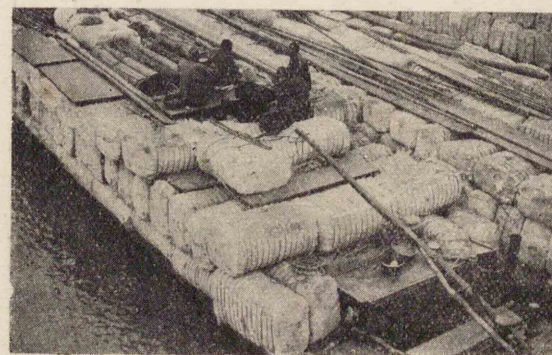
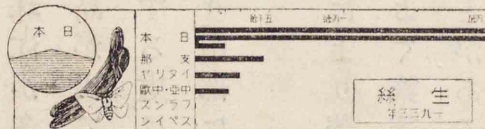
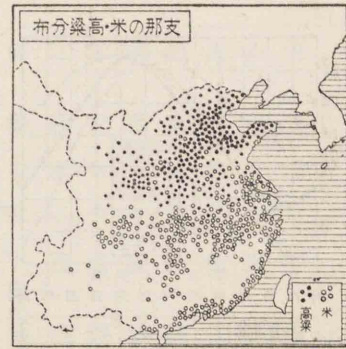
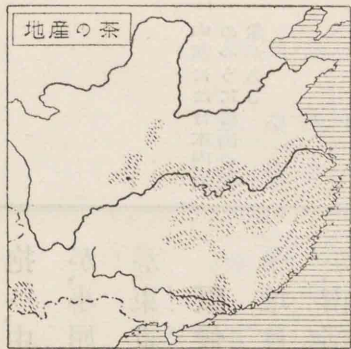
船の下でし載滿を毛羊らか方地の部内 搬運の毛羊



畜牧は小規模ながら、農家の副業として廣く行はれ、殊に豚は國民の嗜好食物で、到る處に飼はれる。北部では羊牛等を飼つて、羊毛を産し、山東牛は日本へも送られる。中部北部では、養鶏が行はれて、鶏卵の輸出は頗る多い。鑛物の埋藏は多いが、採掘は未だ進まない。そ

又甘蔗を植ゑて、小規模の製糖が行はれる。支那は日本と共に、世界の二大養蠶國で、中部以南に多く行はれ、上海と廣東とは、生絲の二大輸出港である。絹織も昔から有名であるが、近年新式の工場も起り、中部はその主産地である。山東半島では、柞蠶を飼つて柞蠶工業が行はれる。

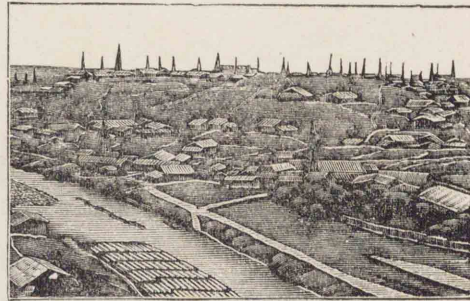
額は世界第一といはれるが、國內の消費も多く、且洪水旱魃等の爲に、收穫が不定であるから、法令を設けて輸出を許さない。この他、落花生、胡麻、菜種等を各地より産して、搾油も行はれ、中部は大麻、苧麻等を出し、南部は柑橘その他の果實に富み、



船送輸の綿 期時り盛出の綿 津天港内群に綿る船

苦しめたもので、古代の名君が治水を爲政の大業としたのも、その爲である。産業 住民は農を主業とし、農産物の種類は甚だ多い。中でも中部南部の米、茶、綿、中部以北の大豆、高粱、小麦、綿等は主要なもので、米の産

大冶・桃沖の鐵山、
淄川・博山・萍鄉等
の炭山は日支合辦
會社の手によつて
經營される



四川省の井鹽の川四解圖
井鹽の處は各處に鹽水を汲上げ
るは行が鹽製の所で定嘉・慶重るあが井鹽



鳳凰山(中支上)金嶺(支北)
等から産し、石炭は開
は大冶(中支)を始め、桃沖
經營に屬してゐる。鐵

平・淄川・井陘(北支上)萍鄉(支中)等に採掘され、その他
錫・アンチモン・ロータングステン・水銀・亞鉛等の
産も多く、西部山地は食鹽(井鹽及地鹽)を産する。

手工業は國人の長所で、織物・陶器・漆器・紙等は古くから主要の産物である。機械工業の發達は後れたが、近年上海を中心として、長江沿岸及び天津・青島・廣東・香港(領英)等には、紡績製粉造船等が發達し、邦人も其等の事業に、重要な地位を占める。

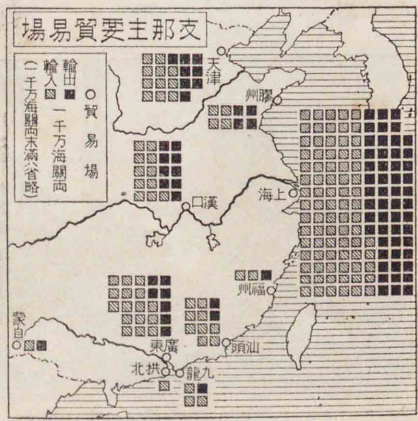
貿易は主に茶・油脂類・鶏卵・生絲・綿製品・畜産品等を輸出して、機械類・礦物・綿米・紙・石油等を輸入する。取引は我が國との間に最も盛であつた

蒙古では駱駝が多
く用ひられる



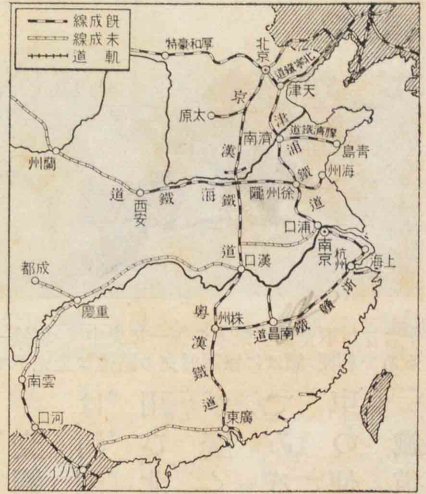
車輪一解圖
手たけ付取を輪車製木の筒一に中央
るあで利便。頗はに搬運通交の路道な全完不で車押

が、近年日貨排斥の影響を受けたことが少くない。我が國からは機械類・綿製品・砂糖・鐵等を輸入し、綿・石炭・豆類等を輸出する。上海・廣東・香港は貿易上の三大中心で、漢口・天津・青島等が之に次ぐ。この他、海岸河岸には、多數の貿易港があり、國境附近には、處々に開市場がある。



交通 「南船北馬」の古語の如く、中部・南部では、河湖の水運が便利な爲、古くから多く舟を用ひ、北部では陸路を主とし、馬駱駝等の駄獸が廣く用ひられて來た。道路は一般に荒廢してゐるので、轎・一輪車等を用ひるが、近年自動車の使用も著しく増した。
鐵道は次第に發達し、北寧・京漢・粵漢・津浦等

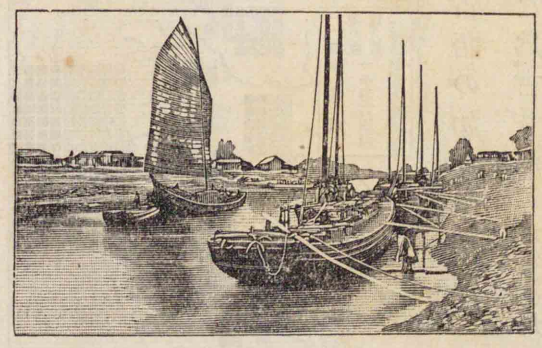
- 1 北京・山海關間
 - 2 北京・漢口間
 - 3 武昌・廣東間
 - 4 天津・浦口間
 - 5 青島・濟南間
 - 6 北京・包頭・鎮間
 - 7 徐州・西安間
 - 8 上海・南京間
 - 9 杭州・株州間
 - 10 雲南・河口間
- 大運河は天津から杭州に至る一千二百軒の間を通じ、永く水運の便を興へて名高いものであり、今は著しく荒廢して北部には殆ど埋没した處もあるが南部では小汽船も泛べられ水運に利用されてゐる。



最も盛で、珠江も亦南部の交通を助ける。白河は冬季凍結の缺點はあるが、下流は大船を入れ、又之と連る大運河は、著しく荒廢したが、南部では尙相當に利用される。

外國航路は、上海と香港とを二大中心として、世界の要港と通じ、近海航路及び長江航路と共に、日英の船が最も多く就航してゐる。航空

の幹線が、南北に通じ、⁵膠濟(山東) ⁶京綏(冀北) ⁷瀋陽(遼東) ⁸海京滬(江浙)等の諸線は、之と連絡して東西に走り、又雲南(越嶲)線は、印度支那の鐵道と連つてゐるが、外人の資本により布設されたものが多い。



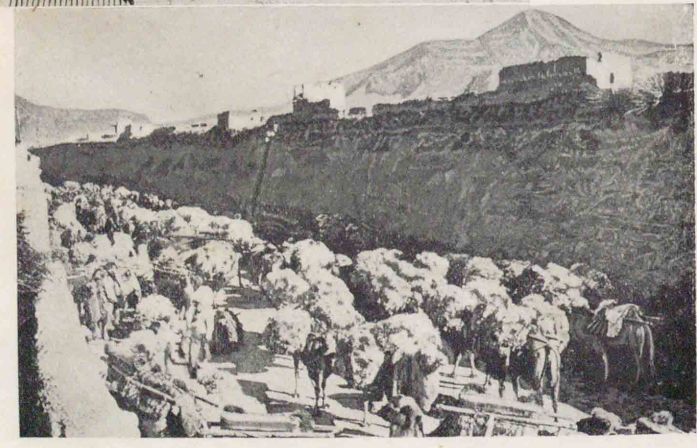
大運河の隋代時帝の隋は部大 河運大解圖



北京の城壁
代表的の城市である北京の外壁で高さ六米餘の巍然たるものである



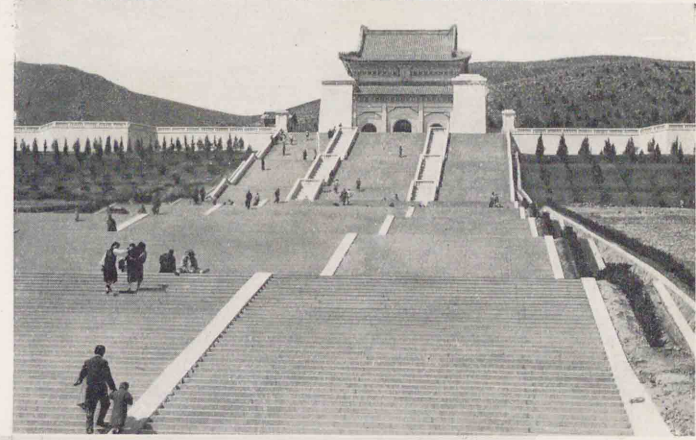
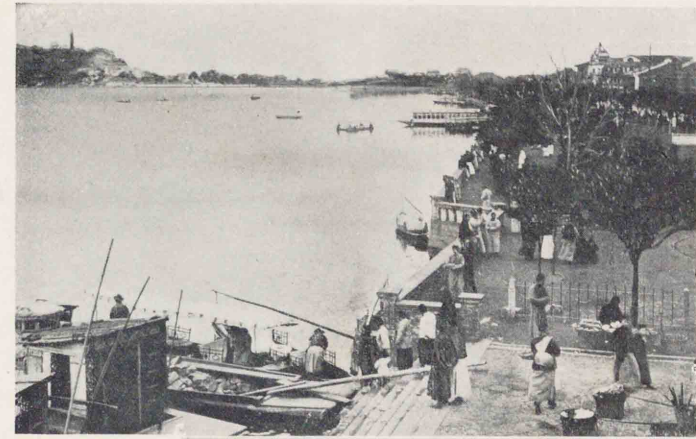
泰山
峨々とした岩山で麓から頂まで石段を設け山頂に道教の殿堂がある



羊毛運搬
内部に産した羊毛は圖のやうに駱駝や馬によつて取引地へ運ばれる



西 湖
江南第一の勝區で湖中にも湖畔にも名所が多く散在し觀光の中心



南京の中山陵
支那民主黨の始祖孫文の廟所で墓は門の奥に半球狀に築かれてゐる



漢口の埠頭
漢口と揚子江との會流點に位し江畔第一の商業港で船舶が幅濶する

路も外人の經營によつて、近年著しく發達した。

住民 西南部に少數の原住民(苗族その他)を見る外、住民の大多

數は漢族即ち支那人である。彼等は少數の富豪の外、概貧窮の農民で、國家的の觀念に乏しいが、營利上の團結心に富み、海外に出稼するものが多く、南洋地方では、經濟上に相應の勢力を持つてゐる。

支那人の言語には、方言が多く、標準としてゐる官話にも、尙數種がある。宗教は儒教、道教、佛教等が行はれ、孔子の教が、專道徳の標準となつてゐる。學問は古聖の遺書を教へるのを主眼とし、科學研究は後れてゐるが、近年我が國及び歐米に倣つて、教育制度を改め、文化の開發を計つてゐる。

處 誌

北部支那 主として黄河、白河の流域を占める六省(河北、山東、山西、河南、陝西、甘肅)の

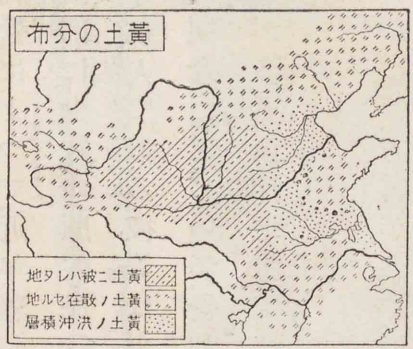


支那移民 北支から滿洲國へ出稼する支那人の群

官話にも北方官話、南方官話・西方官話等の別がある。古來の弊習である女子の纏足は次第に廢れて女子が社會的に活動するやうになつたが阿片を吸ふことは尙容易に改らない。

主要都邑	人口(萬)
上海	25.5
天津	22.5
北京	22.5
漢口	20.5
廣州	18.5
重慶	18.5
長沙	18.5
青島	18.5
蘇州	18.5
濟南	18.5
福州	18.5
開封	18.5
武漢	18.5
寧波	18.5
廈門	18.5

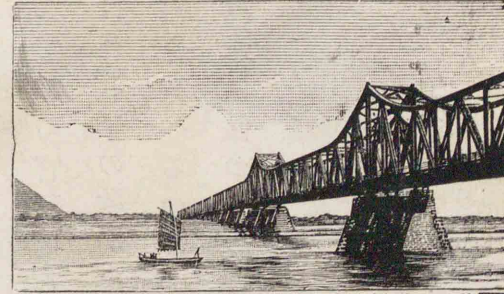
地に當り、本國中最も早く開けた地方である。滿洲國の獨立後、その後衛地帯として重要な位置を占め、我が國との關係が、最も深い地方である。



黄河は支那第二の大河で、その流域は支那文明の發祥地であるが、洪水の爲に古來屢、河道を變へ、水



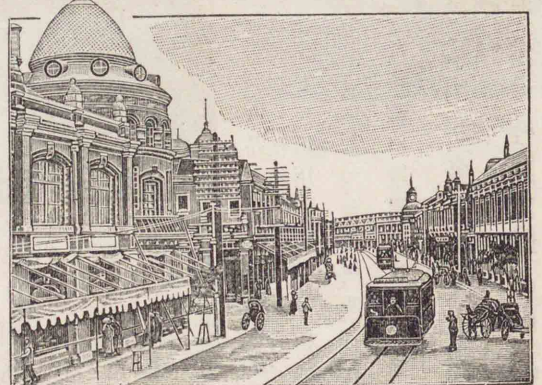
溝てれさ蝕侵が土黃たし積堆 層土黃解圖
そしなを崖斷の的直垂 殆は側兩り造を道
るあも者るゐてし居穴てつ穿を穴に壁崖の



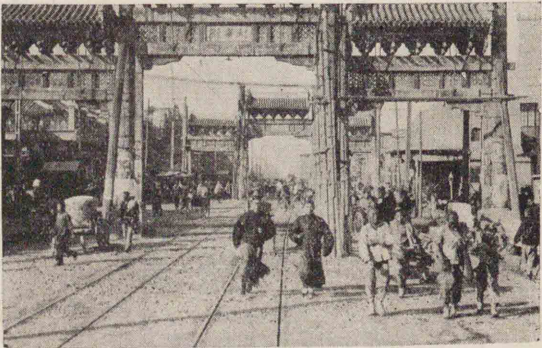
れはいとい多が性險危に爲の朽老は今 橋鐵の河黃解圖
るあで橋長いし珍はに那支し達に米百六千一約さ長が

運の便は割合に少い。この流域には、黃土が厚く堆積し、河水が之を流す爲に、その水は常に黃濁し、又その侵蝕による峽谷は、交通路に利用されてゐる。

北京は支那式の代表都會で、壯大な城壁を繞らし、郭内は内城と外城とに分れる。内城には舊皇城を始め、壯大な建物が多く、外城は商業地である。最近に臨時政府を設けられた處で、この北郊に、林苑、殿閣の壯麗で名高い萬壽山がある。天津は白河の下流に沿ひ、北支那及び蒙古地方の門戸に當る商港で、羊毛、獸皮等の輸出が多く、新式の工業も行はれる。河北省の東北部は、最近まで冀東自治區となつてゐた處で、名高い開灤炭田がある。渤海岸の秦皇島は、その石炭の積出港で、山海關は滿

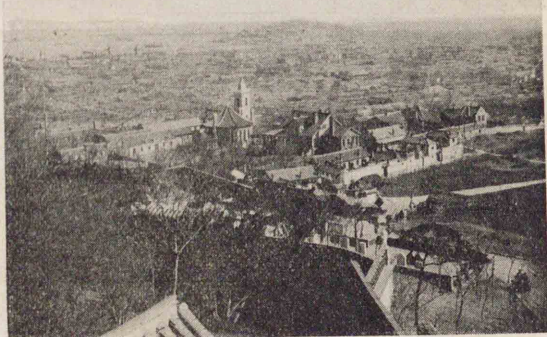


ぶ結を場車停と頭埠は車電で景光の界租本日 津天解圖



景光の街大門文崇な賑股、最で中市 街市の京北解圖

揚子江は上流を金沙江といひ岷江・嘉陵江・烏江・漢江等の大支流が多い



青島と芝罘の近景 芝罘の市街を背後に見た光景

湖北・四川

揚子江は支那第一、世界第四の大河で、漢江を始め大支流が多く、洞庭湖、鄱陽湖等の水も之と連る。流域は支那本部の半を占め、舟楫灌漑の便が多く、漢口(千)までは洋航船が溯り、宜昌(四十)までは一千噸の船が溯る。宜昌の上流には所謂三峡の險があつて、危険は多いが、五六百噸の船は重慶、敘州(叙州は宜昌か)に至り、民船は成都

中部支那 主として揚子江の流域に屬する八省(江蘇、浙江、安徽、江西、湖北、湖南、四川、陝西)の地で、地味が肥えて産物が多く、經濟上の中樞である。

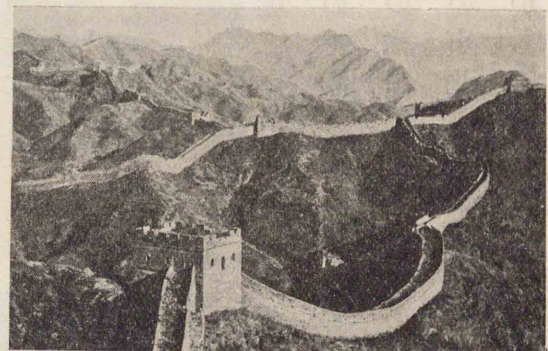
種々の工場もあり、芝罘は柞蠶工業の中心である。

青島は農産畜産の輸出が多く、邦人の經營せる

の全部に勢を振つてゐたが、世界大戰の際、我が軍が此處を占領し、後に之を支那に還して、淄川、博山等の炭坑と、金嶺鎮、鐵山とを合辦經營することになつた。イギリスも威海衛を支那に還したが、劉公島は英艦の投錨を許されてゐる。



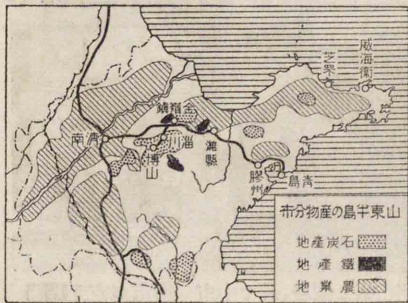
關海山頭門有名天下第一關の額掲げあつて

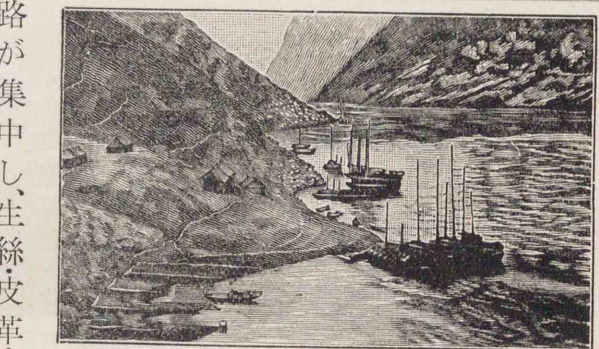
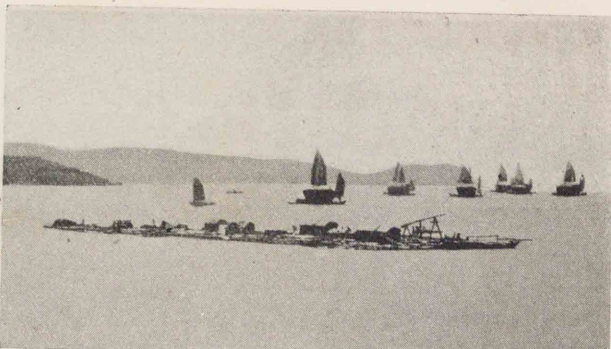


關海山起約三千餘里長城の北の方を防禦する爲め築かれたかたれども、關の達する

東端に當る。山東半島は形勝の位置を占めるので、ドイツは膠州灣を、イギリスは威海衛を租借してゐたが、今は何れも支那へ還した。

ドイツは膠州灣に青島の港市を經營し、東洋に於ける根據地として、鐵道を敷設し、嶺山を採掘し、殆ど半島





江子揚解圖 利に輸運通交りなと流野平るた々洋き如る見で圖は下以 湖の船民で流急るあに流上の昌宜い多だ甚が所るす げ上曳を船で綱竹し應呼相が頭船と夫人の數多はに航

に達することが出来る。この沿岸には、重要な港市が多く、我が日清汽船會社は、處々に定期航路を開いてゐる。

揚子江の口に近い上海は、殆どその流域全部を背後地とする支那

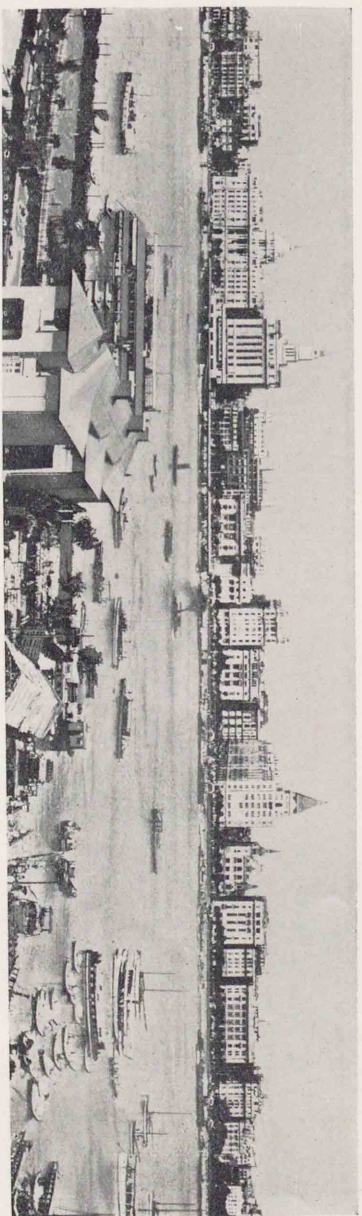
最大の商都、小の航

江畔の吳淞は上海市の一部で之に近い廟行鎮は我が爆彈三勇士の義烈に名高い處である

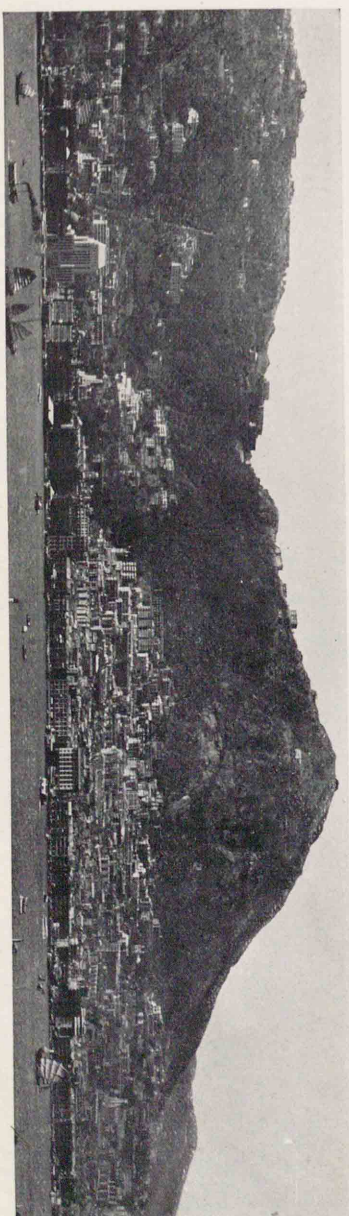
路が集中し、生絲皮革茶絹織等の輸出が多く、各種の新式工業も盛に行はれる。今次の事變に、激戰のあつた處で、附近に溝渠が多く、我が軍は之が爲に進撃を悩ませられた。蘇州は無錫鎮江等と共に、養蠶機業の



街市新ぶ並の閣高なうやたし示に頁別 部一の海上解圖 街市舊な厚濃の色那支なうやの畫のこはに方一がるあも るあで市都際國く全で様異種異も々人るす來往 するあも



觀大の海上 ます呈を觀壯し比橋が堪高で景光の面方るれば呼とポンパの部種中



觀大の港香 ます出現を觀奇の都の光は間夜し立林が閑高てつ互たと腹山と岸海

宣昌の江岸
揚子江航路に於ける大汽船湖航の
終點に當り江畔有数の良港である

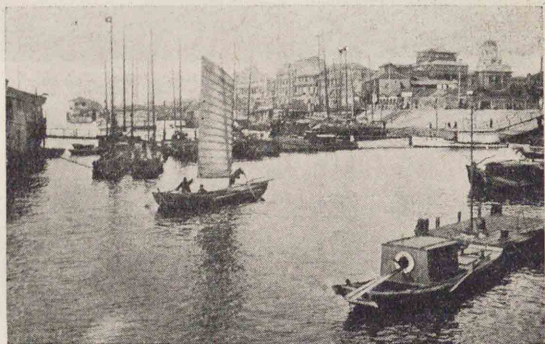


福州の船部落
南支の河川には蠻族の水上生活を
營む者が多い圖はその一部の光景



廣東と珠江
南支の最大都會で江上には多數の
船が浮び陸上には大厦高樓が列ぶ

錢塘江の河口は海
嘯の奇觀で名高い
杭州の東南に當る
紹興は紹興酒の名
産地で南方の温州
は蜜柑の産がある



蘇州の市頭埠の京南蘇圖
市商區の南支の航路
市街の遠くは新式洋館
多し

一中心で、附近に名勝が多い。南京(江)は舊都
の地で、又國民政府の所在地であつたが、敗
戦の爲に奥地へ退いた。古來文雅の地とし
て名高く、その港を下關といひ、對岸の浦口
と鐵道連絡船を通ずる。杭州は勝景に名高
い西湖に臨み、屈指
の商工都市で、絹織
物を多く出し、寧波
は、昔時我が國と交

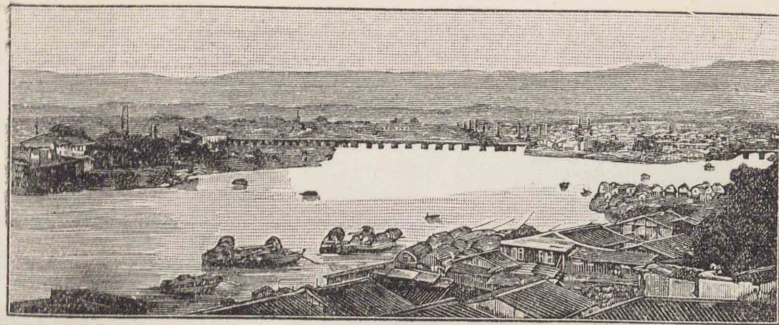
岳州の東北に赤壁
の名地がある

通の要地であつた。

蕪湖・安慶は、米産地を控へてその集散が多
く、徽州は墨の名産地である。九江は茶の集散
が盛に行はれ、鄱陽湖に近い廬山は、名高い避
暑地で、景德鎮は陶器の名産地である。



廬山解圖
氣候が爽快に上る風趣に富み別荘地として
名高い處に在る多き物建の悉くそであれる

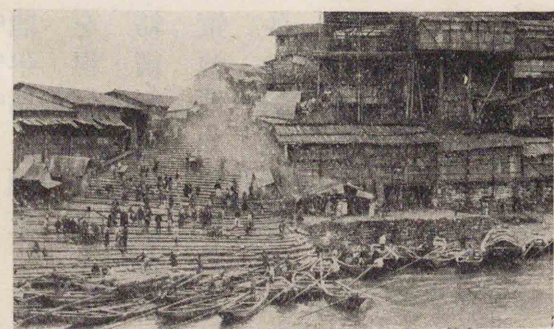


い多が家蛋む營を活生上水はに上河で橋壽萬を絡連を岸兩は圖 江閩と街市の州福

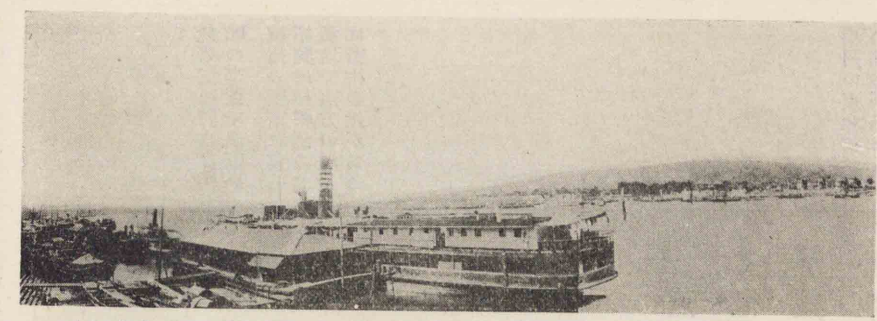
福建省は臺灣と相對し、我が國との關係が深く、不割讓を約せしめてゐる。福州は東北の三都澳と共に、茶の輸出が多く、厦門・汕頭は、共に海外出稼人の多く出船する港である。廣東は珠江が此處を流れる。

南部支那 大部分は南嶺以南にある五省(福建・雲南・貴州・廣西)の地で、

昌等の商港がある。四川盆地は、別に一區をなし、その門戸に當る重慶は、國民政府が中心を移した處で、成都は生絲・絹織の産が多く、清酒な市街である。西部山地の打箭爐は、西藏に入る要地に當る。

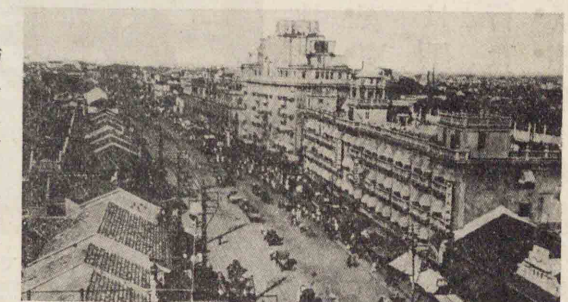


が減増のそてつよに時は量水の江子揚 岸江の慶重詳圖
るあてつなに段石が岸江に爲るす應適にれ夫かかいし著



たつあで名有てしと府の衛學は時一又で地散集の資物るけ於に地盆庭洞 頭埠の沙長

揚子江と漢江との會流點は、軍事上・交通上の要地で、此處に漢口・漢陽・武昌の三市が鼎立し、江畔第二の商工業區をなしてゐる。漢口は茶・綿等の取引が多く、漢陽には漢冶萍公司の製鐵所がある。大冶鐵山はこの東南に當る。岳州は洞庭湖に臨んで風景がよく、長沙と共に重要な港市である。この上流に沙市・宜昌等の商港がある。



か岸對は 岸江の陽漢は 街市新の口漢は 解圖
るあで都三れはいと鎮三漢武は都三のこで昌武た見ら
るあで區業商な要重でのもなうやの都一だん挾を河が

ビクトリア 三萬

佛國はワシントン
會議の際廣州灣還
附を聲明した



落部上水の族蠻は船の群 園公は島 岸河の東廣

江に臨み、南支第一の商工都市で、生絲絹織物等を集散し、今は抗日の策源地と見られてゐる。この上流に梧州・南寧等がある。内部の雲南は、印度支那と鐵道を通ずる。

香港 (リヤといふ) は廣東灣外の小島で、英國

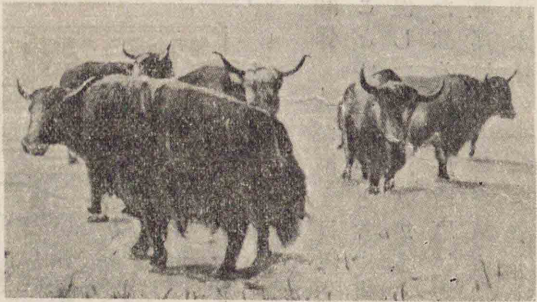
その附近の、廣い土地を租借してゐる。中繼貿易が盛に行はれ、造船・紡績・製糖等の工業も發達して、英國の經濟的策源地であると共に、又澳門 (港媽) はポルトガルの領土で、往時は繁盛を極めたことがある。廣州灣はフランスの租借地である。

二 西藏・青海・新疆・蒙古

西藏 世界第一の高原で、鎖國主義を採り、住民の多くは喇嘛教を



ぶ並が等殿佛廟靈び及堂殿てつあに外郊の薩拉 堂殿の喇喇



るなと物織は毛りなど用食は肉に外の用駄 牛犛

信じ、犛牛・羊等を遊牧してゐる。この地は殆ど支那の勢力外に立ち、喇嘛教主が英國の助を受け、政教の權を握つてゐる。薩には喇嘛教主の居る壯麗な殿堂があり、亞東は國境の市場である。

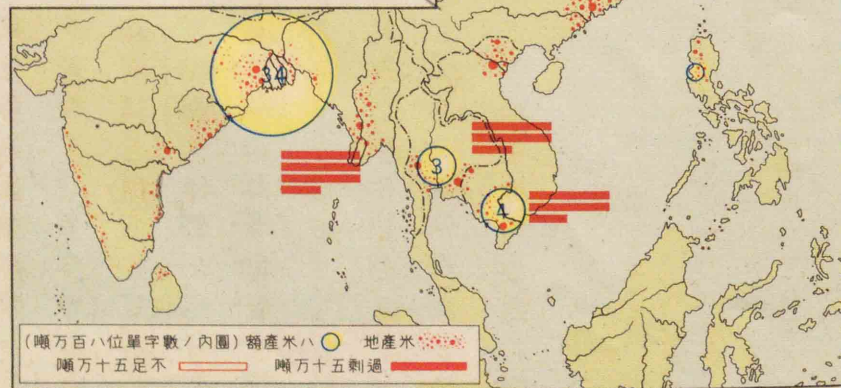
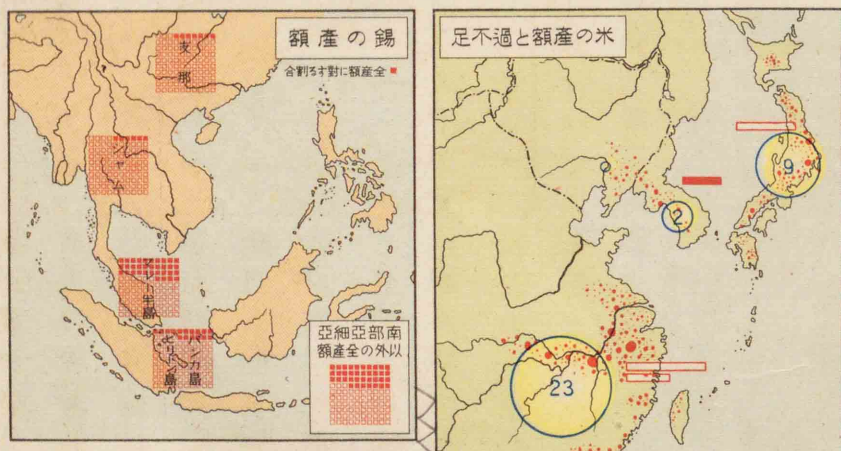
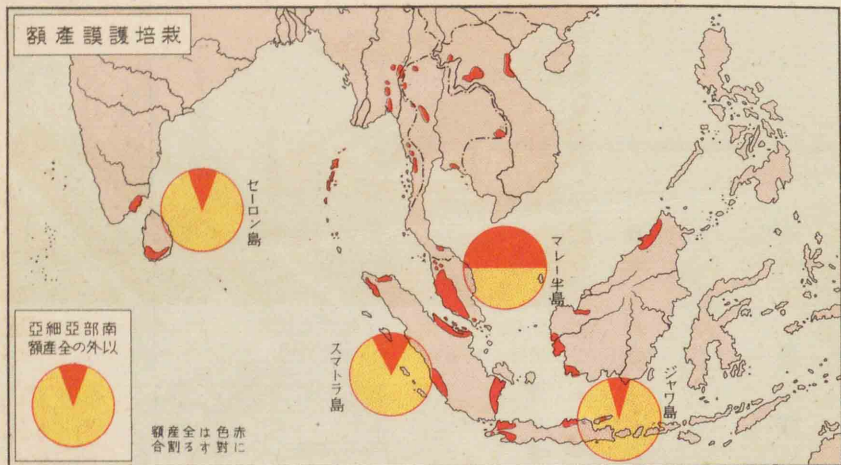
青海 一般に山勝で、遊牧民が多く、支那の政令は殆ど行はれない。

新疆 天山山脈によつて、南路・北路に分れる。天山北路には農牧が稍、行は

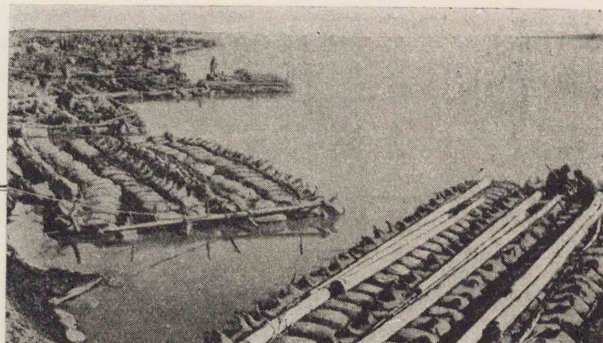
迪化は一に烏魯木齊とも呼ばれる。タリム盆地は往古に文化の進んでゐた所謂西域で、近年沙漠中からその舊址の發掘されたものがある。

沙漠を抱くタリム盆地で、山麓地方にのみ農牧が行はれ、カシガルヤルカンド等の要地がある。住民は回教徒のトルコ族が多く、ロシヤの勢力下に屬する。

蒙古 ゴビ沙漠によつて、内蒙古と外蒙古とに分れる。内蒙古には



ウランバートルは
赤色英雄の都の意



之め詰を氣空に囊皮たつ造てしに剝丸を羊は又牛 筏の皮獸解圖
るす搬運へ方地の他み積を等皮獸・毛羊に上のそでのもたね束を

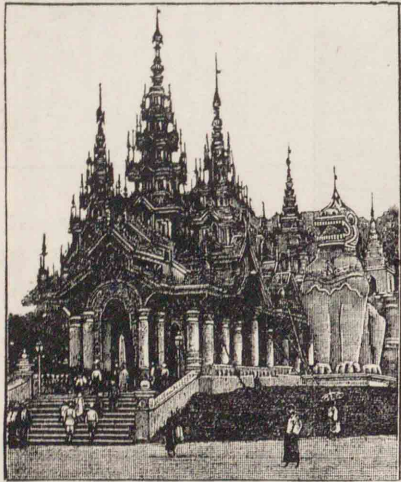


り、賣買城は國境の市場である。

日本との關係 我が國とは、歴史的・文化的に關係が深く、我が國の思想・道徳は、この國に負ふことが頗多いと共に、明治以後は、我が國の指導によつて、科學の進歩、産業の發達を促したことが甚だ多く、各種の産業、鐵道等にも投資して、經濟上の關係も密であつた。然るに國民政府は、誤れる抗日政策を採り、終に支那事變を見るに至つたが、國の要部は、續々新政府の治下に屬したので、兩國が眞に相提携して、共榮の實を擧げ、東洋永遠の平和を招來する日も、遠くはないと思はれる。

漢民族が多く移住して、農業が開け、蒙古人は概ね遊牧を營み、羊毛・羊皮等の産が多い。最近日滿兩國と提携して、防共を旗幟とする新政府を建てた。長城の關門をなす張家口を始め、厚和浩特(遠綏)包頭等は、主要の都邑である。

外蒙古は獨立政府を立てて、ロシアの勢力下にある。首府庫倫(ウランバートル)は、喇嘛教の中心で、沙漠横斷の要路に當



屋で院寺一るあにマルビ 觀壯の院寺解圖
す示を色特の上築建ち持を塔尖の數無に上

印度・印度支那の、二大半島と、マレー諸島とを含み、本洲では東部ア
Malay
 ジヤに次いで、各種の産業が発達してゐる。

第二章 南部アジア

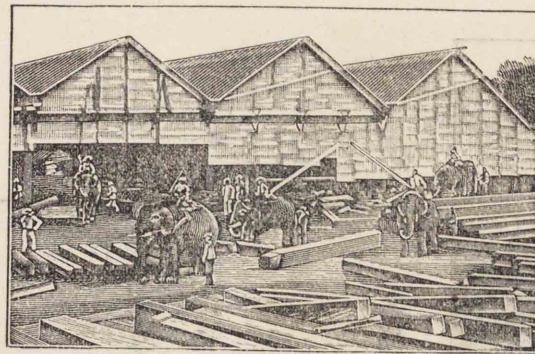
第一節 印度支那

Indo-China

支那の南方に續く大半島で、印度支那山脈と呼ばれる地塊が、メ
Mekong
 ン・メナム・サルウィン・イラワヂ等の諸川によつて
Memam Salwin Irrawaddy
 掌狀に分たれ、その一派は、延びてマレー半島と
Sham
 なり、シヤム灣を抱へてゐる。氣候は熱帶性で、季節
Sham
 風の爲に乾・濕の二期に分れ、夏は一般に雨が多
 く、米の大産地である。

住民の大部分は印度支那族であるが、南部に
 はマレー族も住み、又移住支那人が多く、經濟上

印度支那は印度及び支那の文化を受け、東部では漢字を用ひる。ハイフン附近のホンゲイからは無煙炭を産し我が國へも輸出する。宗教上の關係から白象は特に崇拜される。



象の役使の指揮者命令に従ひ巨材を搬運する

に勢力がある。印度支那族は一般に佛教を信じ、到る處に壯大な寺院が多い。政治上は英・佛の兩國が東西の大部分を領し、中間のシムが、僅に緩衝地帯として獨立を保つてゐる。

佛領印度支那

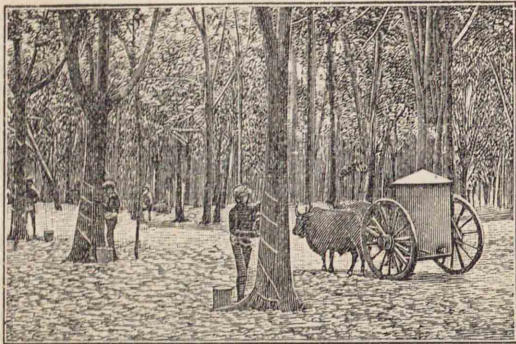
政治上、一植民地と四保護地とに分れる。北部のソンコイ河流域は、米の大産地で、その中心のハノイに總督が駐在する。ハイフンは米の積出が多く、又附近から石炭を産し、我が國へも送られる。南部のサイゴン、ハノイ、河の沃野を控へ、米の輸出が甚だ多く、領内第一の商港で、又佛國艦隊の根據地である。

シナム

メナム河が國內を貫流して、その流域は多く米を産し、上流地方からはチーク材を出す。象は水牛と共に、重要な家畜で、運搬や耕作に使役される。政治は立憲王制で、近年

アユチャの附近に日本町の址が発見された
バンコク 四九萬

ラングーン 四〇萬
シンガポール 五五萬



ゴムの採取の液ムゴ 樹皮を切つて其處から流出す 液ムゴ採取を以て處る牛の曳いてはるの搬運車

先進國の文明を容れ、特に我が國に信頼し、諸般の改善に力を注いでゐる。首府バンコクは、メナム河に跨り、宮殿・寺院等の壯麗な建物があつる。パクナムを外港として、米・チーク材等を輸出する。

英領印度支那

西部のビルマは、英國の直轄植民地で、米・チーク材等を主産物とし、その他石油・紅玉等を産する。イラワヂ河が域内を貫流し、之に沿ふマンダレーは、舊都で大寺院があり、河口のラングーンは、米の集散が盛である。

マレー半島は、ゴム及び錫の大産地で、共に産額は世界第一に位し、その他コブラ・鐵鑛

等を出す。ゴム園・鐵山等には、邦人の經營に屬するものもあり、その鐵鑛は、我が國へ送られる。シンガポールは、マラッカ海峡の咽喉を扼する大商港で、中繼貿易



邦人經營の地方 保護國の所在

政治區劃	
佛領	植民地
交趾支那	面積 約四萬方呎
アンナン(東京)	人口 約三五萬
カンボヂ(柬埔寨)	
ラオス(老撾)	
シナム	面積 五萬方呎
人口 約二五萬	
英領	植民地
海峽植民地	面積 約四萬方呎
人口 約四五萬	
マレー地方	面積 約四五萬方呎
人口 約四五萬	

シンガポールに住
民は種族が甚だ多
いが支那人が過半
を占める

ジャワ島には現に
三十餘の活火山が
ある。スンダ海峡
のクラカタア島は
大爆發を以て名高
い

易が甚だ盛である。イギリスは此處に大軍港を設けて、東洋に於ける
根據地とし、本國と航空路で連絡する。ピナンも亦好錨地である。マレ
ー半島の南部には、數多の酋長國があつて、英國の保護を受け、その中
の數國は、マレー聯合州を組織してゐる。

日本との關係 この地方は、歴史的にも關係が深く、山田長政はシャム國王を助けて
内亂を鎮めたことがある。今もマレー地方には、邦人の經營するゴム園、椰子園が頗
多く、又鑛山を經營する者もあつて通商關係は甚だ密である。

第二節 マレー諸島

Malay Archipelago (馬來)

マレー諸島は、東印度諸島とも呼ばれる。大陸か
ら續く山脈が、頂點を海面上に現はして、多數の島
を作つたもので、その弱點を通じて、多くの火山が
噴出してゐる。赤道直下にあるが、海洋の調和と、日
日の驟雨とで、氣温は割合に高くない。椰子樹、籐等
の熱帶植物が繁茂し、未開拓の地は多いが、白人の
經營により、大規模の植栽業が興り、邦人の事業を



マレー諸島の山系



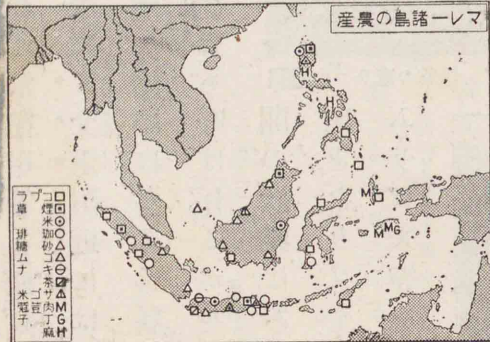
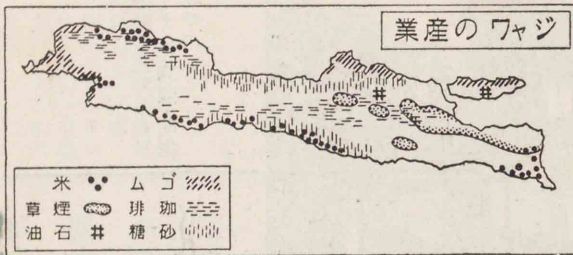
シャムの河岸
小船の往復が繁く水上家屋も多い
河の彼岸に高く峙つは寺院である



シャムのチーク材
筏上に屋を構へ長い月日を此處に
暮して山地から下流へと運び行く



シンガポールの市街
商業の中心街で我が三井物産三菱
商事等も此處に支店を設けてゐる



規那は世界全産額
の約三分の二を出
す
バタビヤ 四萬
石油はタラカン島
から日本へも輸出
される

營む者も少くない。この地
の大部分は、オランダの領
土であるが、イギリス（ネ
ポル）ポルトガル（チモル島）等
に屬する處もあり、又アメリ
カ合衆國の領土であるフリ
ピン群島は、自治を認められ、
近く獨立することに決定して
ある。

政 治 區 劃		名 稱	面積	人口
葡 領	チモル島の一部	チモル島の一部	約一九〇〇	約一〇〇
英 領	ボルネオの一部	ボルネオの一部	約一九五〇	約一〇〇
自 治	フリピン群島（十年の後完全なる獨立國となる筈）	フリピン群島	約三〇〇	約一〇〇
蘭 領	スマトラ、ジャバ、その他の諸島	スマトラ、ジャバ、その他の諸島	約一九〇〇	約六〇〇
		セレベス	約一〇〇	約六〇〇
		モルッカ	約一〇〇	約六〇〇
		ピリトン	約一〇〇	約六〇〇

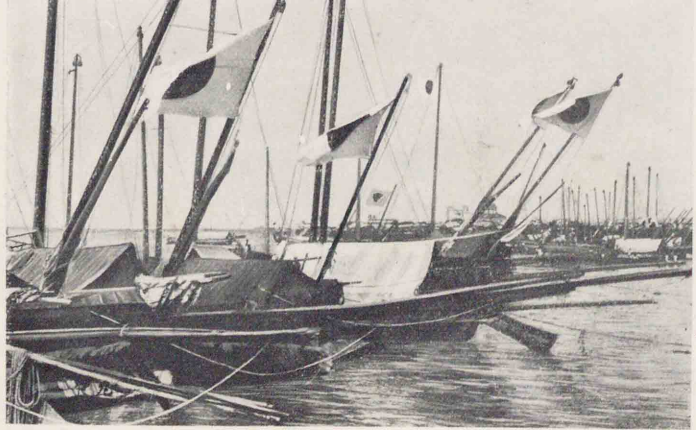
スマトラ島は石油を産し、又ゴム、煙草、胡椒等の栽培が行はれ、メダン、パレンバン等は商業の要地である。附近のバンカ島、ピリトン島は、共に錫の産が多い。ジャワ島はよく開けて、砂糖、規那、珈琲、煙草、米、茶、ゴム等の産が多く、南洋の寶庫と呼ばれる。バタビヤは東方のスラバヤと共に、本島の二大門戸で、總督が駐在し、歐洲の本國と航空路を通ずる。セレベス島は珈



ゴムの乾燥
造上げたゴムをローラにかけ板状にしたものを乾燥室に吊した光景

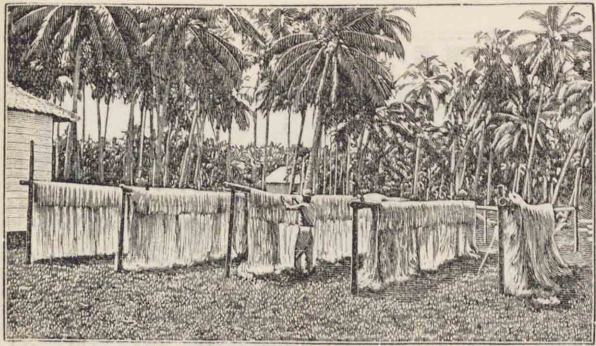


アバカの耕作
内地の芭蕉と似た植物でマニラ麻はこの葉柄の纖維を精製したもの



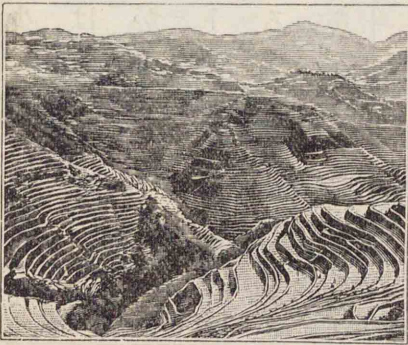
日本人の漁業
マレー諸島の近海は邦人の出漁が多い圖は母國の祝日を壽ぐ日章旗

香料の主なもの
は
丁香・肉荳蔻・胡椒
等である



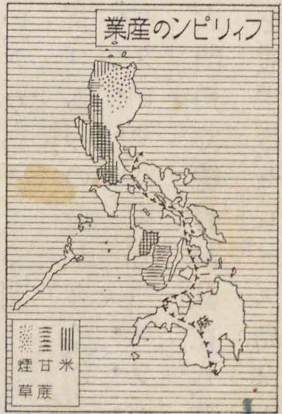
麻ラニマの乾燥 呼ばる蕉葉の柄か採らた織維

球椰子油・鼈甲等を産し、マカッサルは商業の要地で、メナド附近には邦人の農場がある。モルッカ諸島は多く香料を産したので、香料諸島とも呼ばれる。ボルネオ島の大部は、未開の状態にあるが、石油は近年有望となり、又金・ゴム・胡椒・燕窩等を出す。英領部からは多くゴム・サゴ米等を出し、タワオには邦人経営の椰子園がある。



田水のソル 腹丘の傾斜地幾と重なるあてれさ墾開が田水の状段階な事美く

フィリピンは最近に自治を認められた聯邦國で、多くの島々から成り、概ね山勝で火山が甚だ多い。最大のルソン島は、田園がよく開けて、砂糖・煙草・米等の産に富み、南部はコブラ・マニラ麻の大産地である。首都マニラは交通・商業の要地



マニラ

三四萬

で、貿易が盛に行はれ、附近のカビテは、海軍の根據地である。ミンダナオ島のダバオは、邦人の經營する栽培業の中心で、ザンボアングと共に、主要な港である。

日本との關係 マレー地方は所謂南洋の主要部で、我が南洋群島(裏南洋)に對して、表南洋ともいふ。我が國と距離が近く、我が商船は頻繁に往來して、貨物の輸送に當り、現に約三萬の邦人が在留して、種々の植栽業・林業及び水産業等を營み、經濟的活動地として有望な處であるが、近年我が商品に對する壓迫が、次第に激しくなつた。



るあてし湊幅が船に河グシパの内市 頭埠のラニマ

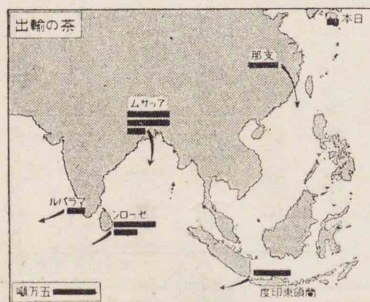
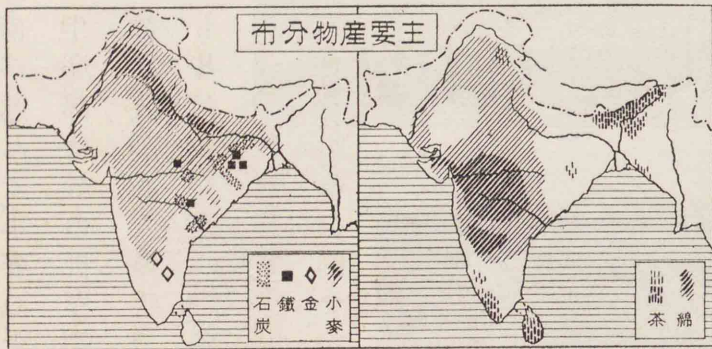
第三節 印度及びセーロン島

面積 約四〇六萬方
内ベルチスタン
は面積約三五萬
方方 人口約八
七萬

地勢 地形上から北境山地・ヒンドスタン平原及び半島部の三區に分ける。北境にはヒマラヤ山脈が連り、世界の最高山エベレストを始め、高峯が多く並んで、四時白雪を戴き、壯大な氷河を懸けてゐる。ヒ

米・砂糖の産額は多いが国内の消費も大であるから殆ど輸出を見ない
茶はアッサム地方の山腹丘陵に多い

悪疫は夏に流行するからこの季節には冷涼の山地に移住するものが多い

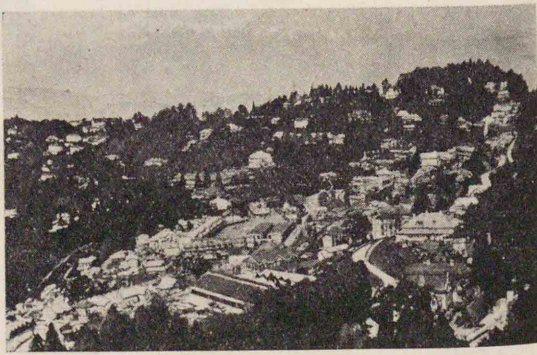


布分物産要主

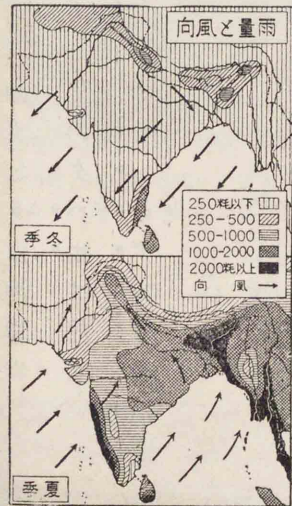
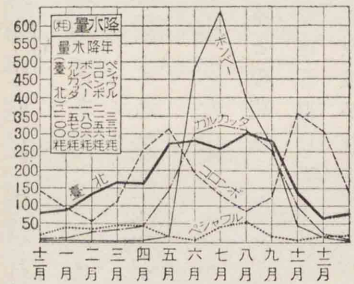
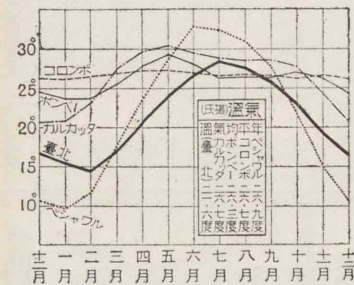
農産を営み、ガンジス河、ブラマプトラ河の流域は、米、黄麻、茶、砂糖等の産が甚だ多く、印度の寶庫と呼ばれる。雨量の乏しいインドス河流域は、古來旱魃に苦しめられた處であるが、近年灌漑設

て、象、犀、虎及び毒蛇等が棲み、悪疫も屢、流行するが、高地は冷涼で、シムラ、ダー、ジリン等は、著名な避暑地である。

産業 住民の大部は農業を営み、ガンジス河、ブラマプトラ河の流域は、米、黄麻、茶、砂糖等の産が甚だ多く、印度の寶庫と呼ばれる。雨量の乏しいインドス河流域は、古來旱魃に苦しめられた處であるが、近年灌漑設



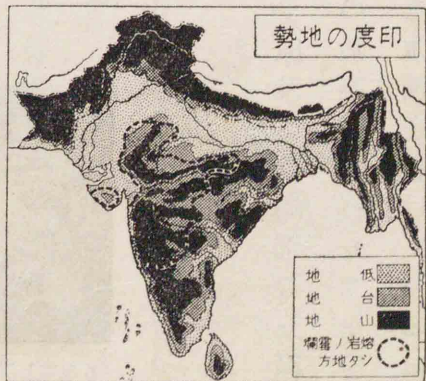
ぬぎ過に度八十も度温の季夏 街市のンリジーダ

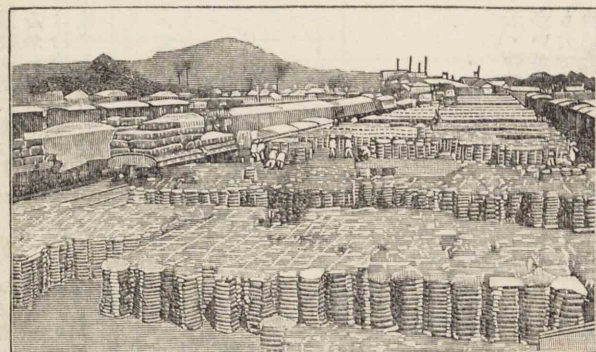
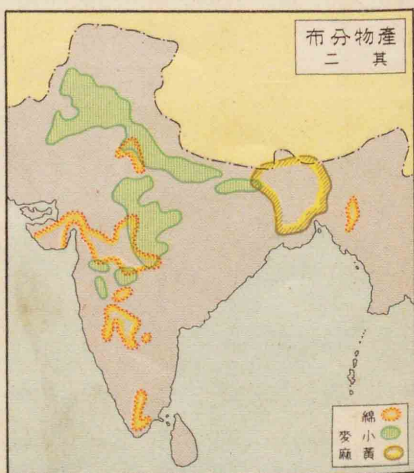
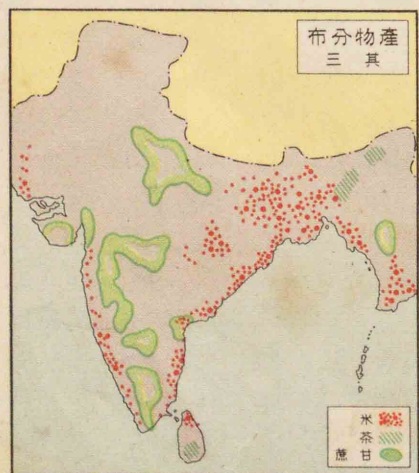
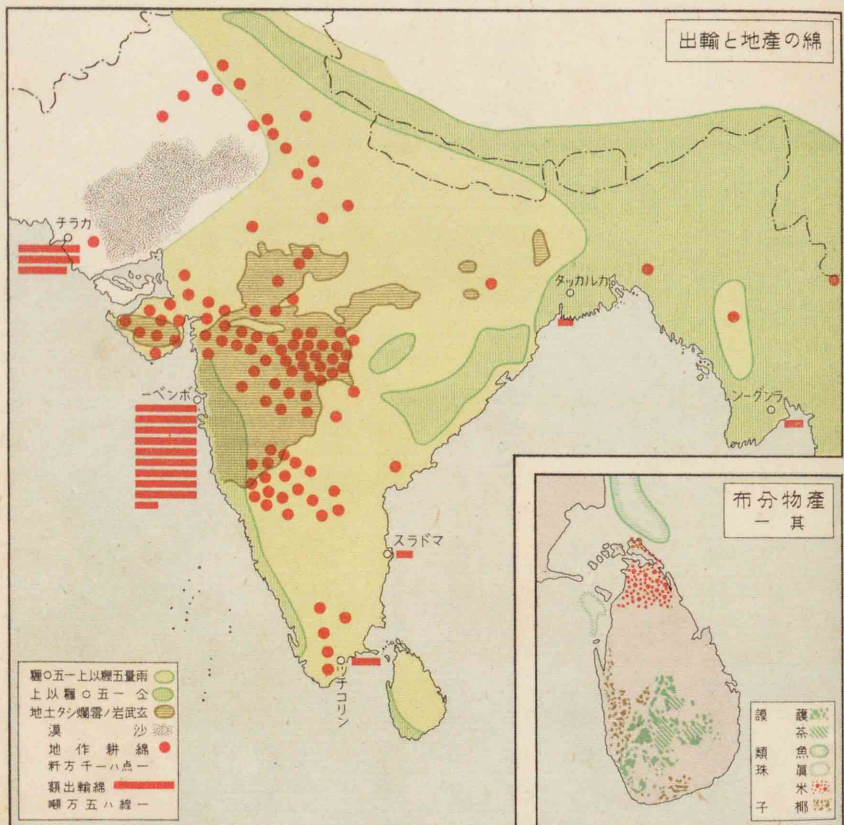


多く、アッサム地方は世界の最多雨地といはれるが、冬は半島の東南部の外、雨は殆ど降らない。西部は四時共に雨が少く、沙漠性の處が

インドスタン平原は、ブラマプトラ河、ガンジス河及びインドス河等の漑ぐ處で、大部分は地味が肥えて産物も多く、古代文明發祥地の一に數へられる。半島部はデカン高原と呼ばれる三角形の古い地塊で、その西北部は、廣く熔岩に被はれてゐる。

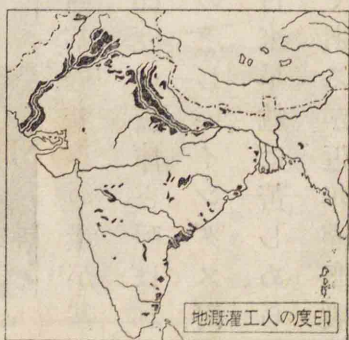
氣候 大部は氣温が高く、季節風の影響によつて、明に乾濕の二期に分れる。夏は印度洋上の濕氣を運んで雨が





綿の數多たれざ積堆に所綿貯の一ベンボは 包
景光の積集袋麥小るけ於に頭埠のチラカは

備が進んで、小麦の大産地となつた。半島部は綿の世界的大産地で、その綿は、我が商人の手で取引される量も甚だ多く、その他、海岸地方から米、砂糖、茶等を出す。牧畜は盛に山羊を飼つて、皮革、羊毛等を



産し、西北部にはカシミル織の特産がある。牛・水牛等も広く飼はれて、運搬・耕耘等に用ひられるが、宗教上の關係で、乳を飲む外、肉は食用としない。石炭、鐵等の埋藏も豊富で、又石油の産もある。工業は綿・黃麻等の纖維工業が発達して、黃麻袋は廣く各地に送られ、



落村と族度印 解 顧の茸草造士は家で落村の人士 落村と族度印 解 顧の茸草造士は家で落村の人士 落村と族度印 解 顧の茸草造士は家で落村の人士



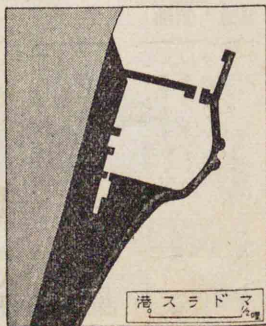
子等を輸入する。交通は鐵道がよく整ひ、海岸は單調であるが、人工でその缺點を補ひ、カルカッタ、ボンベイ、コロンボ（ロン）を三大中心として、航路が多く輻湊し、我が汽船も絶えず往來する。

住民政治

住民の大部分は印度族（パロ）で、南部には先住のドラビダ族（マレ）が住んでゐる。印度族は嚴に階級を守つて職業を世襲し、階級が違へば婚姻を結ばず、食事も共にしない。西部

鉄鐵は我が國へも輸入する

搾油・製革等も盛である。カルカッタ（製麻）とボンベイ（業綿工）とは、工業上の二大中心である。貿易の盛なことは日本に次ぎ、多く農産品畜産品を輸出して、織物その他の加工品を輸入し、我が國へも盛に綿を輸出して、綿製品・人絹織物



港スラドマ

印度は民衆の自治運動が盛で英國は可なりその要望を容れて来たが尙完全自治を望む反英運動は盛である

主要都邑 人口(萬)
 カルカッタ 一四九
 ボンベール 二六
 マドラス 一六
 ハイドラバード 一六
 デリール
 ラホール

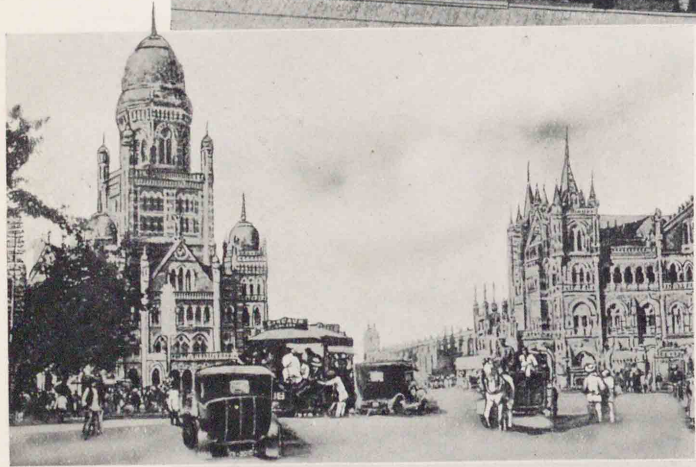
には回教が行はれるが、多くは印度教を奉じて迷信が深く、所謂靈地が處々に散在し、ガンジス河畔のベナレスはその最も名高い處である。佛教は印度に起り、ブダガヤはその著名な遺跡であるが、今はセーロン島に行はれるのみである。

この地は英國の領土で、ベルチスタンと共に印度帝國と呼ばれ、英國王はその皇帝で、之を代表せる總督が治めてゐる。域内には印度人の王侯を戴く大小多數の藩邦(土人)があり、ポルトガル・フランス等に屬する小地域もあつて、往時植民時代の名残を留めてゐる。又セーロン島は、別に一箇の直轄植民地となつてゐる。

都邑 カルカッタはヒンドスタン平原の門戸に當り、農産物の輸出が多く、商工業が盛に行はれ、パトナは汽船の終航點に位し、農産物



カルカッタの河岸
 フーグリ河に臨みヒンドスタン平原の門戸として船舶の出入が多い



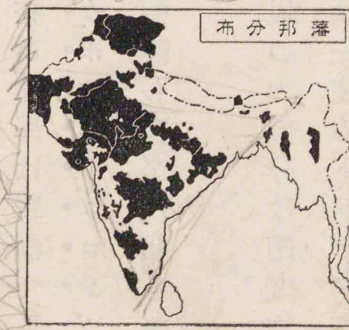
ボンベールの市街
 市廳前に於ける光景で左側の高塔は市廳・右側はビクトリア停車場

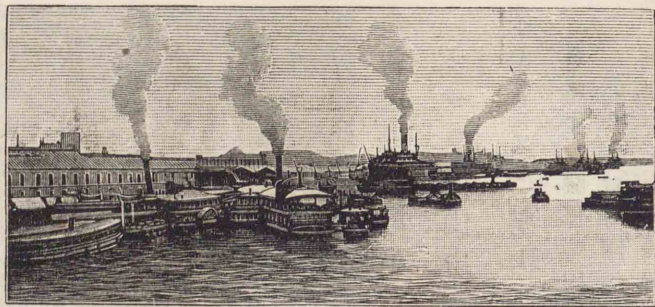


コロンの埠頭
 自然の小尖角を一部利用した外大部は人工の港で印度洋航路の焦點

政 治 區 劃

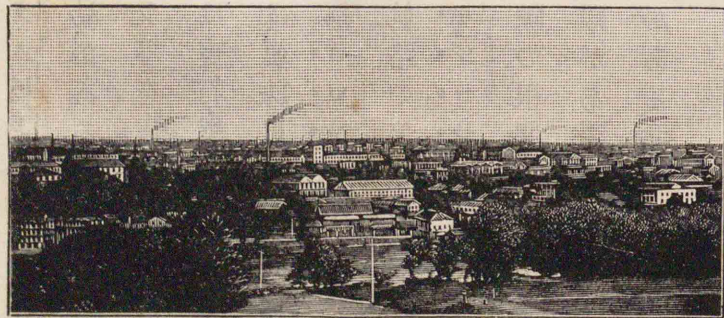
領葡	領佛	領英	印度帝國
チウ	ルンデ	セーロン	直轄地
ゴア	ディウ	セイロン	保護地
ダマン	ダイウ	セイロン	保護地
	ディウ	セイロン	保護地
	ディウ	セイロン	保護地
〇〇六	〇〇五	〇〇五	〇〇五
六	七	七	七



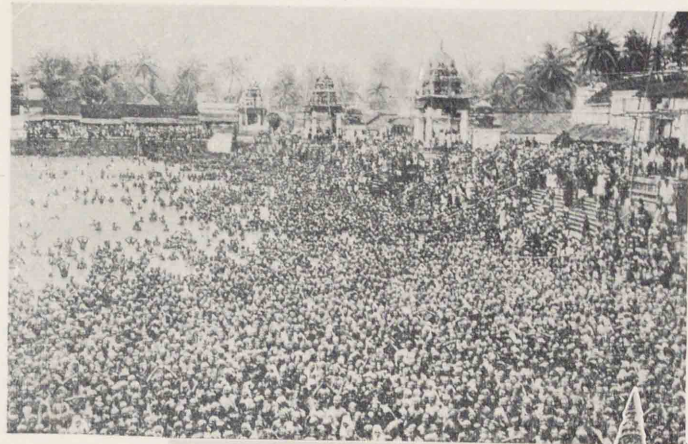


カルカッタの河沿に多船の繋留をみせる

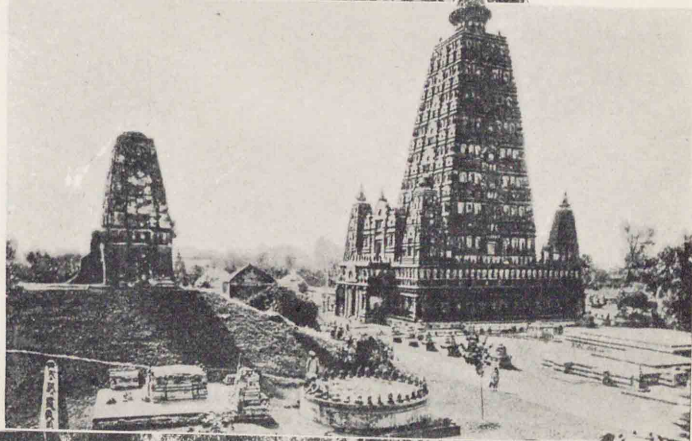
イ・ダ・ラ・バ・ド・は
Hyderabad Madras
散し、マドラスは皮革の積出が多い。
セーロン島は全體が山勝で、大陸との間にア



紡績工業の大工場に煙突をみせる



ベナレスとガンジス河
この河で水垢離すれば罪障消滅すると信ずる印度教徒が群つてゐる



ブダガヤの大塔
佛教の聖地であるが荒廢して石造の大塔だけ稍、完全に残つてゐる



セーロン島の景観
路を挟んで長く垂れた氣根の下を異様な魄を持つ馬車が通つてゐる

アダム橋には島と島とを連ねて鐵道を布設し將に大陸と連絡せんとしてゐる



人婦度印はるゐてしをみ摘茶 園茶の島ンローセ解圖



るゐてしを景光の殊特が車馬幌の有特 ボンロコ解圖

アダム橋と呼ばれる列島がある。茶・ゴム・コブラ等を出し、山地からは寶石・黒鉛、沿海からは眞珠貝を産する。首都コロンボは、印度洋航路の集點に當り、ツリン・コマリは英國艦隊の根據地である。こ

の島には佛教が行はれ、カ・ン・ヂ・ーに有名な佛牙殿がある。

ヒマラヤ山中にネパール・ブータンの二小國がある。共に獨立國で、イギリスの勢力下に、鎖國の狀を保つてゐる。

日本との關係 印度に興つた佛教が、古來我が國民精神に及ぼした影響は實に著しい。今は貿易關係が極めて密で、我が商品の大輸出先であると共に、我が主要工業の原料となる綿綿の大輸入先である。従つて我が汽船會社は、この地を終點とする

航路を開いてゐる。

第三章 西部アジア

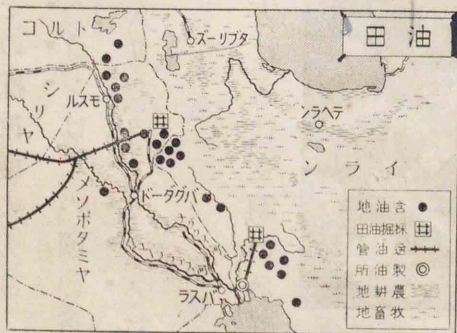
イラン高原及び小アジアアラビヤ等の高原性半島を含み、その間にメソポタミヤ低地があつて、チグリス・ユーフラテスの兩河が此處を流れてゐる。氣候の乾燥なことは共通の特色で、産物も似てゐる。

イラン地方 イラン地方は炎熱乾燥で、内地には沙漠が廣く、住民の多くは遊牧を營み、山麓河岸等にはのみ農業が行はれる。

東部のアフガニスタンは、立憲制の王國で、首府をカブールといひ、隊商通路の要地である。ペルチスタンの東北部は、印度帝國の一部となり、他は英國の保護を受けてゐる。イラン(舊稱ペ)は立憲制の王國で、穀物・阿片・果實等を出す。又西部

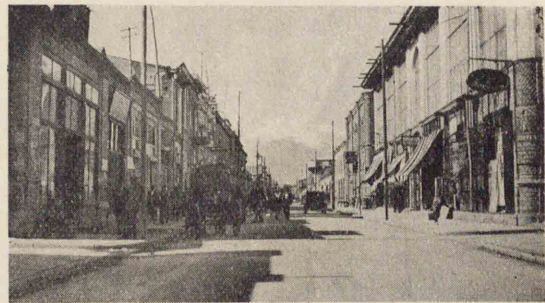
面積 約壹萬方軒
人口 約七〇〇萬

面積 約貳萬方軒
人口 約五〇〇萬



テヘラン 三萬

面積 約三萬方軒
人口 約六萬

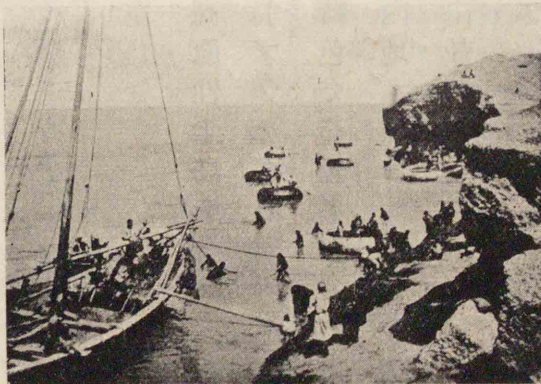


建がい高名でのい多の路迷に内市 街市のンラヘテ解圖
るあも處な式代近く斯はに部一のそし化風洋に第次は物

に豊富な油田があるが、その採掘権の大部分は、英人の手に属する。テヘランはこの國の首府で、精巧な敷物・絹布等を産し、タブリーズは商業上の要地である。

イラク(タミヤ) この地方は、古代文明の發祥地であるが、今は荒地が多く、僅に河岸地方に麥類・綿等が耕作せられ、又棗椰

子を出す。大戰の後、英國の委任統治地となつたが、今はその關係を離れて、獨立の王國となつた。首府バグダードは、バグダード鐵道に沿ひ、隊商貿易の要地で、モスルの附近には、廣い油田がある。



船籠たつ造で葉の子椰棗は船の形圓 河スリグチ解圖

バグダード 二五萬
バグダード鐵道はコニヤ以南であるが普通は廣義にハイデル・バシヤまでを呼んでゐる

面積(歐洲を含む) 約六萬方軒
人口 約一六〇萬

トルコ皇帝は回教の教主であつたが、帝位と共に教主の特權を失つた。アンゴラ 我々が大使館はヨーロッパのイスタンブールにある

シリヤは面積約一五萬方軒、人口約二八〇萬
パレスチナは面積約二萬六千方軒、人口約一〇四萬



たれさ造も街市で港商大のヤジア西 港ナルミス解圖

トルコは、近時まで歐亞及びアフリカの三大洲に跨る大帝國であつたが、領土が次第に縮まり、又近年帝政を廢して共和制を布き、首都を歐洲からアンゴラ(カラ)に移した。牧羊は重要な産業で、羊毛・羊皮等を産し、河海の沿岸には、麥類・煙草・果實等を出し、又養蠶が行はれる。スミルナ(ミツ)は主要な商港で、乾果の積出が多い。

トルコの近海にあるキプロス島は、英國の領土で、ロードス島は、近年イタリアの領土となつた。

シリヤ・パレスチナ シリヤはフランスの委任統治地であるが、近く獨立する筈になつてゐる。パレスチナはユダヤ國建設の豫定地で、英國が委任統治を行つてゐる。首府エルサレムは、キリストの墳墓があるので、巡拜者が多い。ヨルダンの河谷は、世界第一の低い陸面で、その最低部

シリア Palestina
Damascus
Jerusalem
Jordan

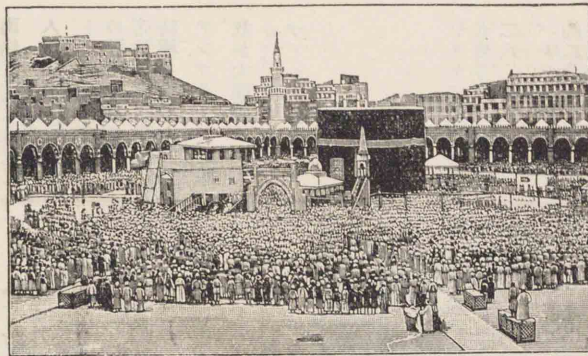
死海の水面は海面よりも三百九十四米低い

にある死海は、鹽分が甚だ濃厚である。この東隣にトランスヨルダニア(ラケク)があり、英國が委任統治を行つてゐる。

アラビヤ半島

世界最大の半島で、大部は

沙漠性の荒地であるが、海岸や泉地からは棗椰子、珈琲等を出す。土人は多く遊牧を営み、良馬を産する。域内は多くの酋長國に分れ、今はサウヂアラビヤの勢力が最も強大である。メッカはマホメットの生れた處、メヂナはその歿した處で、共に回教徒が多く參拜する。紅海の口に近いアデンは、英國に屬し、交通上軍事



景光るせ集群らか地各く遠が徒信の教回 院寺大のカ・メ



葉複狀羽なき大てし立直く長は幹樹 子椰棗解圖
るなと用食でのもたし集群くさ小は實果 つ持を



し息棲は物生に爲な厚濃が分鹽は海死 海死解圖
る來出がとこるす臥仰に面水は人く如の圖又いな

上の要地である。オマーンは英國の保護國で、棗椰子の産が多い。

第四章 北部アジア

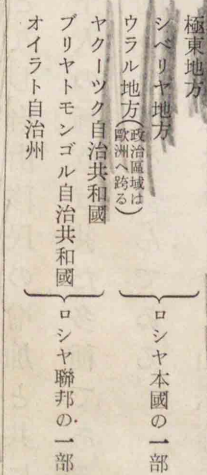
本洲の約三分の一を占める廣い地域で、ソビエト聯邦の一部である。大戰後、政治區分に變動があつたが、本書は之をシベリヤ中央アジア・コーカシヤの三區に分ける。

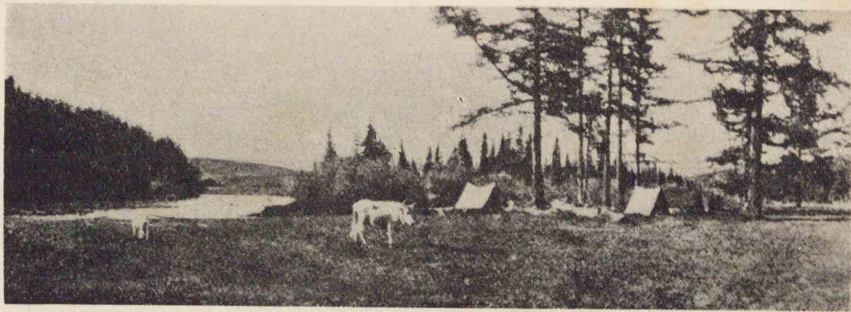
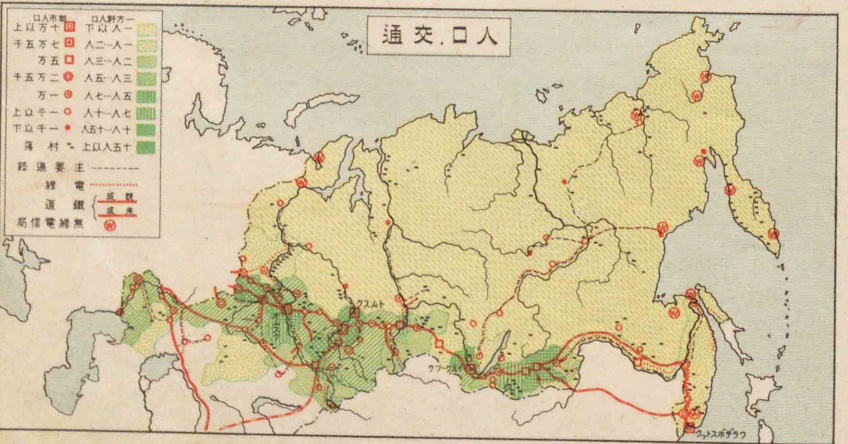
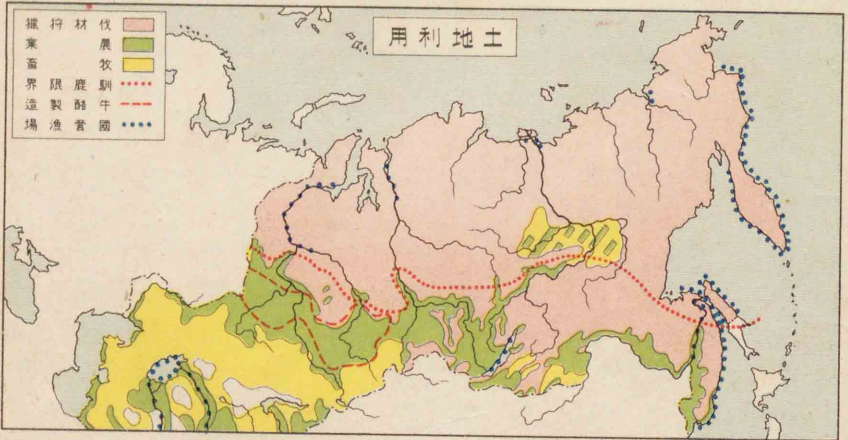
第一節 シベリヤ

Siberia (西比利亞)

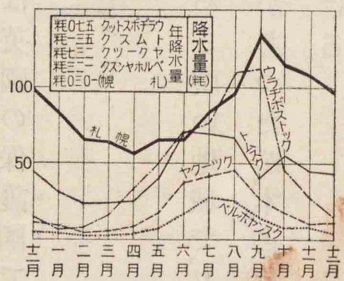
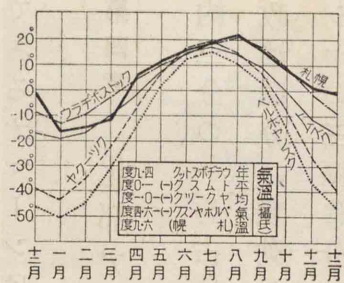
境域 東は太平洋岸から、西はヨーロッパ洲に達する廣い地域で、ロシヤ本國の一部と、自治の地方とに分れる。直領地には移住ロシヤ人が多く、他は夫々居住の民族を主として分けたものであるが、實權はロシヤ人の手にある。この地方は、もと土民の遊牧地、狩獵地であつたが、ロシヤ領と

面積 約二三〇萬方
人口 約一〇〇萬
面積人口共に歐洲の部分を含まぬ





解 部南の原平ヤリベシ 樹葉針の疎林が多拓開くは處たれさ小麥は産又し牛牧すを



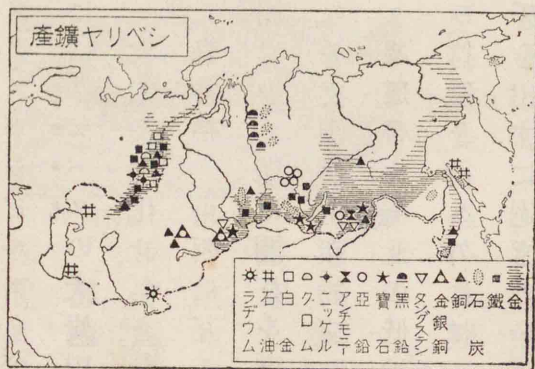
なるに及んで、罪人の流謫地となし、自由移民の増加と共に、開拓が進んで今日に至った。土人の種族は甚だ多種であるが、人口は極めて少く、尙原始的の生活を営んでゐる。

地勢 東南部にはヤブロンイ山脈、スタノボイ山脈等の高地が續いてゐるが、西北に緩斜して、廣大なシベリヤ平原をなし、オビエニセーレナ等の大河が此處を流れ、東南には黒龍江が滿洲國との境を流れてゐる。南境に近いバイカル湖は、水の深いので名高い。

氣候 氣候は極端な大陸性で、夏季は極めて短いが、日照時間が長い爲に、氣温は



北樺太の石油田に於ける北樺太の最大工場 北樺太の石油田の光景を立せる日本及びソビエト連邦の石油田の最大工場



河の流域ポタイボ等は、金、鐵、石、炭等の鑛物を埋藏し、殊にゼーヤ

割合に高く、冬季は長くて寒氣が厳しく、レナ河流域の一部は、世界の寒極といはれる。この地方は、地形氣候産物等の關係から、左の四帯に分れる。

高地帯

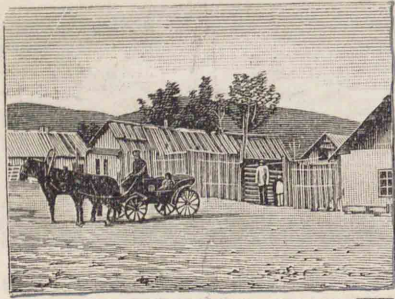
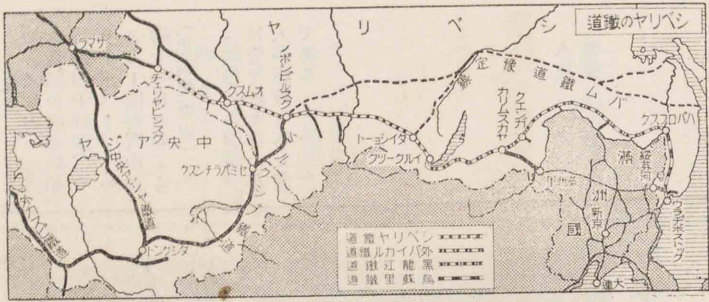
東南部の山地で、金、鐵、石、炭等の鑛物を埋藏し、殊にゼーヤ

政府は、この地方を大工業區とする企を進めてゐる。北樺太は石油、石炭(エドウ)に富み、その一部は、我が國で採掘してゐる。

草原帯

オビ河上流の大平原で、

黒土帯と呼ばれる肥沃な地域があり、農業、牧畜が盛に行はれて、小麥、馬鈴薯、甜菜及び牛酪等の産が多く、歐洲に對する主要の穀倉となり、オム



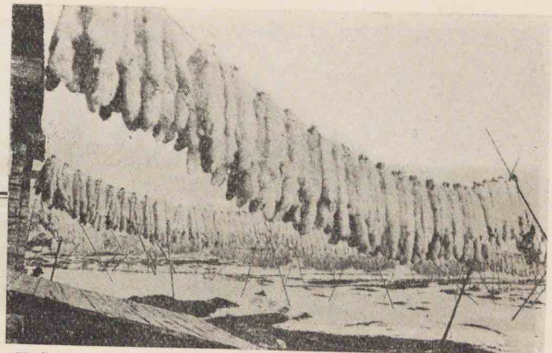
車馬の特有のこと家民のヤリベシ

著しく、近年此處から分れて、中央アジアに通
ずる鐵道(トルクシ)も開通し、又第二のシベリヤ
鐵道ともいふべきバム鐵道も、着々建設の歩
を進めてゐる。海運は盛でないが、近年航空路
の發達が著しい。
都邑 ウラヂボストクはシベリヤ第一の
商港で、又軍港である。我が國と交通の要地を

此等の産物は、主として歐洲本國の製造品と交換せられ、滿洲國・支
那・日本等との取引も少くない。ウラヂボストクは、この地方に於ける
唯一の貿易港である。

交通 道路は整はず、河湖は凍結の爲に利用の便が少く、交通

は一般に不便で、冬は橇、夏は馬車を多く用ひる。シベリヤ鐵道は、
最初軍事上・政治上の目的から設けられたものであるが、極東と
歐洲とを連ねる唯一の鐵道で、沿線地方の開發を助けることが



景光るす燥乾し曝に日風を皮毛だい剝 燥乾の皮毛

スク・ノ・ボシ・ビル・スク等はその中心である。この地方の南部
には、グズバスの大炭田があり、ウラル地方の鑛産地と共に、
一大工業地化せんとしてゐる。

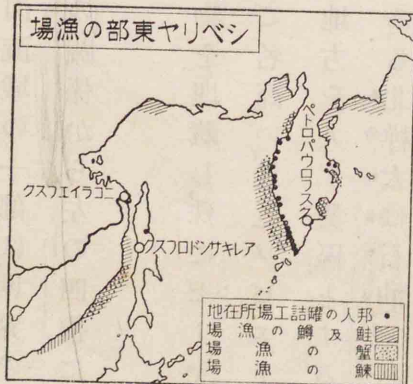
森林帯

東西に互る廣い林地であるが、交通が不便で利
用は少く、僅に開拓を進め、農耕を行ふ處もあるが、林中に棲
む毛皮獸が主産物で、ヤクトツクは毛皮の集散地である。

凍原帯

極北の低地で、全く不毛に屬し、土人が馴鹿を飼
ひ、狩獵を行ふ外には、一部に舊象の
牙を出すに過ぎない。

東部の河川やその近海は、鮭・鱈・鯨・蟹及び海
獸等の漁利に富み、邦人の出漁する者も多く、
ニコライエフスク・ペトロパウロフスクは、共
に漁業の根據地で、コマンドル諸島は臘肭獸
の保護地である。



ウラヂボストック・敦賀間の直通船舶は約四十時間、ウラヂボストック・モスコイ間の汽車は約十一日を要する(北滿線經由)

ニコライエフスクは嘗て約七百の邦人が虐殺された處である



クツスボヂラウ 丘陵の半島に發達した街市で屋家は狭い腹に階段状の面をなして並んだ多くの路に概しては



占めるが、冬は海面の凍る不便がある。黒龍江畔のハバロフスクは、水陸交通の要地に位し、江口のニコラエフスクは、漁業の大中心である。

フスクは、北樺太の主要な中心地である。

ブラゴエシチェンスク・ノボシビルスクの附近には、金産地

が多く、キヤフタは蒙古との貿易地である。

バイカル湖に近いイルクーツクは、東西シベリヤの分岐點に立ち、商工業の要地を占め、ノボシビルスクは政治上・經濟上の一中心



街市のクツクルイ 西の方から岸を望んだら、低木造の家屋が多き中、寺院の著目立つる

である。トムスク・トボルクは、共にオビ河沿岸の要市で、オムスクは農産・畜産の集散が多い。

第二節

中央アジア及びコーカシヤ

Central Asia (中央亞細亞)

Caucasia (高加索)

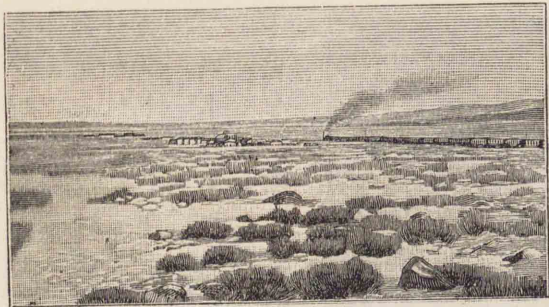
中央アジア

大部は内地流域に屬し、裏海を始め大小の鹹湖が多く、アマ河・シル河が此處を流れて、アラル海に注ぐ。氣候が乾燥して荒地が廣く、住民の多くは遊牧を營んでゐるが、山麓や河岸では、穀物・果實・綿等を産し、又養蠶も行はれる。この地方には、カザク・キルギス・トルコマン・タジク・ウズベク

Amu Daria Syr Daria Aral

面積 約三五萬方呎
人口 約一五〇萬

外カスピ鐵道・中央アジア鐵道・トルクシブ(トルキスタンシベリヤ)鐵道等は主要な線路である



解 景光の地方原草 遙に走るの鐵道車列



業産の亞細亞中央

炭石 綿 蠶 油石 蠶 養

Kirgis Turkoman Uzbek

タシケント

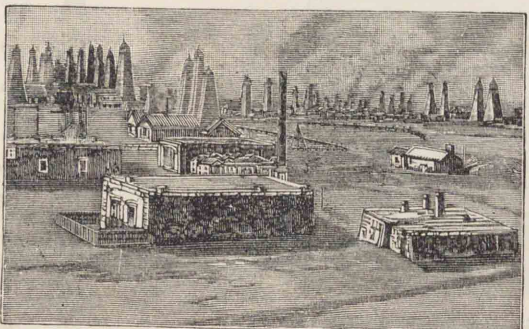
五

サマルカンドには蒙古人の英雄として知られた帖木兒の墳墓がある

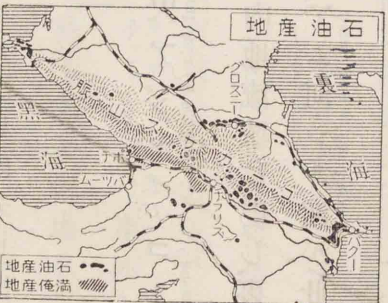
面積 約四百萬方呎
人口 約三〇〇萬

バク
テフリ
ス

七
三
萬



解 巴 ー ク の 石 油 坑 井 櫓 が 林 立 て 活 況 を 呈 する



石 油 産 地 地 産 油 石 地 産 油 石

シブ線を始め、數條の鐵道が此處を通じ、その沿線に、タシケント・サマルカンド等の要市がある。

コーカサス山脈が中央を横斷して、南北の二部に分れる。

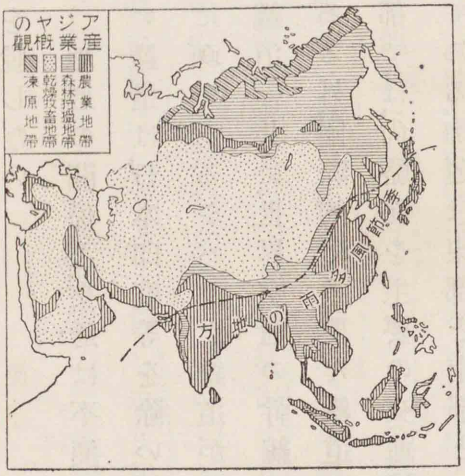
國名	首府
カサック共和國 (アルマアタ)	アルマアタ
キルギス共和國 (フルンセ)	フルンセ
トルコマン共和國 (アスハバード)	アスハバード
ウズベク共和國 (タシケント)	タシケント
タジク共和國 (スターリナバード)	スターリナバード
アゼルバイジャン共和國 (バクー)	バクー
ジョージヤ共和国 (チフリリス)	チフリリス
アルメニヤ共和国 (エリバン)	エリバン
ソビエト聯邦の一部	

る。山北の大部は荒地であるが、山南地方は、アゼルバイジャン・ジョージヤ・アルメニヤの三共和國が占める處で、農耕養蠶が行はれ、山麓の一帯は、石油の世界的大産地である。バクーは製油業の大中心で、チフリリスは内部交通の要地を占め、黒海岸のバトゥムは、石油の積出港で、

總 說 (其二)

クーから油送管を通ずる。

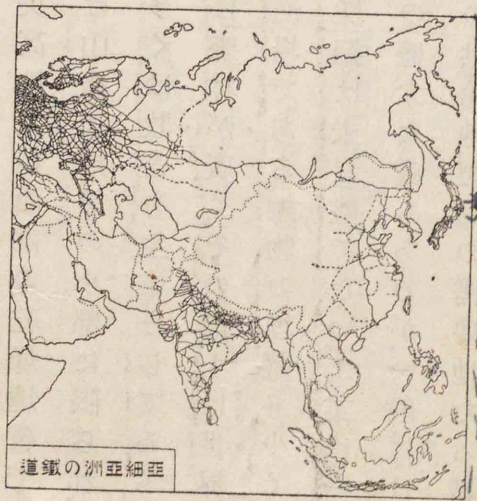
産業交通 産業は農牧を主業とし、東部南部の季節風帯は、米綿砂糖茶生絲等の世界的供給地で、熱帯多雨地は、ゴム規那コブラ香料等の大産地である。印度の西部北支那滿洲國シベリヤ等は、小麥の産が



多く、中央高地及び西部の乾燥地帯では、農業は山麓河岸等の小部に限られ、住民の多くは牧畜を主業としてゐる。東北部は森林が廣く、その海上は世界屈指の漁場である。鑛物の埋藏も少ないが、採掘は未だ盛でない。工業は一部にその盛大な處もあるが、一般には尙原料の供給地、製品の需要地たる域

を脱しない。

地形の關係上、交通は不便を免れない。鐵道は日本・印度等を除いては一般に疎である。シベリヤ鐵道が滿洲國の鐵道と共に、世界交通の幹線となつてゐる外、國際的に重要な鐵道はなく、内部では、尙駱駝を主要の交通機關としてゐる。海運は東部と南部とに發達し、



道鐵の洲亞細亞

アジヤ人種
日本種
朝鮮族
漢族
滿洲族
蒙古族
西藏族
苗族
印度支那族
トルコ族

(日本内地)
(朝鮮)
(支那本部)
(滿洲國)
(ベリヤ)
(シベリヤ)
(滿洲國・蒙古)
(西蔵・青海)
(支那西南部)
(印度支那)
(小アジヤ・中央アジヤ・新疆省)

ヨーロッパ人種

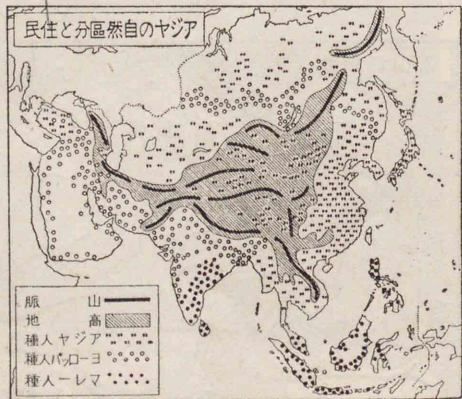
印度族 (印度)
イラン族 (イラン地方)
アラビヤ族 (アラビヤ)
スラブ族 (シベリヤ)
コーカシヤ族 (コーカシヤ)
マレー人種
マレー族 (マレー地方)
ドラビダ族 (印度)

この方面には、世界屈指の大港も少くない。航空路の開通も進み、南部には、歐洲諸國と、その植民地との連絡線が多く、北部にはロシアの線路が多い。その他陸上及び海底の電線も發達し、無線電信局も處々にあるが、歐米人の經營によるものが多い。

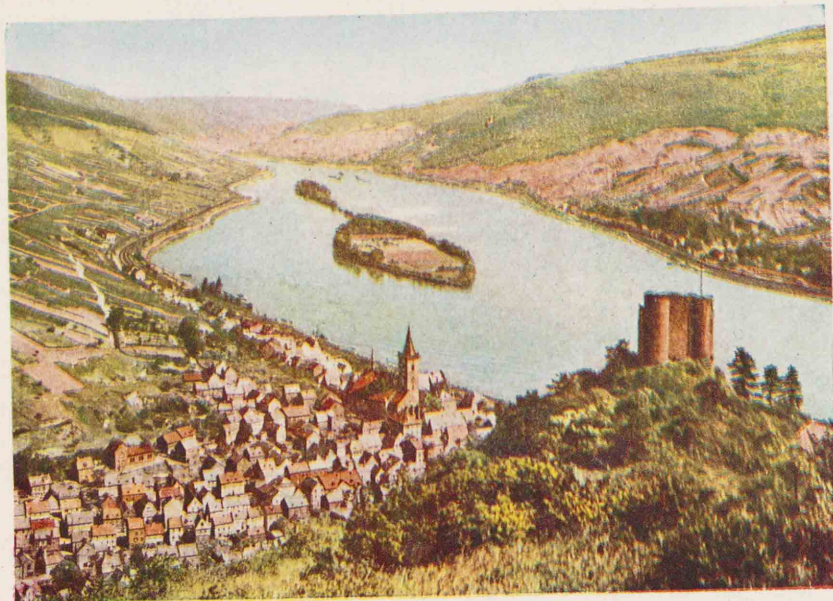
住民國勢

住民は約十一億に達し、世界

人口の過半を占めるが、土地が廣い爲に、東部・南部の外は、概して疎である。本洲はアジヤ人種の本據地であるが、南部西部にはヨーロッパ系の民族が多く、東南部にはマレー人種の住む處もある。東部は大體に自主獨立の地方で、殊に日本は、東洋の盟主として、自他共に許してゐるが、その他の原住民は、概して勢力が弱く、政治的に經濟的に、新來の歐洲人に支配される處が多い。要するに本洲は、古代文明の發祥地を持ち、三大宗教も本洲に起つて、世界の文化に及ぼした影響は大きい。現在では歐洲勢力の波に被はれてゐる。併し近年、民族的自覺が漸く高まり、自主權の恢復を要望する氣勢が盛になつた。



山 高
脈地
種人 ヤジヤ
種人 パロヨ
種人 レマ



流峽の河ソイラ

るみてし下上ずえ絶せ載を客の勝探は船で地覽遊い高名に的界世



園薇薔のヤリガルブ

る造を油薇薔の産特としと料原を之で景光る採み摘む花るれ亂咲

面積 約一四〇萬方
人口 約五億
大洋洲に次ぐ小さい大陸
であるが人口の密度は
最も高く

第二篇 ヨーロッパ

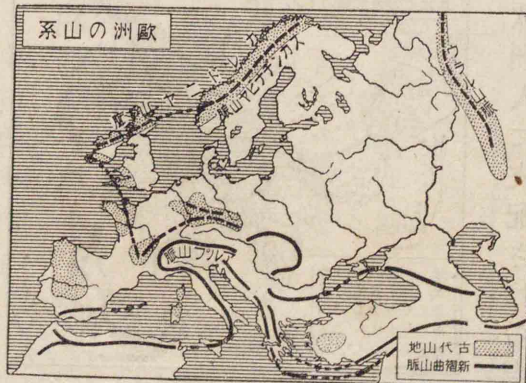
Europe (歐羅巴)

總説 (其一)

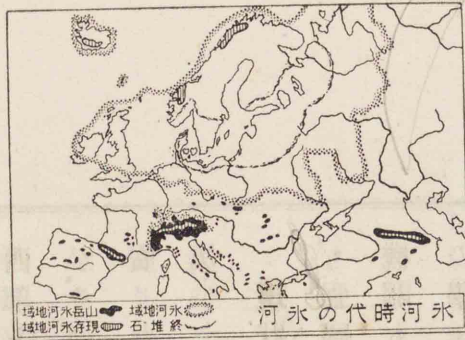
地勢海岸

ユーラシア大陸の西部を占める半島状の地域で、面積はアジアの約四分の一に過ぎない。山脈は新舊の二系統から成る。東部のウラル山脈、北部のスカンジナビヤ山脈等は、古い地塊の主なもの、何れも低い、南部のアルプ山脈は、新しい褶曲山脈で、山勢が雄大を極め、その餘脈は、弧状をなして遠くアフリカ及びアジアに延び、氣候上にも、人文上にも、天然の大境界となつてゐる。

此等の山脈に挟まれて、中央平原と呼ばれ



歐洲の西岸は殆ど
周年偏西風と呼ば
れる西風を受ける



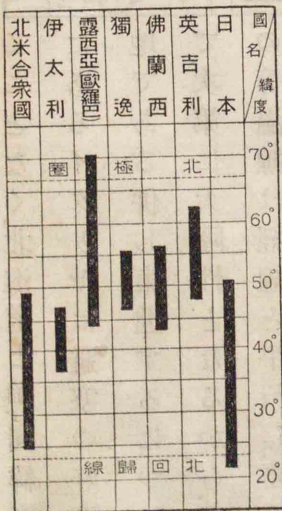
有力な一因となつた。

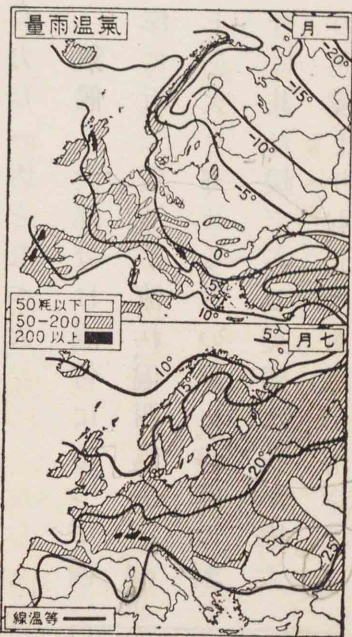
氣候 大部分は温帯にあつて、西

岸に近く暖流が流れ、偏西風がその
上を吹き寄せる等の爲に、緯度の割
合に甚だ暖である。英國は我が樺太
の北境よりも北にあるが、海岸は東

る平野がある。その東部には、本洲最大のボルガ河を始め、大河
が多く流れ、中部以西の河は、割合に短い。水量は豊である。此
等は互に運河によつて連ねられ、水運の便が頗るよい。北歐の大
部分は、アルプ地方と共に、地質時代の大水河に被はれた處で、
氷蝕の爲に出來た湖水が多く散在する。

本洲は半島大陸である上に、更に數多の半島を出して、多く
の海灣を造り、海岸線の發達は、遂に他の大陸に優れてゐる。従
つて氣候交通等に大影響を及ぼし、この地の文化開發を促す

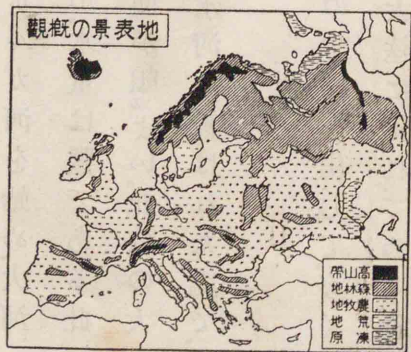




ることなく、北海道と殆ど同緯度にあるイタリヤは、避寒の好適地である。併し東進するにつれて、次第に大陸性となるから、冬の等温線は経線と平行し、夏は之と直交する傾がある。雨量は

西部と山地との外は一般に少く、東南の一部には、沙漠性の處もあるが、その地域は極めて狭く、北部の凍原も、著しく廣くないから、土地利用率の高いことは、大陸中第一である。

現状 本洲には三十餘の獨立國があつて、而も強國が多く、學術は進歩し、産業は發達し、交通機關もよく整つて、現代文明の中心となり、我等の學ぶべき點が少くない。

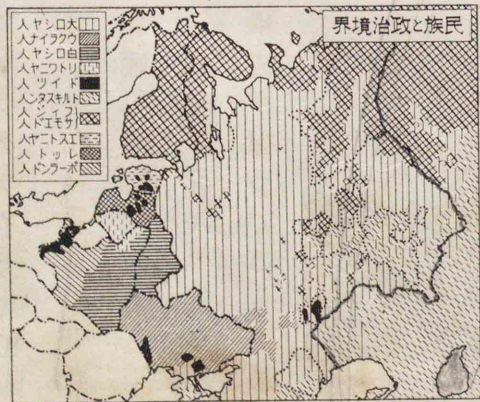


各説

第一章 東部ヨーロッパ

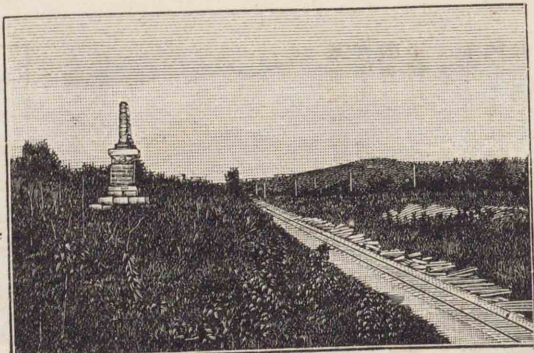
舊ロシア本國の區域と略一致し、大戦の後、政治上に大變動のあつた地方である。住民は錯雜してゐるが、最も主要なのはスラブ族と總稱される多數の民族（大ロシア人が最も多くウクライナで、アジヤ種の民族も少くない。スラブ族の大ロシア人は、極端な武力的壓制を加へ、此等多種の民族を統治して來たが、大戦中に革命が起つて、各民族は夫々自治を唱へるに至り、結局ポーランド・フィンランド及びバルチック海沿岸の地方は獨立し、他は合同して、ソビエト聯邦を組織した。

第一節 ロシヤ(ソビエト聯邦の歐洲部)



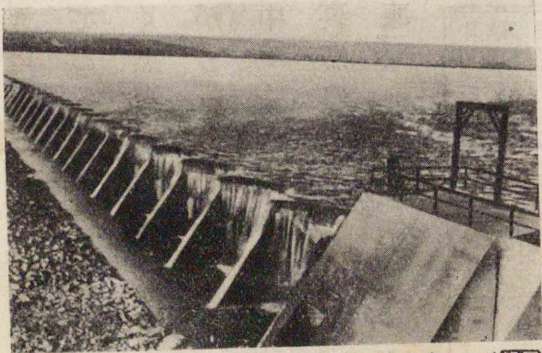
面積(合衆)
約三〇〇萬方呎
(内歐洲約四五萬方呎)
人口(同上)
約一五〇〇萬
(内歐洲約一五〇〇萬)

ウラル山脈は最高の
のテルボス山も尚
高さ一千六百餘米
に過ぎない
近年此等の湖水を
利用し、フィンラン
ド灣と白海とを連
ねるスターリン運
河が出来た

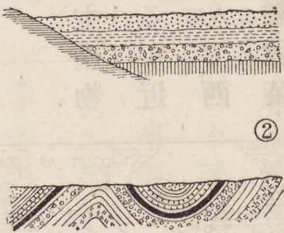


① 地を走るやうな観るが横断鐵路の傾斜が少く、平地に於ては、ウラル山脈の地山が、標石の圖

極めて大規模の
ものである。北部
には氷蝕による
湖水が多く、ラド
ガ・オネガの兩湖
Oronega Ladoga



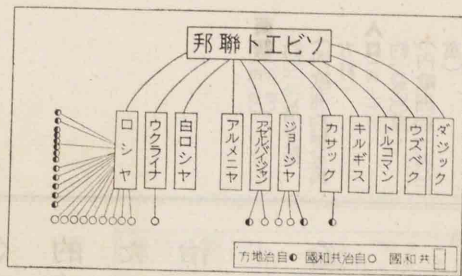
② 運搬した土砂が堆積し、河床が高くなる。このため、河川が氾濫し、舟運の便が多



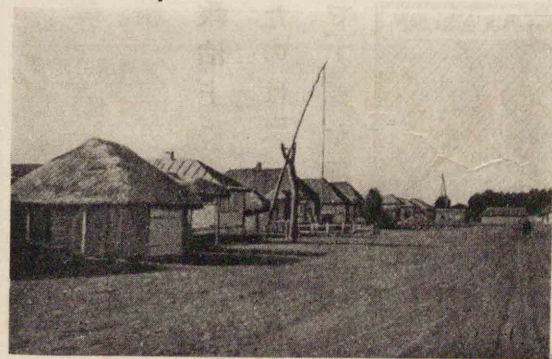
①は野平に、河川が氾濫し、舟運の便が多
②は野平に、河川が氾濫し、舟運の便が多

バルダイ連丘も、三百餘米に
過ぎない。ボルガ・ドニエ
プル等の河が、この低い丘陵
を分水界として流れ、運河が
之を連結して、舟運の便が多

革命前までは實權
は少數の貴族・地
主・官吏・軍人の手
にあつて、大多數の
農民は極端な壓制
を受けてゐた



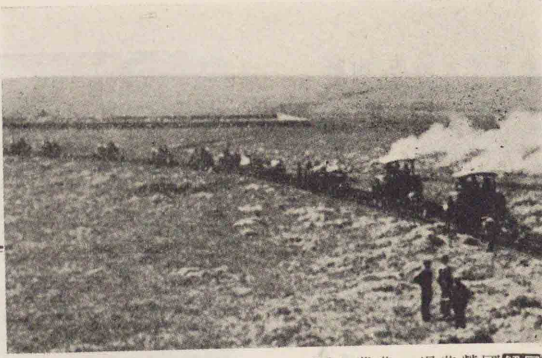
地勢 ヨーロッパの大半を占める大國で、
東境にウラル山脈の連る外は、廣い平原をな
し、處々に丘陵が起伏してゐるが、その最も高い



③ 農村のナイラクウ

政治 大ロシア人を主とするロシア聯邦は、ウクライナ共和國
(小ロシア人) 白ロシア共和國(白ロシア人) 及びコーカシヤにある三共和
國(アゼルバイジャン・ジョージア) 中央アジアにある五共和國(ウズベク・キルギス・カザック)
を聯合して新國家を組織し、ソビエト聯邦と稱へる。住民の大多數
はスラブ族であるが、革命後はユダヤ人が權力を握つてゐる。
聯邦の政治は、最高の機關をソビエト大會といひ、
その大會で選ばれた中央執行委員が、行政・立法・司
法の權を掌り、一般の行政は、中央執行委員から任
命された人民委員會に屬し、之が聯邦の政府で、我
が内閣に相當する。教育程度は、西歐諸國に比べると
著しく低く、且革命の後、父母なく家なき浮浪兒が多
いので、女子の生活様式が變つた等の爲に、政府は無
學者根絶教育・浮浪兒救済事業等に力を注ぎ、女子教
育には最意を用ひてゐる。

南部の地方は人工灌漑を行つてあるが尙早敷による飢饉が珍しくない戦前には世界に於ける白金の大部をこの國から出した



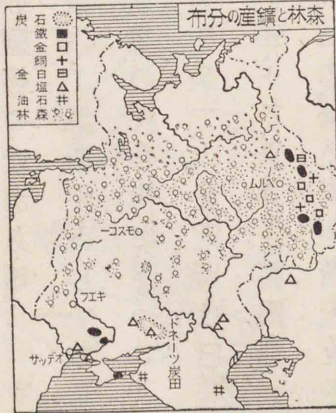
るあてし化營國に第次にうやの圖も業農 場農營國解圖

等が最も名高く、山麓にペルム・スウェルド・ロフスク(エカテリナ)等の鑛業都市が發達し、中部・南部には石

	距離十五	距離百	距離十五百	距離二百
邦聯トイビソ	■■■■	■■■■■■	■■■■■■■■	■■■■■■■■■■
ツイド	■■■■	■■■■■■	■■■■■■■■	■■■■■■■■■■
ドンラーボ	■■■■	■■■■■■	■■■■■■■■	■■■■■■■■■■
ヤサノスルチ	■■■■	■■■■■■	■■■■■■■■	■■■■■■■■■■
國聯合カマ	■■■■	■■■■■■	■■■■■■■■	■■■■■■■■■■

麥裸 年七和昭

銅・金・白金

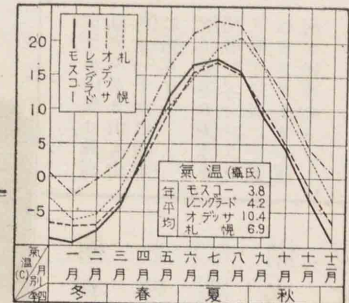


(河ガルボ)るす達に米八・七はのもなき大の魚 魚鮭解圖

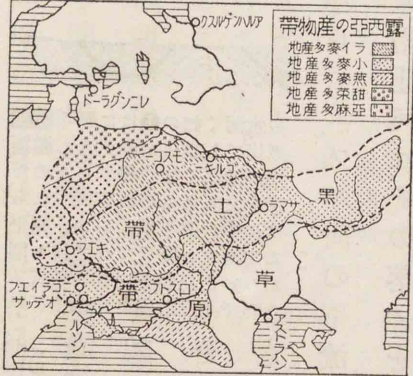
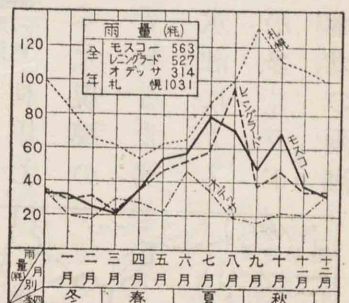
麻類馬鈴薯等の耕作も行はれる。草野帯の中に、黒土帯と呼ばれる地方があり、地味が肥沃で、小麥ライ麥甜菜等の産額が甚だ多く、夙に歐洲の穀倉と呼ばれ、ウクライナはその主部である。南部の草野帯は、馬牛羊等の牧畜を主業とするが、近年人工灌漑によつて、玉蜀黍果實等の産額が増加し、河湖には、鱒魚等の水産もある。鑛業はウラル山地の鐵

革命以來擾亂相次ぎ産額が急減して穀倉の住民も自己の糧に苦しむ状態であつたが政情の安定と共に着々復興して再び穀物の輸出國となつた

大麻・亞麻の産額は世界第一である



雨地である。氣候の關係から、北部は不毛の凍原となつてゐるが、その南は廣い森林帯を経て草野帯に漸移する。森林帯の主産物は木材であるが、近年開拓が進んで、西部には麥類甜菜



は、その中で殊に大きい。三面に海を控へてゐるが、バルチック海・白海は凍結の期間が長く、黒海は入口を他國に扼せられる等の不便がある。氣候産業 本洲中では氣候が最も大陸性で、雨量も概して少く、裏海の沿岸は、本洲の最寡

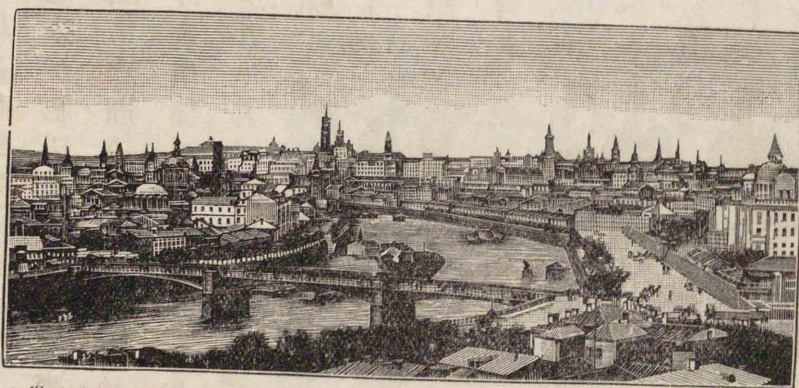


部一の街宅住同共者働勞るけ於にーコスモ 街者働勞解圖

穀物は輸出總額の四分の三を占める所謂ドンバス工業地帯クズバス及びウラル工業地帯はその著しいものである

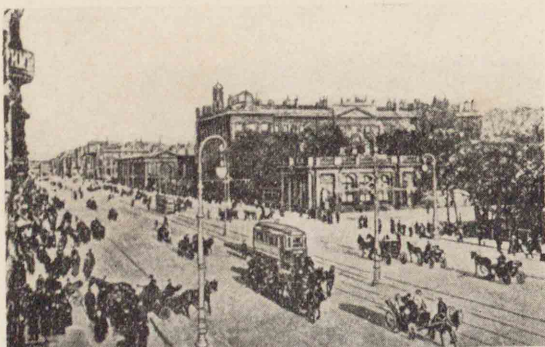
炭・鐵・石油・岩鹽等の産がある。工業は家内工業を主としてゐたが、近年産業の綜合化によつて、工業の速進を企て、大發電所は已に成り、自動車・トラクター・製鐵・製粉等の工場にも、驚くべき壯大なものが出來た。中でもウクライナから、ドン河の下流に至る地方(ドナ地方)及びウラル鑛業地帯は、綜合的大工業地區である。貿易は主に木材・穀類・石油・皮革・麻等を輸出して、機械・綿等を輸入し、レニングラードとオデッサとは、貿易取引の二大關門である。

都邑
モスコイはソビエト聯邦の首府
Moscow (Moskva) (莫斯科)

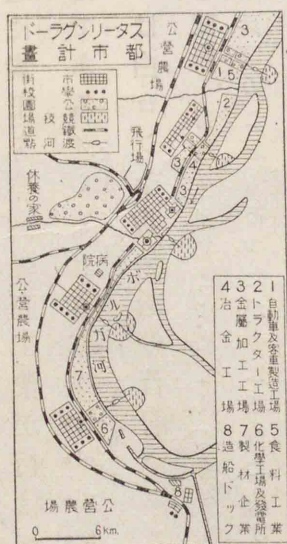


るえ聲が塔高の狀頭葱に々處で觀大の丘ンリムレるけ於に部央中の市ーコスモ解圖

主要都邑 人口(萬)
モスコイ 三・六
レニングラード 二・七
ハルコフ 一・五
キエフ 一・四
オデッサ 一・三
ゴルキー 一・二
スターリングラード 一・一



通大たれば呼とーキスプネとも 市ドーラグンニレ



で、交通・商工業の大中心である。スラブ式の高い尖頭を持つ建物が多く、帝政時代に戴冠式の行はれたクレムリン宮は、政廳として用ひられてゐる。東方のゴルキー(プジョンド)は、近年自動車の工業が興つた。ボルガ河畔のスターリングラードは、新計畫による大工業市で、アストラハン(アストラハン)は畜産品の集散が多く、又水産業の中心である。フィンランド灣に臨むレニングラードは、永く帝都となつてゐた處で、宏大な建物が多く、クロンスタットを外港として、國內第一の商港である。北部のアルハンゲルスクは、白海の要港で、ムルマンスクは近年發達した不凍港である。

キエフは古くから文藝都市として名高く、今はウクライナ共和国の首府で、盛に農産物を集散し、又その加工工場が多く、ハルコフ

フは附近に炭田を控へて、商工業が行はれ、黒海岸のオデッサは、穀物の大輸出港である。クリミア半島のセバストポリ(アルヒ)は、主要な軍港で、ミンスクは白ロシア共和国の首府である。

日本との關係 帝政ロシアとは、幕末以來種々の係争が續き、明治以來、日露戰役シベリヤ出兵等のこともあつたが、今は極東に於ける漁業、林業、鑛業等の利權を得、滿洲國の獨立後、彼我の關係は一層深くなつたが、ロシアの國是は、全く我が國體と相容れぬものであり、且彼の極東政策が、屢日滿兩國の利害と一致を缺き、今次の事變に於いても、極力暴支を援助して、我と對立の態度を採る等は、甚だ遺憾である。

第二節 バルチック海東岸地方

バルチック海の東岸地方は、舊ロシアに屬してゐたが、大戰中に獨立し、フィンランド・エストニア・ラトビア・リトワニア等の國が出来た。

フィンランド (芬蘭) ロシアの

國名	面積 平方軒	人口 萬	首府	民族
フィンランド	三三八	三六七	ヘルシンキ(ヘルシンク)	主にフィン人
エストニア	四八	一一三	レバル(タリン)	主にエストニア人
ラトビア	六六	一九五	リガ	主にレット人
リトワニア	五六	二四八	コブノ(カウナス)	主にリトワニア人



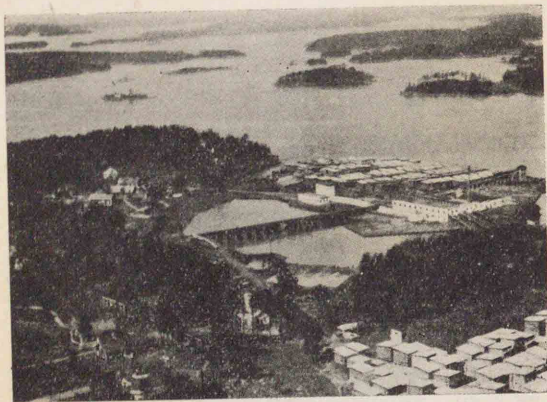
氷結した河
冬のネバ河で氷結した河面に電車軌道を敷いてゐる圖はその停留場



ゴルキー
ボルガ河とオカ河との會點に位しソビエト近代工業の中心である



ヘルシンキの海岸
フィンランド灣岸の小半島を占め海岸の屈曲が甚だ多く風景もよい

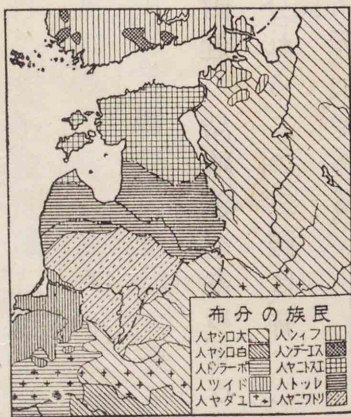


このほと林森る茂に處其と群湖な雜復 水湖と林森解圖
るえ見も場工材製のそし積堆が材木に畔湖で色特の方地

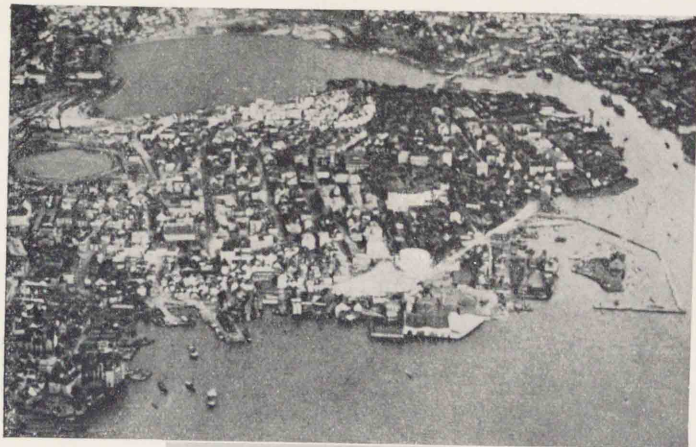


革命後に獨立した共和國である。住民は少數のラップ族の外、概々アジア種のフィン族で、夙に西歐の文化を入れて、教育を改善し、體育を奨励し、大戦後の新興諸國中、最も堅實なものの一である。

國の全部が、地質時代に氷河の侵蝕を受けた處で、無數の氷蝕湖が散在し、その落差を發電に利用してゐる。



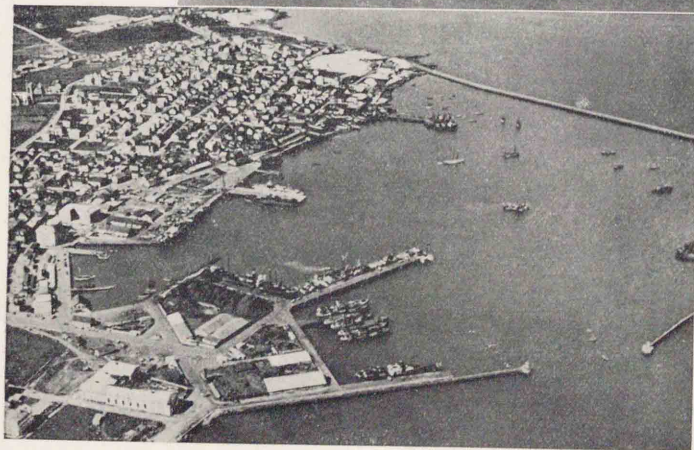
氣候が寒くて林地が多く、自然の環境は不遇であるが、國民の努力により、海岸地方には耕地も開けて、麥類、亞麻、馬鈴薯等を出



ベルゲンの下瞰
峽灣の岸に發達して風景がよく西岸第一の商港で又水産業の中心



ハンメルフェストの大觀
極北の都邑で夜の太陽の觀處、北極探検船の出帆地として知られる



ライキャビク
火山と間歇泉で名高い島國、それでも首府は斯る外觀を具へてゐる

ヘルシンキ 三萬

リガ 元萬

し、牛の牧畜も盛に行はれ、木材、パルプ、皮革等は主要の輸出品である。ヘルシンキ（ヘルシンス）はこの國の首府で、西岸のオーボ（グール）と共に、林産畜産の取引が行はれる。

エストニア・ラトヴィヤ・リトワニヤ この三

國は、何れも大戦中に出来た共和國で、森林帯の中に、僅に農牧が行はれるのみで、大都會といふ程のものはないが、リガはロシヤ領の時代から、主要な商港であつた。

第二章 北部ヨーロッパ

スカンデナヴィヤ・ユトランドの兩半島と、附近の島嶼とを占め、スウェーデン・ノルウェー及びデンマークの三國に分れる。この三國は、嘗て一國であつたこともあり、民族は等しく、風習も殆ど似てゐる。

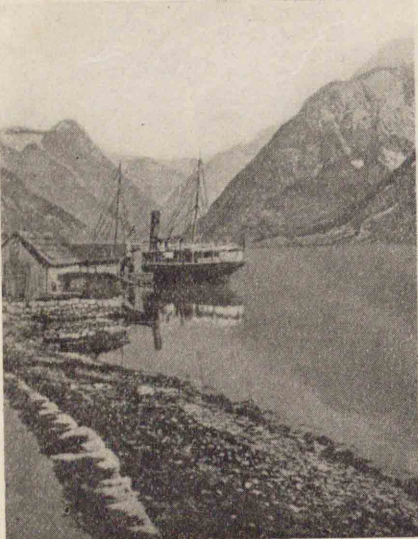


第一節 スカンデナヴィヤ半島

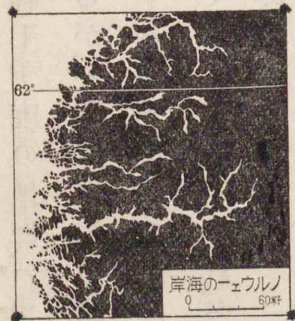
地勢

半島はスウェーデン・ノルウェーの二國に分れ、高臺性のスカンデナヴィヤ山脈が、殆どその境界となつてゐる。山脈の西斜面は、海に急斜して、無数の峽灣が深く入り込み、近海には、多くの小島が散在してゐる。東斜面は階段状に傾斜し、多くの河が並行して、中流は細長い湖水となり、臺地を離れる處は、急流となつて盛に發電に利用される。南部

は平地が稍、廣く、ウエーネル・ウエッテルを始め、大



灣峽深圖 灣峽ネーソのルグナム灣支一の灣峽ネーソの景光



は平水が稍、廣く、ウエーネル・ウエッテルを始め、大

西岸は海

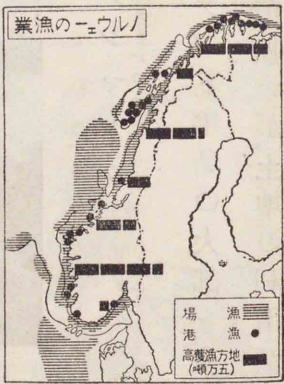
スウェーデン 面積 約四萬方軒 人口 約六萬
ノルウェー 面積 約三萬方軒 人口 約六萬



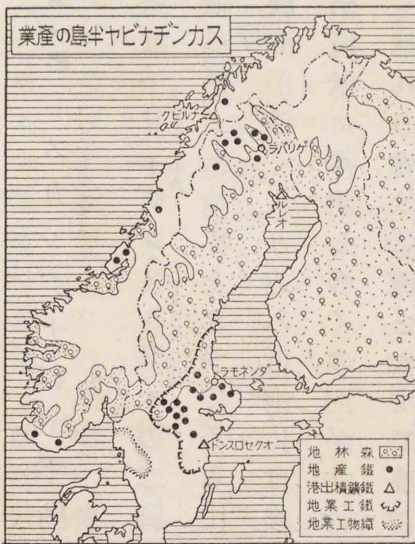
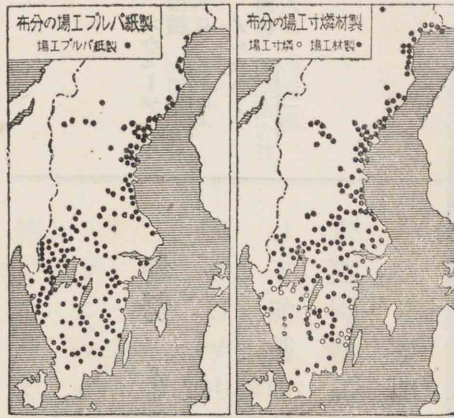
鹿馴でん營を活生牧遊な始原 人プッラ解圖
るすもと料材の類衣又しと用駄を之ひ飼

スウェーデンは木炭で製鐵した時代には鐵の産地として知られ石炭を利用しては多く鑛石の儘で輸出し水力利用につれて再び製鐵が盛になつた

工が行はれる。ノルウェーにも森林はあるが、最も主要なのは水産で、近海は世界三大漁場の一に數へられ、鯨等の漁利が多く、ベルゲンは漁業の大中心である。兩國共に石炭・食糧品等を輸入して、スウェーデンは林産物・鑛産物を輸出し、ノルウェーは水産物・林産物を輸出する。



るす用應を之もで國が我で範模の界世は法鯨捕 鯨捕録圖



千三約は口人で邑都の北最界世 トスフルメンハ解圖

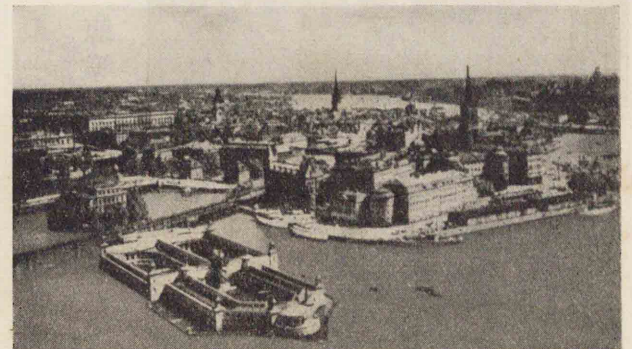
産地があつて、製鐵業も行はれるが、第一の産業は林業で、水力を利用して盛に製材をなし、又紙パルプ・マッチ等の林産加

ゲリバラの鐵鑛は夏はルレオから冬はノルウェーのナルビクから英國等へ輸出する

面の凍ることなく、北緯七十度の地に、ハンメルフェストの漁港もあるが、バルチック海の諸港は、冬季數ヶ月の間凍結する。極北地方の夏は、晝が數ヶ月に亙つて、夜半でも太陽が見られ、冬は之と反し、數ヶ月に續く長い夜となる。

産業 スウェーデンの一部には、農業も行はれ、又ダン・ネモラ・ゲリバラ等の鐵

主要都邑 人口(萬)
 ストックホルム 五
 ゲテボルグ 三
 オスロ 三



てめ極の路水や橋り跨り上島のく多でムルホクトスは上解圖
 いよが景風し遠發く深奥の灣峽でロスオは下るあで町い多

都邑 スウェーデン
 の 首府 ストックホルム
 は、メーラル湖の口に
 臨み、景色のよい港市
 で、西部のゲテボルグ
 は、国内第一の商工都
 市である。ノルウエーの
 首府オスロは、峽灣の
 奥に發達した港市で
 ある。

第二節

デンマーク

Denmark (丹抹)
 附 アイスランド
 Iceland (氷洲)

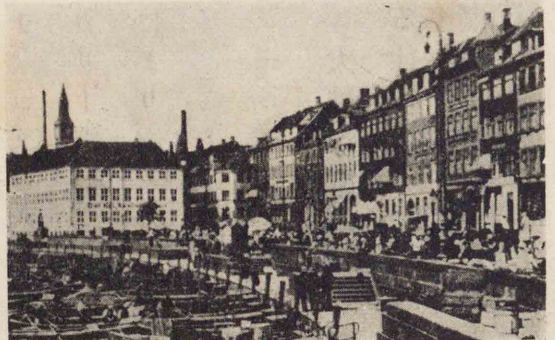
デンマークはユトランド半島の大部と、多くの島々から成る。氣候が濕潤で、冬の寒氣は稍強いが、土地の利用が進み、農村組織がよく整

面積 約四〇〇方
 人口 約三五萬

輸出額の大部は畜
 産で殊に牛酪は過
 半を占める

面積 約二萬方
 人口 約二萬

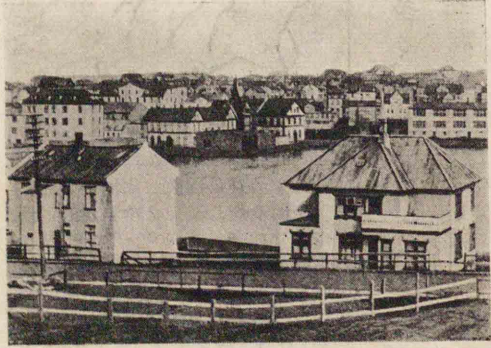
コペンハーゲン
 七萬



るあてつ集が船に處此く多が路水 ンゲーハンペコ解圖



時の名残を留め、又大戰の結果、國境を擴げた。首府コペンハーゲンは、バルチック海の口を扼し、古くから重要な商港である。アイスランド 大西洋の北部に位し、活火山や間歇泉が多い。デンマーク王を君主に戴く獨立國で、ライキヤビクはその首府である。



街市な應相不はに島離の地寒 クビキイラ解圖

つて、農業、牧畜が盛
 に行はれ、家畜、牛酪
 煉乳等の輸出が甚
 だ多い。
 政治は立憲王制
 で、昔は北歐に覇を

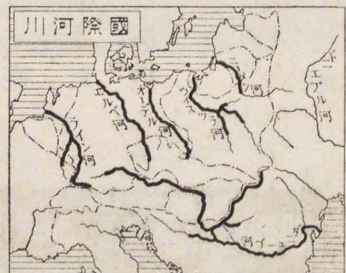
面積 約三九萬方
人口 約三三萬
南境の外に天然の障壁を缺くことはこの國の興廢と大關係がある

第三章 中部ヨーロッパ

アルプ及びカルパチヤの山地から、北方バルチック海に至る地域で、ポーランド・ドイツ・オランダ・ベルギー・スイス・チェコスロバキヤ・オーストリア・ハンガリー等の諸國を含む。この中には内陸國も多く、國際河川又は鐵道により、海との連絡を保つてゐる。

第一節 ポーランド 附ダンチヒ

大戦後に再興した共和國で、住民はスラブ族のポーランド人である。往時は一大王國であつたが、露獨奥の三國に分割せられ、爾來久しく其等の抑制に服して來たが、終に舊領の大部を復し、獨立するに至つた。南境にはカルパチヤ山脈が連つてゐるが、大部分は平野で、麥類



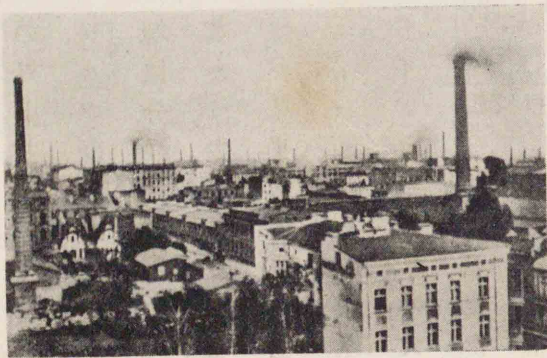
國際河川 各流てつ互に國數 川河際國詳圖
イラで河得し航通に由自が船の國
たつであれ夫が等河ブーニダ・河
の下はで今し増を數のそ後の戦大が
イドし併たつなと川河際國が流河六
たし告通を棄廢の約條川河近最はツ
河ルデーオ 河ンイラ 河ブーニダ
河ンメーニ 河ベルエ 河ラツス、ウ

クラカウに近いウィリッカの鹽層は四百米に及ぶ處があり又岩鹽層中に地下都市がある

主要都市 人口(萬)
ワルソー 一六
ロツ 六

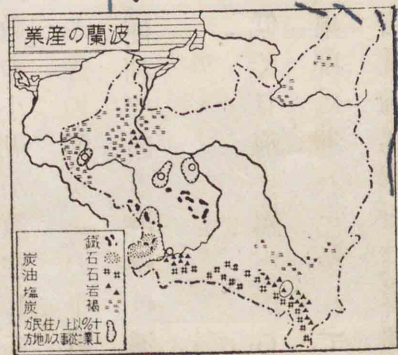
面積 約四七萬方
人口 約六七〇萬

ダンチヒ自由市は面積約一八九〇方
料、人口約四一萬



解圖 市ツロ 綿・毛・麻の等機地織綿は殊に盛にあ

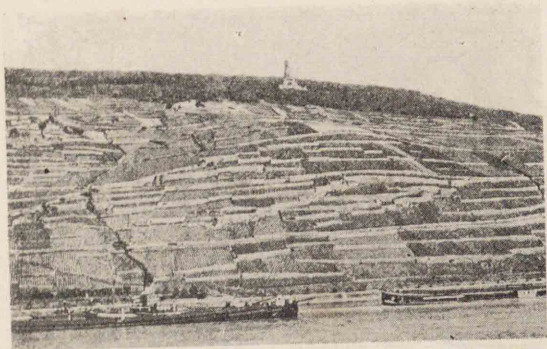
馬鈴薯・甜菜等の農産に富み、林業牧畜も行はれる。南部の山麓地方は、石炭・岩鹽・石油・鐵等の鑛産が多く、クラカウの附近には、岩鹽の大産地がある。工業は紡績機業等が頗る盛で、ロツはその中心である。首府ワルソーは、ウヰスツラ河に跨り、交通



商工業の要地で、ポーゼンは農産物取引の中心である。
ダンチヒ もとドイツの港市であつたが、大戦後獨立の自由市となり、その一部は、ポーランドの海口として使用されてゐる。

第二節 ドイツ Germany (Deutschland) (獨逸)

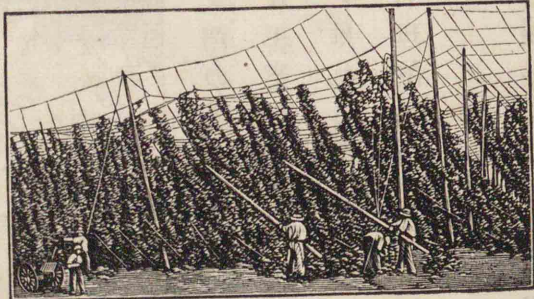
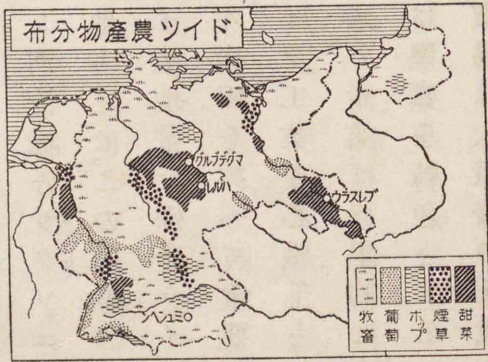
地形 この國は、地形上、南(高イツ)北(低イツ)の二部に分れ、南ドイツは、國境に連るアルプ山脈



園葡萄解圖
るゐてい續く廣しなを段階らか岸河ニイラ

ある。山林は南ドイツに多く、その經營は世界の模範といはれ、木工業も盛である。鑛産は大戦の結果、鐵(シレシヤ)、石炭の大産地を失つたが、尙其等の豊富な産地があつて、岩鹽、加里等

豚の飼育が盛である。釀造が盛んで、その産額は世界第一である。山麓や臺地では、乳用の牛、山羊等を多く飼ひ、北部では



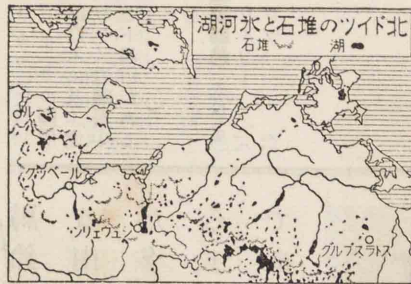
園ブホ解圖
るす供に用造釀のルービシ乾を花はブホ

和な地方である。

産業 農業は一般に進

んで、盛に麥類、馬鈴薯等を耕作し、北部は甜菜糖の大産地で、ライン流域には葡萄園が多い。南部はホップ、煙草等を植ゑ、又ビール

ドイツはリトワニア・ポーランド・ダンチヒ・オーストリア・スイス・フランス・ルクセンブルグ・ベルギー・オランダ・デンマークと境を接してある。

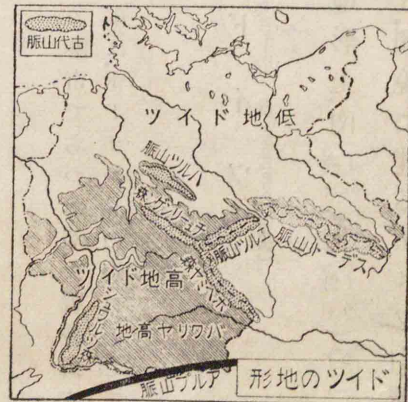


湖河水と石堆のツイド北
の流下てせ載を石岩は河水 石堆河水解圖
と石堆を之るて捨に處たけ融のそび運に地
が石堆たれば運に代古はにツイド北 ふい
い多が湖小たへ溝を水に陰のそしなを丘小

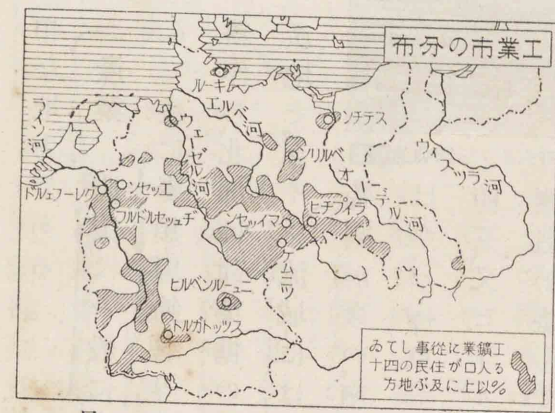
堆石による起伏があり、その間に無数の小湖が散在してある。ライン・ウーゼル・エルベ・オーダー等の河がこの平野を流れ、運河もよく整つて、舟運が頗る便利である。海岸は遠浅で、砂嘴や潟が列んである。

氣候 南部は土地が高く、北部は低く且海に臨むから、南北の氣温には著しい差はないが、東部に進むにつれて大陸性に傾き、西部のライン河流域と北海沿岸とは、最も温

の外、主として古代山地(ハリスカ)で、それがシュワルツ・ボヘミア・森ハルツ山脈等の地塊に分れ、且割合に低いから、交通を妨げることは少い。この山地とアルプ山地との間に、バワリア高地と呼ばれる盆地があり、ダニューブ河がその衆水を集めて東流する。北ドイツはヨーロッパ大平原の一部で、氷河の

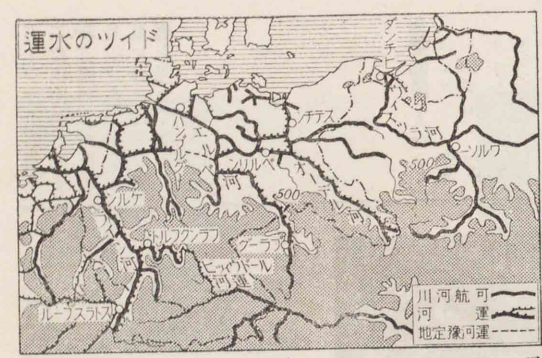
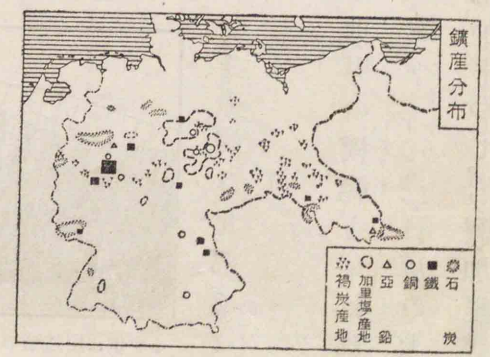


ドイツの水力は餘り多くはないが利用率の大きいことは世界第一である



と共に、工業上重要なものである。その他褐炭は到る處に産し、銅、鉛等の産額も少くない。鑛産の豊富と、科學教育の進歩とは、相俟つて著しく工業の發達を促し、製鐵を始め、織物機械及びビール、砂糖、染料、藥品、肥料等の化學製品を出すことが甚だ多い。ライン河流域とサクソニア地方とは、この國の二大工業地帯で、殊にライン河の下流地方は、ルール炭田を控へて重要な工業市が甚だ多く、ドイツ工業の心臓部といはれる。要するにこの國の産業は、科學的に合理的に行はれて、製品は堅實を特色とする。

貿易は大戦後の悲境を脱して、著しく盛況



を呈し、主に食糧品原料品を輸入して、鐵化學製品機械等を輸出する。我が國へも、染料その他の化學製品機械類等の輸出が頗る多く、ハンブルグとブレーメンとは、その二大門戸である。

交通 河川運河の水運が甚だ便利な上に、鐵道も世界有數の發達をなし、航空路は殆ど全歐洲に通ずる外、大西洋を横斷する南米線もある。商船は大戦の爲に、その多くを失つたが、近年著しく回復して、續々優秀船の建造を見るやうになつた。

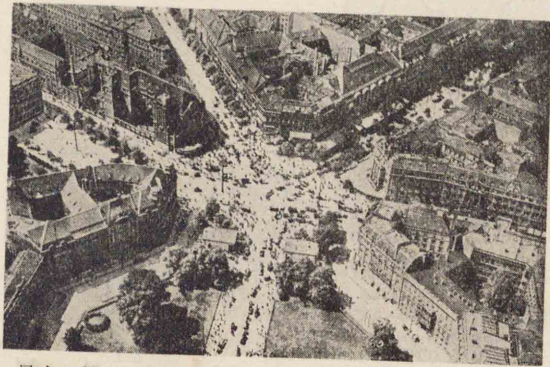
住民政治 住民の殆ど全部はチエートン族で、大部分は新教徒であるが、南ドイツには舊教徒が多い。着實勤勉で堅忍の美風があり、教育の進歩は著しく、世界學術の淵藪といはれ、ドイツ語は學術語として廣く用ひられる。

政治は聯邦制の共和國であるが、著しく中央化して、殆ど總統の獨裁である。大戦前には、本國に約六倍する領土を持つてゐたが、悉く之を失ひ、本國に於いても、七萬方呎に餘る土地を削

ドイツは十四州と三自由市から成る聯邦國であつたが最近之を二十二の縣に分け總統が政權を握つてゐる

主要都邑 人口(萬)

ベルリン	四〇
ハンブルグ	二三
ケルン	二〇
ミュンヘン	一七
ライプツヒ	一五
エッセン	一四
ドレスデン	一三
ブレスラウ	一〇
フランクフルト	九
デュッセルドルフ	八
ハンノフェル	七



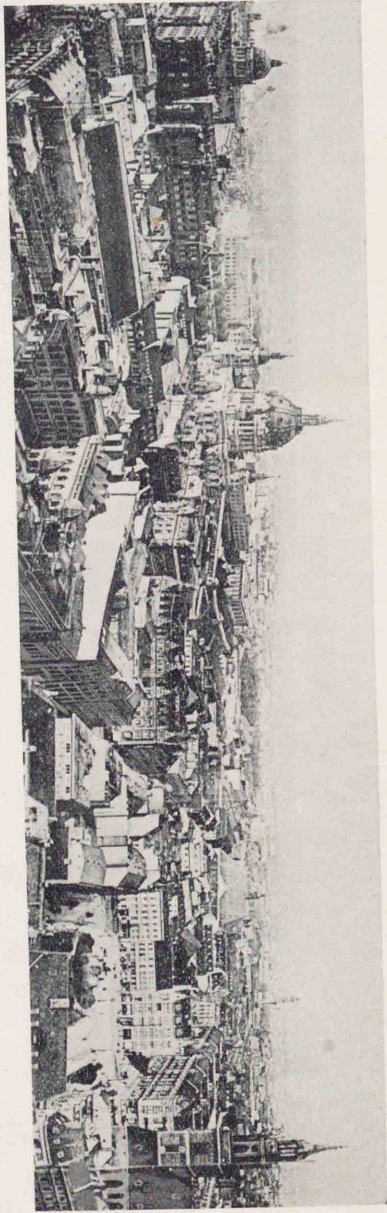
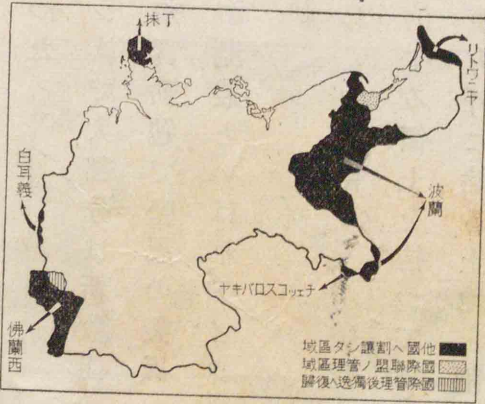
景光た見らか中空を部央中の市街市のンリルベ

られ、軍備・産業等にも、著しい制限を加へられ、その上多額の賠償金を課せられて、一時は窮迫の極に陥つたが、不撓の國民性を發揮して、頽勢の回復に猛進し、今は國力も充實して、再び軍備を擴張し、國際的地位も著しく高まるに至つた。

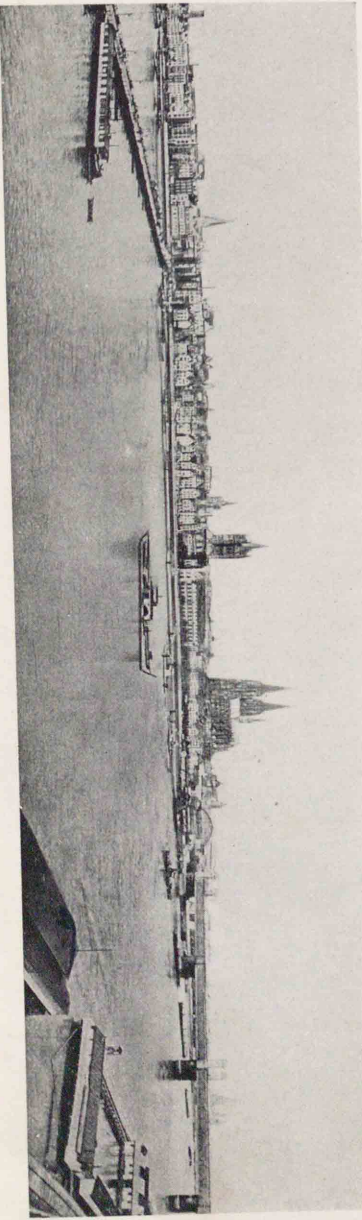
都邑

ベルリンは
Berlin (柏林)

この國の首府で、政治、經濟及び交通等の大中心である。街衢は壯重を極め、名高い大學があつて、世界學術の府といはれる。西南のポツダムは、名高い離宮のあつた處である。Magdeburg は製糖業の大中心で、Stettin は造船業が盛に行はれる。エルベ河畔のハンブルグは、ブレーメン・リューベック



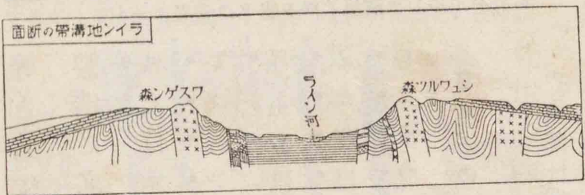
觀大のンリルベ
るあで宮王舊は左のそ院寺大はつ峙く高に方左でのもたし望展を部要



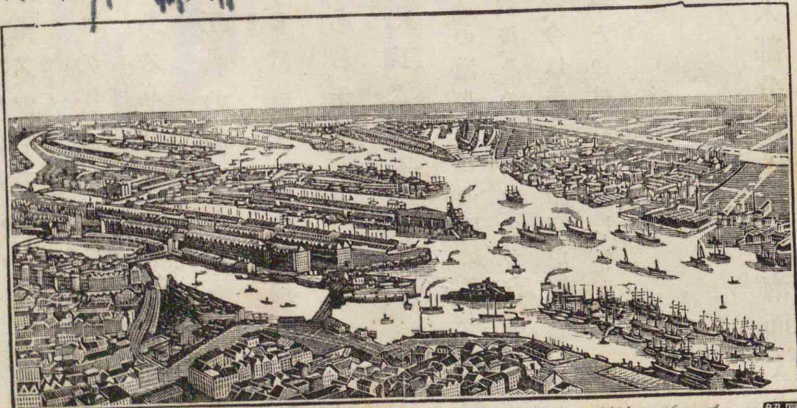
院寺はつ峙く高が塔尖のつ二び並が物建な大壯で都大最の畔河ソイラ



地心中一の業工學化で港河む臨に河ンイラ トルフクンラフ解圖



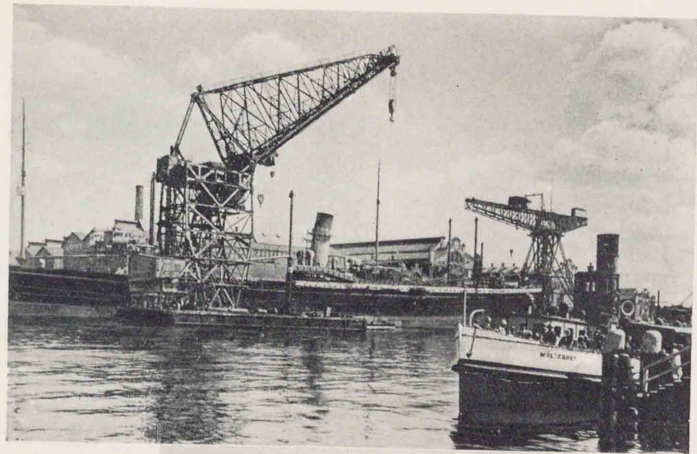
ライ
ン
河
の
上
流
は
、
ラ
イ
ン
地
溝
帯
を
流
れ
、
中
流
は
沿
岸
の
處
々
に
、
古
城
址
が
残
つ
て
風
景
を
添
へ
、
峽
谷
美
に
名
高
い
處
で
あ
る
。
こ
の
下
流
に
は
エ
ッ
セ
ン
（
鐵
製
）
、
ケ
ル
ン
（
織
績
）
、
フ
ル
ド
（
工
業
毛
）
、
グ
レ
ッ
（
織
績
）
等
の
盛
大
な
工
業
市
が
多
い
。
ケ
ル
ン



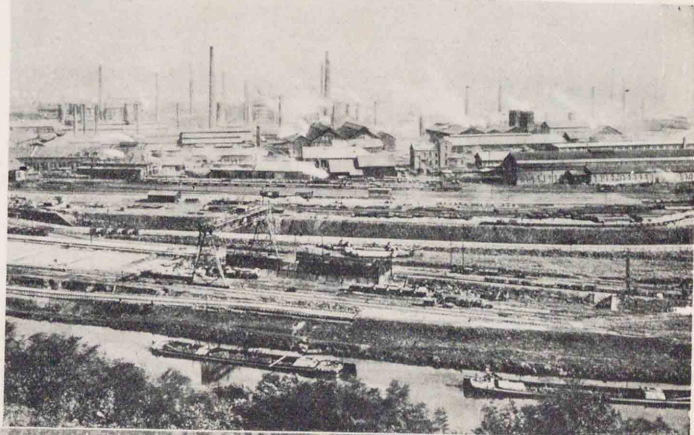
い多が入出の船舶てし備完が設施び並が機重起や渠船の數多 頭埠のグルブンハ解圖

ス
ツ
ッ
ト
ガ
ル
ト
三
ニ
ユ
ー
ル
ン
ベ
ル
三
ケ
ム
ニ
ツ
三
ヒ
ケ
ー
ニ
ヒ
ス
ベ
ル
三
マ
グ
デ
ブ
ル
グ
三
ブ
レ
ー
メ
ン
三
ス
テ
ー
チ
ン
三
キ
ー
ル
三

と共に、古くから名高い商港で、築港の設備は、世界の模範といはれる。キールはキール運河の一端に當り、造船工場がある。



キール港
大戦後の衰勢を挽回し近年再び造船を主とした工業が盛大となった



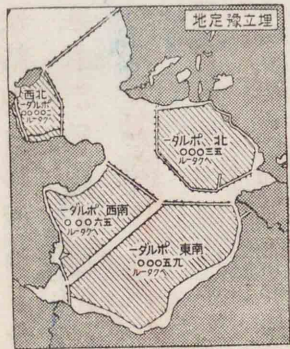
ザール工業地
聯盟の管理を脱してドイツ領に復し炭坑・産鐵地・製鐵所等が多い



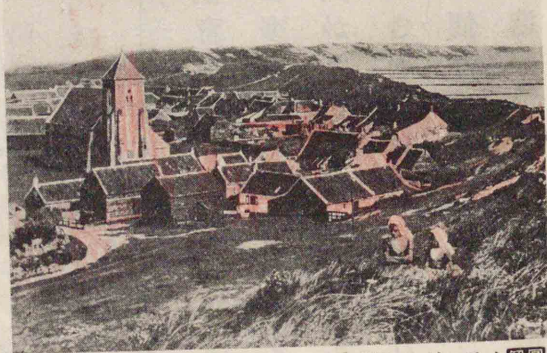
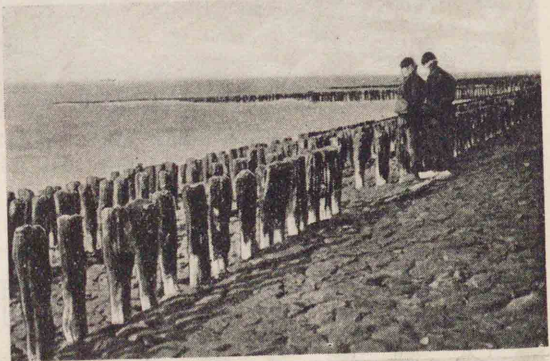
ブレスラウ
シレシヤ地方の中心で交通の要地を占めオーデル河が市を貫流する



新築ポルゴ 一年前まで漫た海をたつたが、今では難破の船二隻と地陸きの如き図は底沈んで海がたつた。現に爲した干波を水海がたつた。底沈んで海がたつた。現に爲した干波を水海がたつた。



防ぎ、蒸氣機關や電力
又は風車によつて、滯
水を排出してゐる。ラ
イン・マース・シヘルト等
の河が、數多に分れて
此處を流
れ、縦横の
運河排水
渠が之と



オランダの岸の工事 岸の工事 岸の工事 岸の工事 岸の工事 岸の工事 岸の工事 岸の工事 岸の工事 岸の工事

氣候産業 氣候は概々温和である
この國では湖海の干拓事業が大規模に行はれ、その出來た新陸地をポルダールと呼ぶ。ゾイデル海は年々面積を縮小し、ポルダール化せられつゝある。

満潮時には四割近くが海面下になる
オランダの國名ネーデルラントは低地の意である

面積 約三萬四千方
人口 約七五萬



阿姆斯特丹の街並み 街並み 街並み 街並み 街並み 街並み 街並み 街並み 街並み 街並み

地勢 國の殆ど全部が平野で、海岸地方の大部分は、土地が海面よりも低いから、天然の砂丘と人工の堤防とで、海水の浸入、河水の氾濫を

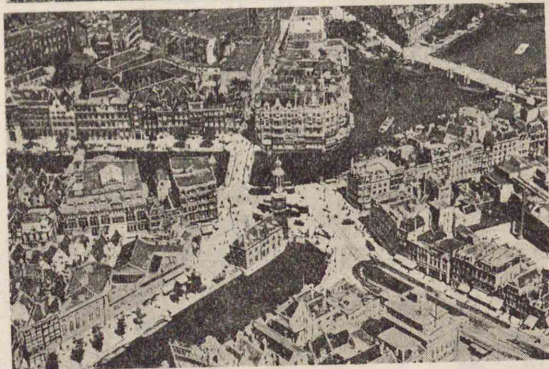
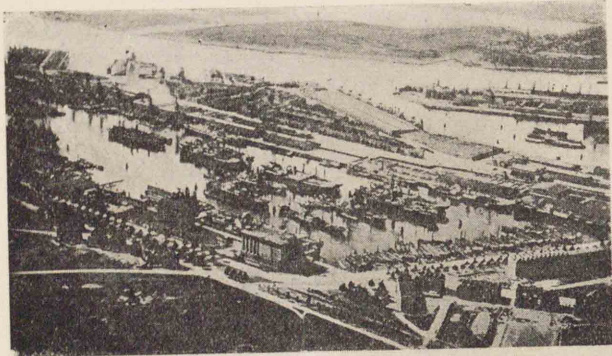
第三節 オランダ

Holland (Netherlands) (和蘭)

兩國は率先して防共協定を結び、世界の平和と安寧との爲に提携してゐる。

等と共に、主要な商工都市である。スツットガルトは製造に名高く、ミュンヘンはビールの大産地で、ニュールンベルヒは木工業(鉛筆の産地)が盛である。サクソニヤ地方のドレスデンは、風景の秀麗と美術工藝の發達とで名高く、マインツは織物工業の中心である。オーデル河上流のブレズラウは農産畜産の市場で、又工業が盛である。

日本との關係 我が軍事學術技藝等の進歩は、この國に負ふ所が頗る多く、今も留學する者が少くない。大戰後その領土であつた南洋群島の大部は、我が委任統治地となつたが、今は彼等の國交が極めて密で、

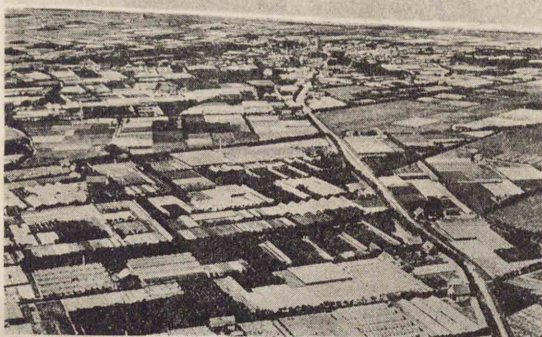
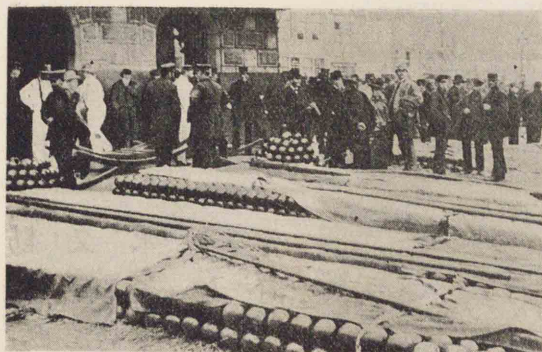


アムステルダムは上図に示す通り、運河が縦横に走り、船商の多くが碇泊する。

主要都邑 人口(萬)
 アムステルダム 五五
 ロッテルダム 四五
 ハーグ 四五
 德川時代の初期に紅毛人といたのはオランダ人のことである

國民性と相待つて、頗る發達してゐる。貿易は中歐に對する門戸に當り、通過貿易が甚だ盛で、人口の割合に、貿易額が極めて多い。
住民政治 住民の多數はチユートン族で、その密度はベルギーに次ぐ。概し新教を奉じ、勤儉で潔癖の風がある。國民は永く海に苦しめられたが、之が爲に早く海事思想が發達し、廣く東西に雄飛して、一時は世界の海上權を握るに至つた。今は昔時の勢はないが、尙マレー諸島の大部を始め、本國に六十倍する廣い領土を持ち、立憲王制を採り、女王を戴いてゐる。

都邑 ハーグは閑雅な都會で、政治上の中心をなし、國王の宮殿及び萬國仲裁裁判の開かれる平和殿がある。アムステルダムは北海運河に



上図は乾酪の取引市場の中畫のそのものがあれ、乾燥子張の室温を空から下見した光景。

は、乳牛の飼育が盛で、牛酪、乾酪等の輸出が甚だ多く、又盛に園藝を営み、その花卉園が、紅紫絢爛の美觀を呈する。鐵を缺き、石炭に乏しく、水力の利用にも不便な爲、工業には適しないが、製糖、醸造等が行はれ、又造船は、

が、霧が多く、快晴の日は極めて少い。東北部は冬の寒氣が稍強く、運河は凍結して橈道となる。農業の發達と、收穫率の高いことはベルギーに次ぎ、麥、馬鈴薯等の産が多



面積 約三萬方軒
人口 約八〇萬



女の賣乳牛解圖 地方の盛はに役力に犬に使にす

臨み、名義上本國の首府で、金剛石細工と造船とで名高く、ロッテルダムは國內第一の商港である。

日本との關係 我が國とは、徳川幕府の初期から通商を開き、鎖國時代にも、西洋の事情を紹介し、博物・醫學等の進歩を促し、一時オランダといふ語は、西洋の意味に用ひられるに至つた。現時の關係はさまざま密でないが、領土の東印度とは、經濟關係が甚だ深い。

第四節

ベルギー 附 ルクセンブルグ
Belgium (白耳義) Luxembourg

地勢 地形は極めて單調で、東南の一部は丘陵性の山地であるが、大部は平野で、マース・シエルトの兩河が、此處を流れてゐる。

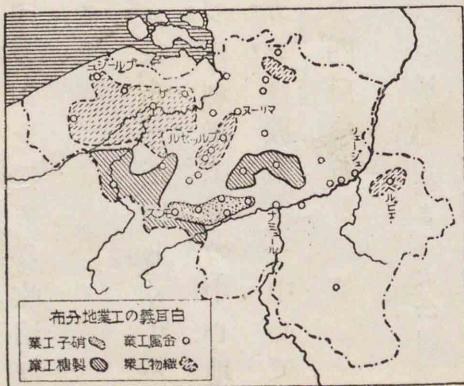
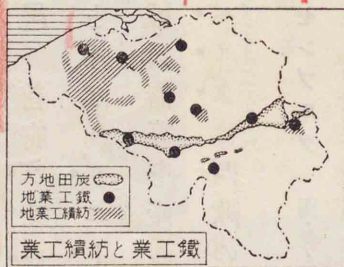
氣候産業 不生産地が少い上に、氣候が溫和で、耕作がよく行届き、麥類・馬鈴薯・甜菜・亞麻等を産し、收穫率の高いことは、世界第一といはれる。乳牛の飼養も甚だ盛で、乳製品の産も

紡績業はブルセルよりガン・アンベルスに至る低地に盛である



造製のスーレ解圖 多に婦人につよに職內的行にる

多いが、この國の生命は、豊富な鐵・石炭による工業で、製鐵・製鋼を始め、機械・硝子等の製造が大いに發達し、歐洲屈指の工業國である。西部では製糖・紡績・機業等が盛



に行はれ、又婦人の手工によるレースは、世界獨歩である。貿易も極めて盛で、主として鐵・石炭・板硝子等を輸出し、食糧品・原料品を輸入する。河川・運河の水運が發達せる上に、鐵道の密度は世界第一で、國內の交通は甚だ便利であるが、海運は多く外國船による。

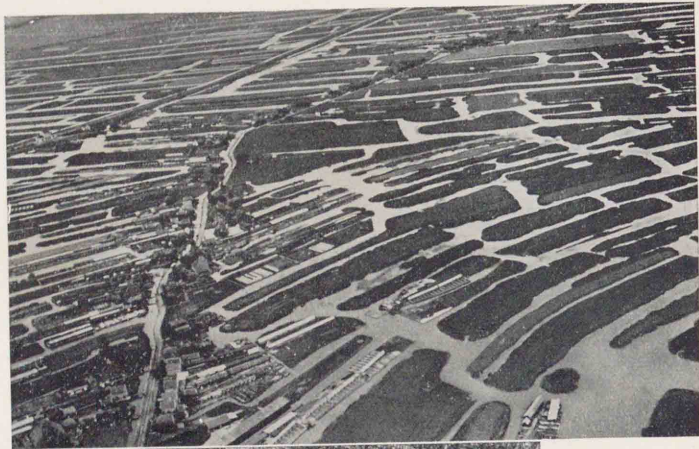
住民政治 この國は、チユートン族とラテン族との接觸地で、北部と南部とは民族が違ひ、言語も異なるから、公用には

フレミング人は
チートン族とケ
ルト族との混種で
ワイルン人はラテ
ン族とケルト族と
の混種である

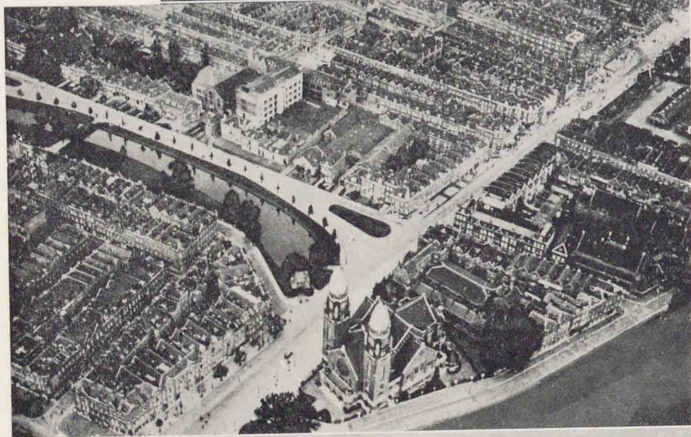
コンゴはもとベル
ギー王の管理に属
する獨立國であつ
たが明治四十一年
に之を本國に合併
した

主要都邑 人口(萬)
ブルセル 六三
アンベルス 六三

ルクセンブルグは
面積約二五九〇方
軒、人口約三〇萬



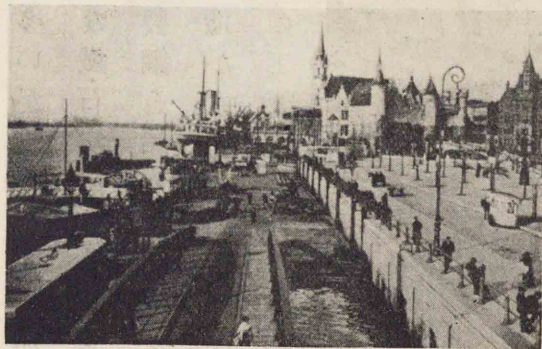
オランダの地貌
水の國低い國のオランダには排水
溝渠が網のやうに設けられてある



アムス
テルダムの大観
北海運河の爲に頓に盛となり商況
はオランダを凌ぐ勢がある



ブルッセル市の廣場
中世紀の建物が並んで金色が陽光
に輝き世界最美の廣場といはれる



【詳圖】アンベルスの埠頭、シエールの河岸の指示をもた

兩語(フレミッシュ語と佛語)を併用するが、宗教は共に舊教を奉ずる。人口密度は世界第一で、殆ど我が國の二倍に當る。

この國は強國間に挟まれて、古來屢戰場となり、ナポレオンの敗戦地として名高いワロロも此處にある。大戰の際にも、ドイツ軍に蹂躪されたが、講和の結果、國境を東方(モネネオイペ)に擴げ、アフリカの一部を委任統治地とした。又アフリカの政治は、以前からこの國の領土である。政治は立憲王制を採つてゐる。

都邑 首府ブルッセルは、市街が麗しく、小バリーと呼ばれ、リエージュは製鐵工業の中心地で、機械兵器等を産し、ガンは機業の一中心地、アンベルスは西歐の大門戸である。Anvers (Antwerp) (安士府) 獨佛白の三國間に挟まる大公國で、同名の首府がある。域内に鐵の産が多い。



モントレー近郊の街市景 光風の畔湖ブーネジュ

面積 約四萬一千方
 人口 約四〇萬
 スイスはドイツ・オーストリア・イタリヤ・フランスの間に挟まる旅客の消費する金額は年々二億圓に達すると云ふ

地勢交通

スイスは諸強國の間に挟まる小國で、その面積は、我が九州と殆ど等しい國の南半はアルプ山地に屬し、西北

にはユラ山脈が連つて、その間に臺地を挟んでゐる。

アルプ山脈には、モンテローザ・マッテルホルン等の高山が聳えて、壯大な氷河を懸け、地質時代の氷蝕による

ジュネーブ・バーゼル・チューリッヒ・ボローネ等の湖水が、鏡の如くその間に散在してゐる。此等の風物は、優麗な

都市と相待つて、風景が絶佳な上に、高山性の氣候は、療養にも適するもので、世界の各地から保養・遊覽等の客が集り、その散財は、本國の一財源となつてゐる。従つてホテル・登山機關等の施設を完備し、觀光客の招致に意を注いでゐる。

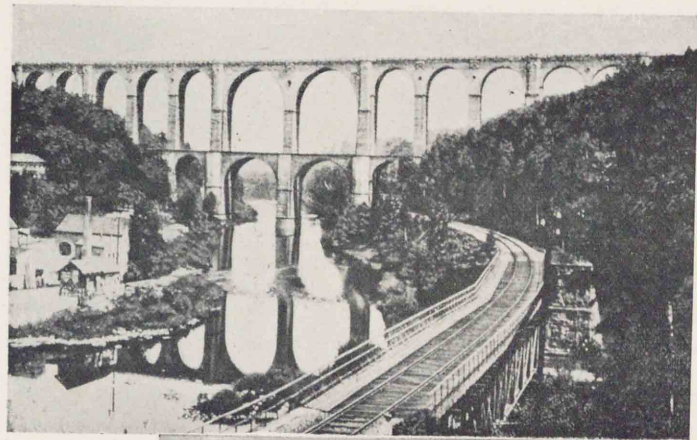


山岳の雄姿をうやうやしく鑑みたる人々の總觀は、マッテルホルン銀鑿のやうな鋭いふたふたの打感の高崇に

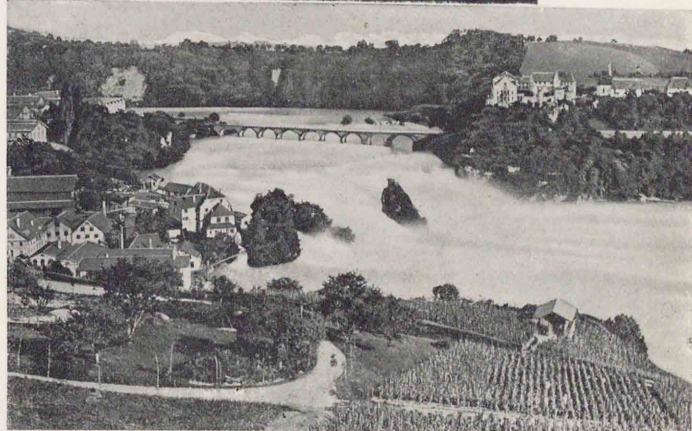
第五節

スイス

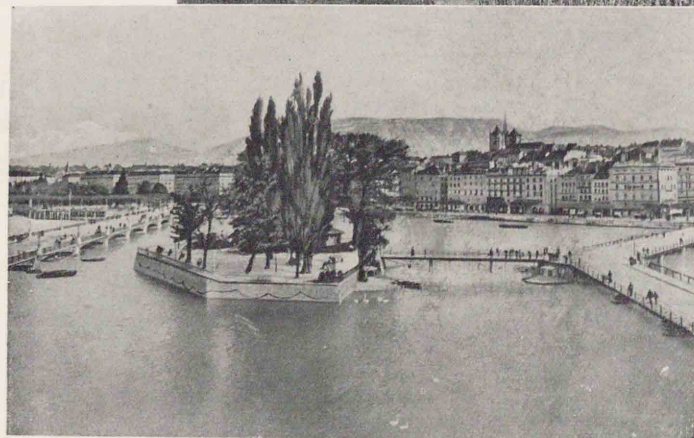
Switzerland (瑞西)



スイスの鐵道
 上を走る汽車があれば下を通ずる鐵道があり二段三段と重つてゐる



ライオン瀑布
 シェフハウゼン附近の光景で都人の別荘が多く近景は葡萄園である

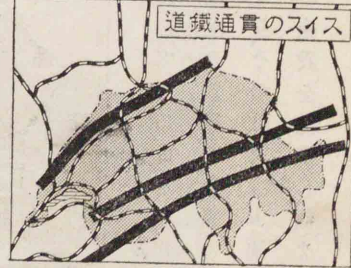
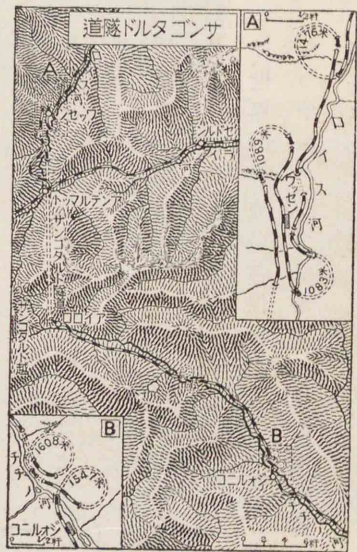


ジュネーブのモンブラン橋
 ジュネーブ湖の落口に架り遙にモンブランの白雪を望み風景がよい

山地が多
く、交通
は極めて
困難であ
るが、位
置の關係
上、



山腹の狭い傾斜地を利用して牧場

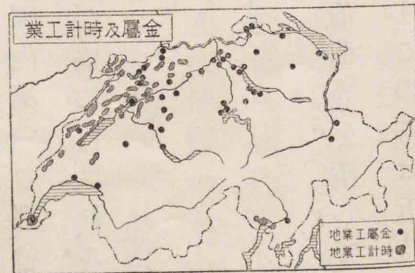
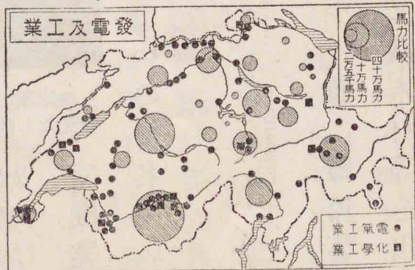


道隧	1915	1920	1925	1930
(スイス) ロンシ	—	—	—	—
(上) ドルタゴナ	—	—	—	—
(上) シンプロン	—	—	—	—
(ス) ストラスブル	—	—	—	—
(ス) ストラスブル	—	—	—	—
(本) 日本	—	—	—	—

古來南北兩歐の重要な通路となり、今はアルプ横斷鐵道も數線あつて、シンプロン・サンゴタルド等の、大隧道を通ずる處もあり、登山用の電車や索道もよく整つてゐる。

産業 耕地は狭いが、高原地方には小麦・燕麥・馬鈴薯等を産し、山麓湖畔等には葡萄を栽ゑ、又廣い林地があつて、木工業(器具)が發達し、山腹や谷地には、牛羊の牧畜が行はれて、乾酪・煉乳その他乳製品の産出が多い。工業も水力を

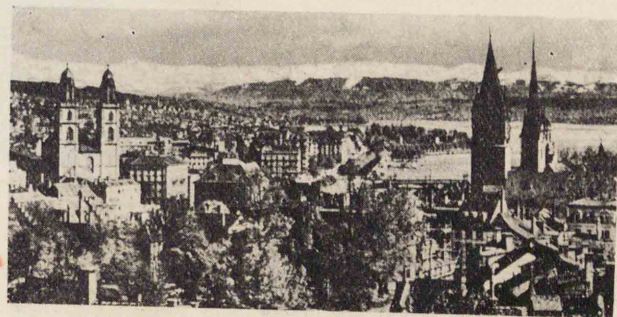
利用して盛に行はれるが、地形の關係上、粗大な製品の輸送に不便な爲、織物(メリス・モスリ、ボン等)・化學製品・金屬製品等の精巧品を主眼とし、殊に時計の製造は、世界に名聲を博してゐる。貿易は他國を經由する不便はあるが、盛に工藝品を輸出して、食糧品原料品を輸入する。



住民政治 住民の大部はチュートン族のドイツ人であるが、フランス人・イタリア人も多いため、公用にはこの三國語が併用される。教育はよく普及し、勤勉力行の美風に富む。この國は列強間の緩衝地帯として、夙に局外中立地となり、國際事業の中心となることが多い。政治は聯邦共和制で、軍備の要は殆どない。

都邑 首府ベルン(Bern)は、時計製造の一中心で、萬國聯合郵便電信事務

主要都市 人口(萬)
 チューリヒ 二五
 ベルン 二



らから湖で市ヒリューチは(●) ブーネヅとヒリューチ(●) 景光たし瞰俯らか空上をブーネヅは(●) 都美る擴に陵丘

ツェルンは、眺望がよいので名高い。

第六節

オーストリア

Austria (奥地利)

リヒテンシュタイン

面積 約八萬四千方
 人口 約六萬

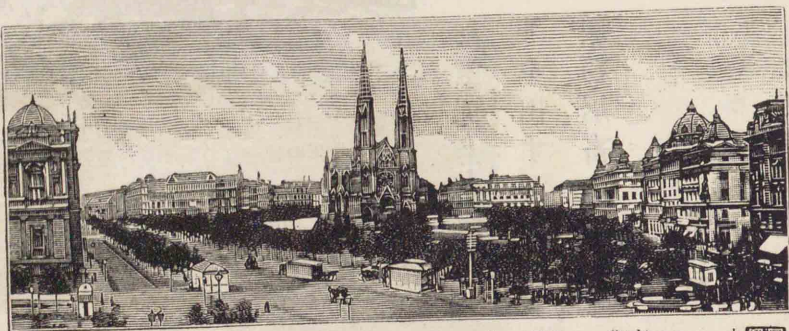
大部はアルプ山地に屬し、耕地が少く、僅に馬鈴薯、葡萄酒を産して、葡萄酒を造る。牧牛も處々に行はれ、又鐵、木材等を出す。この國は近時

面積人口共に舊時の約八分の一に減じた

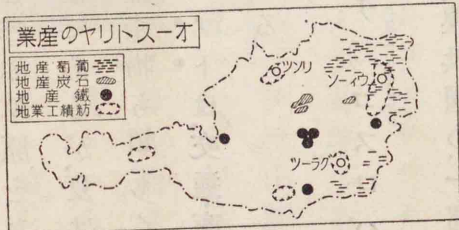
ウィーン 一七七萬

リヒテンシュタインは面積約一五九方
 秆、人口約一萬

面積 約九萬三千方
 人口 約六九萬



るあで會教は塔尖の景近で會都な麗華るれば偲が昔の國奥大 街市のン、ウ



地に發達した古い都會で、市街の壯麗、風俗の華美なので名高く、織物、美術品等を産する。

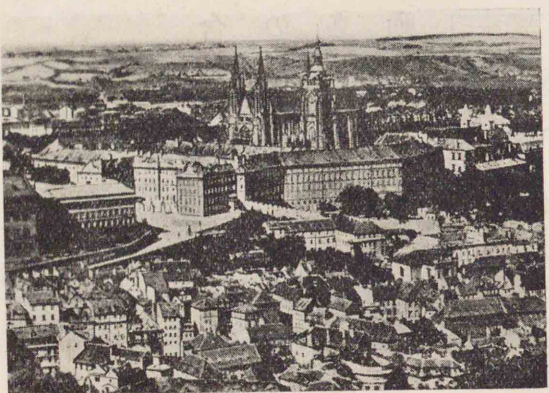
リヒテンシュタイン オーストリアとスイスとの間に挟まる小侯國である。

第七節

ハンガリー

Hungary (匈牙利)

主要都邑 人口(萬)
 プライーグ 五
 プリューン 三六



古町の古建築物や美しい公園が多

古町の古建築物や美しい公園が多
 古雅な都會で、風景もよく、この地を中心として、硝子・陶器等の精巧品を出す。西部のカルスバードは、著名な温泉都市である。

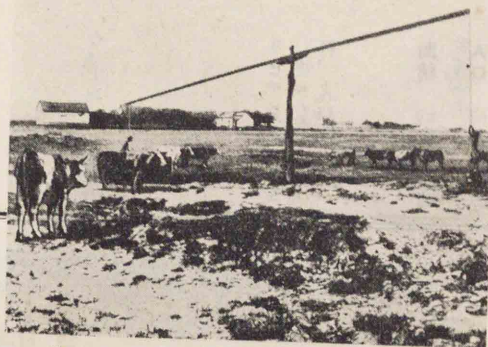


大戰後に獨立して、共和國となつた。住民の大部は、スラブ族に屬するチェック人とスロバク人とである。
 國の西部には、ボヘミヤ盆地があつて、エルベ河が此處を流れ、東部にはカルパチヤ山脈が連つて、その麓に平野がある。氣候は稍、寒い。が、麥類・馬鈴薯・甜菜・葡萄・ホップ等の農産が多く、石炭・鐵等は處々から産し、西部にはラヂウム礦を出す處がある。工業はボヘミヤ地方に盛で、紡織・製糖・ビール醸造等が発達し、ピルゼン(ルビーン)・ブリン(物織)等は主要の工業都市である。首府プラーグは古雅な都會で、風景もよく、この地を中心として、硝子・陶器等の精巧品を出す。西部のカルスバードは、著名な温泉都市である。

舊ドイツ領の一小部分をも含む

面積 約四萬方
 人口 約四三萬

ブダペスト 二〇〇萬



圖解 風景の地方ダヌブ 景光の地方ダヌブ 景光の地方ダヌブ 景光の地方ダヌブ

大戰前までは、オーストリアと聯合し、共同の君主を戴いてゐたが、大戰中に革命が起り、マジール族(アジ族)の住地のみが現在の小王國となつた。國の大部はハンガリー平原に屬し、ダニューブ河が此處を貫流する。雨量が少く、一部はプスタと呼ぶ草原をなし、馬・牛・羊等の牧畜が盛であるが、夏は雷雨に恵まれ、玉蜀黍・麥類等の農産物も頗る多く、又葡萄・甜菜等を出す。首府ブダペストは、交通・商業の要地で、製粉・屠畜等が行はれる。

第八節 チェッコスロバキヤ
 Czechoslovakia

この地は近時まで、奥洪國の一部であつたが、



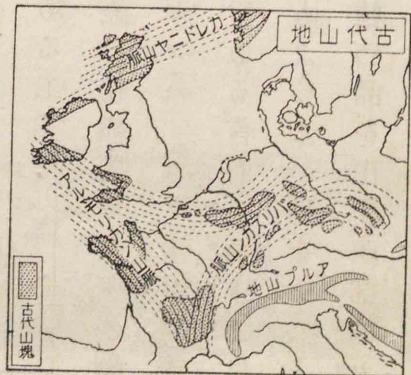
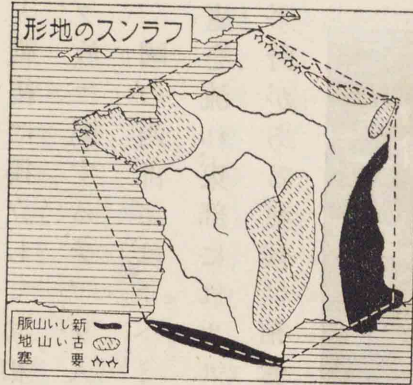
圖解 岸右はダブ 岸左はトスベと呼ばるる吊橋の左端に大物は宮であ

第四章 西部ヨーロッパ

大陸と大西洋との接觸地で、英佛の兩國を含む。この地方は、古い山脈が錯雜するが、南部の外には高峻な山地はない。海岸には良港が多く、且その大部が天然資源に恵まれ、經濟活動の盛な地方である。

第一節 フランス 附 モナコ

地勢 この國の輪郭は、略六角形をなし、その三面は海に臨み、三面は他國と境を接する。東南境にはアルプ山脈が連つて、モンブランを始め高山が多く、その北にユラ山脈がある。西南境にも、高峻なピレネー山脈が連つてゐる。



面積 約五萬方軒
人口 約四二二萬

るが、東北部には天然の障壁がない。内部には、稍、南に偏して中央臺地と呼ばれる古い地塊があつて、多くの死火山を戴き、その東側は急斜して、ローヌ河の谷となり、西北は半島部に丘陵を残す外、大部は平野となり、ガロンヌ・ロアル・セーヌ等の河川が此處を流れる。

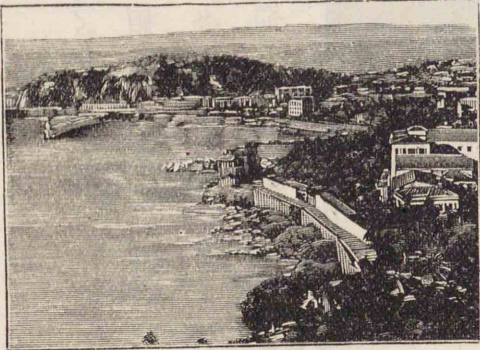
海岸線は割合に單調で、北方にはノルマンディー・ブルターニーの兩半

島が、斷崖をなして突出し、ビスカヤ灣岸は、砂丘の發達が著しく、地中海面には、リオン灣が彎入し、東南の海上にコルシカ島がある。

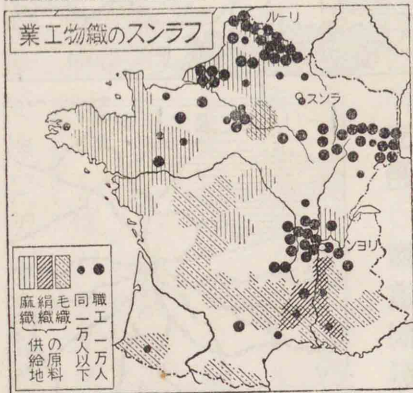
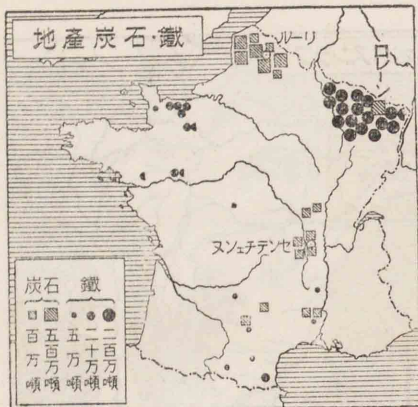
氣候 西部は暖流の影響を受け、溫和で雨量が多い。地中海岸は更に暖で、冬も霜雪を見ない。殊に背後に山を負ふ東部の海岸は、避寒地として名高く、ニースやモナコは、冬の歡樂郷となつてゐる。

地中海は所謂地中海式氣候で夏は高温で乾燥し冬は雨量が多くて溫暖なを特色とする。

コルシカ島はナポリオン一世の生地
でイタリヤ語が用ひられてゐる。



氣候が適快で冬は保養客の集する

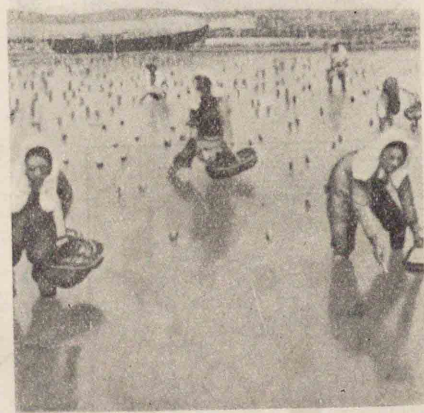


鑛産は鐵石炭を主とし、大戦の結
果、更に其等の大産地を得て、益、産額
を増した。工業は東北の炭田地方に
最盛で、綿、毛、麻等の織物を多く産し、
製鐵、造船等も處々に行はれる。美術
工藝は本國の特色で、パリーの化粧
品、裝身具等は、世界的に名高い。

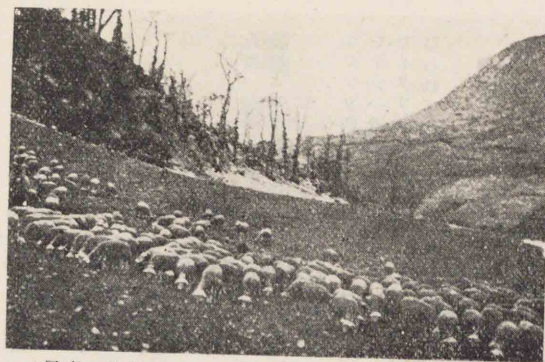
工業は未だ英、獨
白等に及ばない

絹絲産額は今は少
くなり多く輸入に
仰ぐ

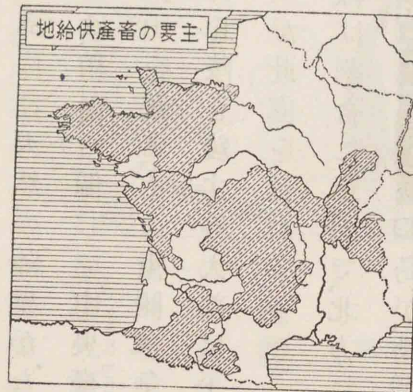
1. (地方)等は、その集散地である。ローヌ
河谷の養蠶は、昔の如く盛でないが、リヨ
ンの絹織業は、歐洲第一といはれる。中央
臺地及び北部地方には、牧畜が行はれて、
乳製品及びフランス革の名産を出し、西
海岸には、鱈、鯖等の漁利が多く、又牡蠣の
養殖が盛である。



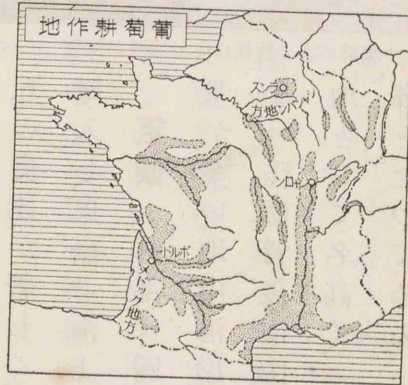
景光の岸灣ヤカスピ 場殖養の蠣牡



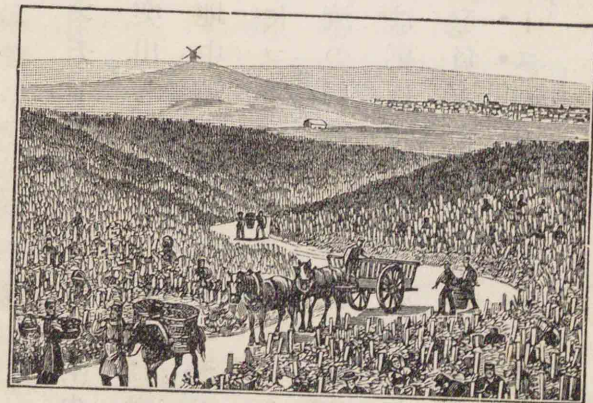
景光の羊牧るけに臺高央中 場牧



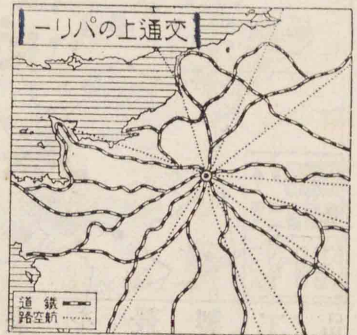
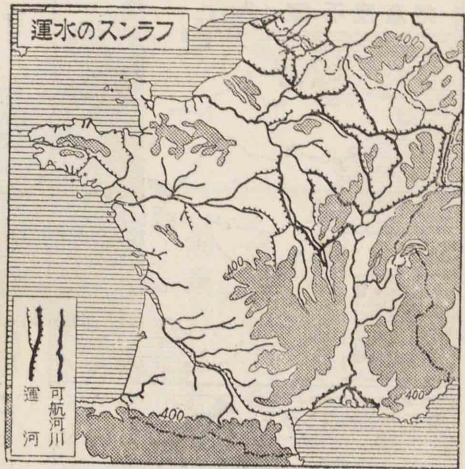
には、オリ
る。地中海岸



ブ、柑橘類
等の果實
を産し、ノ
ルマンデー半島からは苹果を出す。
葡萄園は北方の一部を除いて、殆ど全
國に擴がり、葡萄酒の醸造が甚だ盛
で、品質も優れ、ランス(シヤンパ)・ボ
ルド



るあて園葡萄て總は陵丘で景光るけに方地部南 園葡萄

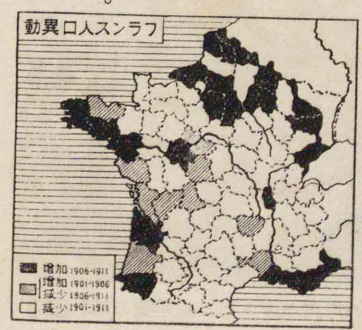


交通 鐵道網がよく發達し、パリは歐洲に於ける大幹線の集中點となつてゐる。河川は大小の運河と共に、交通の便がよく、海上航路は廣く世界の要地と通じ、航空路網も極めて密で、アジア・アフリカに於ける植民地より、遠く南米へも通じてゐる。

貿易は各種の織物及び化學製品鐵等を輸出して、原料品、食糧品等を輸入し、マルセイユ、ボルドー、ルーブルは本國の三大商港である。我が國は生絲羽二重等を賣り、機械類、染料等を買入れる。

最近二回の人口調査期間に於いて國民の増加率が低く、最近二回の人口調査期間に於いて毎年平均一千人中五・四人の減少を示した。

住民 住民の大多數はラテン族であるが、邊境にはチュートン族や、原住のケルト族も住んでゐる。ラテン族は舊教を奉じ、文化の程度が高く、殊に美術文藝に長じ、又その言語は流暢で、廣く社交上、外交上に用ひられる。都人士の一部は、稍、浮華に流れる傾もあるが、一般には勤儉貯蓄の美風を有し、外國に投資する金額は少くない。



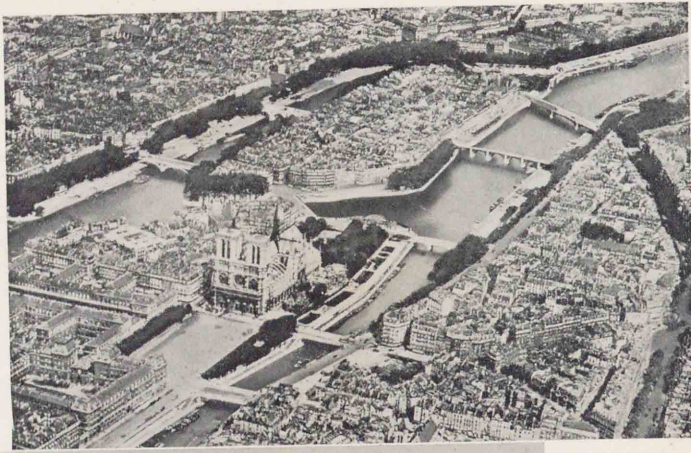
主 要 領 土		
(む含を地治統任委・地護保)		
アジヤ	佛領印度支那	佛領印度
アフリカ	アルゼリヤ	チュニス
アフリカ	サハラ	佛領西アフリカ
アフリカ	カメルン	佛領赤道
アフリカ	トーゴ	佛領赤道
アフリカ	マダガスカル	佛領赤道
アフリカ	ギヤナの一部	西印度の一部
アフリカ	ニールカレドニア	ポリネシアの一部

政治 國民は熱情に驅られ、理想に走り易く、昔から國體の變革が屢行はれたが、普佛戰爭以後は共和制を採り、今日に及んでゐる。軍備は海陸空共に頗る強勢で、空軍は殊に傑出してゐるが、ドイツとの宿怨は、この國の癌である。海外領土が甚だ廣く、本國の二十三倍に達し、更に大戰の結果、前に失つたアルサス、ロレーンを回復して區域を擴げ、又ドイツ、トルコ等の舊領土中、この國の委任統治地となつた處も多い。併しこの國の領土は、不生産地が大部分を占め、且國民の持久心に乏しい爲か、植民政策は餘り成功してゐない。

主要都邑	人口(萬)
パリ	2,900,000
マルセイユ	800,000
リヨン	600,000
ボルドー	500,000
ニールス	300,000

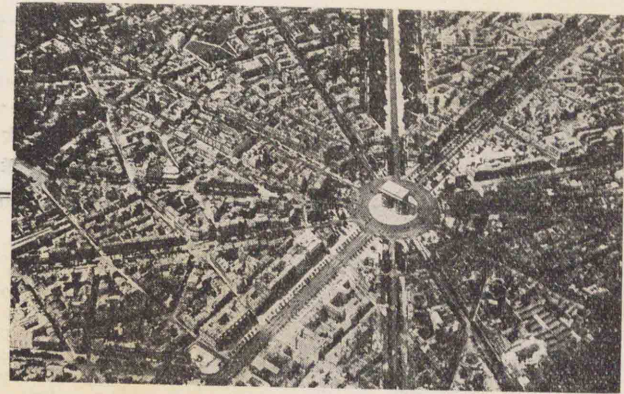
都邑 首府パリは、パリ盆地の中心にあつて、セーヌ河に跨り、政治・商工業の要地で、美術文藝の中心となつてゐる。もと防備に便利

パリ市の下殿
市の中心部であるセーヌ河中の島
でノートルダム寺院が人目を牽く

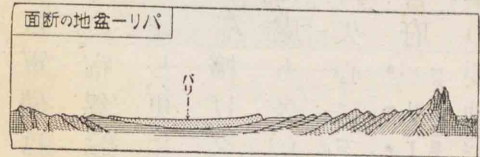


パリーの展望
見渡す限り壯麗な建物に埋められ
遙にエッフェル塔が高く峙つてゐる

パリーの市街
美都の名ある市内で殊に清麗だと
いはれるシャンゼリゼー街の光景



瞰俯のーリパ 凱門を心中に二十の路道が放射して
る



な河中の島を中心として、發達膨脹したもので、
道路の整備は、都市計畫の模範とされる。著名
な建物(ノートルダム寺院、エッフェル塔、ルーヴル博物館、大劇場等)が甚だ多く、市街の華
麗なことは、世界無比といはれる。市に近いベ
ルサイユには、建築の宏壯
と、林泉の美とで名高い
宮殿がある。北部は本國
第一の工業地帯でリ
ル(綿毛麻等)ルアン(綿織)ナンシー(鐵製)
等の工業市が多い。ルアーブルは
この地方の門戸に當り、東北のダンケルクと
共に、主要な商港である。西南のシェルブル、ブ
レストは、共に軍港である。
ロアーヌ河の口に近いナントは、砂糖の取



埠頭のードルボ 河口から約百軒に位の洋航船航湖の終點

ルアーブル港
セーヌ河の河口に發達しパリ盆地の門戸として繁盛を極めてゐる



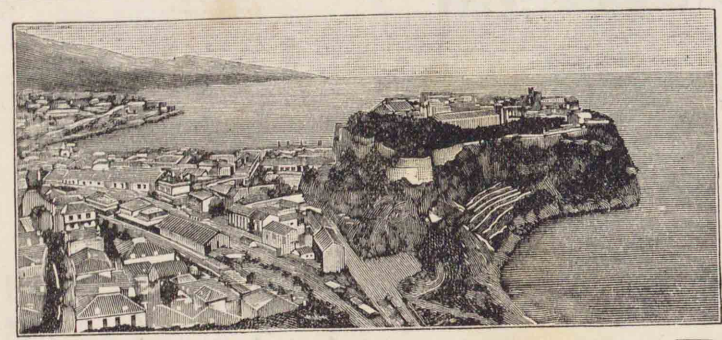
リヨンの下瞰
ローヌ河が市内を貫き水運と鐵道の便を兼ねた交通市で又大商工市



マルセイユの埠頭
壯大な棧橋に多數の船が幅濶し地中海の大港たる面目が現れてゐる

メッツの附近から
岩鹽を出す

モナコの面積は僅に一方半で人口も二萬五千に過ぎないが自國發行の郵便切手があり貨幣・電信は佛國と共通である



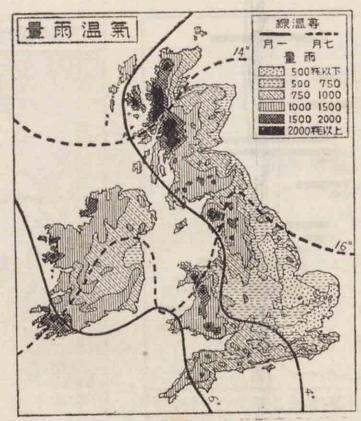
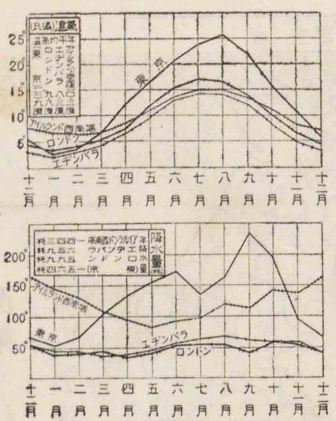
コナモ(摩納哥)の國の要部の全部を左方に一の見えのるモナコカトル

引が行はれ、ガロンヌ河に沿ふボルドーは、葡萄酒の大市場で、その輸出が多く、ローヌ河畔のリオンは、内地交通の要地に位し、又絹織業の中心である。地中海岸のマルセイユは、この國第一の商港で、ツィロンは主要の軍港である。

東部のアルサス地方には農産が多く、ストラズブルはその中心市である。ロレーンは鐵の大産地で、この邊にはメッツ、ベルダン等の國防上重要な都市が多い。

日本との關係 明治維新後に於ける我が軍事學藝等の進歩は、この國に負ふ所が頗る多く、今も學藝殊に美術研究の爲に、留學する者は少くない。又經濟上の關係も頗る密で歐洲に於ける我が蠶絲の最大輸入國である。

モナコ フランスの東南境にある小公國で、大戦後は事實上フランスの支配下にある。一種の賭博を公許し、その税金が主要の財源である。氣候が溫和で、風景も勝れ、保養・遊樂の地として名高く、又有名な海洋博物館がある。



ロンドンで快晴の日は一年間平均十日を超えないと云ふ。

をなし、シャンノン河がその中を流れる。海岸は出入に富み、且河口は、多く三角江をなして良港を造り、スコットランドの西岸には、多数の峽灣が連続してある。

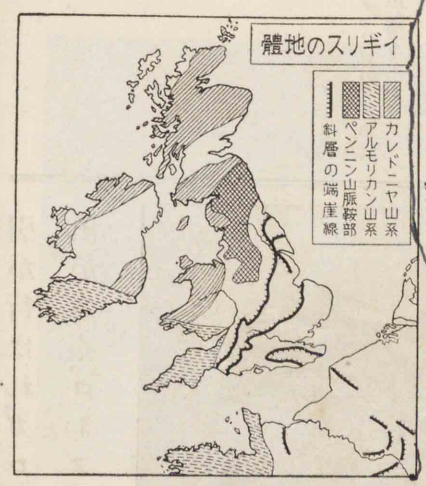


湖に氷が溶ける例一の水湖るよに融氷(上) 山スピネンベと湖融氷(解) 湖に氷が溶けるにあに部北のドンラトコスタ(下) いよが景風で(湖ドンモ) るあてしなを状弧な緩は頂山に爲の融氷で山スピネンベ

く、快晴の日は極めて稀である。

氣候 位置は我が樺太の北境線よりも北にあるが、海流・風向等の関係により、氣候が溫和で、海岸の凍ることはない。西岸には雨量も相當にあるが、一般に濕潤で霧が多

BAB



氷蝕の爲に高山はなく最高のペンネビス山も一千二百四十餘米に過ぎない。

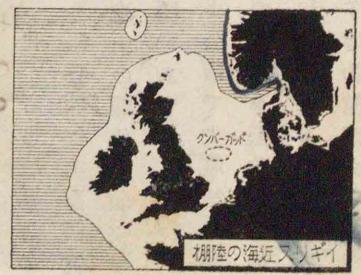
面積 約三萬方呎
人口 約四百萬
右の内アイラランド自由國は面積約七萬方呎、人口約三〇〇萬

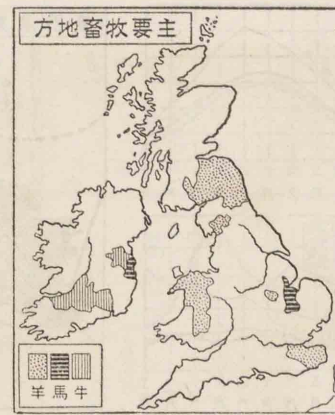
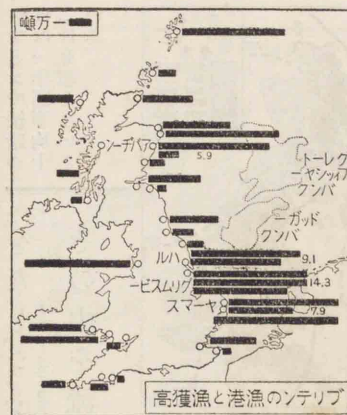
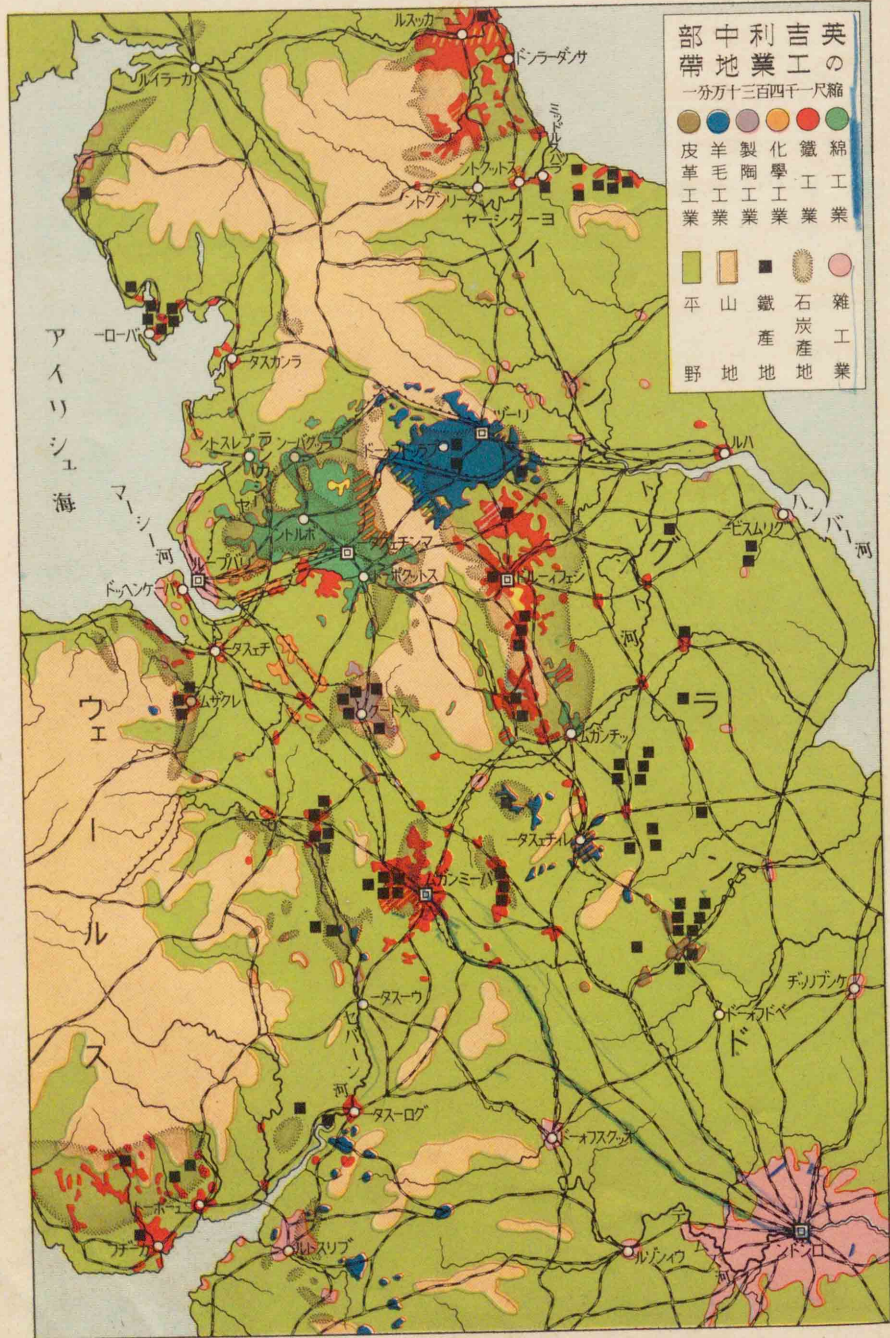
第二節 イギリス (英吉利)

English

地勢 イギリスは、地質上の近代に、大陸から分離したもので、浅い陸棚の上に位し、大ブリテン・アイラランドの二大島と、數多の屬島から成る。大ブリテン島は、イングランド・ウェールズ・スコットランドに分れ、アイラランドは北アイラランドとアイラランド自由國とに分れる。

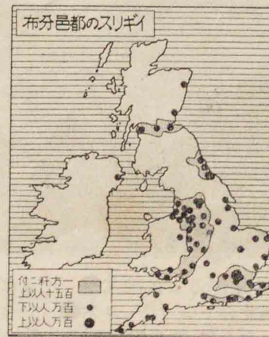
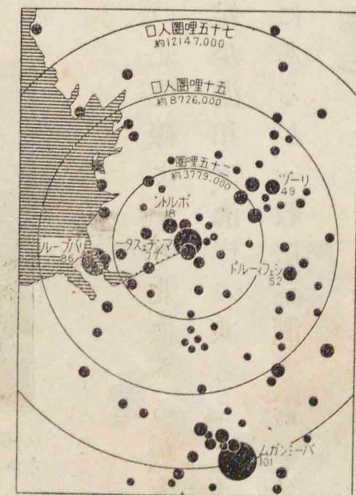
二大島には、古い山地に屬する低い地塊が多い。大ブリテン島の北部では、東西に横ぎる一帯の低地によつて北部高地と南部臺地とに分れ、北部には景色のよい氷蝕湖が多い。中部にはペンニン山脈が連つてゐるが、東南部は佛白に連絡する波狀の平野をなし、ティムス・ハンバー・セバーン等の諸川が此處を流れる。アイラランドは周邊に丘陵を繞らして、盆地状

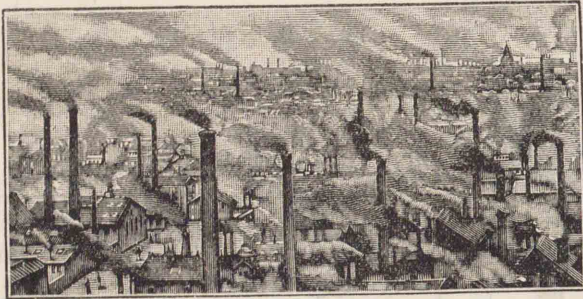




産業 往時は農業も行はれたが、商工業の發達につれて、農民は鋤犁を捨てて都市に集中し、田園は荒廢して、牛羊等の牧場となり、僅に麥類、馬鈴薯等を出すも、食糧品は多く海外から供給を仰いでゐる。アイルランドでは、今も農牧を主業とし、その産物を大ブリテンに送る。北海には廣い陸棚があつて、鯨、鱈等の漁獲が多く、東岸には漁港が連つてゐる。

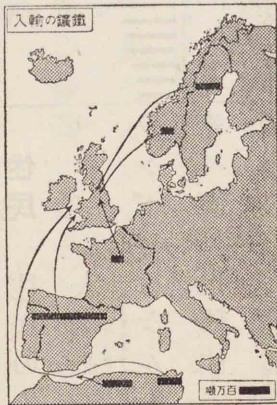
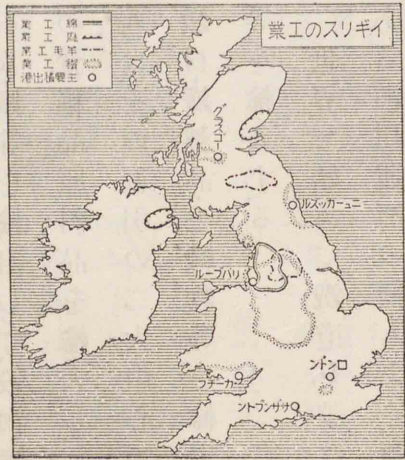
石炭鐵の産出は、全盛を過ぎた感はあるが、尙世界屈指の産地で、石炭は自國工場の原動力となる外、盛に海外に輸出し、鐵礦は炭田と近接して出るので、早く製鐵業が發



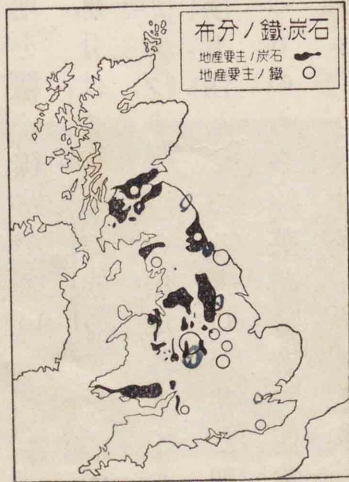


黒煙が濃く一面を被る 工業地帯の光景

達し、その原料
鑛石を輸入する額も
少くない。製



の盛大につれて、機械・刃物・船舶等の製造も盛に行はれ、又綿毛等の織維工業は、世界獨歩とい

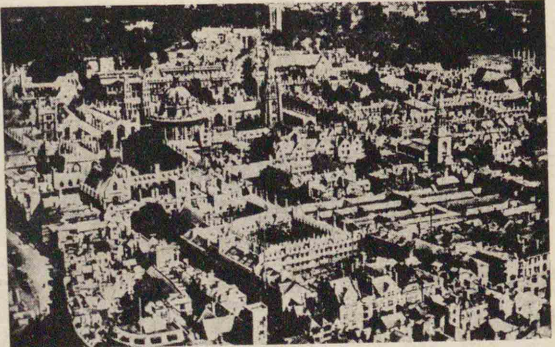


はれる。イングランドの中部は、此等の工場が最も多く、煤煙が常に天を被ひ、黒郷と呼ばれる。工業が盛大な上に、廣い植民地を持ち、通商上に極めて便利な位置を占めるので、貿易は大いに發達し、盛に綿織・毛織機械等の製造

主 要 領 土
(委任統治地を合む)

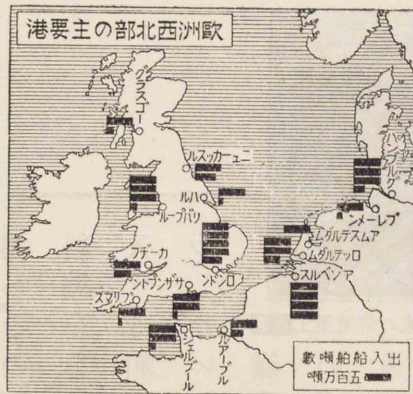
南 米	北 米	ア フ リ カ	ヨ ー ロ ッ パ	大 洋 洲	ア ジ ヤ	
ギヤナー一部 バハマ諸島 英領ホンジュラス カナダ 地方数所 セントパウル島 セントヘレナ島 セントクリストファー島 セントピエール島 セントジョンズ島 セントトーマス島 セントビンセント島 セントルシア島 セントキッツ島 セントパウル島 セントヘレナ島 セントクリストファー島 セントピエール島 セントジョンズ島 セントトーマス島 セントビンセント島 セントルシア島 セントキッツ島	英領ホンジュラス カナダ 地方数所 セントパウル島 セントヘレナ島 セントクリストファー島 セントピエール島 セントジョンズ島 セントトーマス島 セントビンセント島 セントルシア島 セントキッツ島	南アフリカ連邦 ケニア タンガンイカ 南西アフリカ(南アフリカ) ギネヤ	マルタ島 アイルランド自由国 ジブラルタル	濠洲聯邦 ニュージーランド フィジー 諸島 バプア一部 同上一部及び ニューブリテン諸島等(濠洲) サモア 諸島一部(ニュージーランド統治) ナウル島(ニュージーランド統治) ポリネシアの諸島	印度帝國 セロン ビルマ マレ地方 香港 ボルネオ一部 アデ ン パレスチナ	

政治 政治は立憲王制で、國號を大ブリテン北アイルランド合衆王 United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland と呼ぶ。アイルランドの一部は、北アイルランドと稱へ、本國の一部であるが、自治政府を有し、他の大部分は、アイルランド自由國と稱へ、自治植民地となつてゐる。この國は、早くから海外に植民地を擴め、十九世紀には、世界陸地の約五分の一を領有し、その版圖



觀壯たし瞰下らか空上の南西 學大ドー、フスクッオ 留圖

人情は稍、保守的といはれるが、教育はよく普及して、名高い大學が多く、オックスフォード、ケンブリッジは、大學都市として知られてゐる。教育の方針は、品性の修養に重きを置き、所謂紳士の養成を主眼としてゐる。

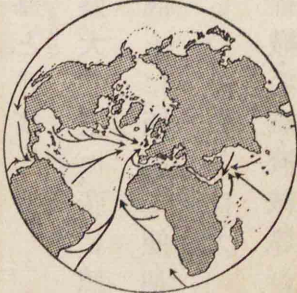


商 船 比 較

スウェーデン	デンマーク	ノルウェー	フィンランド	アイスランド	アイスランド	アイスランド	アイスランド	アイスランド	アイスランド
...

て大である。河川運河の便もよく、商船の噸數は、世界全體の約三分の一を占めて、世界の海上に活躍し、航空路網も甚だ密な上に、遠く植民地を繋ぐ線路が多い。

住民 住民の大部分は、チュートン族のアングロサクソン人であるが、大ブリテンの山地やアイルランドには、ケルト族も住んでゐる。人口が甚だ稠密で、海外に移住するものも多く、英語は廣く商業語として行はれる。チュートン族は多く新教を奉じ、



と球半水と球半陸を球地解圖 英は分部大の地陸とるけ分に 集に内球半たしと心中を國

主要都邑 人口 (萬)

ロンドン	四〇〇
グラスゴー	二〇〇
バーミンガム	一〇〇
リバプール	一〇〇
マンチェスター	一〇〇
シニフィールド	七〇
リーズ	六〇
エジンバラ	四〇
ベルファスト	四〇
ダブリン	四〇
ハリストル	三〇
ブラッドフォード	三〇
ニューカッスル	三〇
ボーンマス	三〇
カーチフ	三〇
プリマス	三〇

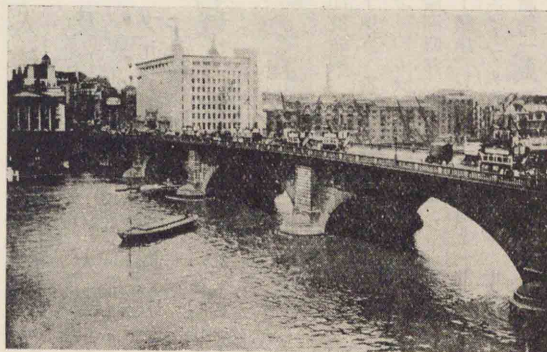
近接町村を加へた大ロンドンの人口は八二〇萬で世界第一である

ロンドン市の展望
中央を流れるのはティムス河で近く架つてゐるのはタワー橋である



ロンドン市の中樞部
正面は英蘭銀行、左側は株式取引所で前の廣場は道路の集點である

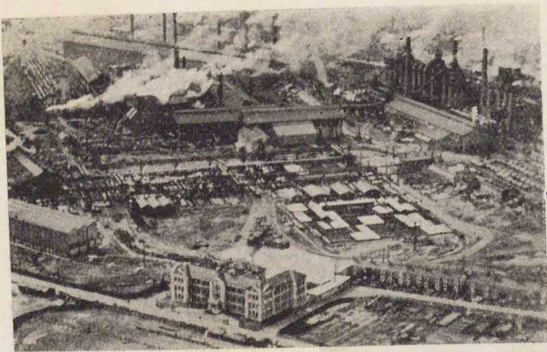
ロンドンの國會議事堂
ティムス河畔の偉観で塔の左にウエストミンスター寺の一部が見える



ロンドン市河はテムス河で橋はロンドン橋である

界の首位を占め、ポーツマス、プリマス等は、その重要な根據地である。
都邑 首府ロンドン(London)は、ティムス河の口に跨り、歐洲第一の大都會である。商工業交通及び經濟上の大中心で、船舶の輻湊、車馬の混雑、貿易の盛大なことは、ニューヨークと東西の覇を唱へてゐる。市内には名高い建物(バッキンガム宮殿、國會議事堂、博物館、英蘭銀行、ウエストミンスター寺、ロンドン塔等)が多いが、煤煙と濃霧(冬の候に)とは市の名物で、往々白晝にも點燈を

内には、太陽の没する時がないといはれてゐたが、更に大戰の結果、ドイツ・トルコ等の舊領土中、この國又はその植民地政府の委任統治地となつた處が少くない。この全領土を大英帝國と稱へ、英國王は即ちその皇帝である。陸軍常備兵は割合に少いが、斯る廣大な植民帝國の統治に、強大な海軍を要するのは當然のことである。海軍力は米國と共に世

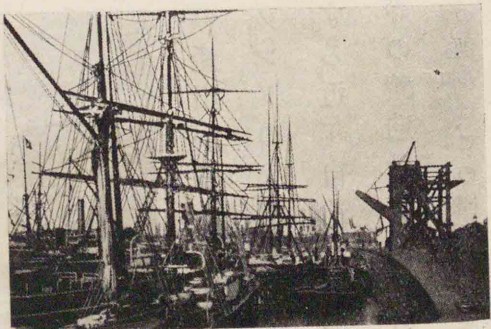


町は工場の煙煤に包まれたる

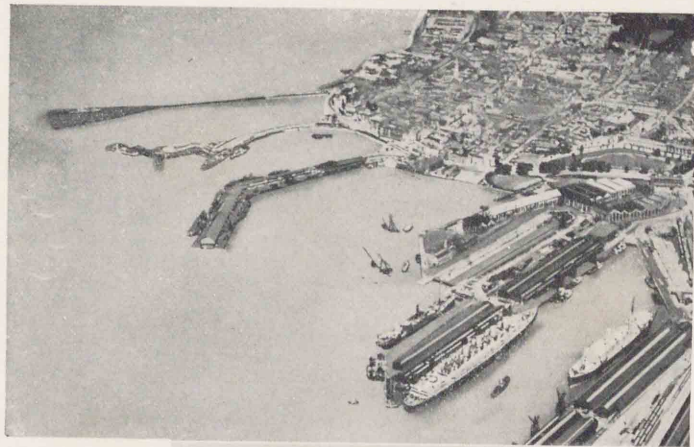
リパブール・マン
チエスター間の鐵
道は世界最古の
のである
ニューカッスルの附
近に有名なアーム
ストロング會社が
ある

要することがある。東南部のグリニチには、名
高い天文臺がある。イギリス海峡に臨むドー
バーは、大陸と連絡の要地を占め、サザンプト
ンは大西洋航路の集點である。ウールズのカー
ディフは、石炭の輸出港として名高く、金屬製
鍊も行はれる。

イングランドの中部には、各種の
工業市が多く、中でもバーミンガム
（工鐵）マンチェスター（工綿）は、共に世界工業市の白眉といはれ、その
他シエフィールド（物刃）リーズ（織麻）ブラッドフォード（上同）等も亦名高
い。リパブールはこの大工業地帯の門戸に當り、貨物の出入
が甚だ多く、マンチェスターとの間に運河を通ずる。東岸のニュー
カッスルは、石炭の輸出が多く、又造船が行はれ、ハルは漁業
の中心である。ミッドルズバラは鐵材の輸出が多く、製鐵工



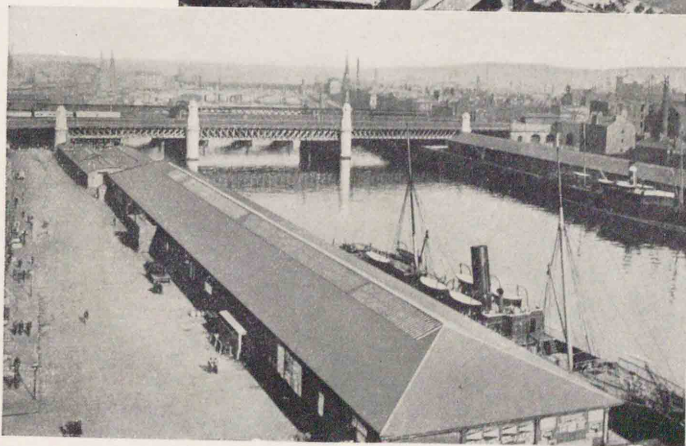
第一界世れま恵に田炭な質良富豊 フヂーカ
船送輸のそはるせ湊幅 るれはいと港出積炭石の



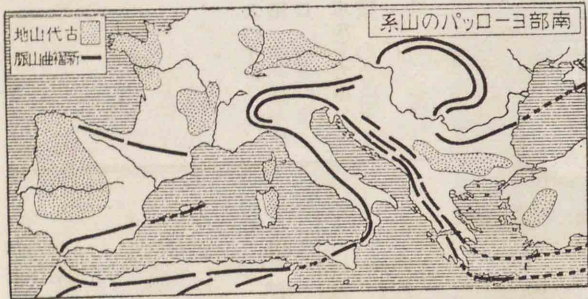
サザンプトン
大西洋航路の大集點で船舶が常に
輻湊し大造船所や大浮船渠がある



ニューカッスルの市街
炭田に圍まれ主要な石炭輸出港で
又造船製鐵等の工業も盛大である



グラスゴロ
商業的にも産業的にもスコットラン
ドの最大都市で造船は殊に名高い



頗る多く、英語は外國語の中、最も廣く使用される。嘗て我が國とは、攻守同盟を結んだことさへあつたが、最近我が商工業の躍進により、世界の市場に於いて彼我の利害が對立するやうになり、今次の支那事變にも、陰に陽に國民政府の抗日政策に左祖し、東洋の平和を妨げる如き傾のあるのは、甚だ遺憾である。

第五章 地中海地方

地中海に突出せるイベリヤイタリヤバルカンの三半島と、附近の島嶼とを含む地中海は、ユーラシヤとアフリカとを分ける一大内海で、アルプ山脈を盟主とする新しい褶曲山脈に抱かれ、アペニンアトラス(リアフ)シエラネバダ等の山脈は、西地中海を圍み、チナルアルプ、ピンドス等の山脈は、東地中海の北縁をなして、小アジアの山地と連絡する。此等の間には、古い地塊が、或は高原となり、或は島となつて處々に残つてゐる。

この地域の殆ど全部は、所謂地中海式氣候で、冬は溫暖で雨が多く、良好の避暑地であるが、夏は乾燥し、南部では稍高温に過ぎる處もある。この内海を繞つて古代の文明が生れ、中世までは、世界第一の通商路として活躍した



アイアランドの山村の風景 (Ireland village landscape)

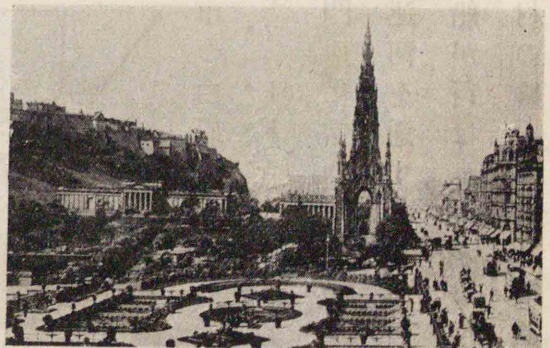
民はケルト族で、農牧を主業とする。近年自治植民地となり、首府ダブリンは、ウイスキー等の醸造が盛である。アイアランド自由國 アイアランドの大部を占め、住民はケルト族で、農牧を主業とする。近年自治植民地となり、首府ダブリンは、ウイスキー等の醸造が盛である。

日本との關係 我が海軍・學藝・産業等の進歩は、この國に負ふ所が

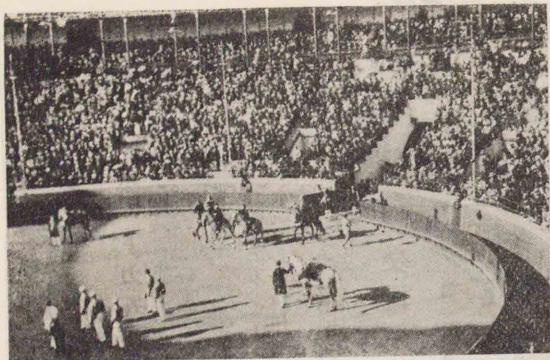
業が盛に行はれる。
スコットランドのエジンバラは、學術・文藝の中心地で、出版業が盛に行はれ、グライド河畔のグラスゴー、クライド



世界最大の麻工場 (Largest flax factory in the world)



エジンバラの街市から見た景色 (View of Edinburgh city from the street)



闘牛場の自由
の設がある

闘牛場の自由

地は雨が少く、牧羊を主業として、小麦・玉蜀黍等の農産もあり、地中海沿岸地方では、葡萄・オリーブ・柑橘等を栽培して、葡萄

酒・オリーブ油

等を産し、養蠶も行はれる。スペインは鐵・銅・水銀等の鑛産に富むも、

概外人の投資に屬し、鑛石の儘で輸出される。ビルバオは鐵鑛の積出港で、近年製鐵も行はれるやうになつた。工業は東部の紡織業が稍名高い。

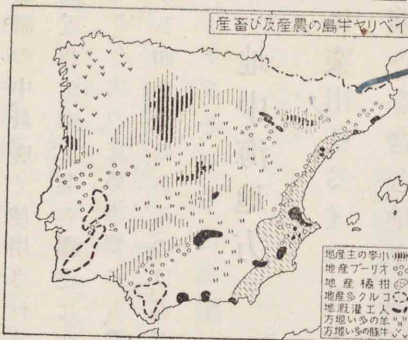
住民政治 住民の多くはラテン族で、射倅心が強く、闘牛の戯に熱狂する風がある。天恵に乏しい事情と、海外發展に適する地理的位置と、射倅的の性質とが相待つて、兩國民は



熟成した果実を打落して



コルク樹の皮を機械で断りて



スペイン
面積 約五百萬方
人口 約三六〇萬
ポルトガル
面積 約九萬三千方
人口 約六萬

地勢

スペイン・ポルトガルの二國

を含み、一大高原であるが、河川の侵蝕により、並行した山脈状をなしてゐる。

第一節 イベリヤ半島

Iberia

Gibraltar

Andorra



海岸は西北の一部がリヤス式をなす外、極めて單調である。氣候産業 西部は溫和で雨量も稍多く、コルク樹の森林が茂り、木栓の大供給地である。内

海岸は西北の一部がリヤス式をなす外、極めて單調である。氣候産業 西部は溫和で雨量も稍多く、コルク樹の森林が茂り、木栓の大供給地である。内

が、新大陸の發見によつて、世界の活舞臺が大西洋に移ると共に、沿岸の諸港は衰へたが、スエズ運河が開通して、再び世界交通の幹線となり、繁榮を挽回するに至つた。

海外領土	
アフリカ	カナリヤ諸島、ギネヤ海岸地方
スペイン	リオデオロ、モロッコの一部
ポルトガル	澳門、葡領印度、チモール島一部
アジア	アソレス諸島、マデイラ諸島
アフリカ	アンゴラ、東アフリカ、ギネヤ海岸地方

國內の争亂に乘じ露・佛・獨・伊等の諸國は夫々に義勇兵を送つて之を助戦し、最近フランコ軍は大部を征服してサラマンカに政府を設け我が國も之を承認した

主要都邑 人口(萬)
 バルセロナ 二〇
 マドリッド 一五
 リスボン 一〇
 バレンシヤ 三
 オポルト 三



一の路道大る集に場廣中ドーリドマ

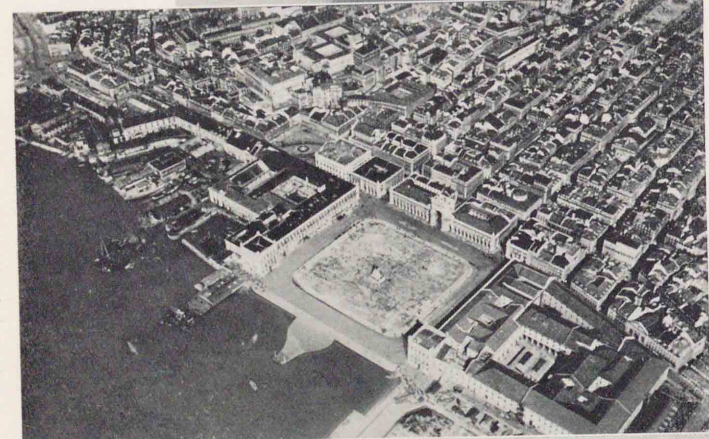
盛に航海探検を行ひ、一時は世界に活躍したが、今は昔の倂もなく、各地に小領土を残すに過ぎない。兩國共に共和制であるが、政情は安定を缺き、スペインは最近思想上の争から、國內に大動亂を來したが、今はフランコ軍の勢力が、大部を占むるに至つた。

都邑 スペインのマドリッドは、最近首都となつて居る處で、バルセロナは、國內第一の商港で、ポルトガルと共に、紡織工業が行はれる。

ポルトガルの首府リスボン、タホ河口に臨み、葡萄酒コルク等を輸出し、ドイロ河口のオポルトは、ポルトワインの名産を出す。日本との關係 この兩國人は、歐米諸國の中、最早我が國に來航して、鐵砲・宗教等を始め、西洋の文物を傳へ、今でもこの國の言葉が、我が國語に轉訛して残つてゐるものもあるが、現在の關係は深くない。



ジブラルタル 海上に突出せる岩山には多數の砲臺が海峡通過の船を威嚇してゐる



リスボンの市街 タホ河口に近く世界美港の一に數へられ市内は土地の起伏が著しい



ローマ市の展望 タイバー河が市内を貫流しセントペテロ寺が高く人目を牽いてゐる

ネーブルス港
海を隔て、對岸にベスピヤスの活
火山を望み風光の美に聞えてゐる



ベニスの市街
水を通路として往來には専らゴン
ドラと呼ばれる小舟を用ひてゐる



ソフィヤの市街
小都たるを免れないが大戦後の改
善により稍、首都らしい觀を呈した

アンドラは面積約
四五〇方軒、人口
約六千

面積 約三萬方軒
人口 約四三萬

ジブラルタル 半島の南部にある英國の領土で、地中海の西門を
扼し、軍港と商港とを兼ねてゐる。
アンドラ ピレネーの山中にある小共和國で、佛西兩國の保護を受けてゐる。

第二節

イタリヤ

附 バチカン・サンマリノ・マルタ島
Italy (伊太利)

地勢

イタリヤ半島及び大陸の一部と、シ
シリヤ・サルヂニヤ等の島嶼から成る。北境に
はアルプ山脈が横はり、山腹に景色のよい湖
水が多い。半島部にはアペニン山脈が連り、之
に沿ふ火山帯には、ベスピヤス・エトナ等の名
高い火山がある。平地は割合に少いが、北部の
ロンバルディア平原は稍、廣く、ポー河がアルプ
融雪の水を集めて、此處を流れる。

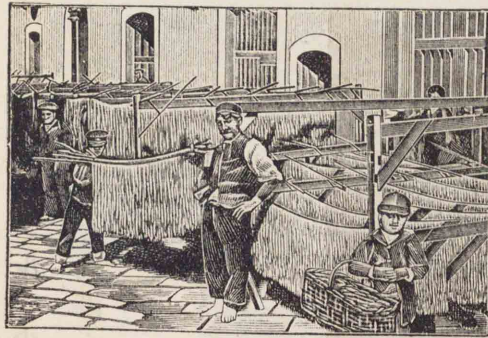
氣候産業

氣候は概、溫和で、冬の避寒地が



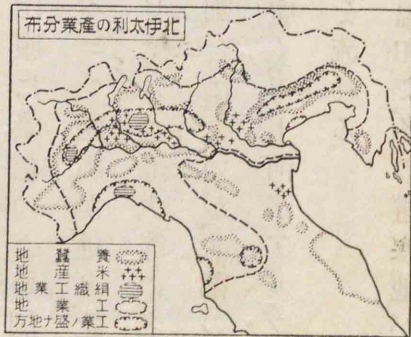
湖モコ 風景のよい名高な近景は、ジラベの市街の

蠶絲は世界第三位の産額がある



解圖 カマニロの製造が我國の蠶に類し小麦粉を粘つてつ造したもので太ざには種々ある

多く、アルプ山腹は有名な避暑地帯であるが、南部には暑い不健康地もある。小麦・玉蜀黍等を廣く各地から産し、小麦を原料とするマカロニは、この國の特産である。北部では米を産し、養蠶も亦盛で、生絲の産額は歐洲第一に位し、従つて絹織業が發達してゐる。半島及び島嶼では、葡萄・オリブ・柑橘類等の果樹を栽ゑて葡萄酒・オリブ油等を産し、羊乳牛の飼育も處々に行はれる。鑛産は火山地方の硫黄、カララの大理石等が稍著しい。古來美術工藝に秀でた國で、古代ローマの彫刻繪畫は、世界の模範である。石炭鐵の産に乏しいので、大工業の發達は後れたが、近年水力の利用が進んで、在來の絹織の外、綿絲・人絹・化學工藝自



北伊太の利産業分布

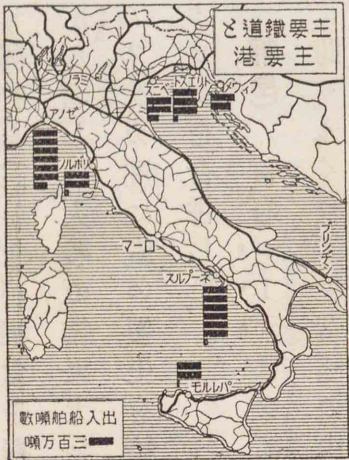
蠶絲 養蠶 絹織 羊毛 葡萄 橄欖 柑橘 各種農業 牧畜 工業

動車等の新工業が發達した。貿易は主として生絲・綿絲・人絹等の纖維工業品を輸出し、原料・食品等を輸入する。

交通 位置が地中海の中部にあつて、多數の航路が集り、アルプ横斷鐵道は、中歐の諸國を連ね、水陸の交通が便利で、中歐に對する主要の門戸をなすと共に、航空路も南歐地方に縱横し、又遠くアフリカの植民地を連ねてゐる。



發電所分佈



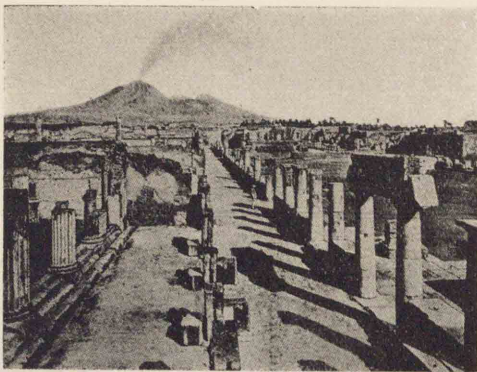
主要鐵道と主要港口

出入船舶噸數 三萬噸

住民政治 國民の大多數はラテン族で、舊教を奉ずる。性質が優雅で、愛國の熱情に富み、美術・文藝に長じ、殊に音樂を得意とする。この地は古代ローマの滅亡後、數多の小國に分れてゐたが、凡そ七十年前に統一して、現在の立憲王國となり、近

主要の領土はアフリカ洲のユリトリヤ・ソマリランド及びトリポリ等で近年エチオピアを併合し此等の領土と共にイタリヤ帝國と呼ぶに至つた

主要都邑 人口(萬)
ローマ 三〇〇
ミラン 九〇
ネーブルス 八〇



埋に年九七紀西 街市のイペンボたれさ掘發解圖
る來出が事ぶ偲を化文の前年千二でのもたれさ没

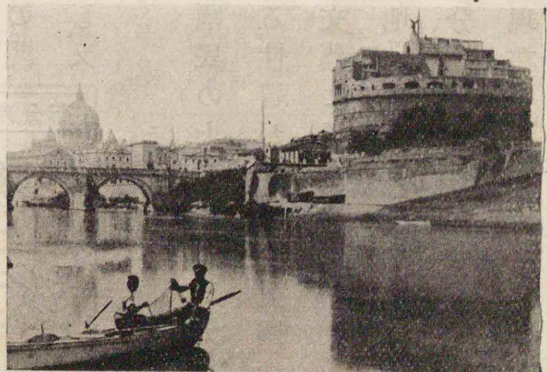
年國粹黨(フアシス)が權力を握つて、國運の發展が著しい。大戰の結果、大いに國境を擴め、アフリカ洲に廣い領土を持つ外、近年エチオピアを合併した。

都邑

首府ローマは、タイバー河の下流(Rome/Roma) (羅馬) (Tiber) に跨り、永くローマ帝國の中心となつてゐる

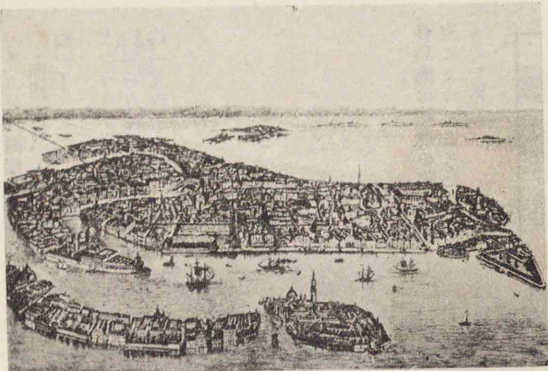
た處で、當時の遺跡が多い。ネーブルス(Napoli) (ナポリ) は、近くベスピヤス(Vesuvius) (ヴェスヴィウス) 火山の噴煙を眺め、風光の明媚

な良港で、附近に近年發掘されたポンペイ市の遺跡がある。フロレンス(Florence/Firenze) (フィレンツェ) は美術の中心市で、外港のリボルノ(Livorno/Leghorn) (リボルノ) はオリブ油の産が多く、ピサ(Pisa) (ピサ) は斜塔があるので名高い。ロンバルヂヤ平原には、ミラン(Milan/Milano) (ミラノ) (Ticin) (チーリノ) (トリ) 等の工業都市がある。共に交通の要地に當り、ミランには著名な



アトンは物建なき大の方右 河ーバイクとマロ 解圖
るあで寺ロテベトンは屋頂圓るえ見に遙で城ロジン

ゼノア
チュリン
パレルモ
フロレンス
トリエスト
三三三三
ネーブルスに名高い臨海實驗所がある
フィウメ港の一部はユーゴスラビヤで租借してゐる



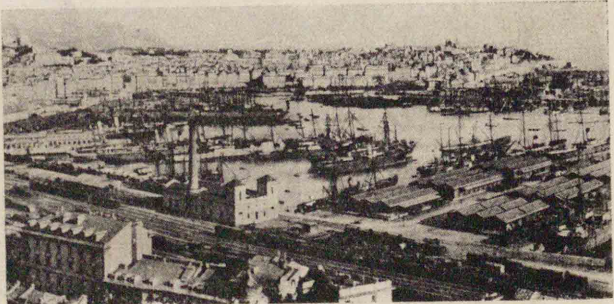
通貫を部央中の市が河運大の形字S 観大のスニベ 解圖
るあてつなと路通交てし錯交が路水の敷無小大他のそし
(地生、ローマ)

大寺院がある。ゼノアは重要な商港で、又機業が行はれる。東岸のベニス(Venice/Venezia) (ヴェネチア) は、數多の島上に跨り、水上の都と謳はれる處で、硝子器寶石細工等を出す。對岸のトリエスト(Trieste) (トリエーテ) は、共に新に得た良港である。

シシリ島のパレルモ(Palermo) (パレルモ) は、果實疏黄等を積出し、エルバ島(Elba) (エルバ) はナポレオン一世の配所として名高い。

日本との關係 イタリヤは地形が細長く、歐洲の火山國・地震國で、温泉名勝・古蹟が多く、米生絲等の産物を出し、國民は手藝に長じ、愛國心の強い等、各方面に於いて、我が國と似てゐる點が多い。最近日・獨伊の間に防共協定が結ばれ、國際間には常に親日の態度を採り、彼我の國交は極めて親密である。

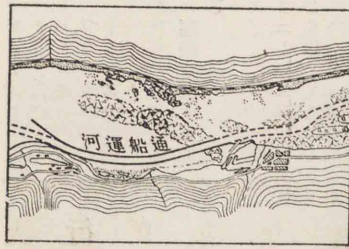
バチカン ローマの市内に介在し、ローマ法王廳に屬する獨立の小地域で、セントペテロ寺・バチカン宮等が



(地生のスプロコ)るす湊幅が船の數多に頭埠 アノゼ 解圖

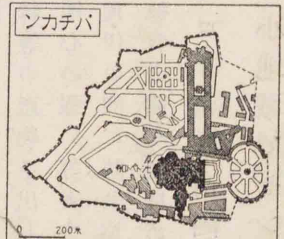
パチカンは面積約
〇・四万方呎、人口
約一千
サンマリノは面積
約六一方呎、人口
約一萬四千

多島海は陸地の陥
没によって生じた
ものである



鐵門の河運船通を示すもの

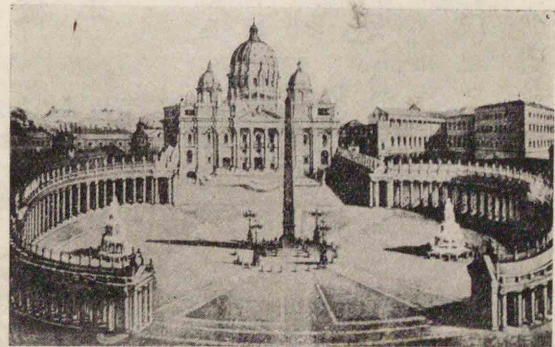
此處にある。
サンマリノ 半島の中部に
位し、建國の極めて古い小共
和國である。
マルタ島 イギリスの領土
で、その港市をバレッタといひ、
Valeta
英國の地中海艦隊は此處を根據地としてゐる。



九百年に建設された獨立國である小一城で二九一
セベトテロテロ

第三節 バルカン半島

バルカン半島は、ダルダネル・ボスポロ
スの二海峡を隔てて、近くアジア洲と相對してゐる。海岸線が極
めて錯雜し、殊にエーゲ海には、大小の島嶼が散在して、多島海と
呼ばれる。一體に山勝ちであるが、ダニエーブ河の下流には、廣い平
原があり、この河道中に鐵門の急流があるが、運河を設けて交通
を便にした。



舊教大の山本大で石理の建造

面積 約三萬方呎
人口 約六〇萬



アテネの丘スリポロクアで古代建築物が多い

南部は氣候が概溫和で、葡萄、無花果、オリ
ブ等の果實に富み、又煙草を産し、養蠶、牧畜も
行はれる。北部は大陸性で雨量は乏しいが、小
麥、玉蜀黍の主産地で、西歐諸國に對する重要
な穀倉の一に數へられる。

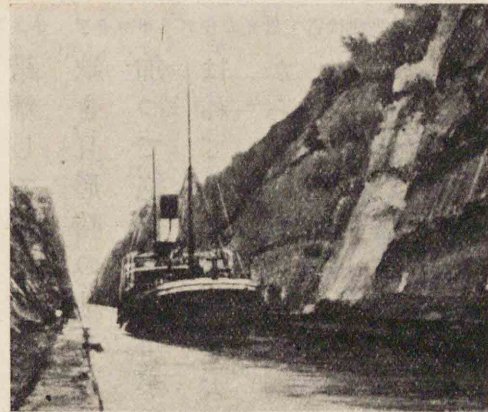
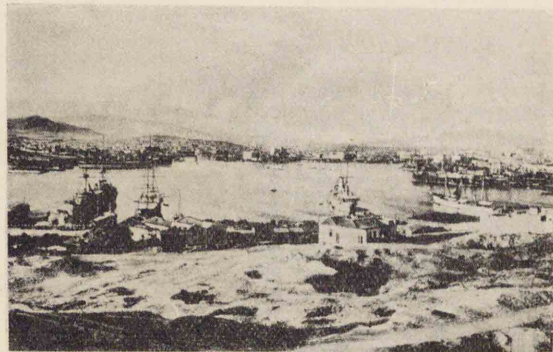


この地方は、民族が
錯雜して、互に融和を
缺き、且形勝の地を占める爲に、列強の干渉も
加つて、絶えず紛争が起り、歐洲禍亂の源とい
はれてゐたが、世界大戰も、その發端はこの地
から起つた。今は六國に分れてゐる。
ギリシヤ 古代に文明が進み、歐洲文化の
源となつた地方で、今は立憲制の王國である。
住民の大部はギリシヤ族で、農を業とし、又海

アテネ 四五萬

サロニカの一部は
ユーゴスラビヤの
爲に自由地域とな
った

面積 約二萬六千方
人口 約一〇〇萬
チラナ 二萬二千
面積 約五萬方
人口 約三九〇萬
ベルグラード 二萬



解 圖 上はスレピの埠頭、下はニコリト運河で、アドリア海と黒海を航行の約六十八短縮した

カは鐵道幹線の一端に當る。

上貿易に従事する者も少くない。首府アテネは史上に名高い處で、著名な遺跡が多く、ピレウスはその門戸である。コリントは同名の運河に沿ひ、サロニ

面積 約二〇万
人口 約一〇〇萬

111,000

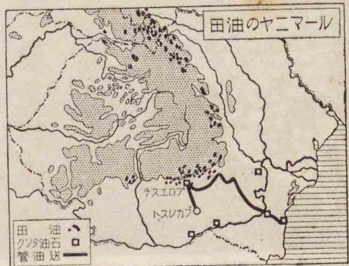
ブカレスト空萬

面積 約一〇萬方
人口 約六〇萬

ソフィヤ 三萬



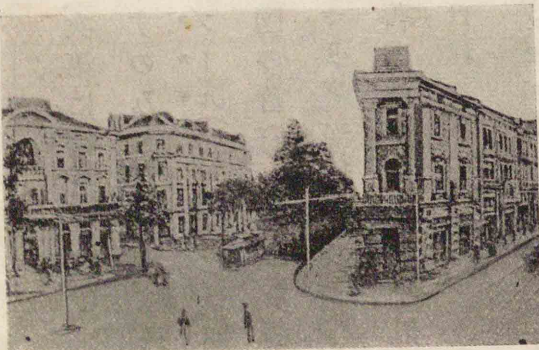
解 圖 マールニヤン(ブカレストの北方)の光景



水陸交通の要地に當り、バルカンの鍵と呼ばれる。ルーマニヤ(羅馬尼亞)は、よつて建てられた立憲王國で、大戦の結果、殆ど舊時に倍する大

又岩鹽を出す。首府ブカレストは半島の最大都會で、ガラツは重要な河港である。

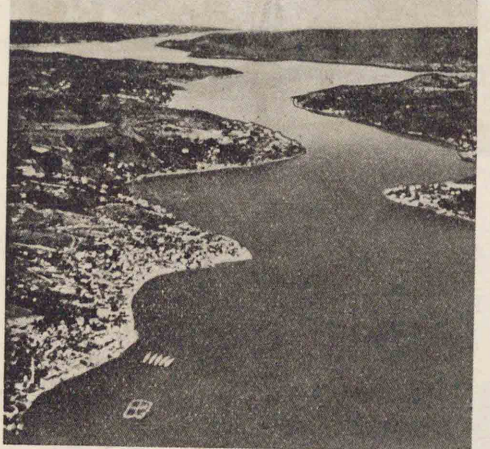
ブルガリヤ(勃牙利)はスラブ族のブルガリヤ人によつて建てられた立憲王國で、玉蜀黍、小麦等を産し、又薔薇油の特産がある。首府ソフィヤは



解 圖 ソフィヤの街市、然しと新市街の整然

面積(歐洲の部)
約二萬四千方
人口(約七
約〇四萬

ボスボロス海峡は
長さ約三十粒に及
ぶも幅の狭い處は
約七百米に過ぎな
い水深が甚だ大で
巨艦の航通が自由
である



多が院寺の教回で街市のルーブンスイは(上)解圖
景光だん望を東らか西で峽海スロボスボは(下)

中央ヨーロッパと鐵道の便がある。

トルコ (土耳其) もと半島の大部を領してゐたが、次第に領土を減じ、殊に大戦の結果、僅にマリツァ河以東の一小部を残すのみとなつた。住民の大部分は回教徒のトルコ族である。イスタンブール(コンスタンチノブル)は、ボスボロス海峡の要地を占め、最近までトルコ帝國の首府であつたが、今は首府をアジヤに移した。アドリアノブルはマリツァ河流域の中心市

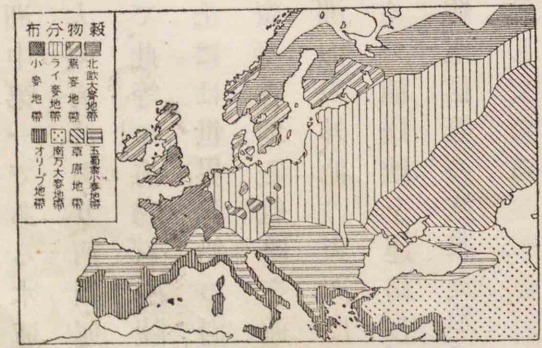
で、薔薇油・煙草等の集散が行はれる。

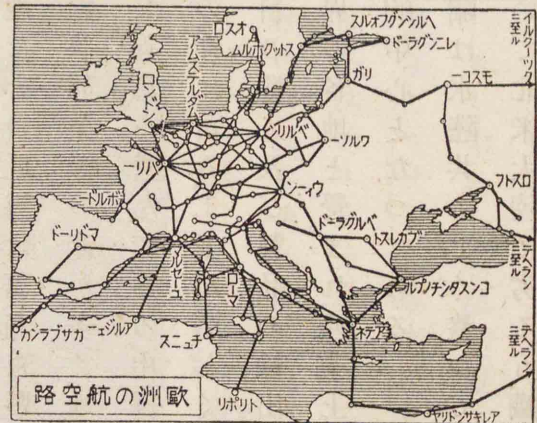
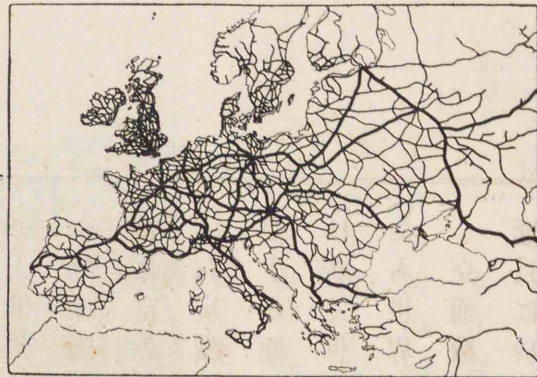
ボスボロス・ダネルの兩海峡は、國際上重要な處で、外國軍艦の通行を禁じてゐたのを、大戦の結果、通艦を自由にし、沿岸の軍備を禁止したが、最近に至り、トルコは再びその條約の破棄を宣言した。

總説(其二)

産業交通 地形の關係上、土地がよく利用されて、農業牧畜は到る處に行はれ、穀物肉類羊毛等の産も少くないが、人口が稠密な爲、東歐の一部を除けば、食糧品は他の大陸から仰がねばならぬ。北歐は木材の大供給地で、その近海は著名な豊漁地である。中部は、馬鈴薯甜菜等の産が多く、地中海岸は果實に富み、又養蠶を營んでゐる。中部以西の諸國は、石炭鐵の産に富み、工業が著しく發達し、之に要する原料の輸入及び製品の輸出が盛で、通商は廣く世界の各地と營まれ、産業上にも、經濟上にも、世界的中心となつてゐる。

交通機關は水陸共によく整つてゐる。鐵道は延長に於いて北米大陸に劣るも、鐵道網の密な





路空航の洲歐

ことは、六大洲中第一である。水運は南北に二大内海があり、河川運河と相待つて、此等の海灣と内陸とを連ね、海上には世界汽船の過半を集めて、廣く各地と航路を通じ、航空路は洲内の外、他の大洲に散在せる、多くの植民地を連絡し、海底電線、無線電信等の施設も、殆ど完備の域に達してゐる。

ヨ 1344 46
ア 20
ア 5
ア 5

住民國勢

本洲の人口は、約五億に達し、密度は世界第一である。住民の最大多数はヨーロッパ人種で、その中ラテン・チュートン・スラブの三大民族が約九割を占め、東南部にはアジア種の民族も少くない。

ラテン族は西部に住み、優雅で美術・文藝に長じ、宗教は儀式の賑かな舊教を奉じ、性質は快活であるが、持久性に乏しく、人口の増殖率は低く、今や全盛を過ぎたかの感がある。チュートン族は中欧を根據として、西北部に多く、新大陸にも發展する。着實勤

ヨーロッパ人種

- ラテン族 イタリヤ・フランス・イペリヤ半島・ルーマニヤ・ベルギーの一部等
- チュートン族 スウェーデン・ノルウェー・デンマーク・ドイツ・イギリスの大部・ベルギーの一部等
- スラブ族 ソビエト聯邦・ブルガリヤ・ポーランド・チエコスロバキヤ・ユーゴスラビヤ
- ギリシヤ族 ギリシヤケルト族 フランス及

びイギリスの西邊一部

- バスク族 ビレネー山中
- ユダヤ族 ソビエト聯邦・イシ等その他處々
- アジア人種
- トルコ族 バルカン半島東南部
- マジヤール族 ハンガリー
- フィン族 フィンランド
- ラップ族 スカンディナヴィヤ・フィンランド等の北部

勉で實用の才能に富み、宗教は理論を重んずる新教を信じ、現時世界の優者として活躍してゐる。スラブ族は東部に多く、頑強で雄圖を好み、文化の程度が前の二民族に比して著しく劣り、宗教はギリシヤ教を信ずる者が多い。

本洲の諸國は、ソビエト聯邦の外悉く我が國よりも狭いが、國勢の強大なものも多く、世界に於ける陸地の大部分と、人民の過半とは、歐洲系の人民に支配されてゐる。併し其等の植民地には、母國の施政を快しとしないものもあり、國際間にも利害

の對立等があつて、内情は決して平穩とはいへない。

我が國は開國以來、政治に、學術に、軍事に、産業に、範を本洲に採つたものが頗る多い。近年日本精神の復興と共に、歐米思想の排斥が唱へられるに至つたが、我が國が短い年月の間に、驚くべき發達を遂げたのは、東洋固有の文明に加へて、本洲の文明を採用し、之を善用したこと、亦與つて力ありといふべきである。

歐洲の列強中獨・伊は持たざる國として現狀打破を主張し英・佛・露等は現狀維持を冀求して夫々立場を異にしてゐるが現狀維持國の本據とする國際聯盟の威望は次第に衰へた觀がある

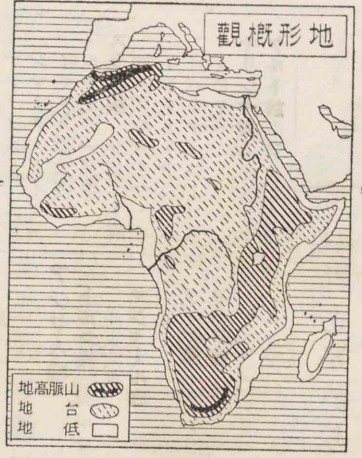
面積 約三〇〇〇萬方
 人口 約一四〇〇〇萬
 世界第二の大大陸であるが
 海岸線發達の割合は大
 中で最も小さい。

第三篇 アフリカ洲
 Africa (アフリカ)

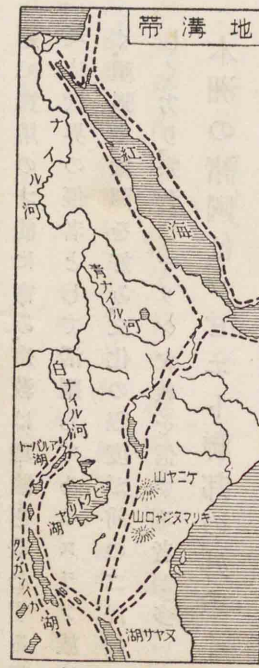
總説 (其二)

地勢海岸

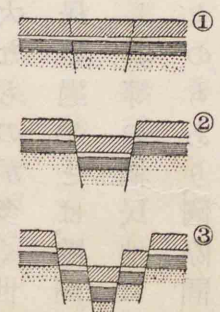
アフリカ大陸は、全體が殆ど一塊の臺地をなし、西北部の外は、著しい山脈がない。東部には大地溝帯があつて、タングンイカ、ニヤサ等の細長い湖水が並び、ビクトリア湖と共に大湖水群を作つてゐる。又この地溝帯に



地高脈山 台低 地地



地溝帯



没陥が地土たれま挾に層斷るせ行並く如の①解圖と溝地を之る來出が地凹い長細き如の③②とるすもところなと海又りなと池でつ溜が水に處其ひい處い弱の層地ひいと帶溝地をのる連の溝地るあひ多が合場るす出噴の山火でつ沿に之らかるあで

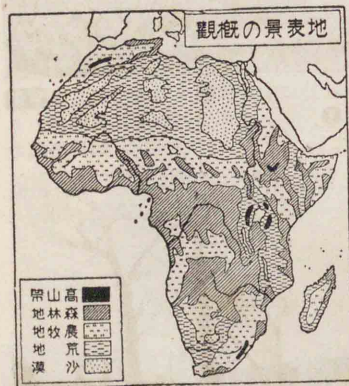
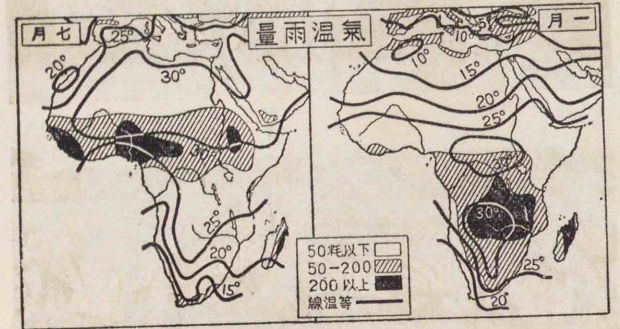
火山帯があつて、本洲最高のキリマヌジャロを始め、多くの

火山を噴起し、土地が一體に高い。河はナイル・ニジル・コンゴ等の巨流があり、水量も少くないが、地形の關係上、概し下流に急湍又は瀑布があつて、舟行を妨げる。

海岸は出入が極めて單調で、屬島も少い。氣候生物 大部は熱帯に屬して氣温が高く、



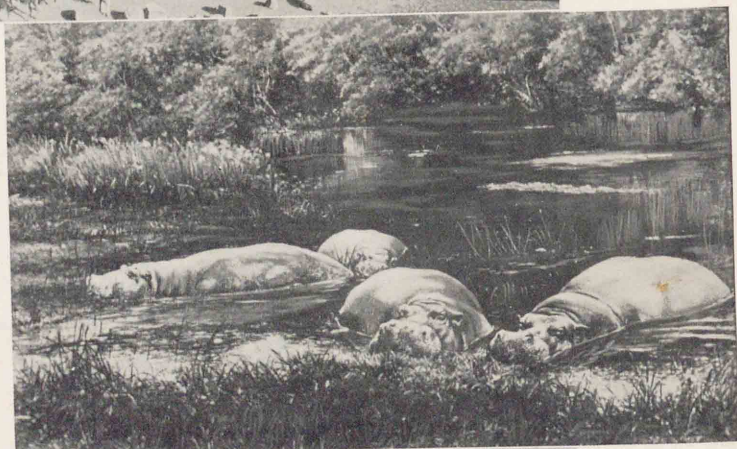
るあてい戴を雪に常は頭峯 望遠のロ、ジヌマリキ解圖



北部には世界の最熱地がある。赤道附近は年二回の雨期があつて、雨量が多く、熱帯性の密林に鎖されて、象類人猿等が



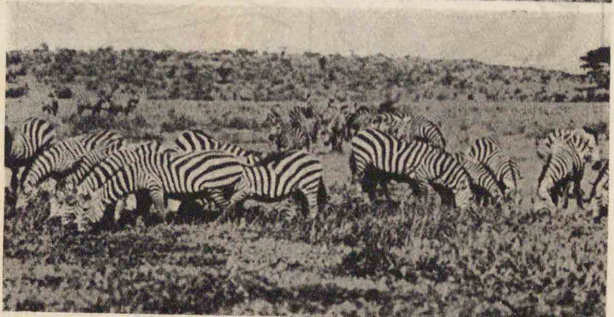
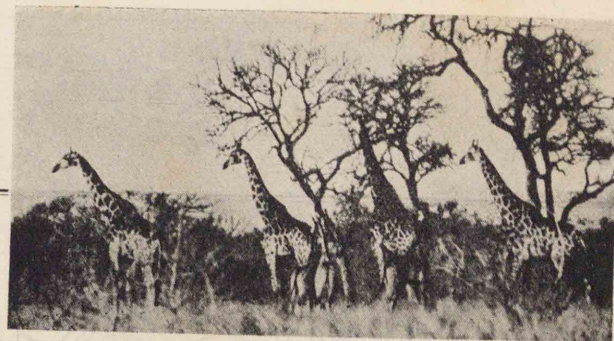
沙漠中の泉地
 沙漠の島といはれ隊商路の港で多
 数の駱駝隊が諸方から集つて来る



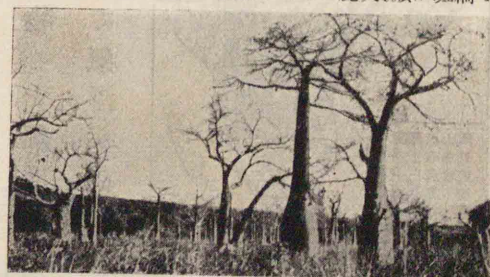
河馬の群
 ロードン地方の沼澤で數匹の河
 馬が偉大な體軀を水に浮べてゐる



ケープタウンの市街
 テーブル灣に臨み港灣の施設が整
 備し市街も壯麗で南阿の最大都會



斑馬とフラジ
 大は軀體でフラジの匹數るけ於に中叢は馬斑の數多るが群に邊水は

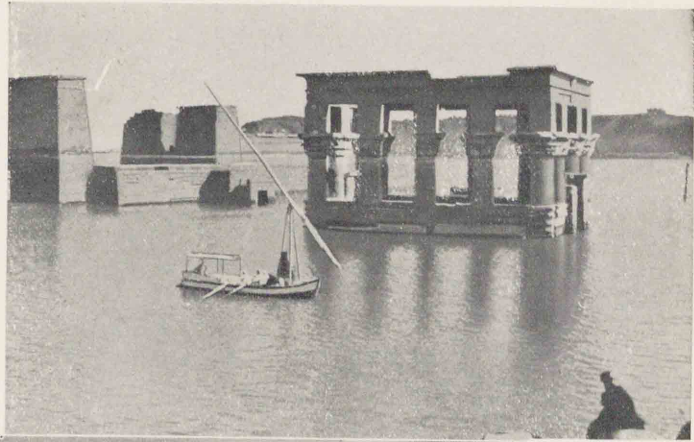


原草帶熱の種一へ交を林木灌 ナンバサ
 に季乾がるあてし茂繁が草雜はに季雨で稱名ぶ呼
 リフアひ違てつよに處は觀景 るす死枯がれそは
 い多が處るへ交を林疎のババオバく如の圖はでカ

漠をなし、草原地方と共に、獅子、駝鳥等が棲んでゐる。地中海岸と南部の海岸とは、冬に雨量が稍多く、温暖で産業が開け、本洲中の最も發達した地方である。

探検 北部は古代に文明が開け、歐洲文化の先驅をなしたが、中部以南の地方は、欠

棲み、水邊には
 河馬、鰐等も
 る。その南と北
 とは雨が少い
 ので、サバンナ
 やステップと呼
 ばれる草原が
 広く、動物には



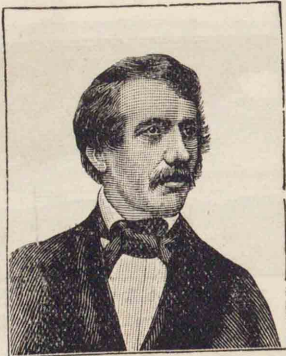
増水期のナイル河
堰堤の爲に一大湖水となり河畔にあつた舊時の建物は水中に見える



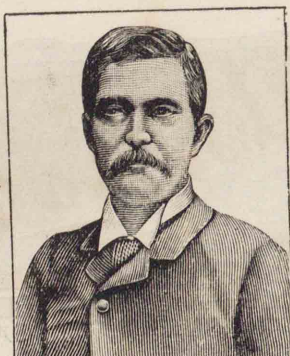
ポートサイド
スエズ運河の一端に當る人工港で運河通過船は必ず此處に碇泊する



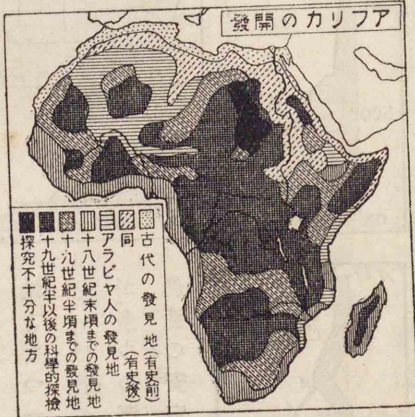
アルジェーの遠望
丘陵の斜面に密集せる人家は強い陽光に白く輝いて銀都の名がある



ベンザントスグンビリ
ナ・近附湖サヤヌ・域流の河ジ終し査踏を等帶地源水のルイたし歿病で地内のカリファに



スグンビリーリントス
カインガタぎ襲を後のントゴンコ・方地ヤニシピア・邊湖たげ擧を績功し檢探を等域流



アフリカの開發
古来の發見地(有史料)
アラビヤ人の發見地(有史料)
十八世紀末頃までの發見地
十九世紀半頃までの發見地
十九世紀以後の科學的探檢
探察不十分な地方

しく暗黒大陸として残されてゐた。十五世紀の末頃になつて、本洲迂廻の航路が發見せられ、海岸地方は歐洲に紹介されるに至つたが、内地の探檢が進んだのは、十九世紀の後半以後のことである。幾多の大探檢が行はれ、中でもリビングストン(英)スタンリー(英國生れ)兩氏の功績は、最大であつた。

現狀 探檢の進むと共に、歐洲の列強は、競つて此處を占領し、今は一二の微弱な獨立國を残す外、悉く歐洲諸國の領地となつた。

各説

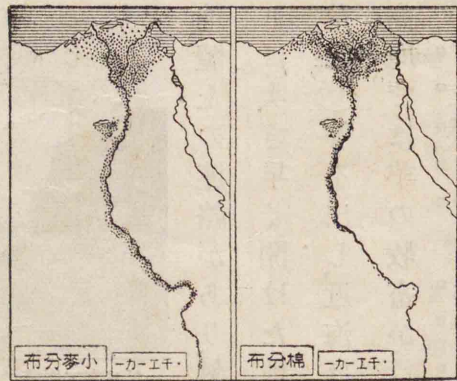
第一章 北部アフリカ

大部は地中海に臨み、ヨーロッパ種の民族が住み、文明の早く開けた



院寺の教回はロイカ(●) 望遠のドミラピと街市のロイカ(○) 跡古はドミラピ(●) 散に々處はのいさ小でのもたれら造てしと墓墳の王トプジェ代るあで大壯に特は箇三るあにーゼギの近附ロイカがるあてし

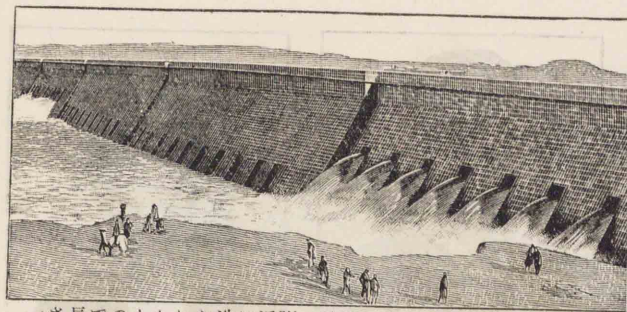
この地は近
時までトルコに屬し、大戦中に英國
の保護地となり、その後獨立の立憲
王國となつたが、尙英國の勢力が加
つてゐる。
首府カイロは、本洲第一の都會で、
附近に古代の文明を偲ぶ遺跡が多



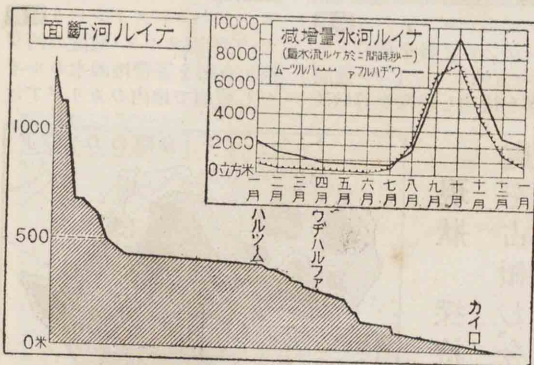
ナイル河下流の河
谷は世界中人口の
最稠密な地方の
一(二)方軒四百人
である住民の多く
はアラビヤ族でエ
ジプト族も混住し
てゐる

ナイル河の沿岸地方には、良質の綿煙草等
を多く産し、甘蔗、小麦、玉蜀黍、米等の耕作も行
はれる。綿は本國輸出額の過半を占め、我が國
へも輸出される。住民は回教徒のアラビヤ人

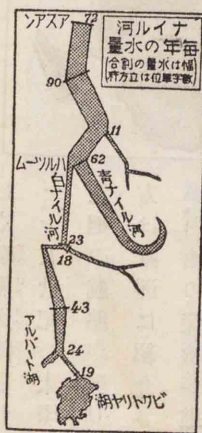
面積 約九萬方軒
人口 約一四〇萬
ナイル河の増水期
は毎年六月下旬か
ら九月下旬までで
カイロに於ける増
水は凡そ七米に達
する



一さ長でのもたれら造に近附の流瀑一第 堤堰のニアスア解圖
るあ箇〇八一は數の門開・米七二幅底・餘米八幅頂・米〇〇八



ナイル河の上流は、白ナイルと青ナイルとに分れる。青ナイルの上流地
方では夏季に雨が多く、下流に洪水を起して



を設け、河水
を調節して、
大いに灌漑
の區域を擴
げた。

地方である。之をエジプトとバール地方とに分ける。
エジプト ナイル河の下流を占め、面積は頗る廣いが、大部分は不毛
の沙漠で、經濟上に價値のあるのは、僅にナイルの河谷と、その三角洲
のみで、國民の殆ど全部が此處に住み、人口が極めて密である。

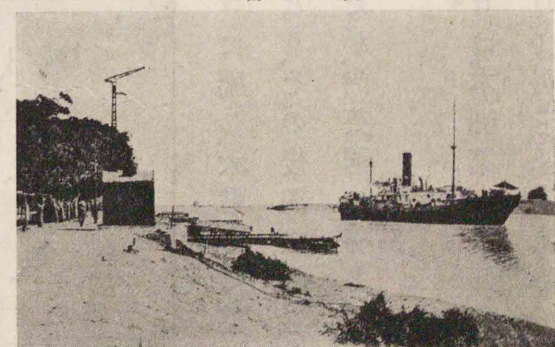
カイロ 一〇六萬
アレキサンドリア 五萬

い。アレキサンドリアは古くから著名な商港で、ポートサイドとスエズとは、スエズ運河の両端に發達した港市である。

スエズ運河は佛人レセブスの計畫により、十年餘の歳月を費して開鑿したもので、その延長は百六十軒に及ぶ。この運河の開通によつて、歐洲と東亞との距離は著しく短縮せられ、世界の交通上に大變動を與へた。運河地帯は中立地であるが、運河會社の株式は、英國政府で多く所有してゐる。

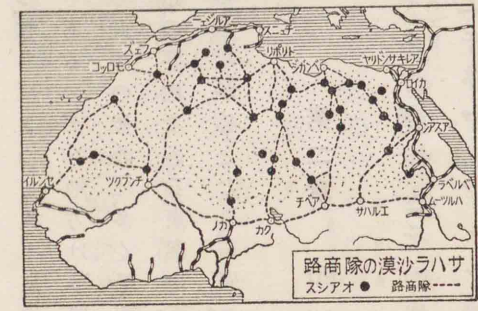
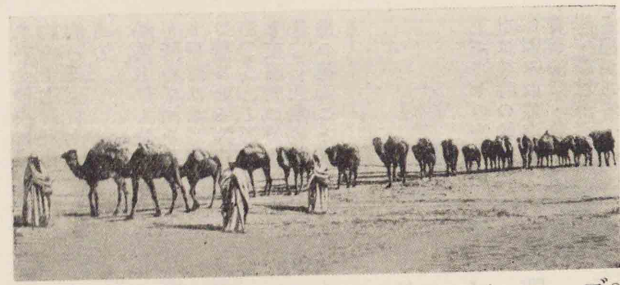
バーバリ地方 エジプトの西に續く地方

で、東西に連るアトラス山脈は、歐洲の山地と地體上の連絡があり、氣候も山脈以北は南歐地方と似てゐる。エジプトに次ぎ早く開けた地方で、葡萄オリーブ等の果實や、コルク、アルファ草(紙の原料)等を出し、近海は海綿を産する。山地は鐵その他の礦物を含み、高原では羊の牧畜が行はれる。この地は、政治上トリポリ(領伊・チュニス(護佛保)アルゼリヤ(領佛)摩洛哥)



エズ運河に式平開掘をもたし護岸工事がいな

バーバリ地方とは住民の名(ベルベル人)に因んだものであるが今はアラビヤ人が多く歐洲人も少くない



商隊の漢沙ラハサ スシアオ 路商隊

(大部は佛の保護地一部に分れ、歐洲と相對する爲、連絡航路も多く、航空路も發達してゐる。トリポリは隊商取引の要地に當り、チュニスの附近には、古代に繁盛を極めたカルタゴの址がある。

アルゼリヤは佛國の主要な領土で、アルジェーは本國のマルセイユと相對し、オランと共に主要の商港である。モロッコのタンジエルは、地中海の入口を扼する要地で、中立地となつてゐる。

サハラ及びスダン バーバリ地方の南方は、サハラと呼ばれる大沙漠で、その南にスダンの草原がある。共に大部分は、フランスの勢力地である。サハラは一般に高臺性の荒地であるが、岩山もあり、形のみ、の河もあり、又處々に泉地があつて、棗椰子が繁茂し、隊商は駱駝によつて、泉地から泉地を辿り、此處を往來する。佛國はこの地方の開拓に力を用

名稱	面積	人口	首府
トリポリ	一六三	七〇	トリポリ
チュニス	二四〇	二四〇	チュニス
アルゼリヤ	二一九	六五〇	アルジェー
モロッコ	五七	六〇〇	ラバト

サハラ沙漠は東西約四千七百軒南北約一千五百七十軒ある
 沙漠中にも時に雨が降って河を造るが平時は水が涸れて居る斯る河を涸河(ワジ)と呼ぶ又晝夜温度の變化が著しく且強猛な旋風の起ることもある

上ギネヤの海岸地方は往時の輸出物に因み奴隸海岸・黄金海岸・象牙海岸・顆粒海岸等の名稱がある

第二章 西部アフリカ

ひ、鑿井によつて人工泉地を造り、或は自動車による輸送を試み、又横斷鐵道の計畫もある。スタン地方は、草原が廣いので牧畜を營み、又綿・米・落花生等の農作も行はれる。此等の産物は、多く陸商によつて地中海岸に運ばれる。チンブクツクカ等は、隊商路の要地である。東部の英領エジプト Sudan は、ナイル河の堰堤が完成し、綿・小麥等の栽培が盛となり、首府ハルツームはその取引市場である。

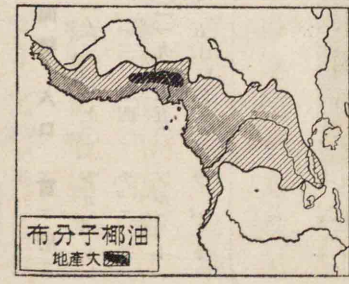
ギネヤ灣岸とその奥地とで、細長い海岸平地の外は、概々臺地である。

上ギネヤ ギネヤ灣の北岸地方を上ギネヤといひ、氣候が濕熱で

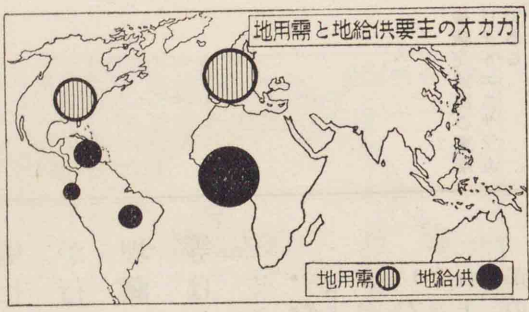
熱帯性の森林に被はれ、不健康地であるが、椰子油コプラ・ゴム・象牙等の天産が多く、人口も割合に密で、その多くはネグロ族である。近年



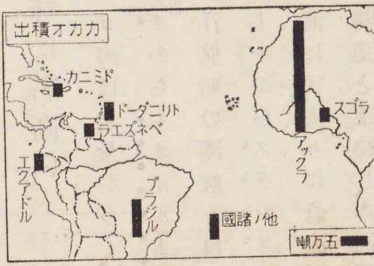
椰子油採取の爲め登る人土解る椰子樹の高を直せ立高椰子樹



油椰子分子布 地産大



カカオの主産地と消費地



カカオの輸出

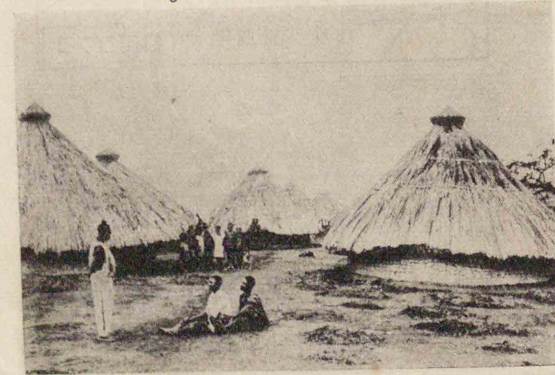
白人の努力によつて、衛生状態も次第に改善せられ、開拓も歩を進めて、カカオ・珈琲・綿・甘蔗米等の栽培が漸く盛となり、殊にカカオの産額は、世界第一である。

この地方の大部は、英佛兩國の領土であるが、リベリヤはアメリカ

合衆國から解放された奴隸の建てた立憲共和國で、首府をモンロビアといふ。英領のラゴスは、ギネヤ灣岸第一の商港である。

下ギネヤ ギネヤ灣の東岸地方を下ギ

ネヤといひ、佛・白葡西等の諸國に分屬する。住民はバンツ族が多く、森林中には一種の矮人種が住む。



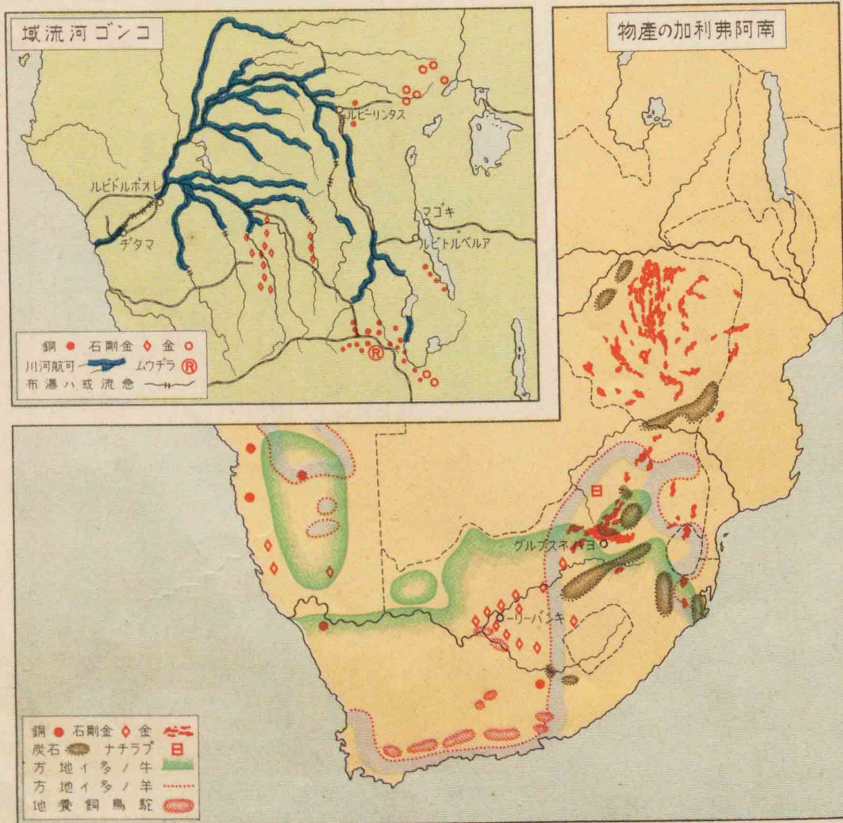
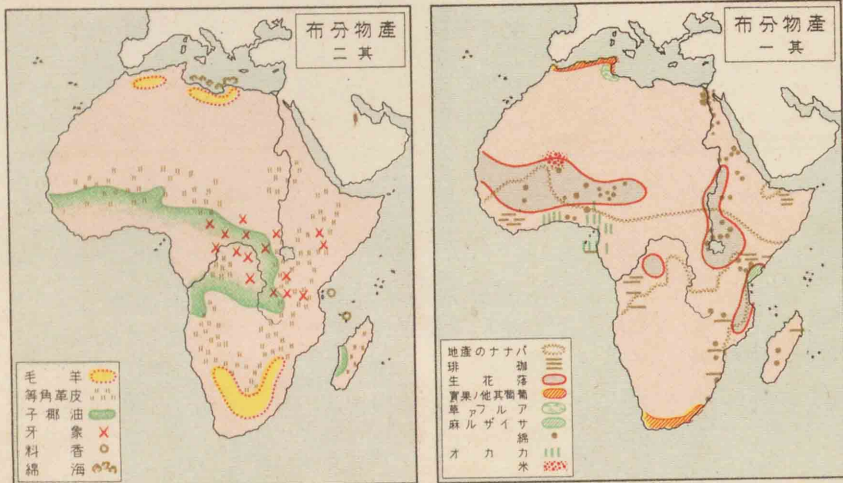
カカオの産地であるメカ地方の高臺に住んでる人土解る落村の人土解る

リベリヤは面積約十二萬方呎、人口約二五〇萬

矮人種中には身長一米三に過ぎないものがある

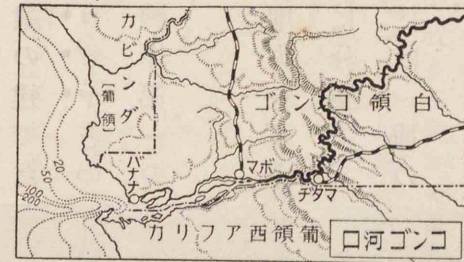
白領コンゴは面積約二三四萬方呎、人口約九〇〇萬

横断交通路の東端はダレスサラムである

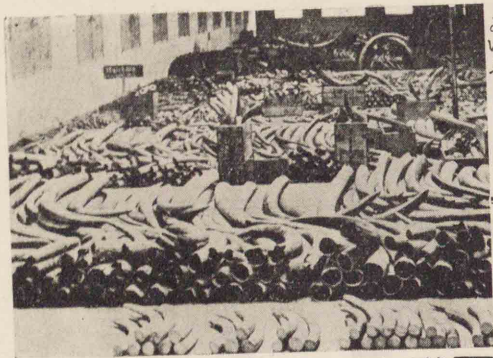


ベルギー領コンゴは、コンゴ河流域の大部を占め、レオポルドビルに總督が駐在する。熱帯林地が廣く繁茂し、椰子油象牙等の天産を出し、開拓の進んだ處には米落花生珈琲等の栽培が行はれる。鑛産は甚だ豊富で、埋藏も多く、銅、金、剛石、ラヂウム等は殊に名高い。

コンゴ河は水量が多く、汽船の航通も自由であるが、下流に數多の急流があるから、マタチからレオポルドビルまで鐵道を通じて、内地と海洋とを連絡してゐる。マタチは洋航船の航通も自由で、ボマ、バナナ等と共に、この地方の門戸である。スタンリプールからスタンリプールまで、約一千六百呎の間は、舟行が自由であるが、此處から上流には、處々に急流があるので、鐵道と水路とでタンガンイカ湖の汽船及び東部の鐵道と連絡し、本洲横断の重要な交通路となつてゐる。

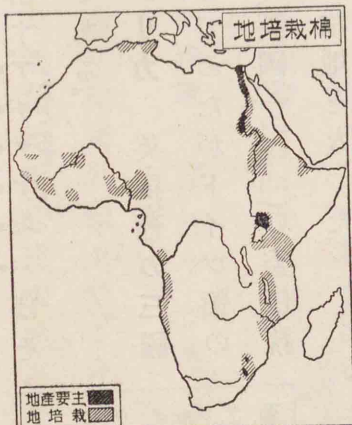


像想がとこな富豊にも何如の量水 河ゴコン解圖
るゐてめ眺を船汽が人士の數多はに畔河 るれさ



紅海の入口をバブ
エルマンデブ海峡
といふ

象牙の堆積 象牙の価格は高く貴重物の一



紅海岸から印度洋に面する地方の大部を含み、地形の變化が最も著しい處である。

第三章 東部アフリカ

西岸の諸島

大西洋中のセントヘレナ島は、ナポレオン一世の配所として名高く、西北のアセンション島と共に、英國に屬する。ベルデ岬諸島(領葡)は、カナリヤ諸島(領西)・マデイラ諸島(領葡)・アゾレス諸島(領葡)等と共に、交通・通信の要地である。

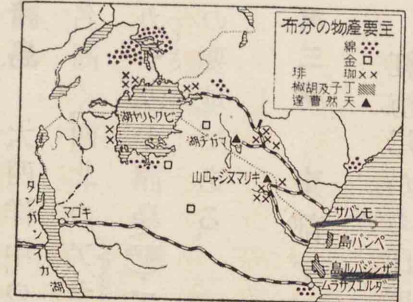
ソマリ地方

ソマリ地方は、英佛伊の三國に分屬し、佛領にはヂブチの要港がある。内部のエチオピア(ニアビシ)は、最近イタリヤに合併せられた處で、森林が廣く、象牙の特産があり、又綿麥類・珈琲等の

マガチ湖の天然曹達は我が國に輸入されて硝子の原料となる



らか維織の蘭舌龍は麻ルザイサ 燥乾の麻ルザイサ 採るるてけ掛に竿を維織たし取採が人士は圖でのもたつ採



治地となつた。

狭い海岸平野の外は、高原又は山地で、キリマヌジャロを始め

多数の高山が聳え、その間にビクトリヤタンガンイカヌヤサ等の大湖が列んでゐる。一般に開拓は未だ進んでゐないが、綿珈琲サイザル麻等の産出が次第に増加し、マカチ湖は天然曹達を出す。英領のモンバサ(或は對岸の)ザンジバル。ダルエスサラム。葡領のベイラ。ロレンソ。Dar es Salaam, Beira, Lourenço-Marques

農産を出す。アヂスアベバはその主邑である。Addis-Ababa

東アフリカ 英獨葡の三國に分屬してゐたが、ドイツ領の大部分は、英國(一部はベルギー)の委任統治地となつた。

名稱	面積 萬方呎	人口	政治
ケニヤ	五八	三〇四萬	英國直轄植民地
ウガンダ	二四	三五五	英國保護
タンガンイカ	九四	七七	英國委任統治
ウルンダ及びザンジバル	〇・二	〇・四	白國委任統治
葡領東アフリカ	七七	二三	英國保護
		三九九	ポルトガル領

マダガスカル島は面積約六二萬方呎人口約三六〇萬

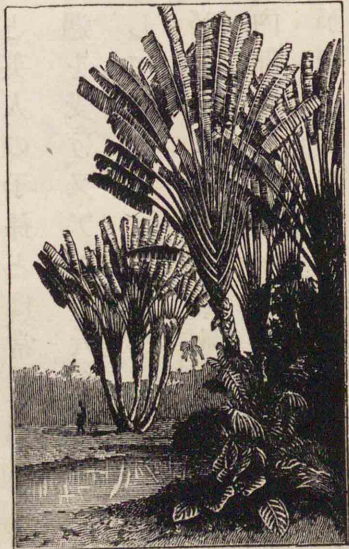
マルケス等は、この地方の門戸でザンジバルは丁子の產地として名高い。

東部の諸島 印度洋中の

マダガスカル島(領佛)は、世界第四の大島で、首府をタナナリ

ボといふ。この島には、旅人木、狐猿(類擬猴)等の珍奇な生物があり、住民も

東部にはマレー種のホバ族が住んでゐる。近年米珈琲等の栽培が行はれ、又金、ゴム等を出す。東方のレユニオン島(領佛)、モーリシヤス島(領英)は、共に砂糖を出す。Réunion, Mauritius

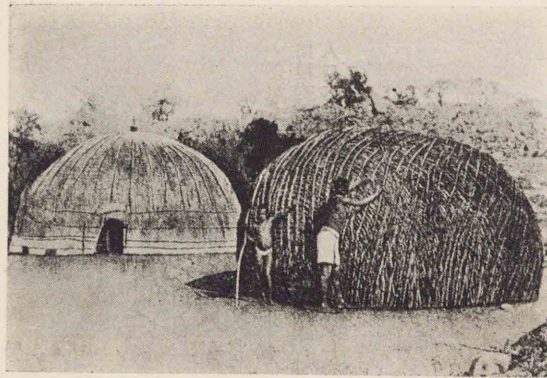


柄葉れば呼もと蕉芭扇 木人旅(解) 多量の液漿を貯へ旅人の飲料となす。その渴を癒はるあが名のこらかす癒を渴のそてつ

第四章 南部アフリカ

南部は悉く英國の領土で、ドイツ領であつた南西アフリカも、今は南アフリカ聯邦の委任統治地となつた。

もと蘭人の建てた
二共和国があつた
が英人の爲に滅さ
れた



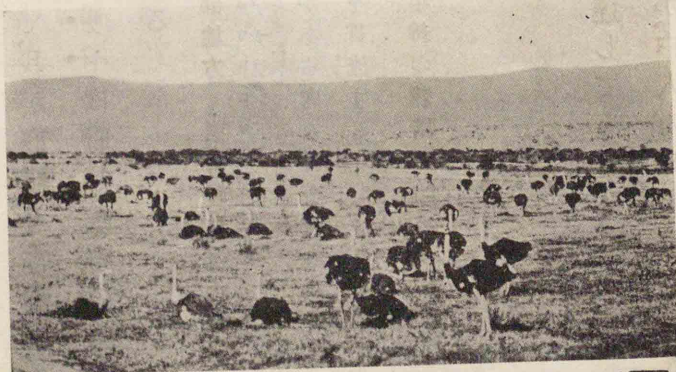
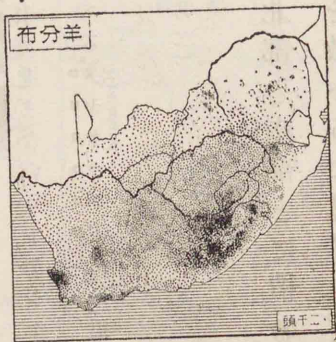
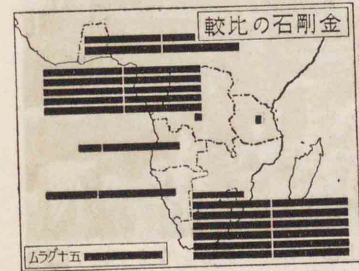
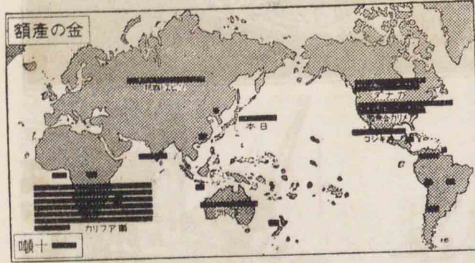
在ナタルの土人部落の家 半圓球の形に造り建てた
は土人の部落の家 半圓球の形に造り建てた

南アフリカ聯邦
The Union of South Africa
ケープ・ナタル・オレンジ自由州・トランスバール
Cape of Good Hope
Orange Free State
Transvaal
南アフリカの四州から成る
聯邦制の自治植民地である。
住民は土人(バプツィンメン等)の外に、オランダ移民の子孫(ボータ)と、後に移住した英國人の子孫とが多く住み、公用語には英語と蘭語とを併用してゐる。民族的の偏見が強く、ボータ人と英人の子孫とは、常に融和を缺き、土人は極端な差別待遇を受け、又アジア人を排斥する等、人種問題が甚だ錯雜してゐる。

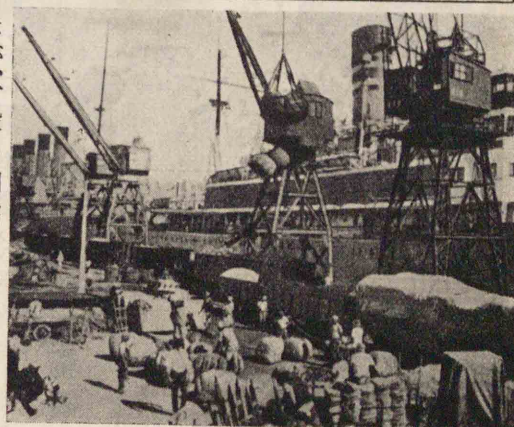
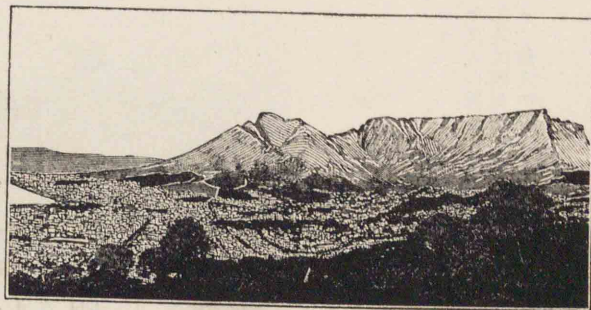
名稱	面積	人口	政治
南アフリカ聯邦	二二二萬方	八六〇萬	英領の自治聯邦
バスターランド	三	五八	南ア聯邦保護地
スワジランド	一・七	一二	同
ベチアナナランド	七一	一六	同
南西アフリカ	八四	二七	南ア聯邦委任統治
南ローデシヤ	三九	一一〇	同
北ローデシヤ	七五	一三八	同
ヌヤサランド	一〇	一五〇	同
			英本國直轄植民地

海岸地方は、氣候が割合に温和で、雨量も多く、小麦、玉蜀黍、葡萄等を産する。内部は、ドラケン山脈によつて濕風を遮られ、乾燥で草原が廣く、牧畜を主業として、盛に羊毛を輸出し、又駝鳥の飼育が行はれる。鑛産は第一の富源で、ヨハネスブルグ附近の金、キンバリーを中心とする金剛石は最も名高く、殊に金の産額は世界第一に位し、その他、石炭、銅等を輸出。貿易も次第に榮え、我が國へも羊毛を輸出して綿製品を輸入する。ケープタウンは名高い喜望峯の

ヨハネスブルグ
二萬
ケープタウン
二七萬



駝鳥飼養場 鳥類中最大の鳥は、高さ二米八に達し、走り遠く、馬よりも早く、その羽毛は裝飾用として重要な品である



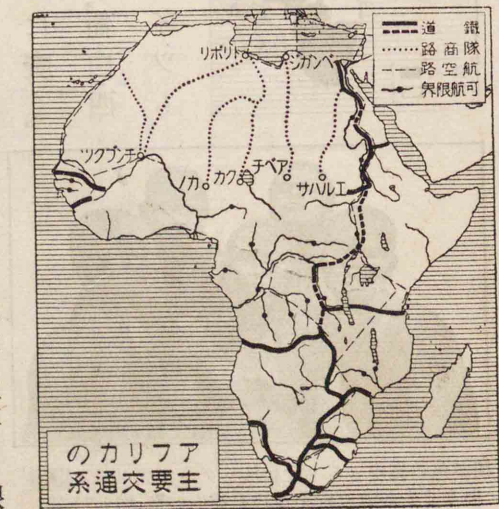
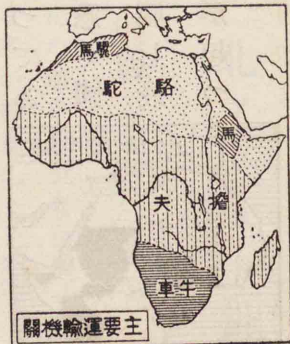
南アフリカ共和国の北東部に位置する、南アフリカ共和国の主要な産物である羊毛の輸出港であるポートエリザベス。背景には、南アフリカ共和国の主要な産物である羊毛の輸出港であるポートエリザベスの風景が写っている。

たが、一般の開拓は未だ進まない。ローデシアを貫流するザンベジ河に、名高いビクトリアヤ瀑布がある。ヌヤサランドには、近年綿の栽培が始められた。

總説 (其二)

産業交通 産業は北部と南部とに稍、發達してゐる外、僅にゴム、椰子、象牙等の天産物を數へるに過ぎないが、白人の努力により、堰堤

を築き、鑿井を設け、又土人を訓練して労働に従事せしめる等、着々と開拓を進め、綿、カカオ、米等の産出も、次第に増加を見るに至つた。

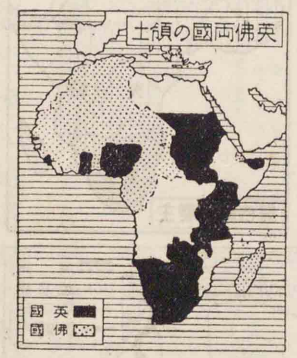


交通は密林、沙漠、急流等によつて、發達を妨げられ、南北の縦貫鐵道と、東西の横斷交通路とが、最も主要な線路である。近年内地の開発につれて、歐米及び極東からの航路も開かれ、殊にスエズ運河は、北部港市の隆盛を促した。その他各地への海底電線、南北縦貫の陸上電線があり、無線電信局も處々に設けられ、歐洲との間には、數條の航空路を通じ、延びて南米に至るものもある。

住民國狀 住民は二大系統に分れ、北部にはヨーロッパ種の民族が

- ヨーロッパ人種
- ハム派 ベルベル族 エジプト族
 - ソマリ族
 - セム派 アラビヤ族 アビシニヤ族
- アフリカ人種
- ネグロ族 小ネグロ族 (フッシメン・ホッランドトット)
 - バンツ族
- マレー人種
- ホバ族

列強の植民地で、英佛兩國の領土が殊に廣く、最近イタリヤの勢力も大いに加はり、葡・白・西等の領土が、その間に介在してゐる。ドイツも二三の領土を持つてゐるが、大戰の結果、悉く國際聯盟の管理に屬し、最近その返還問題が起つてゐる。



淡が色の膚皮とるべに族ログネ 族ツンバ(解圖) いたく少が者む營を畜牧も業生ひ整、稍も貌容く

多く住み、中部以南にはアフリカ種に屬する黒人が多い。別にマダガスカル島の東部には、マレー種の民族が住み、沿海地方には、近年歐洲諸國からの移民も少くない。本洲には一二の獨立國もあるが、何れも強國の干涉を免れない。他の大部分は歐洲

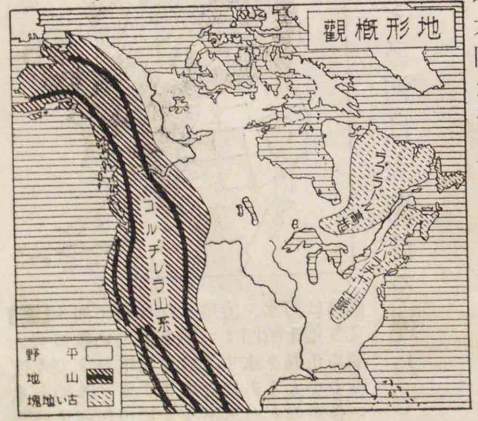
面積 約二四〇〇萬方呎
人口 約一七四〇〇萬
面積・人口共に世界第三位の大陸で海岸線發達は大陸中の第二位にあるが肢節は不毛の北部に多い

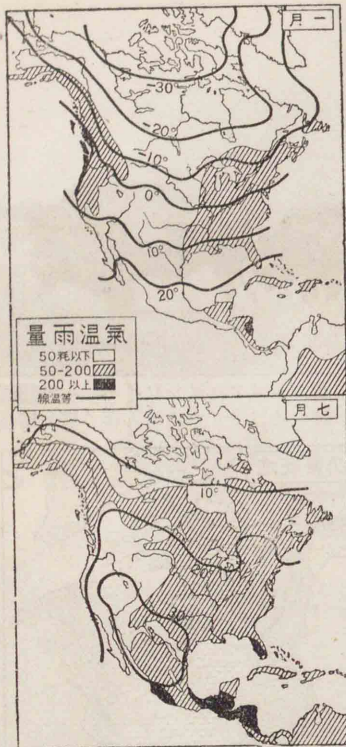
第四篇 北アメリカ洲 (North America (北亞米利加))

總說 (其一)

大陸發見 十五世紀の頃から、世界に對する世人の思想が一變し、西歐人の中には大膽な航海を試みる者が續出した。その東に向つた者が、アフリカを廻つて印度に達したので、寧ろ西に進んで、印度に到らんとしたコロンブスの冒險航海により、一四九二年、思はざる新陸地を發見し、次いで南北の兩米大陸が發見された。爾來探檢が頻に行はれて、兩大洲の要部は悉く歐洲諸國の植民地となつた。

地勢海岸 地形が略三角形をなし、西部と東部とに山地がある。西部は新しい褶曲のロッキー山脈を主軸として、コルヂレラ山系を造り、火山帶が此處を通じてゐる。東部には古い地塊のアパラチャ山地があつて、土地が全體に高臺性である。東西の兩高地

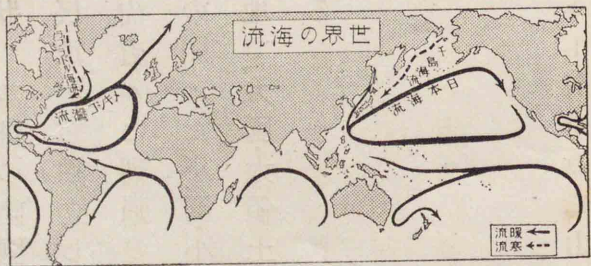




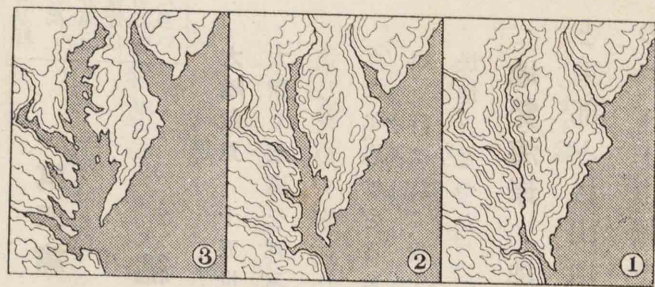
東岸にはメキシコ
湾流・ラブラドル
海流が流れ西岸に
は日本海流が流れ
てゐる

西洋岸にユカタン・フロリダ・ラブラドル等の
半島を見るに過ぎないが、中部以北の海岸は、
沈降性で水の深い溺谷が多い。
氣候 大部は温帯にあるが、地勢海流等の
関係で、氣候は處により著しく違つてゐる。南
部では、西岸よりも東岸の気温が高く、北部で
は、西岸よりも東岸の方が低い。メキシコ湾岸
は熱帯性の多雨地であるが、内部は大陸性で

雨が少く、山脈
に囲まれた地
方には、沙漠性の處もある。北部は寒氣
が強く、不毛の凍原である。
古くから舊大陸と離れてゐた爲、動
物にはビスマ野牛・レイリー犬・響尾蛇



に地極らか方地道赤で流の定一るあに中の洋海は流海 流海
いと流寒をのふ向に方地道赤らか方地極ひいと流暖をのふ向
は流に流寒く多がとこすば及を響影に等量雨温氣は流海の等此ふ
るあが差大はに候氣もでじ同は度緯はで處るれ流の流暖と處るれ



間は廣い平野で、世界第一の長流ミ
シシッピ河がその南部を流れる。平野
の北部は、北歐と同じく、地質時代に
著しく氷蝕を受け
た處で、その爲に出
來た大小の湖水が
多く散在し、セントローレンス河は大湖群を連ねて、
重要な水路となつてゐる。

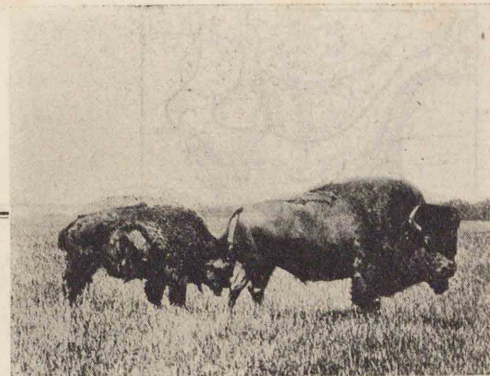


一もしず必は地陸 谷湖解圖
處るま高に第次くなで動不定
①るあも處る降又ばれあも
は地低の岸海ばれ降が地土
りなく如の②でん沈に中海
之るなく如の③ばれ降に更
サエチの圖下ふいと谷湖を
るあで例好の谷湖は灣クー

大陸全體から見れば、海岸線は頗る發達してゐるが、
肢節の最も多い北部は、終
年殆ど凍結して、利用が少
い。他は割合に單純で、太
平洋岸にアラスカ・カリ
フォルニアの兩半島と、大



動移は河水 方地たれは被に河水
又り造を所凹てつ削を盤地い軟に共と
湖め止堰を水てて捨を石堆た來でん運
湖の小大るあに方地ダナカ る造を水
い多がのもた來出りよに用作河水は水



れば呼もと牛水カリメアは又ソイバ 牛野
たつなく少が数のそは今がたあでん棲く廣は時舊



残つてゐる。即ち南部にはラテン族の開いた小國小領土が

海狸等の如き特有のものが
あり、又煙草・玉蜀黍・馬鈴薯・仙
人掌等の植物は、この大陸の
原産である。

現状 本洲の諸國は、何れ

も植民地から獨立した新興
國で、尙處々に列強の領土も

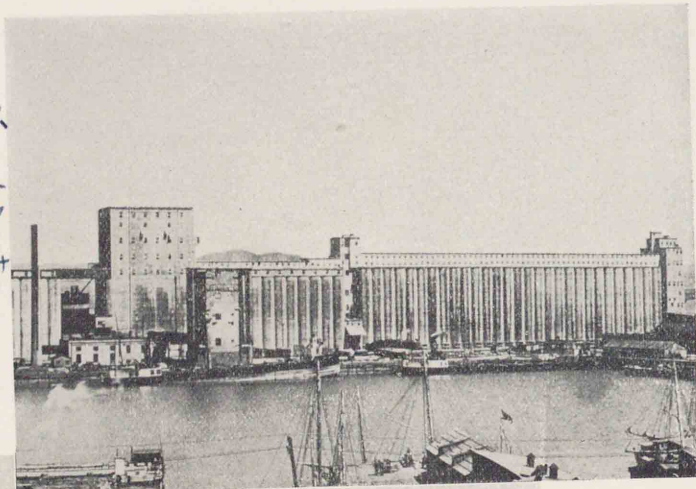
多く、中部以北は主としてチユートン族の活動地で、大國・大領土があり、
その文化發達は歐洲の先進國と比肩してゐる。

各説

面積 約九七五萬方
人口 約一〇二萬

第一章 カナダ Canada (加拿大) 附 グリーンランド Greenland

地勢 西部はコルヂレラ山地に屬して、ロッキー海岸の二山脈が並



穀物蓄積庫
莫大な穀物を蓄積し此處から直接
に船内へ積込む装置になつてゐる



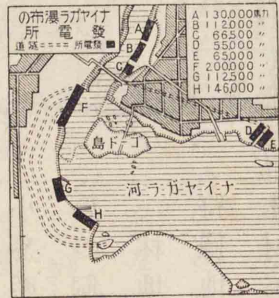
カナダの伐材
河面を埋めてゐる多量の伐材は春
の解氷期を待つて他へ流送される



ビクトリヤ港
西岸航路の入口に當り船舶の出入
が多く水産物木材等の取引が多い



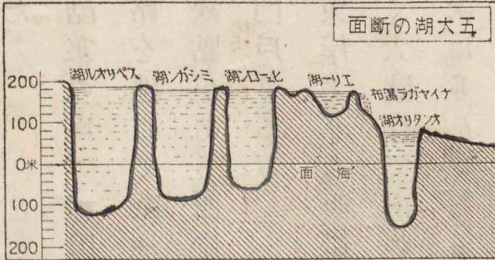
間中・瀑カリメアは左・瀑蹄馬は右 布瀑ラガヤイナ解圖
ふいとるす退後々年が置位の布瀑のこ 島トーゴは地の



との間には、壯絶なナイヤガラ瀑布
があつて、観光の客を集め、又豊富な
電力を供給して、附近に工業を盛な
らしめ、スペリオル湖とヒューロン湖
の間には、ソーセンマリイ運河を設

Sault Ste. Marie

ヒューロン・エリー・オンタリオ等
の湖水は、多くマッケンジー河に
連り、北部の湖水は、多くマ
ッケンジー河に連る。



走し、海岸山脈中には、雄大な火山が多い。こ
の火山帯は、延びてアジアの東岸に通ず
る。東部には高臺性の古い地塊が、斷續的に
連つてゐる。中部は廣い平野で、多數の湖水
が散在し、南境にあるスペリオル・ミシガン
湖は、セントローレンス河

Superior

Michigan



ウイニペグの市街
平野の都會らしく、道路や道路公園
が極めて廣々と整潔に出来てゐる

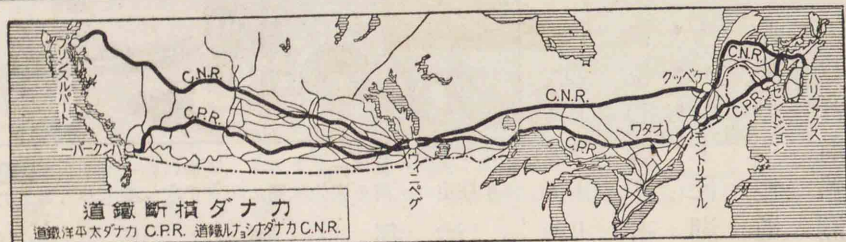


グリーンランドの海岸
多數のエスキモー人が獸皮で張つ
た特有の舟を浮べ漁獵をしてゐる



アラスカの馴鹿群
ユーコン河の下流地方では馴鹿の
放牧が行はれ圖はその一部の光景

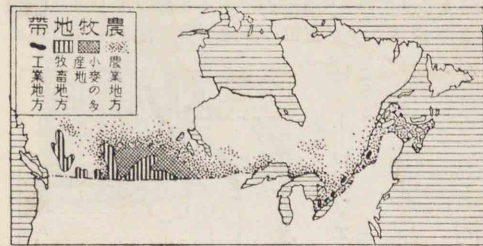
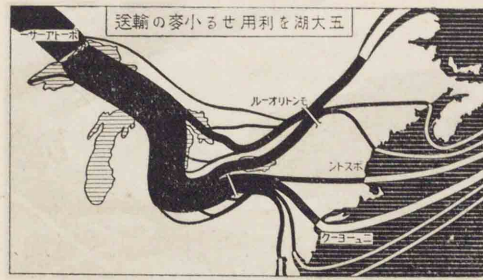
カナダは我が國から北米を経て歐洲に至る最捷路で横濱からロンドンまで約二十三日で達する



道鐵斷横カナダ
道鐵洋平太カナダ C.P.R. 道鐵北シカナダ C.N.R.

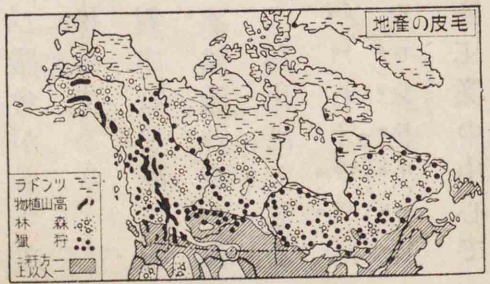
銀銅等を出し、殊にニッケルは世界全産の過半を占める。ユーコン河の上流には、有名な砂金の産地クランドイクが、あつて、ドーソン市の發達を促したが、近年産額が激減した。鐵石炭の埋藏も少くないが、採掘は進んでゐない。水産は極めて豊富で、西部の鮭(ワレザ)と、東部の鯉、鱒とは殊に名高く、大湖の白鱒も有名である。工業は農産林産等の加工を主とし、大湖地方がその中心である。貿易は英米兩國の取引が最も多く、我が國へも小麥木材等を輸出して、生絲羽二重等を輸入する。

交通はカナダ太平洋鐵道、カナダナショナル鐵道がある
Canadian Pacific
Canadian National



気候は海流の關係で、東岸よりも西岸の方が暖く、雨量も多い。内地は全く大陸性で、南から北に草地、森林、凍原の諸帯が順次に並んでゐる。草地帯の南部は、開拓が進んで農業が大規模に行はれ、世界屈指の小麥産地で、歐洲に對する主要の穀倉である。牛、羊等の飼養も盛で、肉類、乳製品等を出す。林地は廣いが、交通が不便な爲、大部は毛皮獸の狩獵地で、林業の發達せるは東南部と西南部とで、木材、パルプ等の産が甚だ多い。鑛産はニッケル、石綿

けて急流を避け、交通を便ならしめた。三面に海を控へてゐるが、北岸は酷寒の爲に利用が少い。東岸のセントローレンス灣は、重要な内陸水路を連ねて歐洲と對し、この地方の表口となつてゐるが、冬は凍結の缺點がある。西岸は山勝ちであるが、良港もあつて、東亞・南洋に對する門戸である。



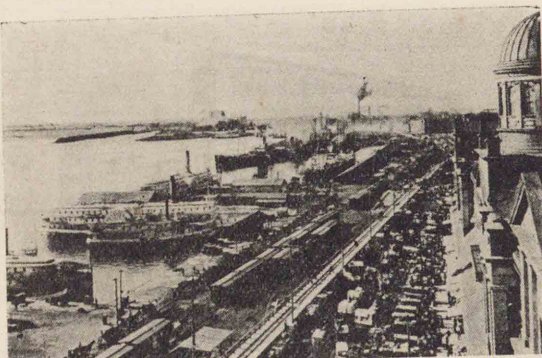


遊漂く多間の夏は—モキスエ 屋氷の族—モキスエ 解圖
るす住定てへ構を家住み積に巧を片氷は季冬がるゐてし

主要都邑 人口(萬)
モントリオール 公
トロント 三
バンクーバー 三
ウイニペグ 三

バンクーバーは横濱を距ること凡そ四千三百哩

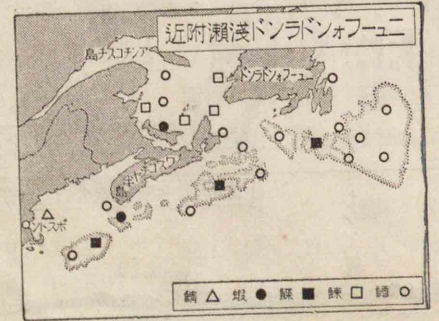
東部では冬季凍結の不便がある。
住民政治 最初この地方に植民したのは佛人で、今も東部にはその子孫が多く、セントピエール・ミクロンの兩島は、佛國の領土として尙残つてゐるが、現住民の大部は英國出の白人で、西部には邦人の在住も少くない。土人はエスキモー族、インヂヤン族等で、その數は少い。この地は聯邦制の自治植民地で、總督の下に内閣及び議會があり、政治上本國と對等で、諸外國と大公使を交換してゐる。
都邑 西岸のバンクーバーは、東亞に對する要港で、對岸のビクトリアと共に、我が國と關係が深い。ウイニペグは沃野の中心に位し、農畜産の大集散地で、ポートアーサーはその積出港である。トロントは湖上交通の要地を占めて、商工業が盛に行はれ、オタワは政廳の所在地で、製材業の發達は世界無比といはれる。モントリオールは洋航船溯航の終點に位し、カナダ第一の都會で、商工業の中心で



流下の河スレーロトンセ 岸河のルーオリトモン 解圖
るゐてつ集が船の數多はに岸河で景光だん望を流上らか

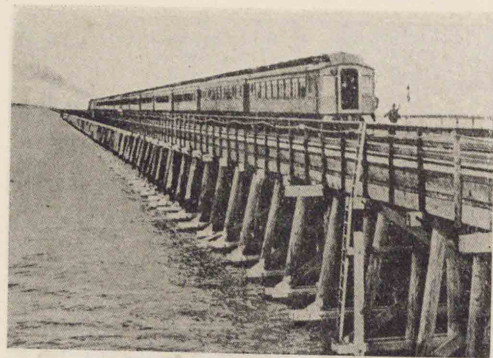
ある。ケベックは早く開けた都邑であるが、モントリオールに繁榮を奪はれた傾があり、ハリファクスは不凍港で、冬季の重要な門戸である。
ニューファンドランドはラブラドル半島の一部と共に、別に自治植民地となつてゐる。近海の廣い淺瀬は、世界有數の漁場で、首府セントジョンズは、水産物の取引が多い。

日本との關係 新大陸中我が國と海路が最も近く、二萬餘の同胞が在住して漁業、伐木等に從事してゐるが、排日の風潮が盛で、今後の移住は困難である。貿易に、交通に、彼我の關係は甚だ密で、英國の領土ではあるが、公使を交換してゐる。
グリーンランド 世界第一の大島で、大部は氷雪に被はれてゐるが、海岸地方はデンマークの支配下に屬し、エスキモー人が住み、原始的の生活をしてゐる。



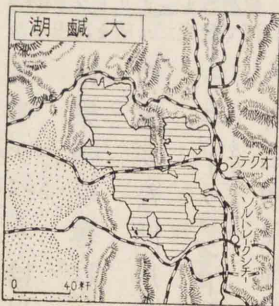
第二章 アメリカ合衆國
The United States of America

面積 約七百萬方
 人口 約三〇萬
 (面積・人口共に
 アラスカ・ハワ
 イを含まず)



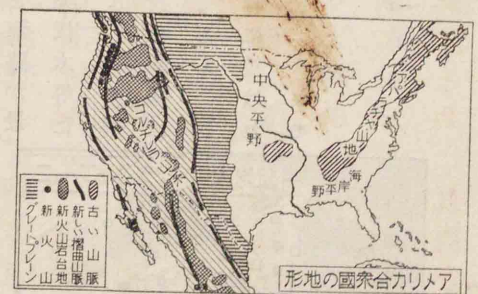
地勢 我が内地の約二十倍に當る大國で、東部と西部とでは、標準時に三時間の差がある。地形上、東西の高地と中部の平野とに分ける。

西部はコルチレラ山系の最も廣い部分を占め、ロッキークASCADE Sierra Nevada 等の山脈が、海岸山脈と共に三條に列んで、廣大な高原盆地帯と、狭長の低地帯とを挟んでゐる。高原盆地帯は、コロンビ



湖鹹大解圖 湖鹹大は面積二萬七千餘平方英里に及ぶ。湖の深さは平均して二百五十フィートに達する。湖の周囲には、長さ八十四マイルの橋が架かる。湖の北には、長さ四十八マイルの橋が架かる。

ヤ高原(廣い熔岩臺)・大盆地(大鹹湖を)・コロラド高原(名高い大峽谷がある)に分れ、低地帯はカリフォルニア平野をなしてゐる。この山系中には、火山



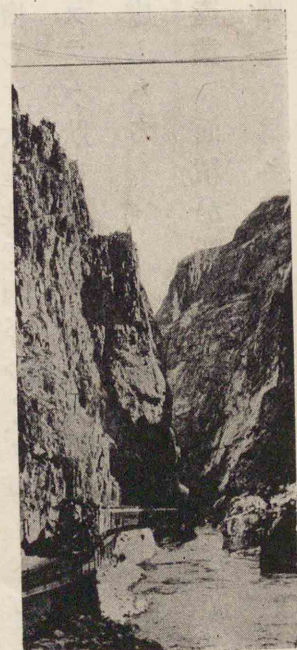
形地の國衆合カリメア



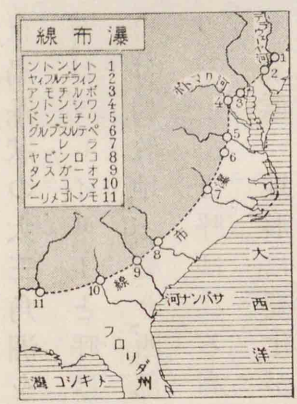
面断面部中東國衆合カリメア

ヨセミテ谷はコロラド峽谷と共に名高く

帯を通じて處々に火山が聳え、間歇泉に名高いエローストン公園もこの中にある。海岸は單調で、北にヒューストサウン、中部にサンフランシスコ灣の溺谷があるに過ぎない。東部にはアパラチャ山地が連り、その東斜面には並行せる短流が多く、それが臺地を離れる處に、相列んで瀑布を懸け、所謂瀑布線を作つて水力の利用に便を與へ、多數の工業都市が發達した。海岸には多くの溺谷があり、良港となつてゐるが、南部からメキシコ灣岸にかけては、潟や砂洲の發達が著しい。



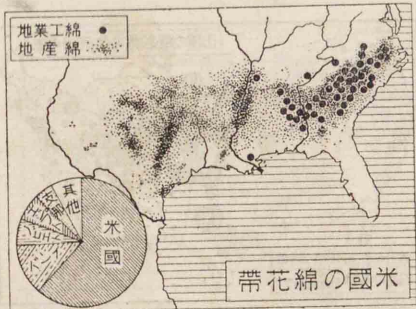
十八 谷峽の河ドラロコ解圖 處しなを壁絶が崖兩間の軒餘ぶ及に米千高の崖てつよに



中部は廣い平野で、ミシシッピ河がミズーリ、オハイオ等の大支流と共に此處を流れ、河口

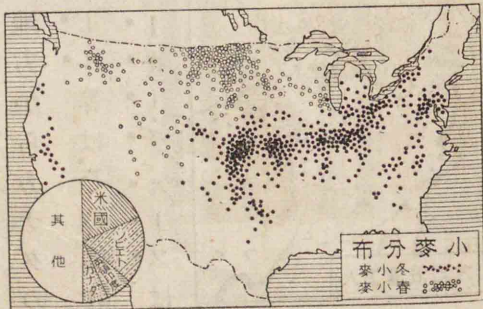
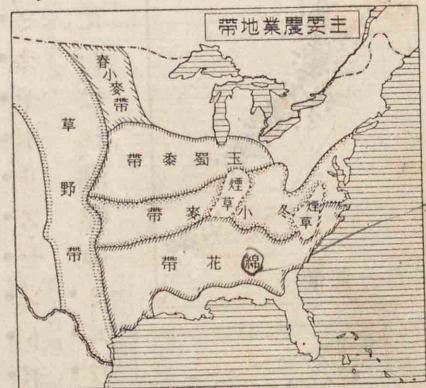


綿織たしに詰梱はに場車停の方地産綿 出積の綿織
景光るけ於にスヤリルオーニは圖 るれさ積山く多



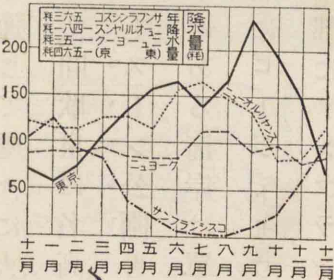
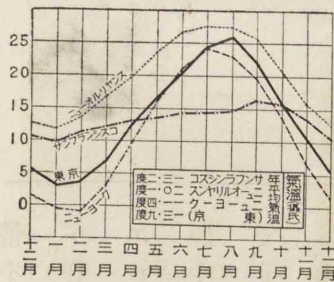
略、带状をなして南
北に列んである。綿はメキシコ灣に近
い地帯に多く、ニューオルリヤン、スガ
ベ、ストンはその積出港である。綿花帯
の北に冬小麦帯があつて、煙草産地が
その中に挟まれ、リチモンドル、イスビ
ルは煙草の大市場である。玉蜀黍帯に

等の主産地は、
位を占める。其
で、その産額は世界の一、二



模に行はれることは、本國
の一特色である。

中央平野は綿、小麦、煙草
玉蜀黍等の耕作が甚だ盛
で、その産額は世界の一、二



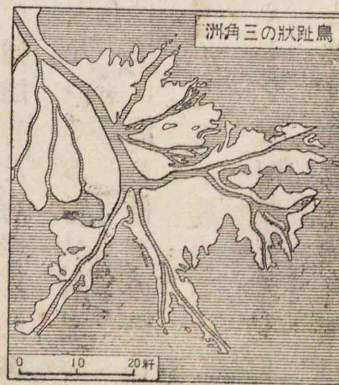
フロリダ半島は有
名な避寒地でアパ
ラチヤ山脈の北部
は避暑の適地
ロッキーマウンテンは氣
候の大境界をなし
てゐる

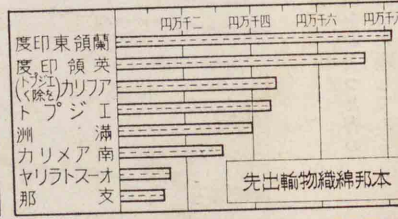
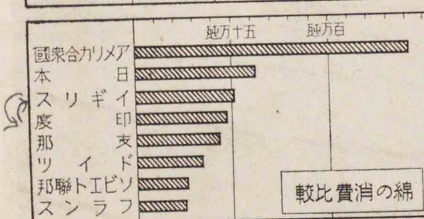
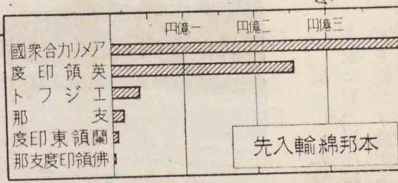
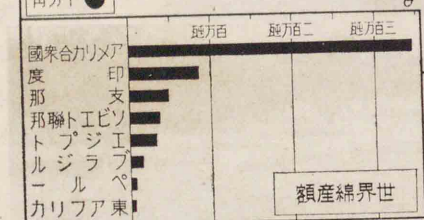
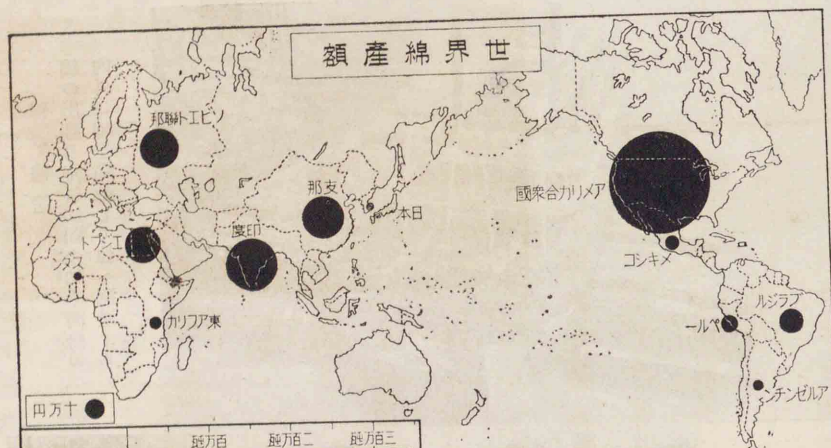
部は夏に雨が多く、南部は冬に多い。中部の平野
は、概して大陸性で雨が少く、グレートプレーン
はステップ状をなし、西部の山間には、沙漠状をな
す處もある。

産業

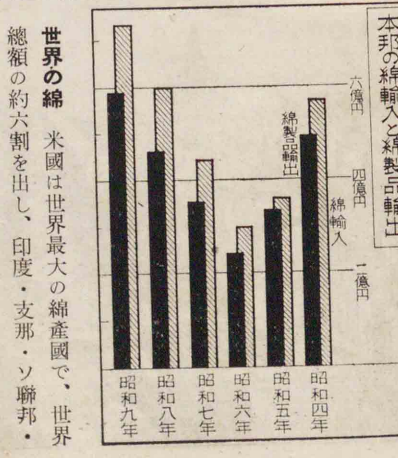
面積が廣く、天産に恵まれ、資源が極め
て豊富な爲、各種の産業が大いに起り、その大規

に鳥趾状の大三角洲を作る。この平野の大部
分はプレイリーと呼ばれる草野であつたが、
今は農牧地と變り、西部にはグレートプレー
ン（ハインプ）と呼ばれる高い平坦地がある。
Great Plain
氣候 地形に變化がある爲、氣候區は數多
に分れる。大西洋岸は温帶性であるが、北部は
ラブラドル寒流に洗はれて稍寒く、南部及びメキシコ灣岸は、亞熱帶
性で降雨が多い。太平洋岸は日本海流の影響を受け、一般に温暖で、北

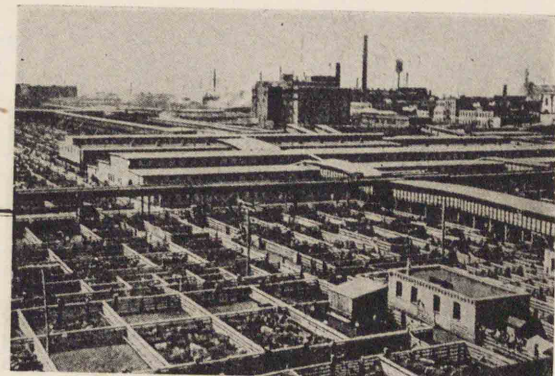




我が国の綿工業は、近年非常な進歩をなし、綿の消費額に於ても、綿糸・綿布の生産高に於ても、又綿布の輸出高に於ても、綿業の老大国英國を凌いで世界の第二位を占めるに至った。併し國內には綿の産が殆どなく、朝鮮に於ける綿作は年々に發展しつつあるが、最大部は輸入に仰ぎ、尙内地への移入は僅少であるから、原料綿の輸入は甚だ多く、輸入品中の最高位を占めるが、綿製品の輸出も亦多く、輸出品の最高位を占るので、之によつて輸出入の調節を保つてゐる。

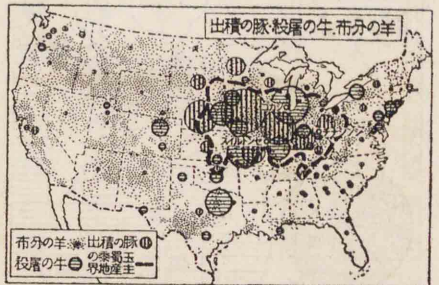


世界の綿 米國は世界最大の綿産國で、世界總額の約六割を出し、印度・支那・ソ聯邦・エジプト等が之に次ぐ。

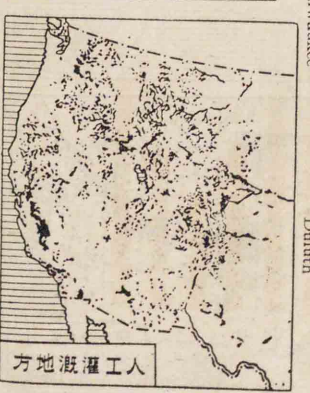
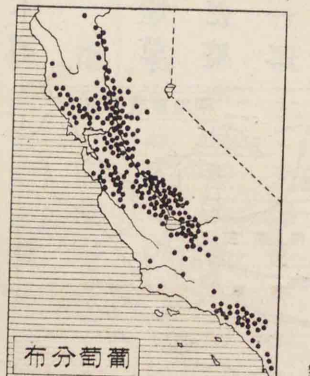


肉製工場と畜産置場 畜産置場の背景に肉製工場がある

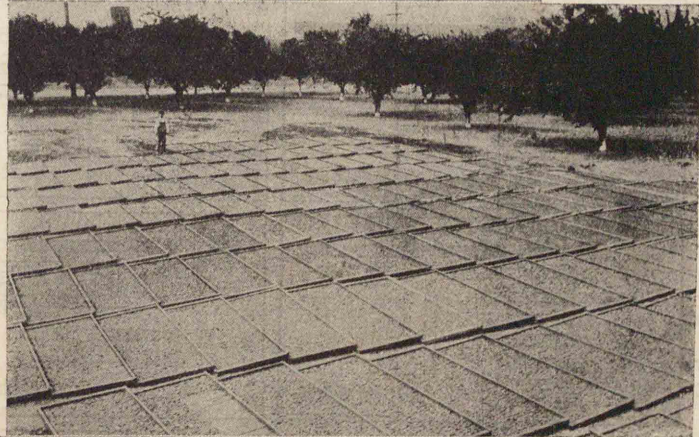
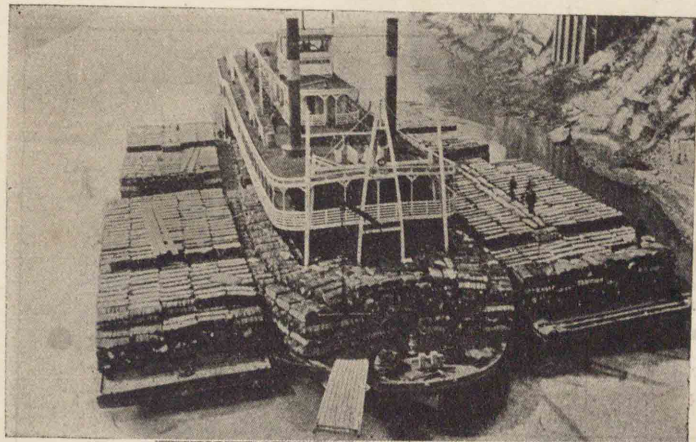
共に盛大な穀物積出港である。この外メキシコ灣岸の地方には、甘蔗が栽培せられ、テキサス及びカリフォルニア



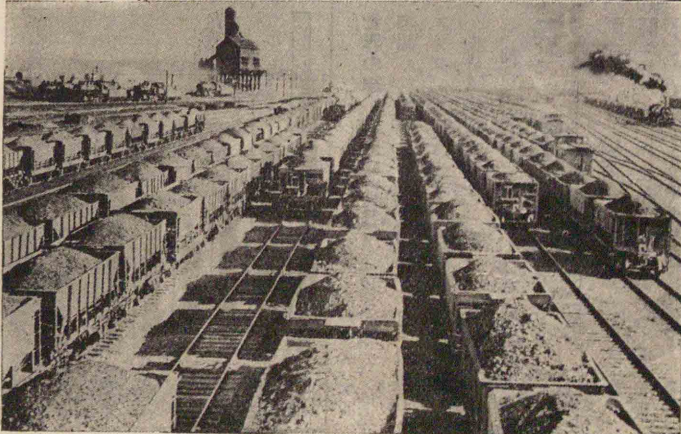
は、玉蜀黍の外、麥類を多く産し、又此等を飼料として、盛に牛・豚・羊等を飼養し、グレートプレーン及び大湖地方と共に、主要の牧畜地で、シカゴ・セントルイス・シナチ等は、穀物・肉類等の大市場で、又その加工地である。春小麥帯は、五湖地方からカナダのセントポール等は、その集散地である。



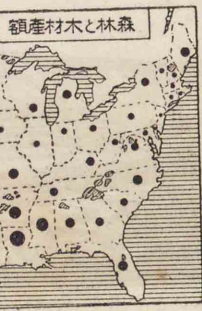
綿の輸送
綿の出盛り時には圖の如く河舟の内外に綿を満載して他へ運送する



果實の乾燥
多數に列ぶ箱は核を取去つた杏の實を乾かす爲に天日に曝してある



鐵礦の輸送
スベリオル湖畔のジュルースで鐵礦を満載した貨車が多く集結する



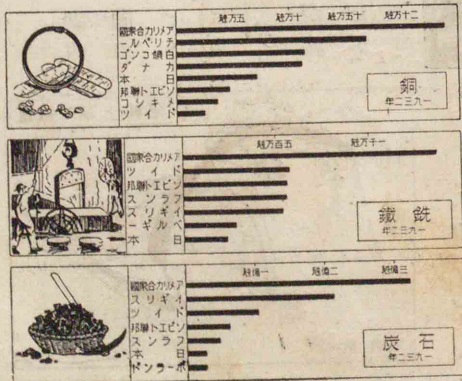
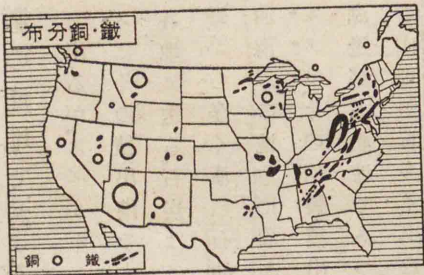
カリフォルニア地方の巨木には樹齡千年を超え幹の直径十三米に餘るものがある今はその伐採を禁止した
チエサビーク灣には牡蠣の養殖が盛に行はれボルチモアは世界最大の牡蠣市場である

ニヤ等には米作も行はれ、五湖地方には馬鈴薯の産が多い。
カリフォルニアは人工灌漑により、五湖地方と共に果實を多く産し、殊に前者は葡萄、柑橘、野菜類等の産に富み、邦人のその栽培を営む者も少くない。サク・ラ・メン・ト・プレ・ス・ノ等はその中心市場である。

林業は東北部及び西部に盛で、カリフォルニア地方には有名な巨木がある。東北部の沿海(鮭)及び西部の河川(鮭)には、漁利

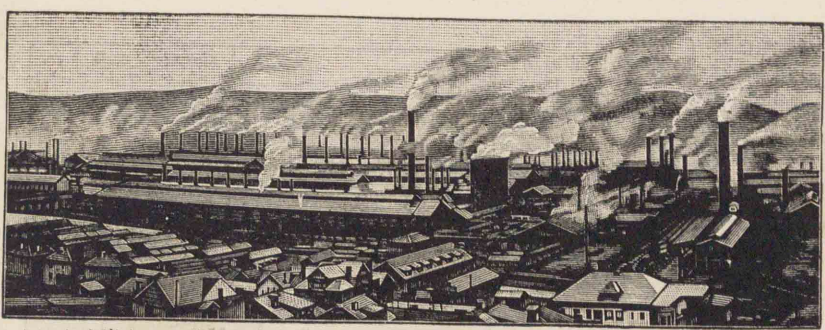
が頗る多く、太平洋方面には、日本人の漁業に従事する者が少くない。

鑛産も極めて豊富で、鐵石、炭、石油、銅、鉛、亜鉛、アルミニウム等の實用鑛物は、何れも世

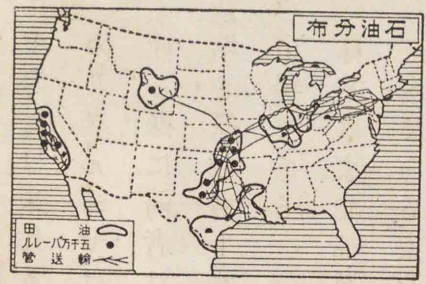


小支分
大支分

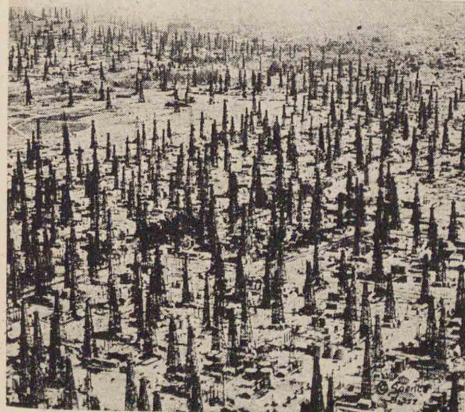
界第一に位し、金銀等も亦有数の産地である。



解圖 鋼製のグーパツビに製鐵所は多き米國全産の二分の一を輸出す

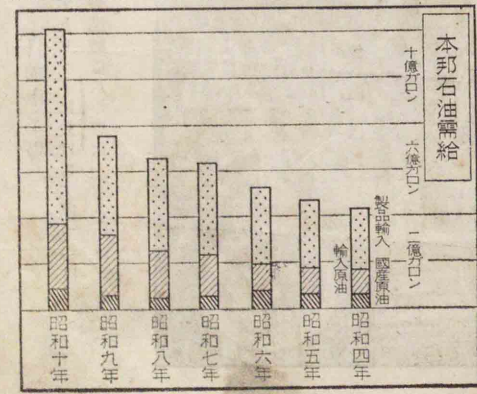
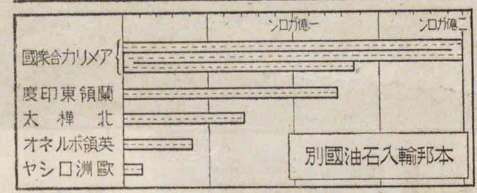
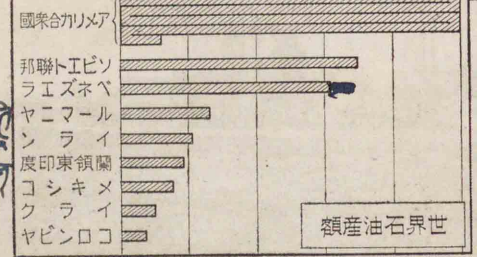
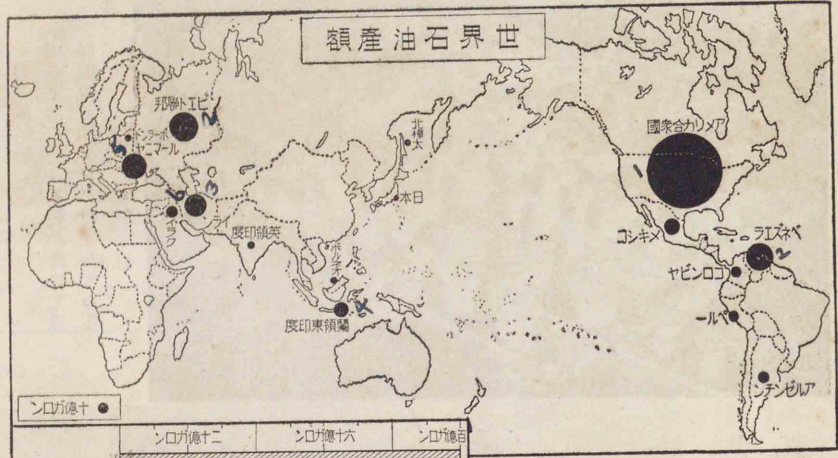
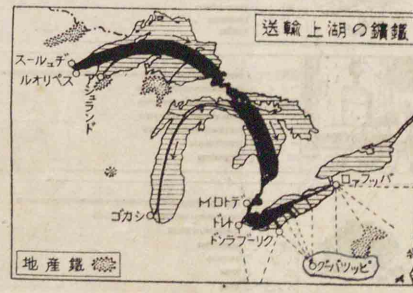


鐵はアパラチヤ山地にも出るが、スペリオル湖西の地方に最も多く、チュールースはその積出港で、大湖水運を利用して湖邊の各地に送る。石炭はアパラチヤ山地及び中部の平野から多く産し、石油は東北部・ミシシッピ下流及び西海岸の地方に最も多く、フィラデルフィヤ、ロスアンゼルスはその精製積出が盛である。銅はスペリオル湖邊が主産地であつたが、今は金銀等と共に、西部の山地から多く出る。



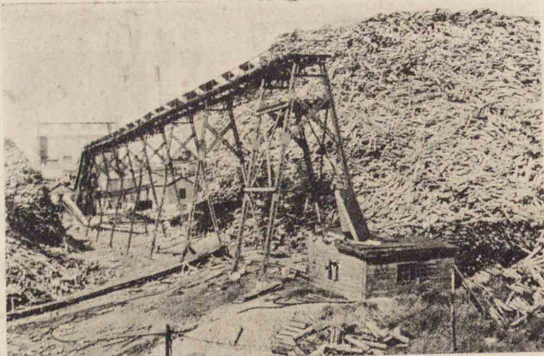
田油の田光解圖 田油の近附スルゼンアスロ 景光の田油解圖 田油の近附スルゼンアスロ 景光の田油解圖 田油の近附スルゼンアスロ 景光の田油解圖

五湖地方から、大西洋岸に達する地域は、原料の産地に近く、燃料、礦物に富み、水力の利用にも便利

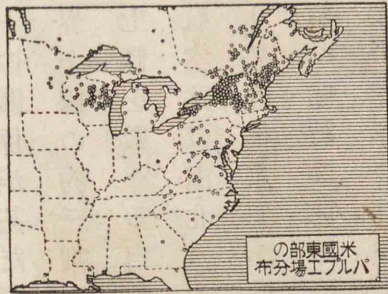


世界の石油 米國は石油産地として世界の諸國に群を抜いて第一位を占め、ソ連邦・ベネズエラ等が之に次ぐ。近年石油の重大性は益々加はり、船艦・車輛を始め、重要な文明の利器は皆石油によつて活動するといふ有様で、その需要も大いに増して来たが、我が國には遺憾ながら石油の産出が乏しく、需要の大部分は外國から輸入してゐる。

我が國の石油状態を見ると、新潟・秋田等に石油の産出があり、その他處々に試掘を行つてゐるが、尙國産の原油を精製したものは僅に需要の八%で、原油を輸入して精製を加へたものが三四%を占め、その他(五八%)は製品を輸入したものである。輸入先は米國(六八%)を主とし、蘭領東印度・北樺太等が之に次ぐ。

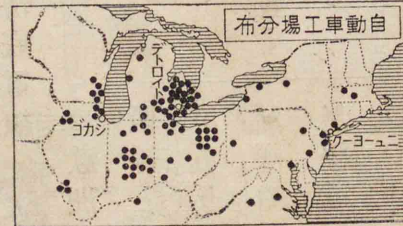
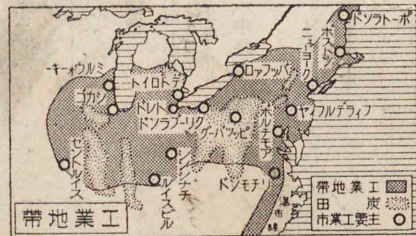


解 説 場 工 プ ル パ 解 説 場 工 プ ル パ 解 説 場 工 プ ル パ
 部 一 の 場 工 グ ル プ ン デ グ オ は 圖 る れ さ 給 供 て つ な と 紙

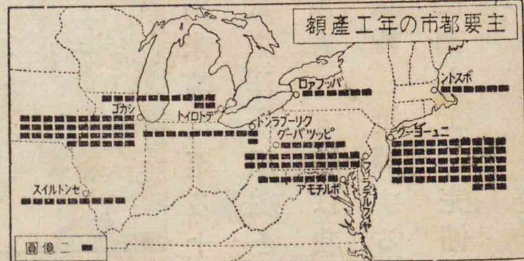


の 部 東 國 米
 布 分 場 工 プ ル パ

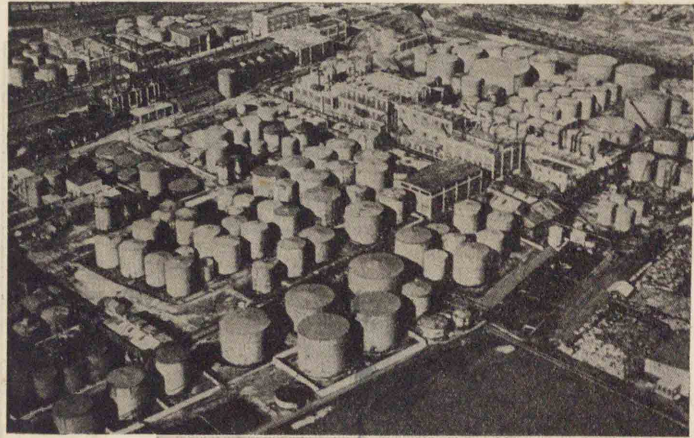
な爲、多くの大商工都市
 が並び、鐵鋼機械車輛織
 維品ゴム製品紙等の産
 出が甚だ多い。
 資源の豊富と工業の
 盛大な爲に、
 貿易も大い



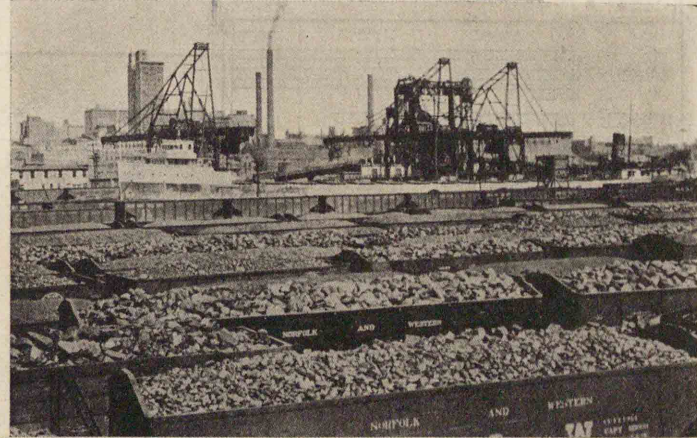
額 産 工 年 の 市 都 要 主



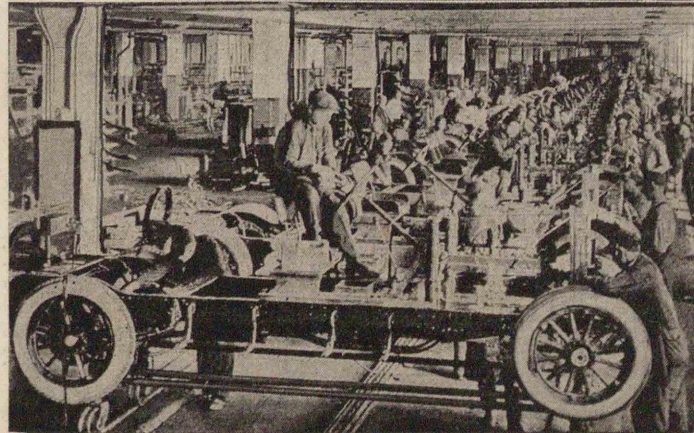
に發達し、殊に輸出超
 過が著しい。綿石油機
 械類自動車鐵類等は主な輸出品で、廣
 く各地に供給し、珈琲砂糖ゴム生絲等
 は主要な輸入品である。我が國は多く
 生絲罐詰食料品陶磁器羽二重等を賣
 つて、綿石油鐵類機械自動車木材等を



製 油 所
 米 國 の 東 部 に 於 け る 製 油 所 の 光 景
 で 多 數 の 石 油 タ ン ク が 並 ん で ゐ る

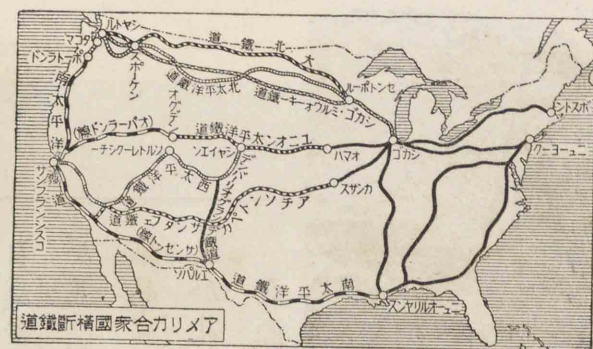


石 炭 の 積 出
 石 炭 の 集 散 世 界 第 一 と い は れ る エ
 リ ー 湖 畔 の 光 景 で 炭 車 が 輻 湊 す る



自 動 車 工 場
 デ ト ロ イ ト に 於 け る 工 場 で 一 日 の
 製 造 數 は 八 千 臺 に 上 る と い は れ る

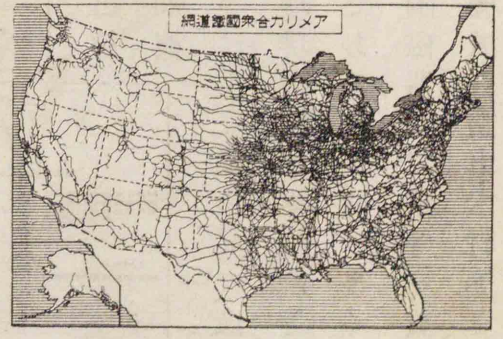
自動車は世界の約八割に達する
 九百五十萬臺で世界の總數三千五百萬臺の約八割に達する



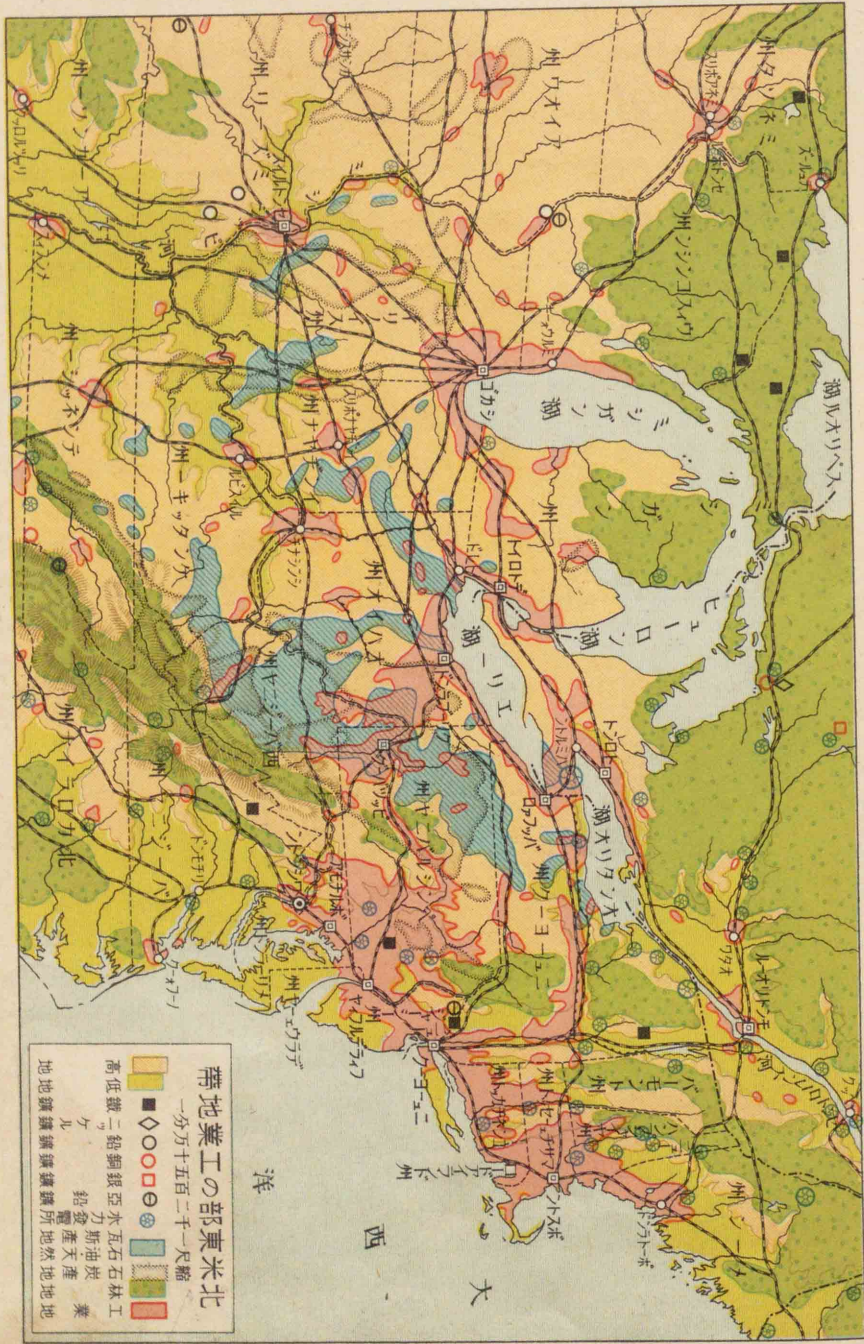
道鐵断横

大北鐵道 シカゴ—シヤトル
 シカゴミルウオーキー鐵道 シカゴ—シヤトル—クマ
 北太平洋鐵道 セントポール—シヤトル
 ユニオン太平洋鐵道 オマハ—シヤトル
 シカゴ—オマハ—(中央太平洋鐵道)
 オグデン—サンフランシスコ—(南太平洋鐵道)
 西太平洋鐵道 シヤイエン—サンフランシスコ
 サンタフェ太平洋鐵道 ラスアランゼルス
 南太平洋鐵道 ニューオールリヤンス—サンフランシスコ

買入れ、貿易上の關係が甚だ深い。
 鐵道は世界全線の約三割を占め、大規模の大
 陸横斷線も七條を數へる。自動車の利用は、世界
 の群を抜き、航空路は南北の兩米を連ねて縦横
 に走り、又近年太平洋横斷の線路も開け
 た。商船の噸數は世界第二位を占め、我が
 國も太平洋岸の外、パナマ運河を経て、大
 西洋岸に定期船を通じてゐる。海底電線



は歐洲・南米等に至る十
 數線と、太平洋横斷線と
 があり、後者の支線は我
 が國の電線と接續する。
 無線電信網もよく完備
 してゐる。



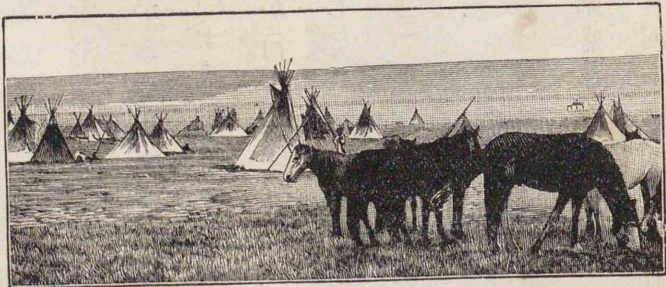
地業工の部東米北
 一分万十五百二十一尺縮

高低鐵 二鉛銅銀亞水石炭
 力斯油炭 結露産天産
 業 地業工の部東米北

米國に住むインヂ
ヤン族の数は三十
五萬餘に過ぎない
今は特別區を設け
て保護を加へてゐ
る

住民政治 原住民の

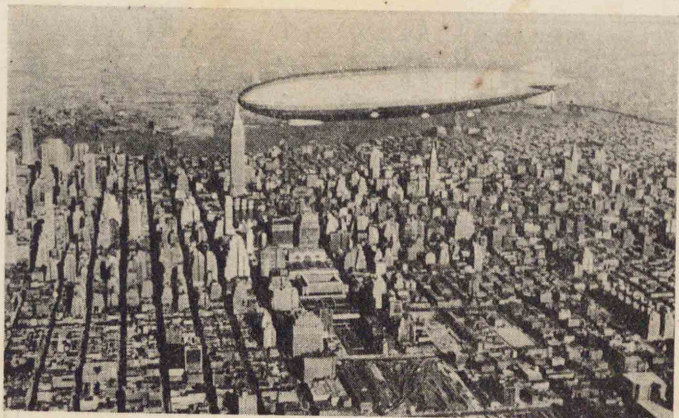
インヂヤンは年々その
數を減じ、國民の大部は
英人の子孫であるが、下
イツその他の歐洲諸國
から移住した者も多い。東南部地方には、嘗て
奴隸として輸入された黑人の子孫が住み、西
部地方にはアジヤからの移
民が多く、我が邦人も十一萬
に餘るが、今は東洋人の移住
を禁止した。國民は自由平等
を主義として、實利金權を尊び、富豪が甚だ多い。宗教
は新教が最も廣く行はれ、教育はよく普及して、多くの
大學がある。



解圖 カリメア北・南落部のそとヤヂンイカリメア
多。最り互にカリメア北・南落部のそとヤヂンイカリメア
製毛羽でのもたし示を俗風のそは ④ るあでヤヂンイは人士む住
景光の落部るす住群の等彼は ⑤ る造で皮獸に主は服衣き戴を飾装の

ワシントン市の所在地をコロンビヤ区といひ他の州に属しない面積は約百六十方呎ある

主要都邑 人口(萬)
 ニューヨーク 六
 シカゴ 三
 フィラデルフィヤ 三
 デトロイト 一
 ロスアンゼルス 二



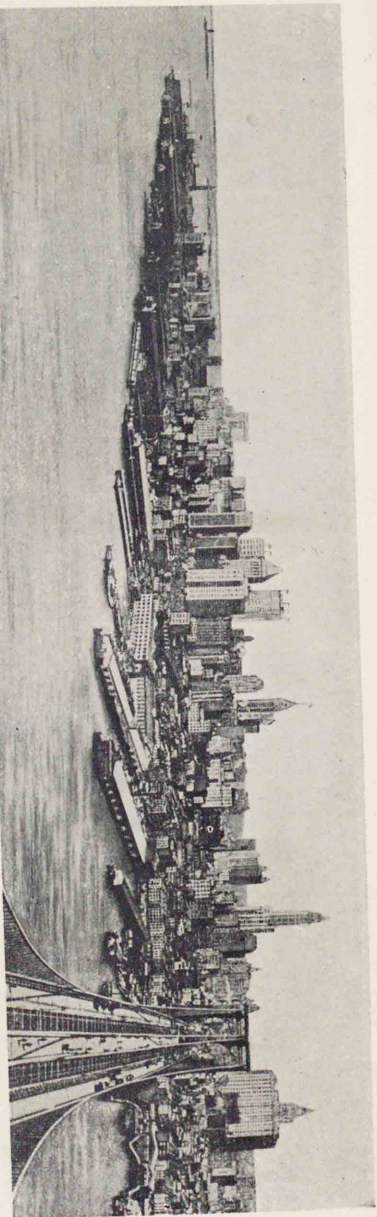
解 圖 ニューヨーク市の街市 十六階十七階と驚ふべき高さ層建が築林の如く聳て摩天樓を中りに二數千幾百を算するも物建る

この地は、最初スペイン・フランス・オランダ等によつて植民せられ、後に英國の植民地となつたが、一七八三年に獨立し、爾來購求讓渡又は征服によ

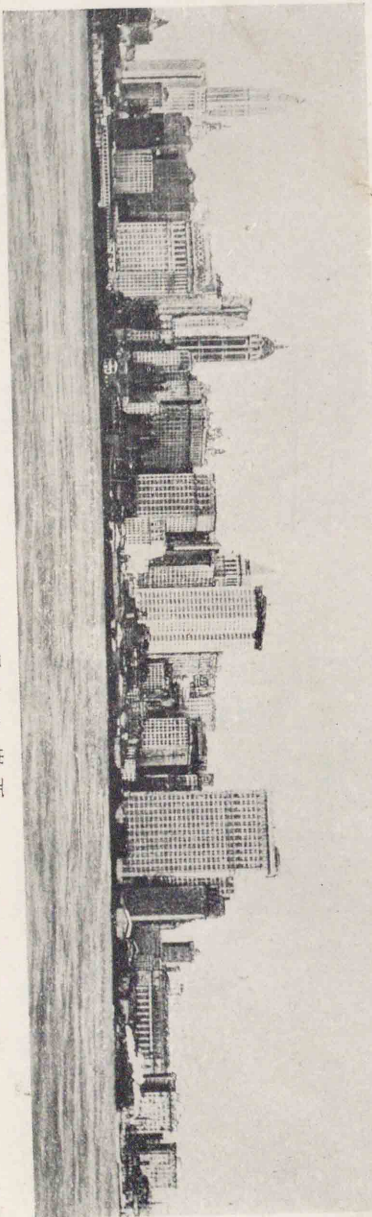
つて、現在の境域となり、尙西印度及び太平洋上に廣い領土がある。政治は聯邦共和制で、一區(ピコラ)四十八州、二地方(アラスカ)から成り、大統領が行政を統べてゐる。陸軍は大戦中に著しくその數を増し、海軍の勢力は英國と並び、常に太平洋の制覇を念としてゐる。

都邑 東部地方は最も早く開けた處で、商工業が發達し、繁盛な都邑が多い。ニューヨークはハドソン河の口に臨み、街路が

主 要 領 土	
アジア洲	フィリピン諸島
大洋洲	グアム島 サモア諸島(一部)
北アメリカ洲	ポートルコ・セントトーマス島・パナマ運河地帯

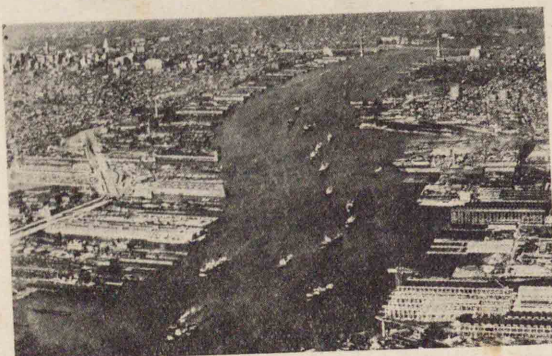


東 岸 見 ら ぬ 見 せ ぬ 左 右 橋 架 橋 景 光 見 せ 隔 河 ト ン 河



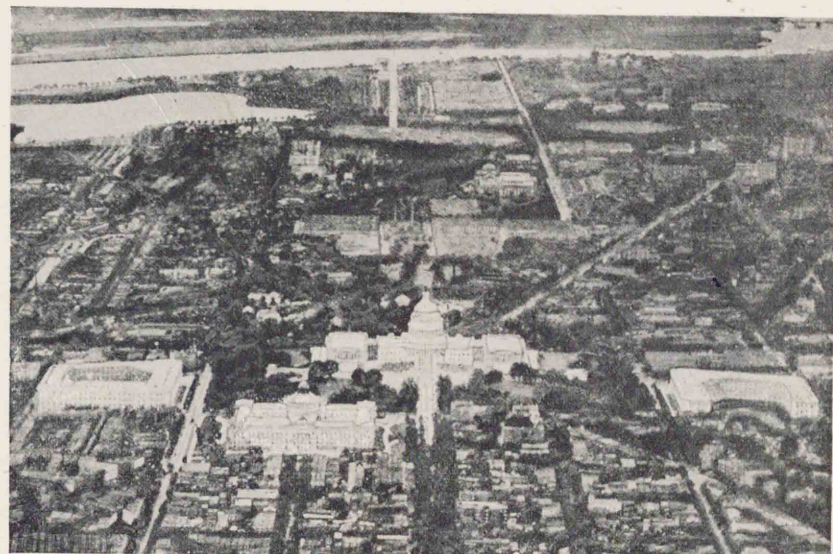
西 岸 見 ら ぬ 見 せ ぬ 左 右 橋 架 橋 景 光 見 せ 隔 河 ト ン 河

クリーブランド
セントルイス
ボストン
ピッツバーグ
サンフランシスコ
ミルウォーキー
バッファロー
ワシントン
ミネアポリス
ニューオーリンズ
シヤトル
シヤトル
ボートランド
セントポール



解圖 フラデラヤの河岸 無数の船渠が比しめる

この國の首府で、國會議事堂・大統領官舎
等があり、清楚な市街である。
中部地方にはミシシッピ河が流れて、その沿
岸にニューオーリンズ・セントルイス・セント
ポール等の河港がある。何れも交通・商工業の
中心となつてゐる。
ミシガン湖畔のシカゴは、水陸交通の要點
にあつて、各種の商工業が盛に行はれ、本國第



ワシントン

館書圖は前の左、稍院下と院上は右左のそで堂事議邦聯は央中



シカゴ大

るゐでん並建と然整模規が堂學のく多で景光たし瞰下らか中空

面積 約七百萬方
人口 約六十五萬

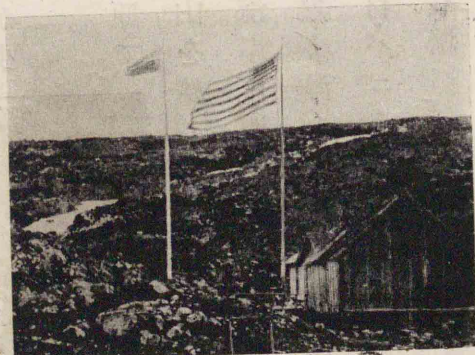
新大陸の中、最も早くスペインに征服せられた處で、後に獨立して共

第三章 メキシコ

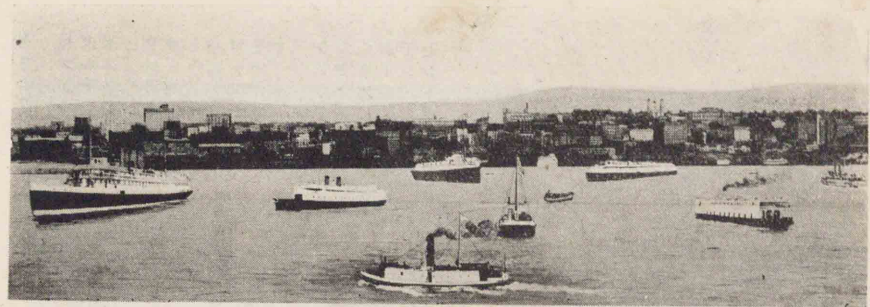
Mexico (墨西哥)

アラスカは山勝ちの半島で、氣候が寒く、土地は未だ開けないが、鑛山(金・銀・銅)に富み、河川及び近海には魚族が多く、又近年馴鹿の飼養に成績を擧げてゐる。プリビロフ島は臘納默の群棲地で、アリューシャン列島のダッチハーバーは、軍事上の要地である。

日本との關係 幕末の際には、我が開國の指導者となり、日露戦役に當つては調停の勞を取り、且我が文化の上にも負ふ所が多い。殊に兩國の貿易關係は極めて密接で、我が貿易額の三分の一は、この國との取引に屬し、我が商船は常に往復し、邦人の在住も多いが、一九二四年には、我が移民を禁止して親善關係に暗影を投じ、その後、太平洋問題、極東問題等で、往々意見の隔障を見、遺憾はあつたが、今は太平洋を挟む隣國として、和親を保たれてゐる。



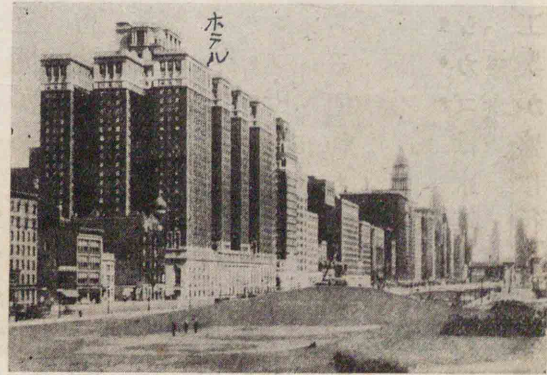
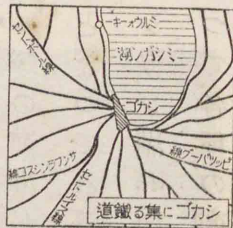
を隔間の定一 境國のとカスラアとダナカ解圖
るゐてれさ揚掲が旗國め埋を柱の製屬金ていお



いよてめ極も景風も候氣し達發に丘山くなど重幾が街市 ルトヤシた見らか上海解圖

二の大都會である。デトロイトは自動車の製造、ピッツバーグは製鐵製鋼に於いて、何れも世界第一の工業市で、バッファローは粉製材料、クリブランドは機械鐵等も著名な工業市である。

サンフランシスコは金門海峡を通じて、太平洋に對する交通の要地を占め、我が國と關係が深く、ロスアンゼルスは大油田を控へて、長足の發展をなし、又活動映畫の製作で名高く、サンチエゴは重要な軍港である。シアトル、タコマは、共に海陸連絡の要地で、此等の諸港には、何れも我が航路を通じてゐる。ポートランドは木材、水産物の集散が盛である。



で景光の通ンガシミるすとり誇の市 街市のゴカシ解圖
るす對と水湖てて隔を園公は方一び並が樓高度大は方一

住民の多数を占めるは白人とインディアンの雑種で之をメスチゾといふ



超え雄大な火山の背景と景気眺望も共に爽快なるポポカテペトル山とメキシコ市を三千里四百米を

和國となつたが、内亂が續發して産業の發達を妨げた。住民はスペイン人の子孫が中堅をなし、言語も主としてスペイン語が用ひられる。我が國との關係は甚だ古く、嘗て徳川時代の初に、使節を送つたノビスパンヤはこの地のことで、今

も一般に親日の風があり、邦人の在住が少くない。

國の大部は高原で、

ポポカテペトル山を始め、數多の火山がこの中に聳え、僅に海岸に狭い低地がある。海岸地方は、炎熱多濕の不健康地であるが、林地からは木材、バナラ等を出し、低地には、甘蔗、米、綿等の栽培が行はれる。東岸のべ



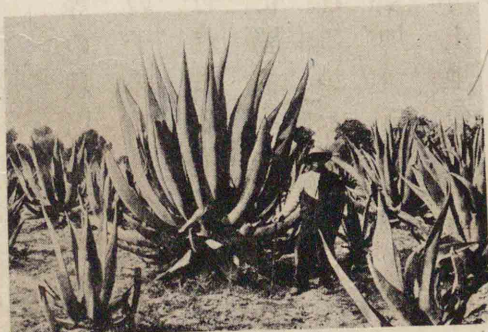
解圖メキシコ人茅屋の廣帽に等一の斑が見える



メキシコ一國
金・銀・銅等は之を貨幣に鑄造して輸出することが多い



ラクルス、西岸のアカプルコ、マンサニヨ等は、此等の産物の集散地で、又高原地方への門戸である。
高原地方は乾燥して、仙人掌(寄生蟲から洋紅を採る)、龍舌蘭等が自生し、又人工灌漑によつて、玉蜀黍、煙草、珈琲等を出す。土地が高い爲に氣候が涼しく、鑛物の埋藏も多いので、この國第一の開化地帯となり、首府メキシコ(海拔三千三百米)を始め、多くの都邑がある。鑛物は最大の富源で、銀、金、銅等を出し、殊に銀の産額は世界の第一位を占め、東岸には豊富な油田もある。此等の鑛産物は、輸出品の大部を占めるが、鑛業の經營は、多く外人の手に屬する



解圖龍舌蘭の一種に屬するザイサ草で、その葉から採集した維織麻で、その葉を採らつた液でケルブと呼ぶ酒を醸す

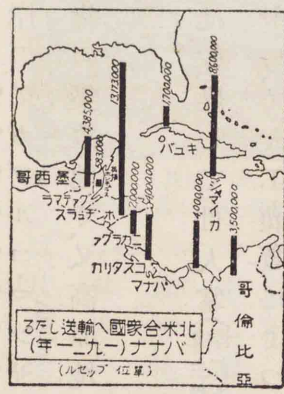
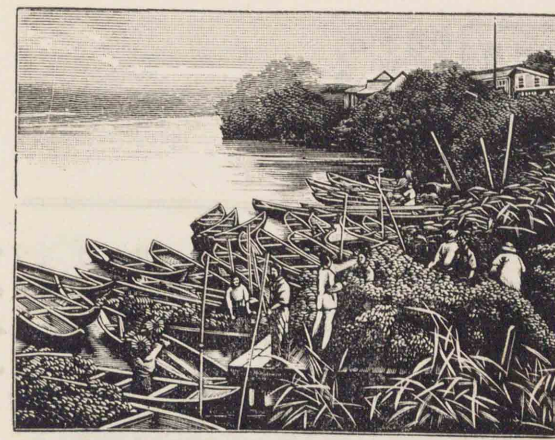
第四章 中央アメリカ及び西印度

中央アメリカ 南北アメリカ

を連ねる橋梁部に當り、一帯の高
地系がその脊梁をなし、一派は分

れて西印度諸島に
延びてゐる。氣候は

概して暑く、甘蔗バナナ珈琲等の栽培が行はれる。
住民の主腦は、スペイン人の子孫で、スペイン語が行

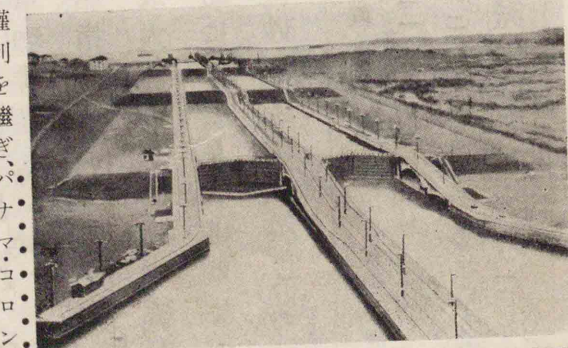
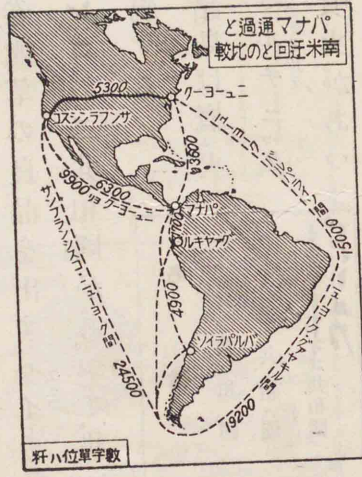


出積のナナバ 解圖
メア央中はのるす産く多。最
熱な康健不のこで方地のカリ地
るあて業産の一第るけ於に

はれる。政治は一部が英國
に屬する外、六共和國に分
れるが、米國の勢力が著し
く加つてゐる。
土地の幅が狭い爲に、前

名稱	面積 萬方呎	人口 萬	首府
イギリス領 ホンチラス	二・二	五	ベリゼ
グアテマラ	一・八	二二五	グアテマラ
ホンチラス	一・五	八五	テグシガルパ
サルバドル	三・四	一四四	サンサルバドル
ニカラグア	一・二八	八〇	マナグア
コスタリカ	六・〇	四七	サンホセ
パナマ	八・四	四七	パナマ

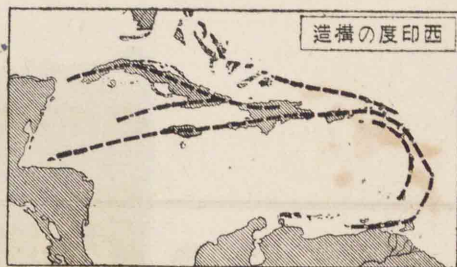
にもニカラグア
運河の開鑿を
企てたことが
あつたが、近年
パナマ運河が
開けて、交通上
にも政治上にも、重要な意義を有する地點
となつた。



が河運は分部のこで景光の門閘ツガ 河運マナバ 解圖
るあてつないうやるれか曳で車電で總は船通れ分に條二

パナマ運河 最初佛人レセップスの計畫により着
手されたが、事業の半途で中止したので、米國がその權利を継ぎ、パナマ・コロン間の
約八十呎に工事を加へたもので、一九一四年に開通し、その兩端にバルボア・クリス
トバルの二港が開けた。運河は、チャグレス河に堰堤を設けて、ガツン湖を作り、東西に
閘門を設けて、船を二十六米の高さに上下せしめ、閘門内は電車で船を曳く装置に
なつてゐる。米國は運河地帯を永久租借地とし、運河地帯の海岸と、パナマ灣内の諸
島とを譲り受けた。

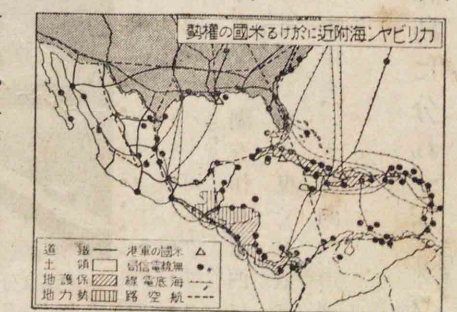
西印度 大アンチル・小アンチル・バハマの三諸島に分れて、カリブ



ハバナ 五萬
 ポルトープリン 二〇萬
 トルヒリオ 三萬
 マルチニク島の
 ベレ山は明治三
 十五年大破裂を
 して沿岸の市街を
 壊した

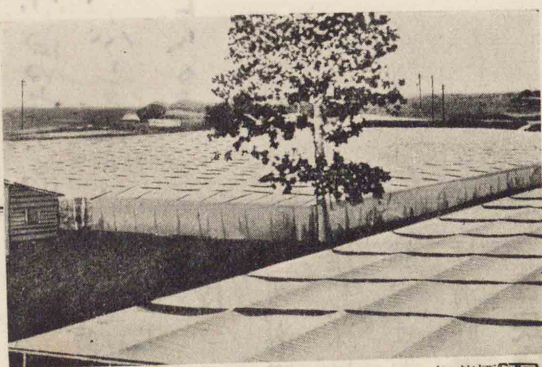
海を抱く。火山が多く、地震が屢起り、又時々暴風（ハリケンと呼び我が）に襲はれることがある。大アンチル諸島には三箇の小獨立國があり、その他は英米佛蘭の諸國に分屬するが、米國はカリブ海の附近一帯に、權勢を扶殖してゐる。

キニバ島はキニバ共和國の地域で、甘蔗、煙草、珈琲等の耕作が盛に行はれ、殊に砂糖は世界屈指の産地である。首府ハバナは、西印度諸島の最大都會で、粗糖の積出が甚だ多く、又葉巻煙草の良品を出す。ハイチ島には、黒人の建てたハイチ共和国があつて、共に砂糖、珈琲を産し、ジャマイカ島は英國に屬する。

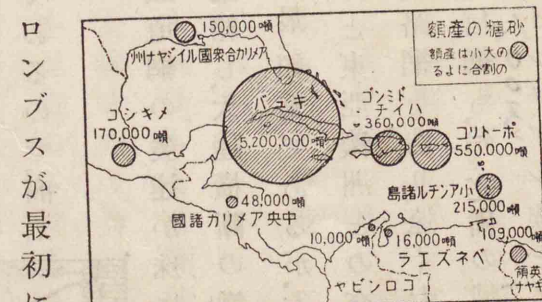
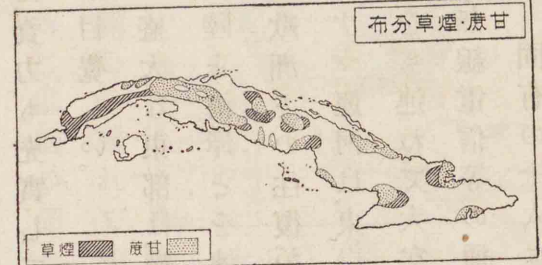


小アンチル諸島は概ね火山性で、中部のマルチニク島（佛領）は、近年大噴火があつた。

名	面積	人口	首府
キニバ共和国	一・一五 萬方呎	三九六 萬	ハバナ
ハイチ共和国	二・六	二五五	ポルトープリン
ジャマイカ	五・〇	一二八	トルヒリオ



解煙草 煙草の葉はのたしを覆日に面一で煙草煙のパッキを巻く。葉のたしを覆日に面一で煙草煙のパッキを巻く。葉のたしを覆日に面一で煙草煙のパッキを巻く。



たので名高く、トリニダード島（英領）は、地源青（アスファルト）石油等を出す。バハマ諸島（英領）は、主に珊瑚島から成つて、鳳梨、海綿等の産が多い。その中のサンサルバドル島（イギリス領）は、コロンブスが最初に到達した處と傳へら

れてゐる。
 ベルムダ諸島（Bermudas） ニーヨークの東南海上にある珊瑚島で、英國の海軍根據地である。氣候がよく、保養地にも適する。

總説 (其二)

日七郵船運送線
 香港、上海、長崎
 神戸、横濱、ホノルル、
 サトウエトろす
 大坂、高松、ヤマト
 青島、上、長、内
 神、田、市、海、水
 横、ハ、ー、ラ、ー、ハ、ー、
 シ、ト、ル、ハ、ー、

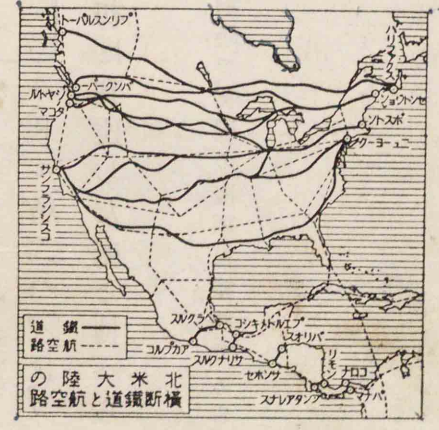
産業交通

土地が廣く、人口が少い爲、機械を應用して大量生産を行ひ、殊に中部の平野は大農牧地で、歐洲に對して主要の食糧庫となり、東西の山地には林産も多く、東北岸には大豊魚帯があり、鑛産も無限といはれる上に、資力も充實してゐるので、商業の發展が目覺しい。

商工業の盛大な東部は、鐵道網の發達が殊に著しく、河湖の水運と相待つて、内陸と海岸とを連絡し、大陸横斷の鐵道も、大小十餘條を數へる。海運は歐洲との往復が最も頻繁であるが、太平洋方面も大いに發達し、殊にパナマ運河は、東岸と東亞濠洲との交通を容易ならしめた。航空は南米をも連ねて大空路網を造り、遠く太平洋横斷の線路も開け、海底電線無線電信等の通信網も、殆ど完備の域に達してゐる。

住民國勢

固有の土人は、インディア族とエスキモー族とである



— 洲カリメア北 — 194



が、現住民の大部分を占めるのは、後に移住したヨーロッパ種の民族で、北部にはチュートン族、南部にはラテン族が多い。その他、東南部には、労働の爲に輸入された黒人の子孫が住み、西部の地方には、東洋からの移民も少くない。

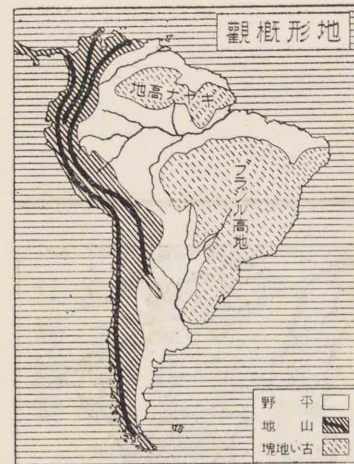
が、次第に母國から離れて獨立國となり、今はカナダの外、中米西印度諸島の一小部に、他國の領土を見るのみである。中でもアメリカ合衆國の進展は實に著しく、その權勢は、廣く南米の諸國に及び、歐亞の國際關係にも、その向背が重視されてゐる。

人面
口積 約一八〇〇萬方
面積は大陸中の第四位
あるが人口の疎なことは
大洋洲に次ぎ一方、僅に
四人である

第五篇 南アメリカ洲
South America (南亞米利加)

總說 (其二)

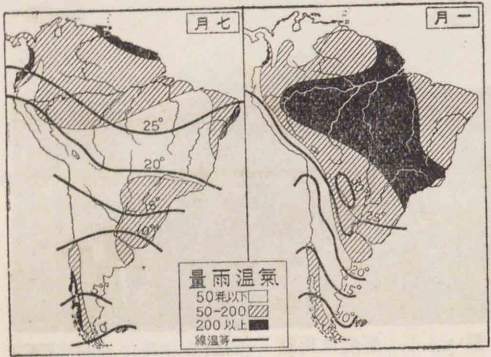
地勢海岸 南米は新大陸の南半を占め、パナマ地峡によつて北米と續いてゐる。この兩大陸は、共に地形が三角形をなす外、東西に高地があつて中央に平野を挟み、地體構造の上にも、似てゐる點が多い。西部には雄大なアンデス山脈が連り、火山帯が此處を通じて、數多の大



火山が聳え、東部にはギアナ・ブラジル等の古い地塊がある。中部は南北に互る殆ど一續きの平野で、アマゾン・オリノコ・プラタ等の大河が此處を流れる。この三流域には、著しい分水界がなく、アマゾン河とオリノコ河とは、支流が相連



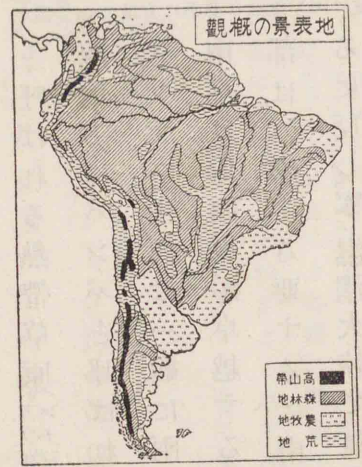
熱帯の蒼鬱は方地バルセ^上ノマリとバルセ^解で境人無は部大ずれは行に易容も査踏れさ鎖に林季乾がるす茂繁が草雜に季雨は方地ノマリ^下るあるあてつ殘に疎に疎が等掌人仙てれ枯く悉がれ夫はに



つてゐる。海岸線は概して單調で、西南岸の一部に、無數の峽灣や小島が錯雜してゐる外、大西洋岸の處



處に、三角河口を見るのみである。氣候生物 土地の大部分が熱帯



に屬し、貿易風の影響を受けて雨が多く、アマゾン河流域の大部は、セルバと呼ばれる大密林(コンゴ河流域の)をなしてゐるが、北又は南するに従つて雨量を減じ、オリノコ河の流域は、リノ



シンコナの樹皮から規那を採る

高高原上に於ける馬駱駝の軀體は小い割合に力に強き地方の必要に於ては肉を食すに用毛織物などは

と呼ばれる熱帯草原(アフリカのサバ)をなし、ラプラタ河の下流地方は、パンパと呼ばれる温帯性の草原になつてゐる。アンデス山西は一般に雨が少く、沙漠をなす處もあるが、南部は偏西風が卓越する爲に、雨は山西の地方に多く、東部は乾燥する。要するに南米は、アフリカが乾燥大陸であるに反し、寧ろ濕潤大陸で、氣温も之が爲に緩和せられ、サハラ

の如き酷熱の處はない。生物はジャグアル、ピマの如き猛獸や、駱馬、羊駝等の家畜を始め、コンドル、大蛇等の特有の動物が棲み、ゴム、シンコ

ナ、コカ、カカオ等の植物は、本洲の原産であるが、今は他の大陸にも移植されて、經濟上重要なものとなつた。

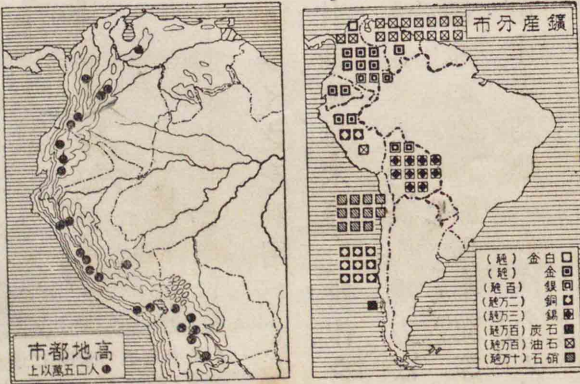
現状 本洲は東北の一部と島嶼とに、歐洲人の領土を残すのみで、他は十箇の共和國に分れてゐるが、何れも建國が新しく、人口は少く、未開地は廣く、發展を將來に待つものが多い。

各説

第一章 西部諸國

大部はアンデス山地に屬し、一體に土地が高く、その中にコロンビヤ、エクアドル、ペルー、ボリビヤ、チリの五共和國がある。

アンデスは世界最長の褶曲山脈で、アコンカグア(リチの國境に近く)を主峯とし、又火山帯が此處を通じて、世界最高の活火山コトパクス(エクア)を始め、大火山が多く聳えてゐる。この山地には各種の鑛産が多く、又北部では、高度の關係から氣候がよく、終年春の如き處もあつて、港市以外の都邑は、多く此處に集り、熱帯地方に於ける、唯一の文化地帯を作つてゐる。



面積 約二千萬方呎
人口 約五萬
ボゴタ 二萬

コロンビヤ (Columbia) (首都: ボゴタ) マグダレナ河の流域には、甘蔗、珈琲等の栽培及び牛羊の牧畜が行はれ、又處々に石油、白金等の鑛産がある。首府ボゴタは

高原上に位し、**バランキリヤ**は商業上の要地である。

小使館

ポコタ

面積 約四萬方軒
人口 約二〇萬
キトー 一〇萬

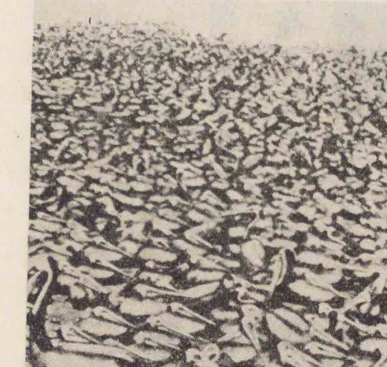
面積 約三萬方軒
人口 約七〇萬
リマ 二六萬

エクアドル 赤道直下の國で、カカオの産が頗る多く、又バナナ帽子の特産がある。首府キトーは、約三千米の高地にあつて、氣候がよく、グアヤキルはその外港である。

ヘルー 低地は高熱、寡雨の荒地である。

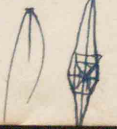


ヘルー 低地は高熱、寡雨の荒地である。



群の鳥海 島の海積堆 島の海近もで今がのあたりに積堆るれら見が群鳥海の數無き如す示るに圖はに

に養はれる細流が多く、之を利用して、人工灌漑を施し、綿・甘蔗・珈琲米等の耕作を行ひ、邦人の在留も少くない。高原地方は、銅・銀・石油等の鑛産に富み、駱馬・羊駝等の牧畜も行はれ、沿岸の島嶼からはグアノを出す。首府リマは、スペイン風の倣を殘



く多がるあで米南は地産主 作製の帽マナバ ぶ呼と帽マナバでのるれさ賣販で手の人商マナバ

ヘルーにある我が移民は二萬人に餘る
ヘルーには昔インヂアン族の建てたインカ國があつたが十六世紀にスペイン人ピサロに征服された

面積 約三萬方軒
人口 約三〇萬
ラパス 一五萬

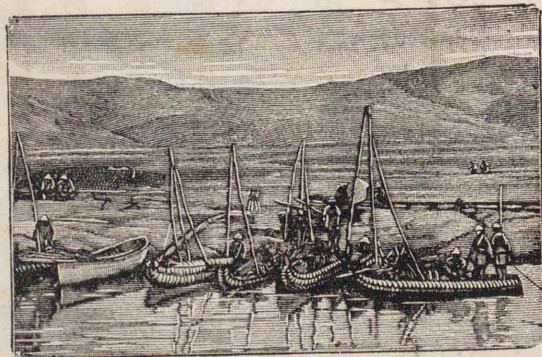
面積 約四萬方軒
人口 約四〇萬
チリの長さは約四千軒あるが幅は平均百六十軒に過ぎない
硝石は主に肥料に供するが薬品・火薬の原料にも用ひる



原の石硝 硝石の雪がやの面にう被をうてある

す都會で、カリャオはその外港である。東部のイキトスは、アマゾン河航行の要地で、林地からゴム・規那・コカ等を出す。

ボリビア アンデス山地の最廣い部分を占める内陸國で、錫・銀・銅等の鑛産を第一の富源とし、又珈琲・コカ・規那等を出し、羊駝・駱馬等の牧畜も行はれる。スクレは名義上の首府であるが、今はチチカカ湖に近いラパスに政府がある。ポトシは名高い鑛山町である。



し位に處高の米百八千三は水湖 舟蘆と湖カチチ なるひ用く多を(ぶ呼とササルバ)舟小たね束を草はで上湖

チリ 極めて細長い國で、風土が南北により著しく異なる。北部は高温・乏雨で、一部はアタカマ沙漠をなし、この乾燥地帯から出る硝石・グアノ

サンチャゴ
サンタルシヤ公園の丘陵を繞つて
發達した町で丘上の眺が誠によい

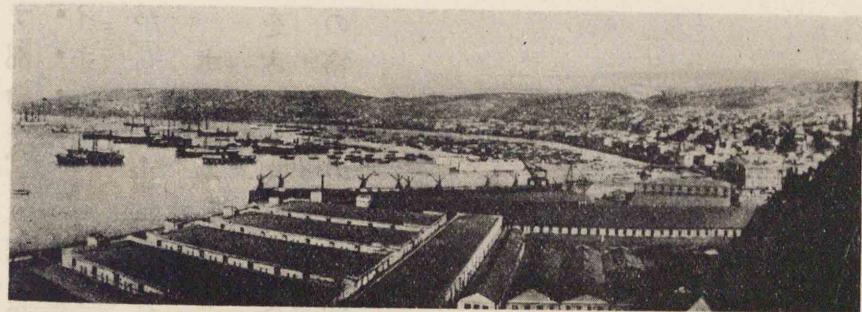


ブエノスアイレス
大建築が並び大道路が通じ南半球
の最大都會たる外觀を具へてゐる

リオデジャネイロ
奇形な丘陵に圍まれた美港で圖の
左方に峙つはセントアントニオ丘

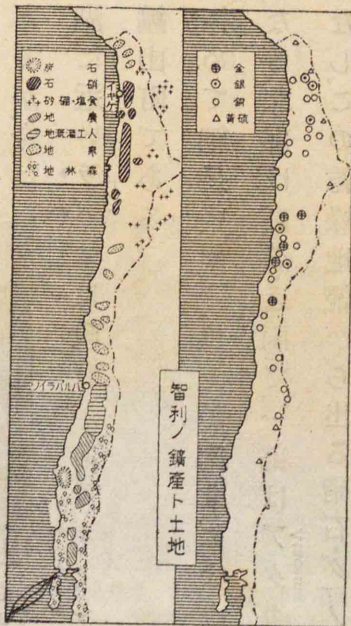


サンチャゴ
七萬



解圖パラルソイの埠頭 近景に幾棟となく並ぶのは税關倉庫の多數の起重機も見える

等は、本國の重要産物で、イキケはその積出港である。その他、山地には銅、石炭等の鑛産も多い。中部は概して、小麥、葡萄等の農産を出し、工業も稍發達して、住民の大部分は此處に住み、首府サンチャゴも此處にある。バルパライソはその門戸で、横斷鐵道の一端に當り、我が南米西岸航路の終點である。南端はフエゴ島との間に、マゼラン海峽を挟み、世界最南の都會マガリヤネス（フナスタ）の港市が此處にある。



Handwritten notes at the top of the right page, including the word "Brazil" and some illegible scribbles.

珈琲園
ブラジルのイグアベ植民地に於ける邦人の努力の結晶である珈琲園



バナナの積出
サンスト港の光景でブラジルでは珈琲の苗木保護の爲に植ゑられる



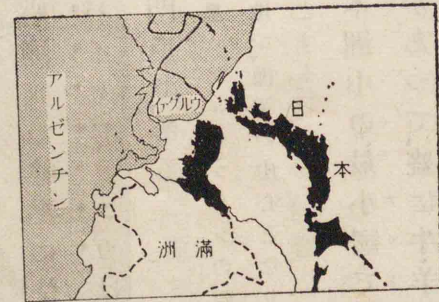
アルゼンチンの牧場
牛は羊に次いで飼養の頭数が多く肉牛・乳牛の輸出が甚だ盛である

Handwritten notes on the right side of the page, including the word "Argentina" and some illegible scribbles.

第二章 東南部諸國

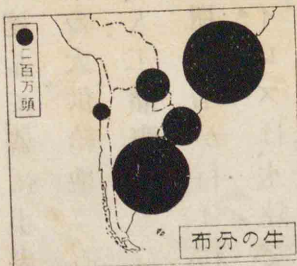
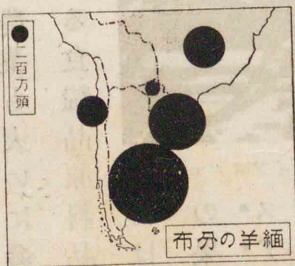
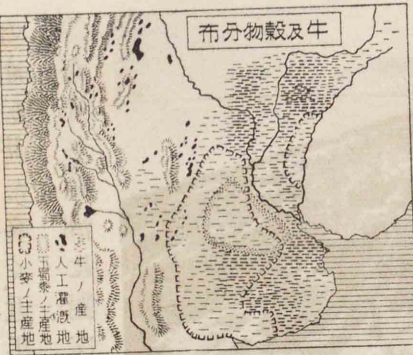
アルゼンチン・ウルグアイ・パラグアイの三共和国を含み、地球上の位置が、殆ど我が日本の背面に當り、氣候は概ね良好である。

アルゼンチン (Argentina) (亞爾然)
南米第二の大國で、産業の發達、文化の進歩は、南米第一といはれる。北部はチャ



方地る當に對反く全と部南東の米南留國

コと呼ばれる林地であるが、中部はパンパの草地をなし、南部にはパタゴニア荒地がある。パン



パに於ける羊牛馬等の牧畜は、この國の重要な富源で、羊毛・皮革・肉類等

面積 約六千萬方呎
人口 約三〇〇萬

チャコの林地からタンニンを産する

ブエノスアイレス
三〇〇萬
ロサリオ 四九萬

面積 約一九萬方
人口 約二〇〇萬
モンテビデオ 六萬



解圖 エブノアスレイ埠頭の穀物貯蔵庫並に附近に多数的に船が泊るす

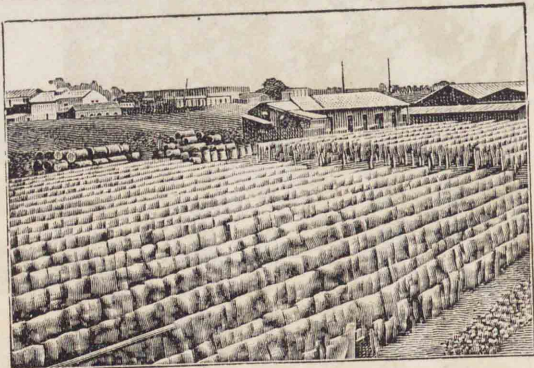
の産が甚だ多く、近年農業も大いに發達して、盛に小麦、玉蜀黍、亞麻仁等を産し、歐洲に對する食糧品、原料品の供給地である。西部の山麓

には、人工灌漑によつて、葡萄、その他
の果樹栽培が行はれる。首府ブエノ
ス・アイレスは、水陸交通の要地を占
めて、其等の輸出が甚だ多く、我が南
米東岸航路は此處を終點とする。ロ
サリオは洋航船溯航の終點に位し、
主要な河港で、バイヤブランカはパ
ンパ地方の一門戸である。

フォークランド諸島 Falkland
アルゼンチンの西南
海上にある英領地で、漁業の中心となり、住
民は牧畜を主業とする。

ウルグアイ Uruguay
本洲中の最小國であ
るが、廣い平野があつて、盛に牛羊を

面積 約二萬方
人口 約二萬
アスンシオン 二萬



解圖 ウルグアイの製革工場にて日天で獸皮を乾燥する光景

といひ、重要な河港である。

第三章 ブラジル

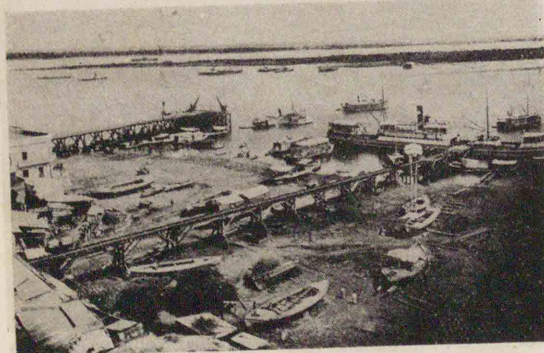
Brasil (伯利西爾)

ブラジルは本洲の殆ど半を占める大國でも、ポルトガルの領土であつたから、今でもポ

飼養し、人口に對する家畜頭数の多いことは
世界第一で、又穀物の産も多い。首府モンテビ
デオは製肉工業が發達し、羊毛皮革肉類等の
輸出が盛である。

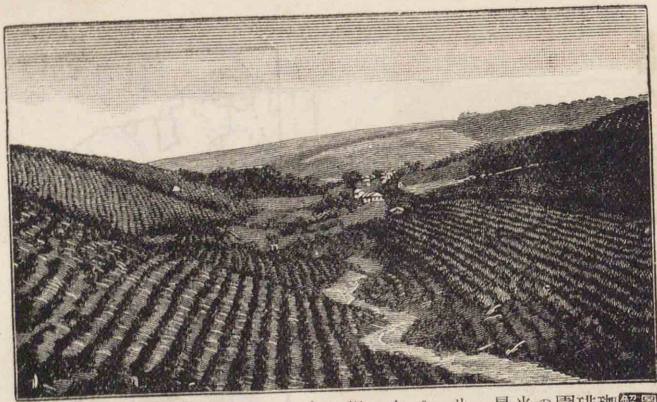
ハラグアイ Paraguay
大部は林地を交へる草原で、國

人は牧畜を主業とし、
森林地方にはハラグ
アイ茶(マテ)の特産があ
る。首府をアスンシオン
Asuncion

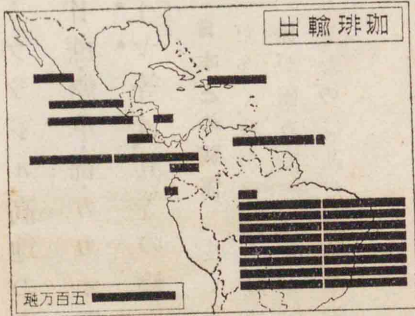


解圖 パラグラの河畔にアスンシオンで産物の集散地

面積 約八五萬方
人口 約四〇〇萬



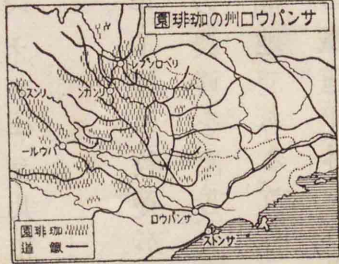
球珈は地陵丘の状波るすと心中を州ロウパンサ 景光の園球珈解圖
るれはいとぶ及に籽方千七萬六約は積面培栽の在現で地適好の培栽



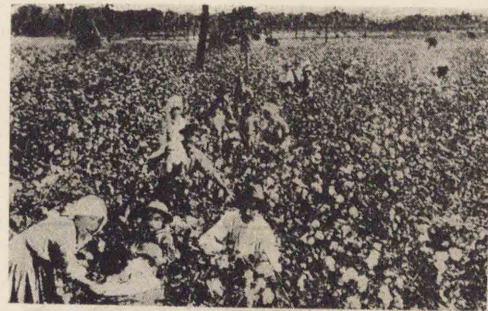
この農業地帯には、我が國の移民
が多く住み、
が、多く住み、
リ・ベ・ロ・ン・ブ
レ・ト・バ・ウ・ル
一等を中心
として、主に珈琲米等の栽培労働に
従事し、又獨立して珈琲園等を經營
してゐるものも少くない。

主要都邑 人口(萬)
リオデジャネイロ
サンパウロ
ペルナンブコ
バイヤ
パラ

培の中心地で、サントスは珈
琲の輸出港として榮えてゐ
る。首府リオデジャネイロも、珈
琲商業の中心
で、天然の良灣に
臨み、風光がよい。



市都大の二第國全は今で町の興新だん生が球珈 市ロウパンサ解圖



民移本日いし忙に採摘の花綿たし裂開 畑綿解圖

アマゾン河の支流
にはトカンチン
ス・タパジオス・マ
デイラ・ネグロ等
の諸川がある
ブラジル高地の南
部を流れるパラ
ニャ河の支流に名
高いイグアス瀑布
がある

ルトガル語が行は
れる。地形上アマ
ゾン平野とブラジ
ル高地とに分れる。
アマゾン河の流域
は、濕熱の不健康地
であるが、野生ゴム
染料等は
殆ど無盡藏
といはれ、
マナオスはゴム採集の中心で、
その積出港である。我が移民會社は、この流
域に、植民地獲得の契約を進めたが、今はその権利が疑問となつた。
ブラジル高地は、草原が廣く、牧牛が行はれ、又金、黒金剛石等
の鑛産もある。高地の南部は、最も重要な農業地帯で、珈琲の栽培
が盛に行はれ、その産額は世界全産の七割餘を占める。近年綿
玉蜀黍、米等の耕作も次第に盛となつた。サンパウロは珈琲栽

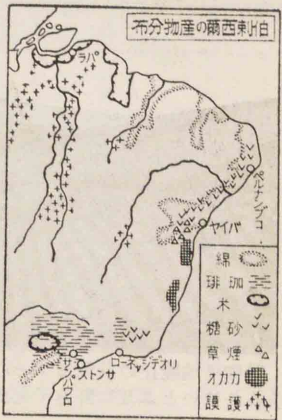


限ぶ及の線視 河の中のそと林森のルジラブ解圖
るす流緩を中のそてしと々洋は河れは被に林森り



流會のと河ログネと河ソマア 観大の港スオナマ解圖
るれら得し航溯でま處此も船汽大で港河な要重し位に點

San Paulo



ブラジル高地の東部では、黒人を使役して農耕を行ひ、甘蔗・煙草・綿・カカオ等の栽培が盛となり、ペルナムブコ、イヤ等は、其等の輸出港である。

日本との關係 長く我が國人の重要な移住地となり、在住邦人が甚だ多く、我が移民會社は、アマゾン流域に廣い植民地を得る等、その關係が極めて密であつたのに、近年移民の數を制限し、植民地の所有權も疑はしくなつたのは甚だ遺憾であるが、最近に至り、移民制限を幾分緩和するこ

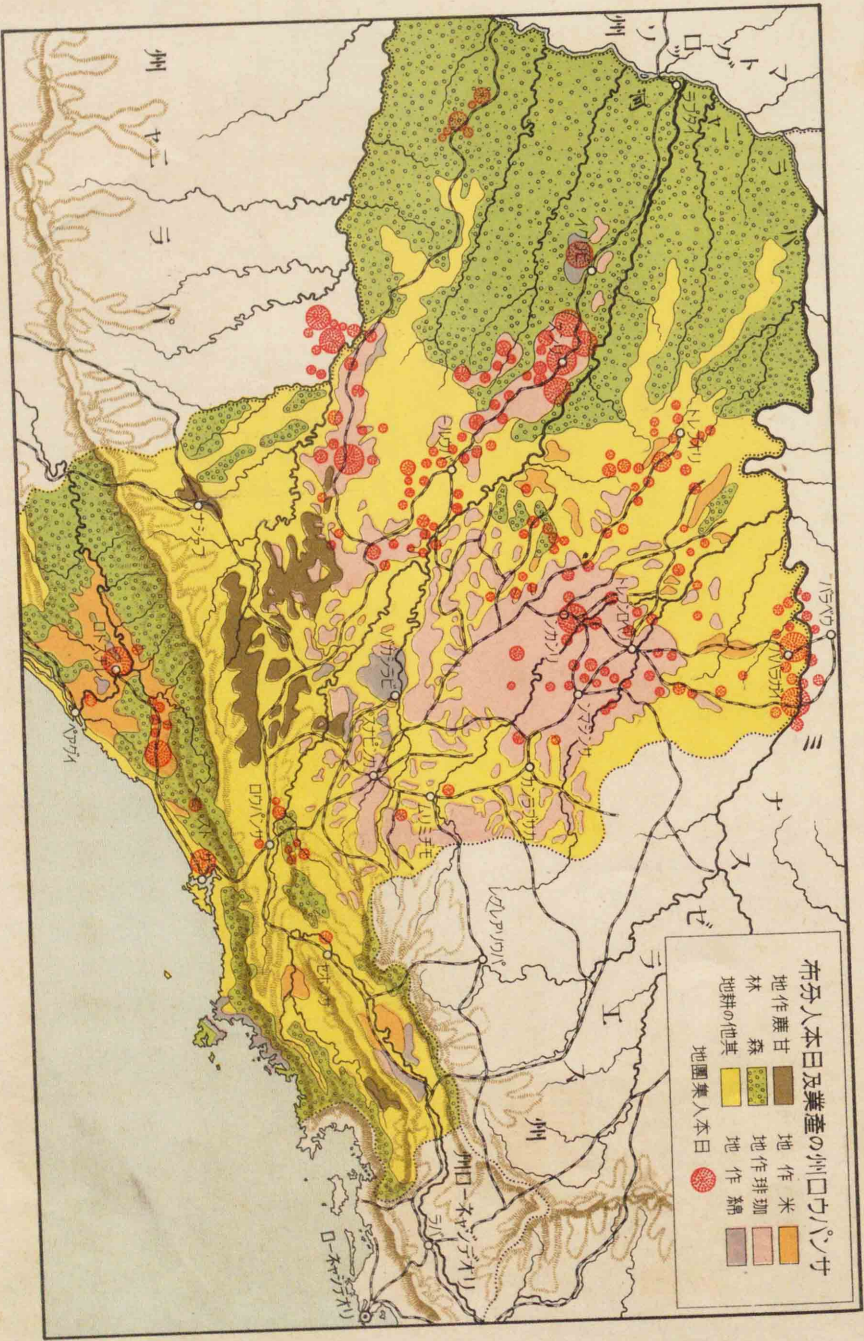
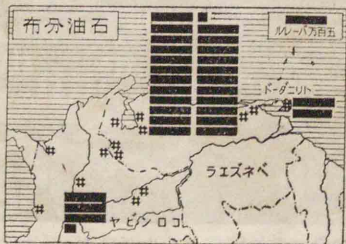
第四章 北部地方

ギアナ山地以北の地方で、ベネズエラ共和國とギアナ地方とに分れる。

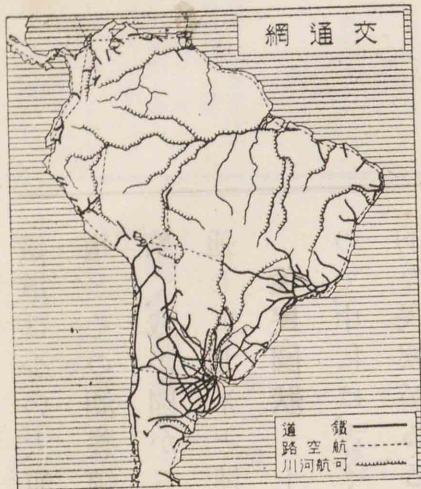
ベネズエラ 草原が廣く、牛羊等の牧養が行はれ、北部は**珈琲**・**カカオ**・**綿**等の農産を出し、又豊富な油田があつて、世界屈指の産油地である。首府カラカスは、海岸に近い高原上に位し、極めて迂廻せる鐵道で、外港のラグアイラと通ずる。

面積 約九萬方呎
人口 約100萬

カラカス 三萬



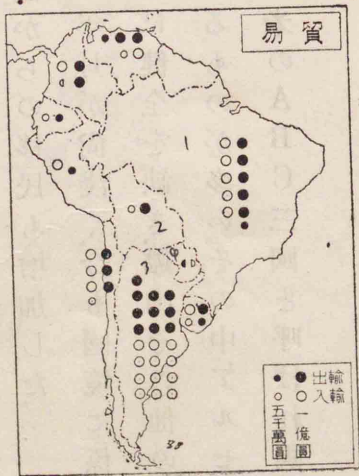
ギヤナは面積約四
 十萬方呎、人口約
 五〇萬



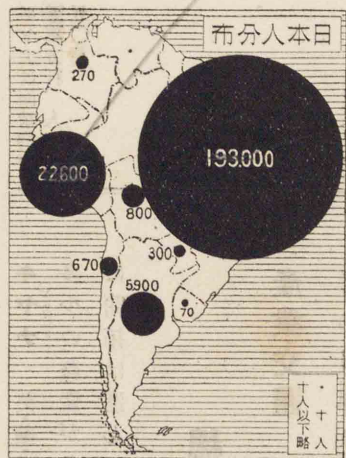
ギヤナ 英・蘭佛の三國に分屬し、海岸地方には、
 多少の農産があり、山地からは金を出すが一
 般に開拓は進んでゐない。

總 說 (其二)

産業交通 亞熱帶の地方は、珈琲カカ
 才等の世界的大産地で、温帶地方の穀物
 畜産品と共に、廣く海外に輸出せられ、歐洲に對する重要な食糧庫と
 なつてゐる。鑛産も甚だ豊富であるが、石炭に乏しい
 ので、工業はまだ發達してゐない。要するに本洲産業
 上の缺陷は、勞力及び資本の乏しいことで、移民の吸
 收と、外資の輸入とで、之を補つてゐる。



パンパの平野は、鐵道がよく整つて、その一線はア
 ンデス横斷線となり、チリには長大な縦貫鐵道もあ
 るが、他は海岸と内陸とを結ぶ部分的のもので、國際



鐵道は少い。大河の水運も利用は少く、今では海運が交通の幹線で、鐵道がその涵養線となつてゐる。海運は米國・歐洲等との間に往復が最、繁く、我が國からも東西の兩岸に航路を通ずる。航空路は普く海岸を通じて、北米と連絡し、又アフリカに達するものもある。

住民國狀 土人の大部分は、アメリカインディアンと總稱されるもので、中には、古く文化の發達した者もあつたが、森林中には、今も原始的な民族がある。現在政治經濟の實權を握るのは、スペイン人・ホルトガル人等の子孫で、東部にはネグロ族の子孫及び混血の雜種が多い。

近年歐洲諸國及び我が國からの移民も増加した。本洲の諸國は、獨立後の年月が尙淺く、今も國境に係争地を残す位で、財政状態は健全を缺き、鑛山その他の産業にも、歐米の資本によるものが多い。その中アルゼンチン・ブラジル・チリは、南米のABC三國と呼ばれ、國勢が最も盛である。

面積 約八六〇萬方呎
人口 約一〇〇〇萬

世界最小の大陸で、全陸地の百分の七にも足りない。人口密度は極めて小で、一方呎に約一人の割である。

第六篇 大洋洲
Oceania

總說 (其一)

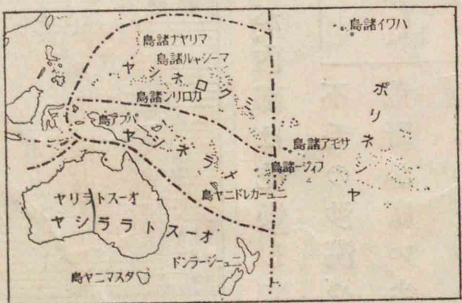
大洋洲は、日本列島の東南に當り、オーストラリア大陸と、廣く太平洋上に散在せる無數の島嶼とから成り、通常之をオーストラリアシヤ・メラネシヤ・ミクロネシヤ・ポリネシヤに大別する。

Micronesia
Polynesia

各說

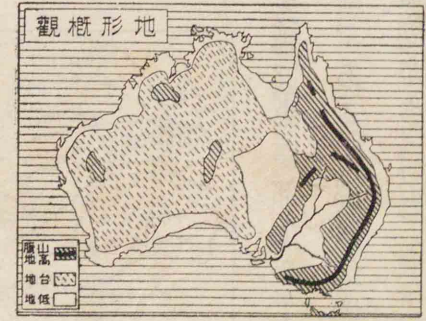
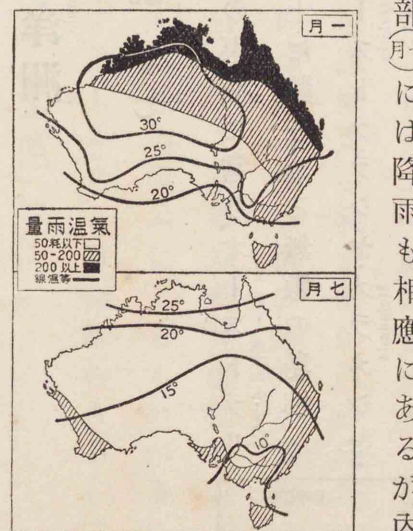
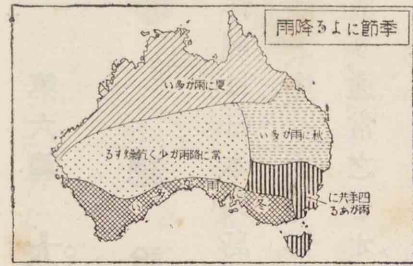
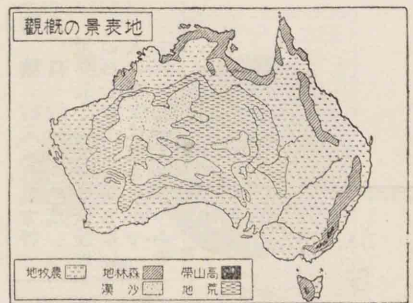
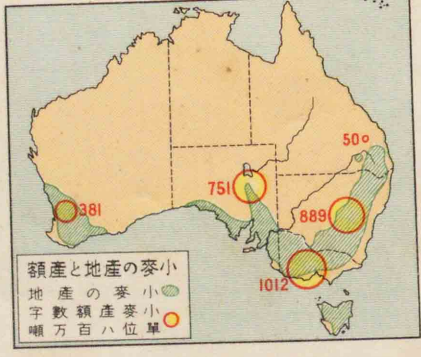
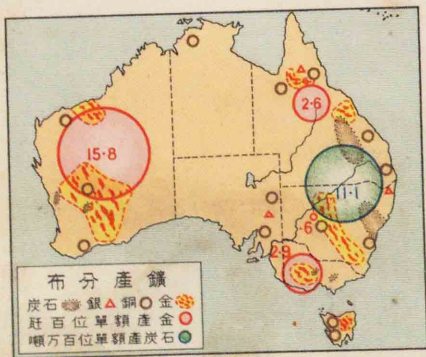
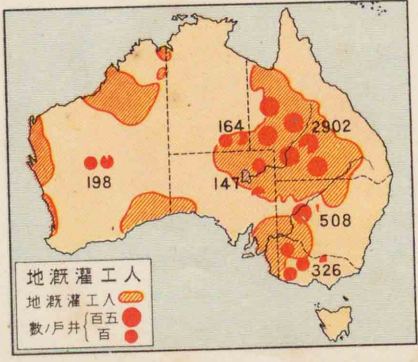
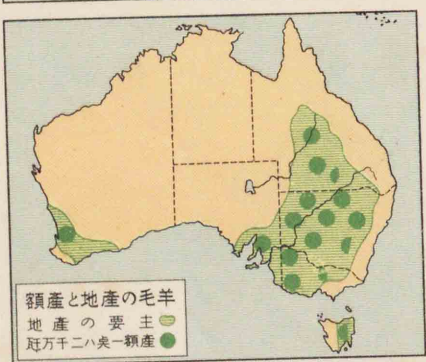
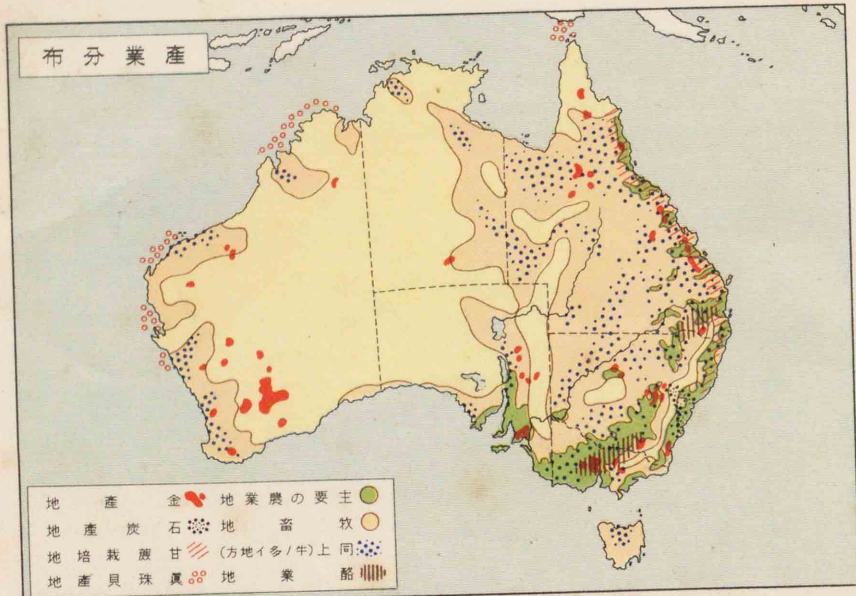
第一章 オーストラリア聯邦
Commonwealth of Australia

地勢海岸 オーストラリアは、地形が極めて單純で、東南部にオーストラリアアルプ山脈の連る外は、一般に臺地性である。中部は盆地をなして、マレー河が此處を流れ、又大小の鹹湖が多い。



面積 約七〇〇萬方呎
人口 約六〇萬

右の内タスマニアは面積約六萬八千方呎、人口約二二萬。オーストラリアアルプは最高峰も二千米餘に過ぎない。



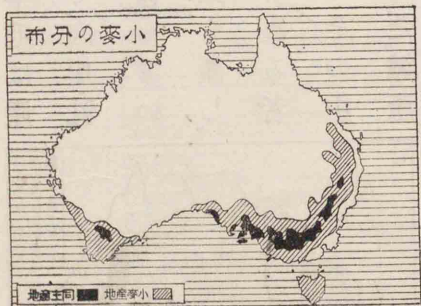
海岸も単調で、北部のカーペンタリヤ灣と、南部のオーストラリヤ大灣との外には、著しい彎入がない。東北部の海上には、珊瑚礁が斷續して、大堡礁を造り、東南にはバス海峽を隔てて、タスマニヤ島がある。

氣候生物 氣候は我が國と、寒暑の時季が全く反對であるが、概して暑い處が多い。北部(月一)南部(月七)には降雨も相應にあるが、内部は乾燥して、不毛の沙漠や荒野が廣い。生物はカンガルー、鴨嘴獸の如き、他の地方に現存しないものもある。

果實を季節の異なる歐米諸國に送つて利益が多い



多数の馬を役使して大規模に行はれる農場光景



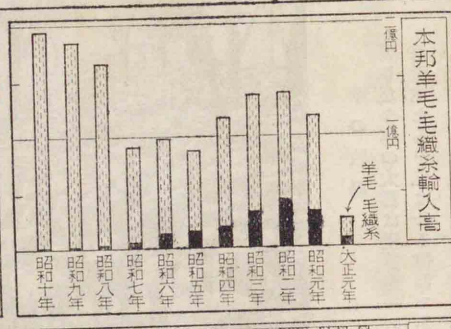
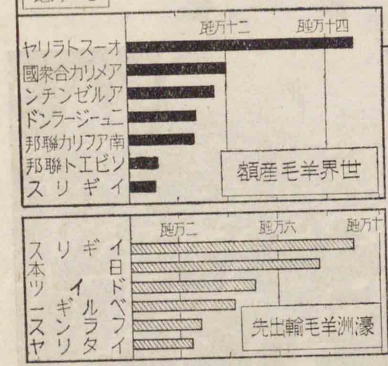
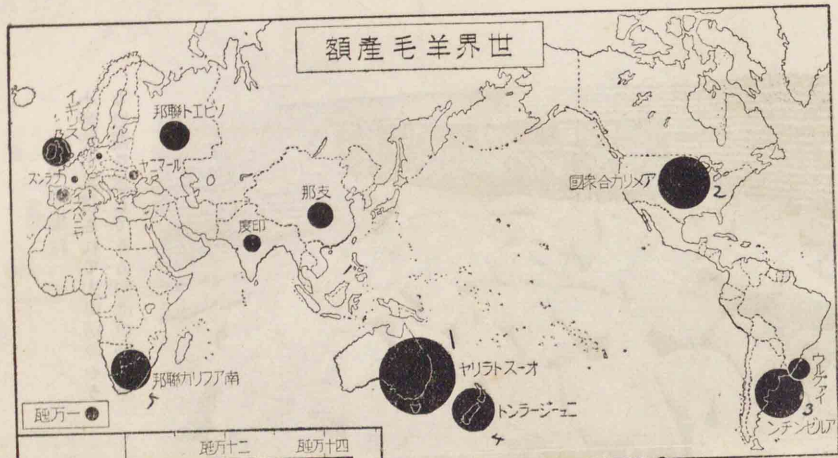
で、内部にも行はれるやうになつた。小麦・燕麥・玉蜀黍

のが棲み、經濟上に價值のある家畜は、穀類果樹等と共に、概して歐洲人の移植したものである。産業 農業は最初東南部を中心として開けたが、次第に東部西部の海岸地方にも發達し、近年鑽井や貯水池による人工灌漑の設備が進んで、内部にも行はれるやうになつた。小麦・燕麥・玉蜀黍

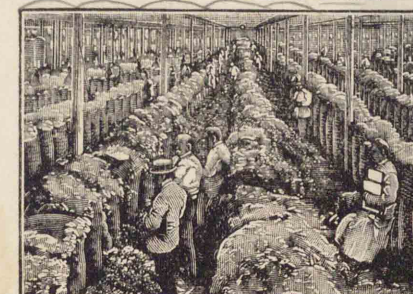
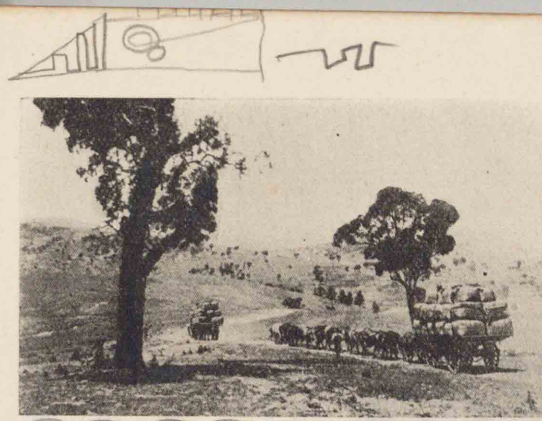
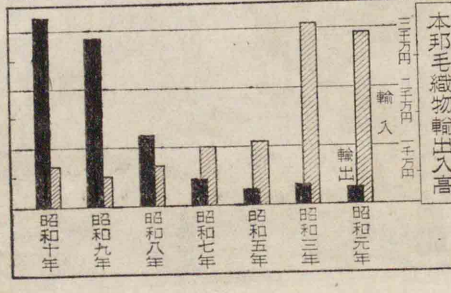
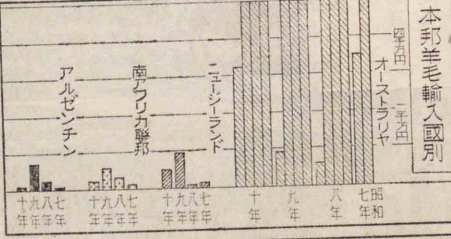
その主産物で、歐洲に對する主要の穀倉となり、又葡萄・柑橘類等の栽培も行はれる。農産地帯からその内部にかけては、羊・牛等の牧



後脚はより長く跳飛るに便がある。カンガルー



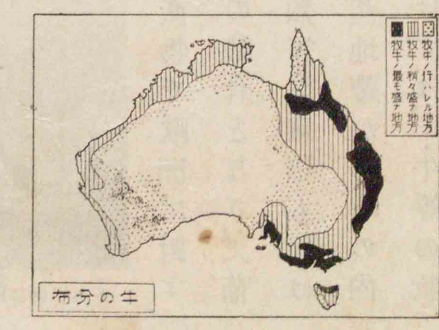
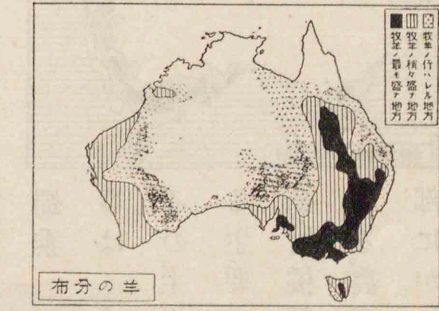
世界の羊毛 濠洲は世界第一の羊毛産地で、その産額の約四分の一を我國で買入れてゐたが、最近關稅等の問題で取引が一頓挫を來してゐる。近年邦人の服装は大變革を來し、毛織物の需要が益々増加して、輸入は頗る多額に上つてゐるが、毛織工業の發展と共に、漸次輸入を驅逐して輸出の増進を見せてゐる。併し國內には、羊毛の産は皆無に近い状態であるから、原料羊毛は綿に次ぐ重要な輸入品で、その殆ど全部を濠洲から輸入してゐるが最近片貿易調節の爲に、南阿等からも輸入されてゐる。

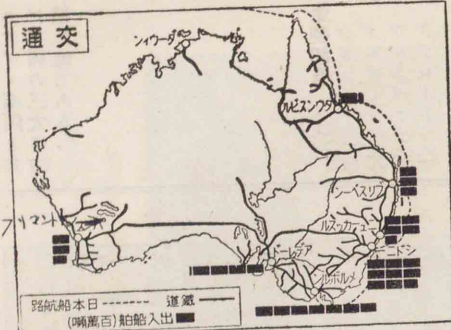


載滿を毛羊は(上) 場毛貯と搬運の毛羊(解) 場毛貯は(下) 景光ぶ運せか牽に馬を車たしるみてし分檢を質品の毛羊が人商引取で内

畜が大規模に行はれ、羊毛は産額品質共に世界第一で、肉類乳製品・皮革等の産額も甚だ多い。木曜島の附近は眞珠貝を産し、邦人の採集に従事してゐる者もあるが、今ではその中心が西部に移つた。鑛産

も豊富で、金銀銅鉛等を産し、殊に金はこの地へ白人の移住を促した主因となつた。バララット(金)、クールガルディー(金)、ブロークンヒル(鉛)等は、有名な鑛産地。東部からは石炭を出す。工業は製粉製糖罐詰等が一部に行はれる。貿易は原料の輸出、製品の輸入が盛で、大部は



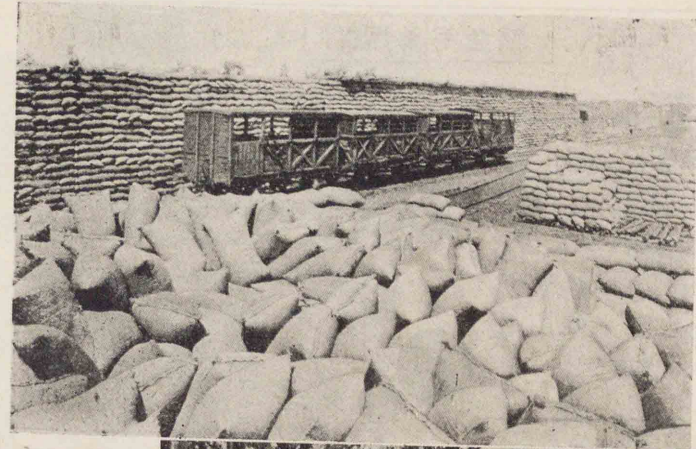


英國との取引に屬し、我が國へも羊毛・小麦等を輸出して、人絹織・綿織・生絲等を輸入する。内部の交通は不便であるが、東南部は鐵道がよく整ひ、南部には東西横斷の線路があり、南北の縦貫線も一部を開通した。産業の發達に伴ひ、他大陸との航通は益々盛になり、航空路は遠く歐洲の本國と通じ、海底電線無線電信等の通信機關も備つてゐる。



るゐてし理處で上船を貝珠眞たげ上採らか底海

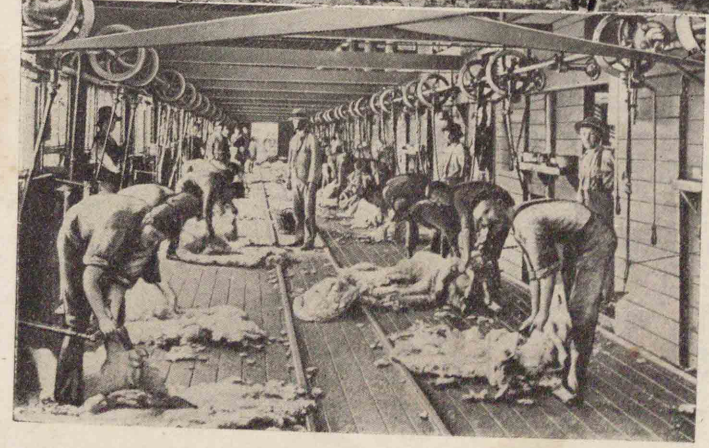
住民政治 土人は未開のオーストラリア族であるが、その數は次第に減じて、今は英國出の白人が大部分を占める。人口が極めて疎な上に、白濠主義を唱へ、有色人の入國を固く拒絶してゐるので、土地の開發は進まない。大陸は五つの自治州（ビクトリア・ニューサウスウェールズ・クイーンズランド）と北部地方とに分れ、之にタスマニヤを併せて聯邦を組織し、英國王



小麦の堆積
小麦袋が累積されて大堤防のやうな壯觀を示してゐる西部の停車場



羊の牧場
限りなき羊の大群は世界第一の羊毛産地たるを思はせる偉觀である



羊の剪毛
夏が来ると房々とした羊毛を電氣バリカンの如き仕掛けで剪採する

カナダ・南阿と共
に英國の三大自治
植民地である

主要都邑 人口(萬)
シドニー 一四〇
メルボルン 九三
ブリスベーン 三三
アデレード 三三



メルボルン 聯邦第二の大都會で工業業が甚だ盛である

を代表する總督の管理下に、自治を行つて
ゐるが、兩院制の議會や軍備等もあつて、殆ど
獨立國の姿である。聯邦政府はカンベラに
置かれ、その地域は、首府區として聯邦の直
轄になつてゐる。

都邑

東部の地方は、大陸中で最もよく開

け、繁盛な港市が多い。メルボルン、
Melbourne

はフィリッ
Port Philip

プ灣の奥に位し、農産・畜産の輸出が多く、我
が濠洲航路の終點に當る。シドニーは聯邦

Sydney

第一の大都會で、ポートジャクソンの良灣に

Port Jackson

臨み、商港で軍港を兼ね、羊毛・皮革等の輸出が盛に行はれ、ニューカッス

New Castle

ルは石炭の積出が多い。ブリスベーンは製糖業が行はれ、又タウンズ

Townsville

ビルと共に、畜産の輸出が盛である。

アデレードは小麥礦物等を輸出し、パースは金産地と鐵道を通じ、
Adelaide Perth



メルボルンの市街
街路が正しく大建物が並び濠洲の
都會中で最も都らしい感じがする

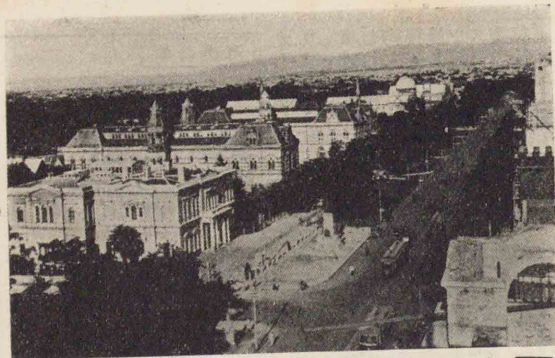


シドニー港
大小の屈曲が右に左に錯雜し無數
の船が絶えず水上を去來してゐる



ウェリントン
丘陵の住宅區と低地の商業區から
成り丘上の展望は實に美觀である

ニュージールランド
は面積約二七萬方
軒、人口約一五〇
萬



館術美・館書圖・學大は物建ぶ並 街市のドーレデア



の商港で、又捕鯨の根據地である。

日本との關係 母國の英國は勿論、他の歐米諸國からも遠く離れてゐるが、我が國としては南方の隣國であり、氣候は寒暑の時を異にし、産物も依存共榮の關係があるので、我が商船は絶えず往復し、貿易が盛に行はれてゐたが、近年母國の産業保護政策に災せられ、彼我の關係が稍疎隔に傾いたのは甚だ遺憾である。

第二章 太平洋諸島

ニュージールランド オーストラリア大陸の東南に位し、英國の自治植民地で、南北の二大島に分れる。南島には高山が連つて氷河が懸り、

その外港
Fremantle
Perth
は、穀物の積出が盛である。

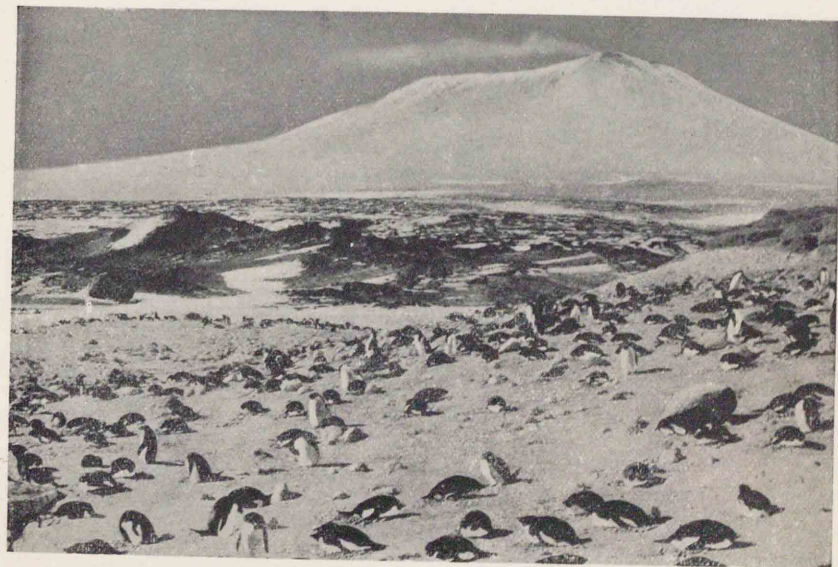
タスマニヤは氣候が溫和で地味も肥え、羊の牧養、果樹の栽培等が盛に行はれる。ホバートは主要

Hobart



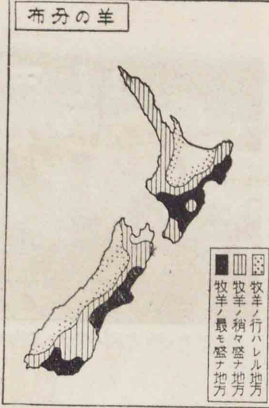
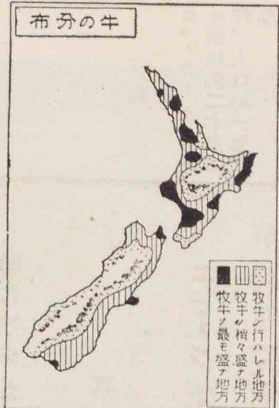
園梨風のイワハ

るあで品出輸の要主は詰罐のそれらせ培栽く廣もでま腹山上丘は梨風



鳥ンギンベと山火スブレエ

觀奇一の方地極南で鳥ンギンベはるせ集群山火活スブレエは山の上氷



オークランド二萬
ウエリントン一四萬
パプア島は面積約
七五萬方呎人口
約六萬も英・獨
・蘭の三國に分
屬してゐたがド
イツ領の部分は
オーストラリア政
府の委任統治地
となり英領部分
は政治的に屬す
る上濠洲に屬す



好むはつ種
なりなて
に等梁や柱も家
はに多のたし施を刻彫の々
を身文 身文の入りオマ
別のと足手と顔りあが癖む好

黍等の農産も多く、又金石炭等を出し、カウリゴム(カウリ松原料となる)の特産がある。土人は文身で名高いマオリ人で、割合に文化は進んでゐるが、その数は少く、住民の大部分は英人である。北島のウエリントン、この地の首府で、オークランドは主要な商港である。

メラネシヤ 西部のパプア(ニューギネヤ)は、世界第二の大島である。大部は熱帯林に被はれ、濕熱な不健康地が多い上に、兇暴な蠻人の住地で、開拓は未だ進まないが、風鳥の特産がある。ニールカレドニア(領佛)はニッケルを多く出すので名高く、ヌーメアはその首邑である。フィジー諸



是るあがの
上水は土人
居するもの
はあがの
土人居住
のものが
アプア居
の土人住
居するも
パアア居
の土人住
居するも
解圖は又
は動物の
動はあ
るもので
樹はあ
るもので
樹はあ
るもので
樹はあ
るもので

島の(領英)はコブラの産に富み、スバの良港がある。ミクロネシヤ 大部はドイツの舊領土で、その殆ど全部は日本の委任統治となつたが、赤道よりも南にあるナウル島は、英

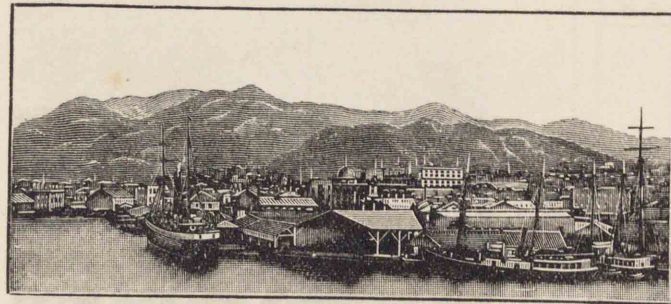


ハワイ諸島は面積
約一萬七千方呎
人口約三七萬

は、又海底電線の中繼所として重要な處である。その中の最も重要なものである。ポリネシヤ 太平洋の東部に擴がる無数の島々で、ハワイ諸島(領米)はその中の最も重要なものである。ハワイ諸島には八箇の大島があり、西方のミッドウェイ島、ウエーク島等と共に、米國に屬する。ハワイ島には、キラウエヤ火山があつて、その噴火口には、常に灼熱した熔岩を湛へてゐる。海風が涼味を送るので、熱

國の委任統治地となり、オアシヤン島(領英)と共に、燐礦の産が多い。グアム島は太平洋に於ける米國海軍の根據地で、貯炭所を設

帯にはあるが、氣候は割合に溫和で、降雨も多く、植物がよく繁茂

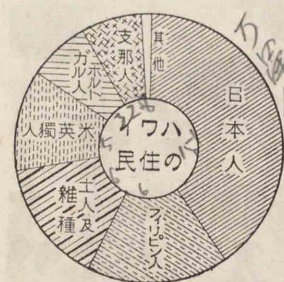


るあで港な要重もに上事軍上業商め占を樞中の洋平太 ルルノホ

し、甘蔗バナナ、鳳梨、米等の農産が多く、砂糖はこの地の最大の産物である。邦人の移住して、農耕製糖等を營む者が甚だ多



れ何で景光の取採梨風は① 搬運の蔗甘は②解圖
イワハはと梨鳳梨と糖砂 人邦はのるあてし業作も
るあに々處が場工詰織や場工糖製で物産農大二の



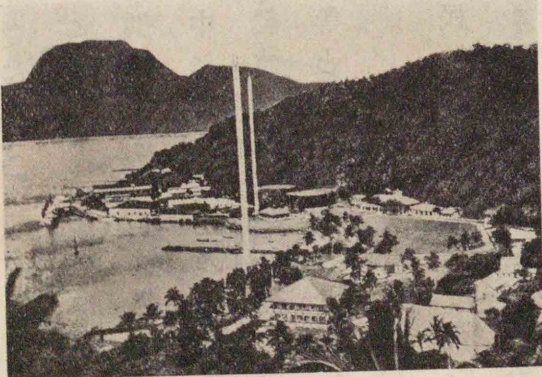
く、現在の住民中、約四割は日本人である。オアフ島にあるホノルルは、この地の首都で、太平洋航路の集點に當り、砂糖の積出が多く、又無線電信海底電線の要地で、我が國と直接通信する局がある。附近の

パールハーバーは、米國の重要な海軍根據地で、ハワイ島のヒロは、砂糖の積出港である。

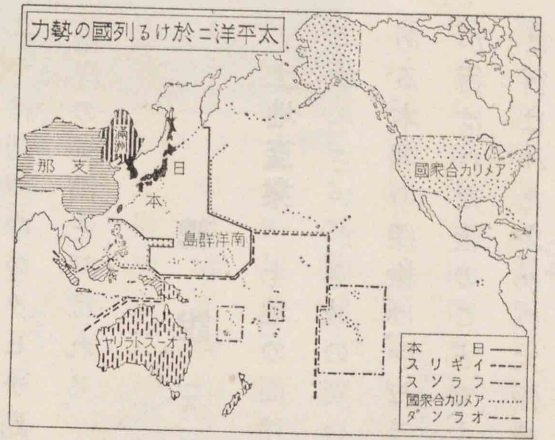
南方にはフanning Christmas 要な島々が散在し、Samoa 諸島は米獨の二國に分屬してゐたが、ドイツ領の部分は、New Zealand 政府の委任統治地となつてゐる。Society (Society) 中のタヒチ島は、氣候がよく、「南洋の樂園」と呼ばれる。

總説 (其二)

土地産業 土地の面積は、諸大洲の中で最も小さいが、區域の廣いことは第一である。本洲の探検は、Magellan が行はれた後のことで、十八世紀の後半に行はれたCookの大探検により、漸くそ



もに島の大堂のこで一の地據根軍海國米 島アモサ解圖
るあてれさ施が備設の他のそ庫倉や營兵なうやる見で圖



あるが、此等を總稱して、海岸島嶼住民といひ、或は主要な一民族の名を採つて、マレー人種とも呼ぶ。本洲には、獨立國は一つもなく、英國は最も廣い領土を有して、勢力は遙に他の諸國を凌ぎ、佛國、米國等の領土も處々に散在し、我が日本も、その一部に委任統治を行つてゐる。

の狀態が明となつた位で、拓殖の進んだのは、極めて新しいことであるが、今は歐米諸國へ對する原料供給地として、重要な地位を占める。又島嶼中には、産業上の價値は乏しくても、貯炭所、給水地、航空路の經由地、海底電線の中繼所等として、重視されるものが少くない。

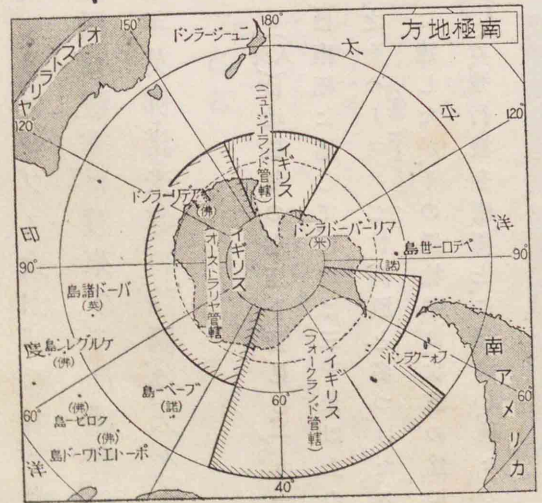
住民現勢 住民は、點々と離れた廣い區域に住んでゐるから、民族風習等も様々で

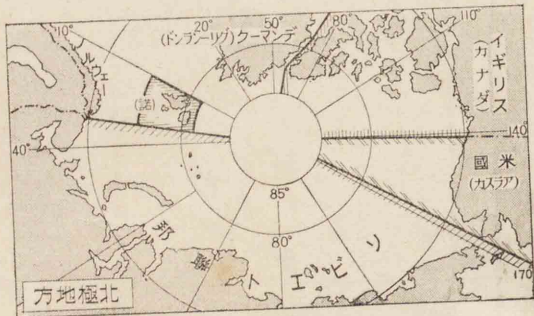
第七篇 兩極地方

Polar regions

第一章 南極地方

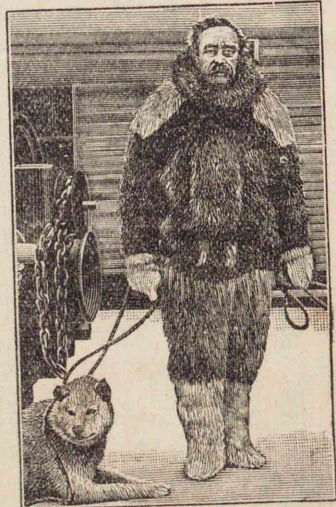
オーストラリアの南方に陸地のあることは、クックの探検によつて知られてゐたが、十九世紀の後半以後に、ウィルクスランド、南ビクトリアランド、ド・エドワード七世ランド、グラハムランド、キングエドワード七世ランド、南極洲と呼ばれる一大陸の縁邊を各所から見ても、のらしく、この想像大陸を南極洲と呼ぶ。沿岸には、卓状の大氷山が多く浮流して、ペンギン鳥が群棲し、又鯨が多く、我が捕鯨船は、遠くこの地方にも活躍





はれる外、産物は乏しいが、英米露ノ丁等の諸國は、領海權を主張してゐる。北極は堅く凍結した深海であるが、海流等の關係から、氣候の寒極ではなく、シベリヤの東北部北米の北部等よりも、温度は高いといふ。

北極探検は、早く十九世紀の頃から試みられたが、ナンセン(Nansen)によつて大いに進んだ。一九〇九年、ペアリー(Peary)は終に北極に到達し、その後アムンゼンは、飛行船を利用して此處を横斷した。最近ロシヤ機は北極を経て米國に達し、將來北半球の文明國を連ねる最短の航空路が、この地方に實現されんとする。

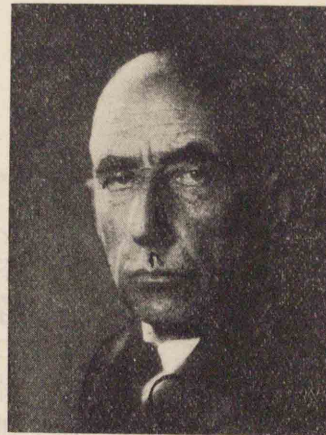


探検服を着たベアリアー

アムンゼンが南極に到達したのは十二月十四日です。コットが到達したのは翌年の二月十八日である。



像肖のドーバ



像肖のンゼンムア

北極地方は南極と異なり、その大部は、北極海の占める處で、アジア、ヨーロッパ及び北アメリカの三大洲に圍まれ、其等の大陸附近には島嶼が多い。この地方は、スバルバード(Svalbard)に石炭を産し、又捕鯨が行

第二章 北極地方

する。ロス海のロス島には、エレブス火山が雪中に噴煙し、壯觀を呈する。住民は暖季に渡來する漁獵者の外には全くないが、近年英佛諾米等の諸國は、夫々土地の領有權を發表してゐる。

一九〇九年、シャックルトン(Shackleton)は地磁氣の南極を發見し、一九〇一年、アムンゼン(Amundsen)は南極に達して、極地は三千米以上の高原であることを確め、之をハーコン七世高原と名づけた。スコット(Scott)は稍、後れて南極に達したが、その探検隊は、吹雪の爲に全滅した。最近にバード(Bird)は、飛行機を南極上に飛ばし、種々の研究や發見を遂げた。

日本帝國在外公館一覽表

ジ			ア		國 名 地 名	大使館 公使館 ○大使館	○總領事館 領事館 ○分館														
シ ム	佛領 印度支 那	香 港	支 那	滿 洲 國																	
			○北 京 (引上中)	○新 京																	
○パ ン コ ク	○サ ハ イ ノ ゴ ク	○香 港	○福厦 門 ○成都 ○漢口 ○南 京 ○蘇 州 ○上 海 ○青 島 ○濟 南 ○天 津	○新 京 ○間 島 ○奉 天 ○吉 林 ○哈 爾 濱																	
			○雲南 ○汕頭 ○江 州 ○昌 州 ○重 慶 ○沙 市 ○張 家 口 ○東 京	○海 拉 爾 ○綏 芬 河 ○承 德 ○錦 州 ○赤 峰 ○安 東 ○齊 齊 哈 爾 ○滿 洲 里																	
ヨ			洲				國 名 地 名	大使館 公使館 ○大使館	○總領事館 領事館 ○分館												
ラ ト ビ ヤ	フ ィ ン ラ ン ド	ソ ビ エ ト 聯 邦 (歐 洲)	イ ソ ビ エ ト 聯 邦 (ア ジ ヤ)	リ バ ノ ン (佛 委)	イ ラ ン	ア フ ガ ニ ス タ ン				セ ー ロ ン 島	印 度	フ ィ リ ピ ン	英 領 北 ボ ル ネ オ	蘭 領 東 印 度	海 峽 植 民 地	ビ ル マ					
○リ (エ ス ト ニ ヤ ・ リ ガ)	○モ ス コ ー	○ハ グ			●テ ヘ ラ ン	カ ブ ー ル															
	○オ デ サ	○ハ バ ノ フ ス ク ○ベ ト ○パ ハ ロ フ ス ク	○ウ ラ ヂ ボ ス ト ク ○オ レ キ サ ン ド フ ス ク	○ベ ー ル ト			○コ カ ボ ニ ル ○ボ カ ベ カ ン	○カ マ ロ ン	○ダ マ ニ バ ニ オ ラ	○サ マ ラ ダ カ ル	○メ ス バ ラ バ ビ ン ヤ	○シ ン ガ ポ ー ル	○ラ ン グ ー ン								

洲カリフア		洲パツロ																
モ	南アフリカ聯邦	英領東アフリカ	伊領エチオピア	エジプト	トルコ <small>(歐洲)</small>	ルーマニヤ	イタリヤ	ポルトガル	スペイン	イギリス	オランダ	ベルギー	フランス	チエコスロバキヤ	オーストリア	スイス	ドイツ	ポーランド
ロ				カイロ	○イスタンブール <small>(希臘)</small>	○ブカレスト <small>(ユーゴスラビヤ)</small>	○リスボン	○マドリード <small>(引上)</small>	○ロンドン	○ハーグ <small>(ルクセンブルク)</small>	○ブリッセル <small>(ルクセンブルク)</small>	○パリ	○オーストリア <small>(洪牙利)</small>	○ベルリン	○ジュネーブ	○ハンブルク	○ストックホルム <small>(スウェーデン)</small>	○ワルソー
ッ	プレトリア	モンバサ	アヂスアベバ	アレキサンドリア	ポートサイド			ハルセワナ	リバン	マルセイユ	アンベルス							
コ	カサブランカ	ケープタウン																
洲大洋		洲カリメア南					洲カリメア北											
ニ	ニューギニア	オーストラリア聯邦	ハワイ諸島	ブラジル	ウルグアイ	アルゼンチン	ペルー	コロンビア	キューバ	パナマ	サンサルバドル	メキシコ	アメリカ合衆國	カナダ				
ユ						○リオデジネーロ	○サンチャゴ	○ボゴタ	○ハバナ	○パナマ	○メキシコ	○ワシントン						
カ						○リオデジネーロ	○サンチャゴ	○ボゴタ	○ハバナ	○パナマ	○メキシコ	○ワシントン						
レ																		
ニ																		
ヤ																		
ン																		
ト																		
ン																		

昭和十二年十月五日印刷
 昭和十二年十月十一日發行
 昭和十三年二月三日修正再版印刷
 昭和十三年二月八日修正再版發行

定價金壹圓貳拾錢

不許複製

編輯者 三省堂編輯所
 代表者 龜井寅雄
 發行所 東京市神田區神保町一丁目一番地
 代表者 龜井寅雄
 印刷者 三省堂蒲田工場
 代表者 龜井豐治
 東京市蒲田區仲六郷一丁目五番地

發行所

株式會社 三省堂
 株式會社 三省堂大阪支店
 (東京市神田區神保町一丁目一五五)
 (大阪市西區阿波座下通二ノ六)
 振替口座 大阪八一三〇〇六

【本製田蒲】

第一學年三組

藤村耕市

藤村耕市

和字自甲組



卷七十三

Handwritten text in a circle, possibly a signature or title.

藤村耕

8
8

広島大学図書
2000041348
